

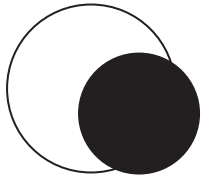
-平成23年度-

館報

2011

vol. 20





はじめに

02年に新展開と呼んで始めた人と自然の博物館（ひとはく）の意欲的な取り組みは、10年を経た今では定常的な活動となり、博物館活動に関心をもっている人たちの強い関心をいただくようになりました。ここに収録する2011年のわたしたちの活動の成果も、それを客観的に描き出しているのではないかと考えています。

2011年度は新展開の10年目にあたりました。新展開が定常的な展開になる頃だけに、その成果が問われる時でもあります。この館報2011年は新展開10年目の報告ということであり、わたしたち館員もその意味を噛み締めるところです。

生涯学習はその名の通り、生涯にわたって学びに関心をもつ人たちの活動であると理解しています。ひとはくは、生涯のどの時点でも、人と自然について知的好奇心をもつ人たちの学びを支援することに全力を尽くします。そして、実際に、幅広い年齢層の人たちの強い学習意欲の高まりに、確かな手応えを感じつつあるところでもあります。

生涯といいながら、ひとはくの活動のうちでも、未就学児や小学校低学年の児童への対応には引込み思案のところがありました。とりわけ、研究者層はそのような年代の幼児たちへの対応に二の足を踏むことが少なくありません。それでも、ひとはくでは、11年度からキッズひとはく推進室を立ち上げました。館員にもキッズの父親、母親経験者や、その現役のスタッフもいます。そうでなくても、キッズに上手に接することができる者もいます。さらに、専従職員に限定せずに、ひとはくはこのような事業を助けてくれる仲間を自分たちの身内に引き込む戦略を得意としています。ありがたいことに、このプロジェクトの立ち上げと時を同じくして、独立行政法人科学技術推進機構の助成が実現しました。はじめは手探りで、しかし推進室の初年度のうちに、このプロジェクトは確実に成果を積み上げてきました。

新展開で培ったキャラバンの実績が、ここでも強い力になりました。折からの不幸な東日本大震災の状況を報道等で知り、また館員のうちにはシンクタンク機能を発揮すべく実際に震災地の緊急現地調査に従事した者もありました。検討を重ね、博物館としても震災地救援に向かうべきであると判断し、7月に宮城県、12月に青森県と岩手県の現地の博物館等施設と協働したキッズプロジェクトを展開しました。これらの事業の展開は、さらにこどもひかりプロジェクトの立ち上げに向かいますが、実際に立ち上がるのはさらに年度があらたまってからになります。しかし、仙台市長にも高く評価していただいたように、博物館等施設が低年齢層の子供たちに自然物を通じてこころの癒しを分かち合うことができたことはまさにひとはく新展開の成果を具象化するものだったと思います。

震災については、標本のレスキューにひとはくとしても対応しましたし、調査活動等に関与した館員もいます。それらについても、トピックスの欄等で紹介します。

博物館はキッズに限らず広い年齢層の人たちの向学心に対応して、優れた資料と資質に富んだ館員が支援体制を整え、共に学ぶ協働活動を通じて人々の学びを支え、鼓舞する機関です。日常活動の成果が、2月の共生のひろばで披瀝し合われる体制も定着し、11年度には7回目の

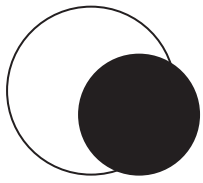
広場が賑々しく展開されました。

新展開以後のひとはくの成果については、いろんな機会に紹介されてもいますが、ここで、ひとはくの活動の内部評価の実例として、月例報告会を設けていることを紹介しておきます。毎月第2金曜日の朝9時から30分間、全館員が一堂に会して、前の月の活動について、設定された目標値のどれだけが達成されたかを集計して各担当から報告され、その成果について全員で評価を確認する会です。わずか30分ですが、既に100回を越え、会を重ねるにつれて、この会の効率は高められ、全員がこの機会を上手に活用して、自分たちの個々の活動を館の活動にどのように結びつけるかを考える貴重な時間になっています。逆に、館の活動は、そのまま自分たちのそれぞれの立場における活動であることが自覚されます。押し付けられた自己評価ではなくて、自分たちで企画した方法でうまく運用されている評価です。自分たちの自己保身のために活動する機関ではなくて、ひとはくに集う仲間たちと一っしょに考え、学ぶ機会を自分たちの活動を通じて構築し、発展させる力の源泉を、このような機会に積み上げていると自負する由縁です。

次年度にはひとはく開館20年を迎えます。ひとつの節目として、成人するひとはくのさらなる発展につなげるように、新展開の10年目には、その総括をはじめてもいます。

博物館等施設にきびしい状況が迫っていることが話題になります。しかし、一方では、今こそ日本人の科学リテラシーの向上が期待され、日本人の知性の錬磨が待たれています。ひとはくはここしばらくの間に、多くの人たちとの協働を構築し、共に学ぶ機会を積み上げてきました。これからも、できる限りの知恵を絞り汗を流して、生涯学習を支援し、シンクタンク機能を発揮できる共生博物館としてますます活性化していきたいと考えています。各方面の方々との協働によってよりよい成果があげられますように、連帯に向けてのエールを送り、ご支援を期待する次第です。

2012年8月 兵庫県立人と自然の博物館 館長 岩槻 邦男



目次

■組織及び施設概要

・ 沿革	5
・ 機能	6
・ 常設展示の概要	7
・ 施設の概要	9
・ 組織と職員	12
・ 各研究部の概要	15

■平成 23 年度事業報告

・ ひとくはくトピックス	17
・ タスクフォース活動報告	29
・ 平成 23 年度事業報告	31

■資料および個人別成果

○博物館概要等に関連する資料

・ 主な収蔵資料	39
・ 情報システム	40
・ 条例等	42
・ 博物館協議会委員名簿	49

○個人別成果報告に関する資料

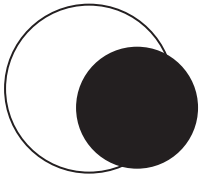
・ 館長	50
・ 自然・環境評価研究部	52
・ 自然・環境マネジメント研究部	92
・ 自然・環境再生研究部	129
・ 個人成果報告一覧	148

○博物館事業報告に関連する資料

・ セミナー一覧	152
・ 企画展等一覧	160
・ 生徒・学生等の受け入れ状況	162
・ 学校教育支援プログラム	163
・ 平成 22～23 年度 2 年間学校団体連続入館状況	164
・ 来館一般団体一覧	166
・ 来館学校団体一覧	170
・ 共催および協力事業等	175
・ ひとくはくフェスティバル ¹¹ 参画団体	181
・ フロアサービス実績一覧	182
・ 外部資金導入状況	185

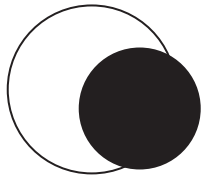
利用案内	188
------	-----

組織及び施設概要



沿革

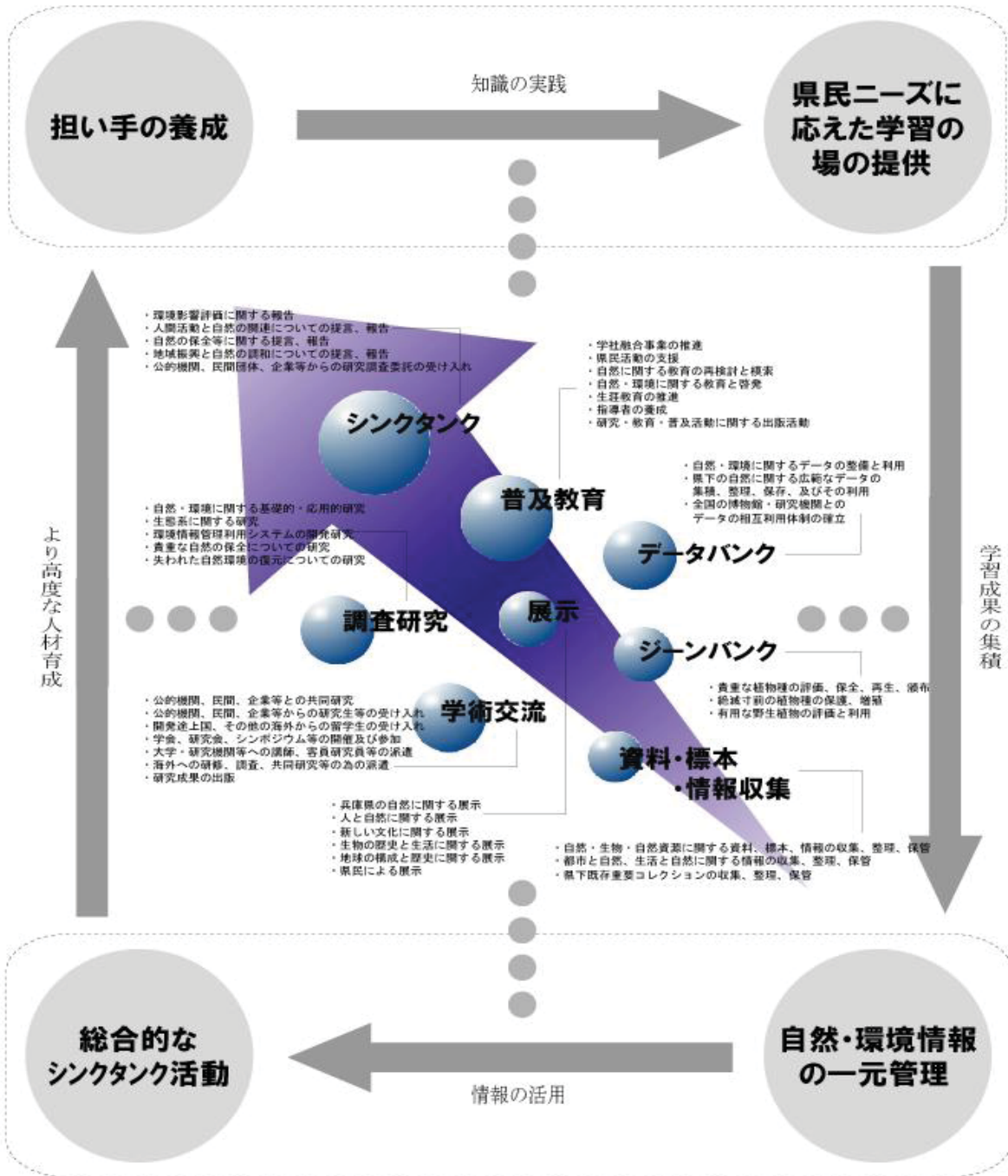
昭和 44 年 2 月 26 日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和 44 年 6 月 5 日	県議会において請願が採択された。
昭和 48 年 6 月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保護活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和 51 年 5 月	IFHP兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和 59 年 4 月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和 61 年 12 月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想(報告)が策定された。
昭和 63 年 8 月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年 4 月 1 日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館(仮称)設立準備室が設立された。
平成 3 年 12 月	研究・収蔵棟が完成した。
平成 4 年 3 月 25 日	本館(ホロンピア館)の様態替え工事が完了した。
平成 4 年 4 月 1 日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に人と自然の博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成 4 年 6 月 25 日	ジーンファームが完成した。
平成 4 年 9 月 20 日	エントランスホールが完成した。
平成 4 年 9 月 30 日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成 4 年 10 月 9 日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成 4 年 10 月 10 日	開館。
平成 9 年 6 月 14 日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成 9 年 11 月 4 日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成 10 年 3 月 12 日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成 11 年 11 月 13 日	NPO 法人「人と自然の会」(博物館ボランティア)と協力協定を締結した。
平成 13 年 4 月	兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成 14 年 4 月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成 18 年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成 14 年 10 月	博物館が開館 10 周年を迎え、10 周年記念式典を執り行った。
平成 16 年 4 月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。
平成 18 年 6 月	猪名川町と協力協定を締結した。
平成 18 年 9 月	丹波地域で恐竜化石が発見され、発掘を開始した。
平成 19 年 3 月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本構想が策定された。
平成 20 年 3 月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本計画が策定された。
平成 20 年 4 月	「ひとほく恐竜ラボ」がオープンした。
平成 21 年 7 月	加東市と協力協定を締結した。
平成 21 年 8 月	佐用町昆虫館と連携協定を締結した。
平成 22 年 6 月	篠山層群における恐竜・哺乳類化石等に関する基本協定を締結した。



機能

生涯学習の支援

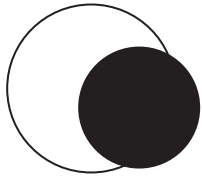
- ・展示法の創意工夫と資料の充実
- ・生涯学習実践フィールドの充実
- ・生涯学習の担い手の養成
- ・広報の充実



自然・環境に関するシンクタンク機能

- ・総合的なシンクタンク機能の充実
- ・自然・環境情報の一元管理と絶滅危惧植物の保護増殖

博物館の基本8機能と重点事業の展開方針



常設展示の概要

■テーマ1 兵庫の自然誌

南北とも海に接し、気候の変化が大きい兵庫県の特徴ある自然を大型パネル・映像・ジオラマなどで紹介します。「森に生きる」では兵庫県で見られる野生動物をはく製で紹介しています。



■テーマ2 人と自然

先人達がいかに自然とうまくつきあってきたか、現在その関係が急速に変化していることを、標本・映像などで紹介します。都市から熱帯夜をなくすゲームにも挑戦してみましょう。



■テーマ3 新しい文化

“モノ”と“ゴミ”が、豊かな暮らしのあり方や環境問題を問いかけます。動植物のすみかでもある自然と人とのつきあい方を考えた新しいまちづくりと生活スタイルを提案します。



■テーマ4 生物の世界

地球上の生物は、環境の変化に対応しながら多様な種を進化させてきました。ここでは、生物が複雑な関係の中で生活していることを紹介します。



■テーマ5 地球・生命と大地

約 35 億年前の生命の誕生から人類誕生までの生物の歴史を多くの化石標本でたどります。また、森林の多様性、地球のプレート運動、日本列島の生い立ちを紹介します。





■ひとはくサロン

自由に閲覧できる「図書コーナー」や、自然環境についての最新の情報が集められている「情報コーナー」のほか、「さわれる標本コーナー」「休憩コーナー」などがあります。



■丹波の恐竜化石

2006年8月に丹波市山南町で発見された大型草食恐竜化石の肋骨、尾椎、血道弓などを展示しています。



■ひとはく恐竜ラボ

恐竜化石のクリーニング作業及び展示等を行う施設として「ひとはく恐竜ラボ」が2008年4月にオープンしました。研究員などによる作業風景を間近に見ることができます。



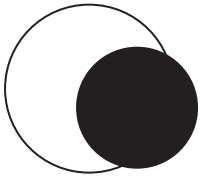
■ナチュラリストの幻郷

博物館に寄せられた多数のコレクションについて、標本を見てその意味を知り、ナチュラリスト達がどのような思いで何を夢見てコレクションを収集してきたかを感じ取ってください。



■共生の森

ラフレシアやオランウータンなど赤道直下のボルネオ島の貴重な標本類を展示しています。熱帯雨林を体感しながら「共生の森」について学ぶことができます。



施設の概要

(1) 規模

・敷地(設置許可・使用承認面積): 37,036.54 m²、延床面積: 18,691 m²

(2) 建物構造

- ・本館(鉄骨4階建) 建面積: 4,221 m²、延床面積: 12,222 m²
- ・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型) 建面積: 360 m²、延床面積: 360 m²
- ・研究、収蔵庫棟(鉄筋コンクリート3階建) 建面積 2,327 m²、延床面積: 5,988 m²
- ・ジーンファーム管理棟(軽量鉄骨平屋) 建面積 121 m²、延床面積: 121 m²
- ・ひとはく恐竜ラボ(鉄骨平屋) 建面積 260 m²、延床面積: 260 m²

(3) 施設の概要

・本館(鉄骨4階建)

建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。展示関係のスペースをはじめとして、電子計算機室や各研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課・各事業室を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。

・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型)

博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。

・研究、収蔵庫棟(鉄筋コンクリート3階建)

研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。

・ジーンファーム

ジーンバンク事業を実践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。

・ひとはく恐竜ラボ

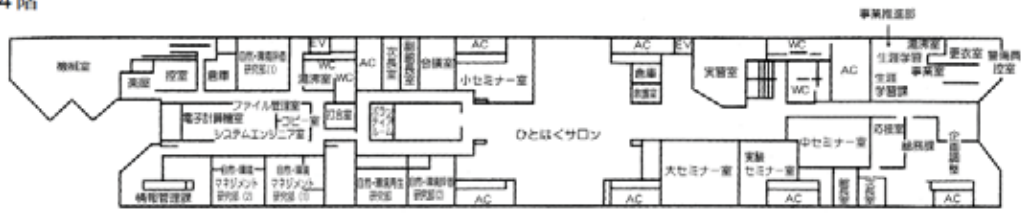
恐竜等の化石クリーニングを進めるための施設。クリーニング室、資料室、倉庫のほか、作業を公開し、発掘調査の成果を展示するホールを設置。

(4) 施設状況

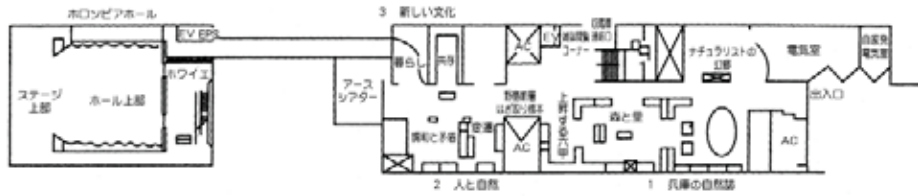
- ・展示関係: 4,124 m²
- ・管理関係: 349 m²
- ・収蔵関係: 2,966 m²
- ・研究関係: 2,105 m²
- ・教育普及関係: 1,324 m²
- ・エントランス: 360 m²
- ・機械、その他: 7,723 m²

●本館

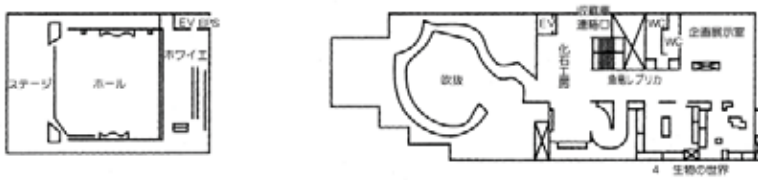
4階



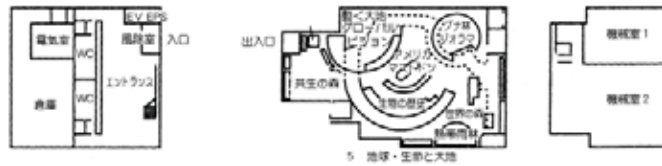
3階



2階

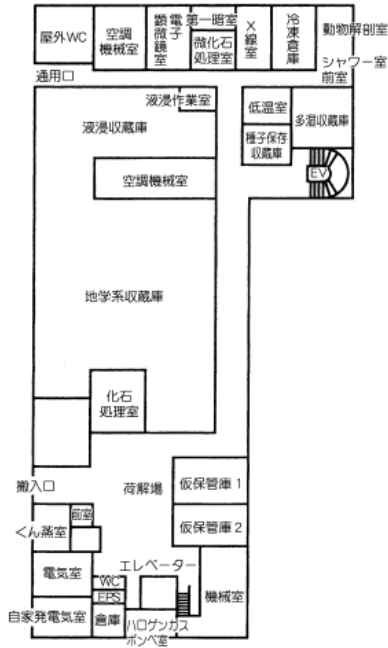


1階

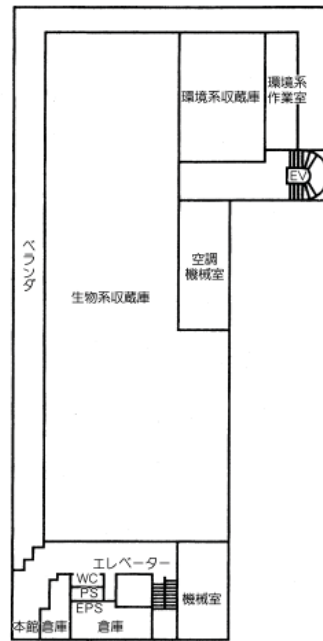


●研究・収蔵庫棟

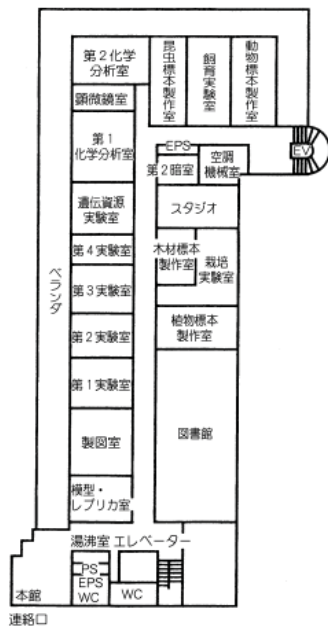
1階



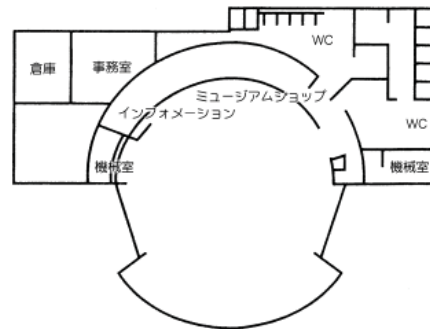
2階



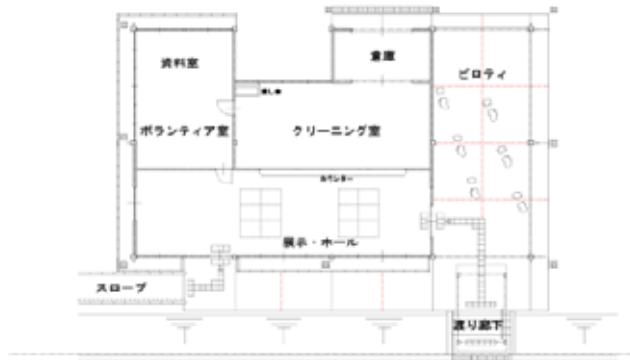
3階

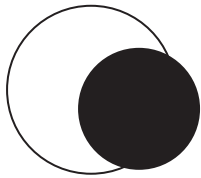


エントランスホール



ひとつはく恐竜ラボ

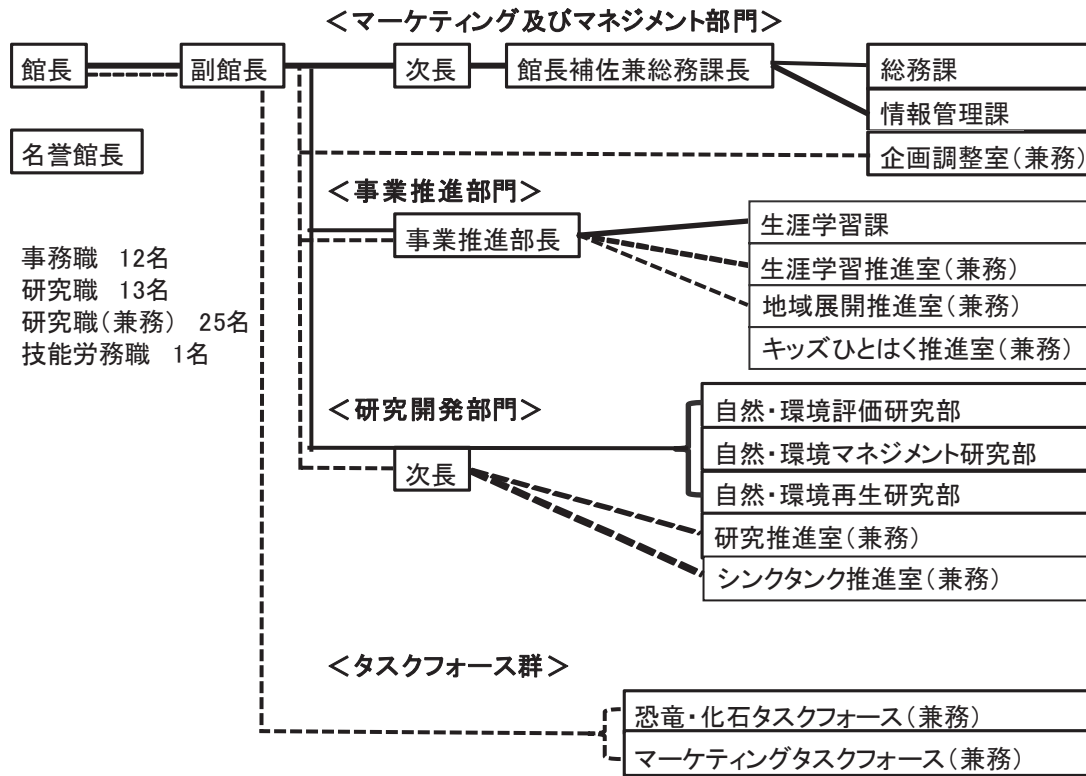




組織と職員

(1) 組織図

平成24年4月1日現在



※ 実線は組織規制上の職制で、点線は館長辞令による博物館独自の職制。

(2) 職員数

平成24年4月1日現在

区分	事務職	研究職	技能労務職	非常勤嘱託員	合計
総務課	6		1	2 (館長・名誉館長)	9
情報管理課	2				2
生涯学習課	3				3
自然・環境評価研究部		7 (兼務 10)		1	8 (兼務 10)
自然・環境マネジメント研究部		3 (兼務 10)			3 (兼務 10)
自然・環境再生研究部		2 (兼務 5)			2 (兼務 5)
合計	11	12 (兼務 25)	1	3	27 (兼務 25)

※ (兼務)は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所との兼務職

(3) 職員配置

名誉館長	河合 雅雄
館長	岩槻 邦男
副館長	中瀬 勲
次長(事務系)	田中 千雄
次長(研究系)	田原 直樹
館長補佐	岩崎 晃一
事業推進部長	(副館長兼務)
総合調整担当	服部 保
総合調整担当	高橋 晃
総合調整担当	江崎 保男

【マーケティング及びマネジメント部門】

総務課	
課長	(館長補佐兼務)
主査	谷山 健一
主査	梶本 悦子
事務職員	鈴木 智仁
事務職員	沖 裕美子
技師	塚本 健司
情報管理課	
課長	山下 正人
主任指導主事	阪上 勝彦
企画調整室(研究員兼務)	
室長(主任研究員)	赤澤 宏樹
副室長(主任研究員)	松原 尚志
研究員	武田 重昭
研究員	黒田 有寿茂
研究員	布野 隆之

【事業推進部門】

生涯学習課	
課長	西岡 敬三
主任指導主事	八尾 滋樹
主査	小林 美樹
生涯学習推進室	
室長(主任研究員)	橋本 佳明
副室長(研究員)	加藤 茂弘
主任研究員	鈴木 武
主任研究員	大谷 剛
主任研究員	藤井 俊夫
スクールパートナー担当(研究員兼務)	
マネージャー(主任研究員)	大谷 剛
主任指導主事	阪上 勝彦
主任指導主事	八尾 滋樹
特命研究員	長谷川 太一
広報・出版支援担当(研究員兼務)	
マネージャー(主任研究員)	加藤 茂弘
主任研究員	橋本 佳明
主任研究員	藤井 俊夫
フェスティバル担当(研究員兼務)	
マネージャー(研究員)	加藤 茂弘
研究員	鈴木 武
主任研究員	半田 久美子
研究員	上田 萌子

研究員	布野 隆之
展示担当(研究員兼務)	
マネージャー(研究員)	鈴木 武

地域展開推進室

室長(主任研究員)	石田 弘明
副室長(主任研究員)	高野 温子
主任研究員	先山 徹
研究員	沢田 佳久
研究員	藤本 真里
研究員	山崎 義人

地域展開担当(研究員兼務)

マネージャー(研究員)	山崎 義人
但馬(主任研究員)	松原 尚志
但馬(研究員)	武田 重昭
但馬(研究員)	布野 隆之
丹波(主任研究員)	三橋 弘宗
丹波(研究員)	池田 忠広
播磨(主任研究員)	石田 弘明
播磨(主任研究員)	半田 久美子
播磨(研究員)	黒田 有寿茂
神戸・阪神(主任研究員)	赤澤 宏樹
神戸・阪神(研究員)	鈴木 武
淡路(主任研究員)	加藤 茂弘
淡路(研究員)	上田 萌子
ジオパーク支援担当(研究員兼務)	
マネージャー(主任研究員)	先山 徹
研究員	藤本 真里

キッズひとはく推進室

室長(主任研究員)	古谷 裕
副室長(主任研究員)	布施 静香
研究員	小舘 誓治
主査	小林 美樹
技師	塚本 健司

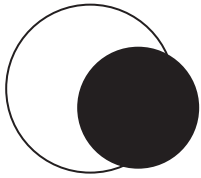
【研究開発部門】

自然・環境評価研究部	
研究部長	高橋 晃
研究部長代理(主任研究員)	佐藤 裕司
(地域環境地質研究グループ)	
研究部長代理(主任研究員)	佐藤 裕司
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	先山 徹
主任研究員	加藤 茂弘
(埋蔵自然遺産研究グループ)	
主任研究員	古谷 裕
主任研究員	三枝 春生
主任研究員	松原 尚志
主任研究員	半田 久美子
研究員	池田 忠広
(森林多様性研究グループ)	
研究部長	高橋 晃
主任研究員	秋山 弘之
主任研究員	高野 温子

主任研究員 (昆虫共生系研究グループ)	布施 静香	主任研究員	藤井 俊夫
主任研究員	太田 英利	研 究 員	山崎 義人
主任研究員	橋本 佳明	<u>資料データベース整備活用担当(研究員兼務)</u>	
主任研究員	八木 剛	マネージャー(主任研究員)	田中 哲夫
研 究 員	沢田 佳久	主任研究員	布施 静香
		研 究 員	池田 忠広
		研 究 員	上田 萌子
自然・環境マネジメント研究部		研 究 員	橋本 佳延
研究部長	江崎 保男	<u>研究企画開発担当(研究員兼務)</u>	
研究部長代理(主任研究員) (流域生態研究グループ)	田原 直樹	マネージャー(主任研究員)	半田 久美子
研究部長	江崎 保男	主任研究員	太田 英利
主任研究員	田中 哲夫	主任研究員	先山 徹
主任研究員	三橋 弘宗	主任研究員	石田 弘明
(動物共生研究グループ)		主任研究員	三橋 弘宗
主任研究員	大谷 剛	主任研究員	赤澤 宏樹
主任研究員	三谷 雅純	<u>シンクタンク推進室(研究員兼務)</u>	
研 究 員	布野 隆之	室長(主任研究員)	三橋 弘宗
(コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ)		副室長(研究員)	橋本 佳延
副館長	中瀬 勲	研 究 員	上田 萌子
研 究 員	藤本 真里	<u>生物多様性支援拠点担当</u>	
主任研究員	赤澤 宏樹	マネージャー(研究員)	橋本 佳延
研 究 員	武田 重昭		
(コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ)			
研究部長代理(主任研究員)	田原 直樹		
研 究 員	山崎 義人		
研 究 員	上田 萌子		
自然・環境再生研究部			
研究部長	服部 保		
(植生創出研究グループ)			
研究部長	服部 保		
主任研究員	石田 弘明		
研 究 員	小舘 誓治		
研 究 員	橋本 佳延		
(生物多様性保全研究グループ)			
主任研究員	藤井 俊夫		
研 究 員	鈴木 武		
研 究 員	黒田 有寿茂		
研究推進室(研究員兼務)			
室長(主任研究員)	太田 英利		
副室長(主任研究員)	半田 久美子		
主任研究員	三谷 雅純		
主任研究員	田中 哲夫		
研究環境整備・研究紀要担当(研究員兼務)			
マネージャー(主任研究員)	三谷 雅純		
主任研究員	小林 文夫		
主任研究員	太田 英利		
		主任研究員	三枝 春生
		サブリーダー(研究員)	池田 忠広
		主任研究員	佐藤 裕司
		主任指導主事	八尾 滋樹
		主任指導主事	阪上 勝彦
		主査	谷山 健一
		主任研究員	小林 文夫
		主任研究員	古谷 裕
		主任研究員	先山 徹
		主任研究員	松原 尚志
		主任研究員	半田 久美子
		研 究 員	上田 萌子
		<u>マーケティングタスクフォース</u>	
		リーダー(主任研究員)	秋山 弘之
		サブリーダー(主任研究員)	八木 剛
		主任研究員	小林 文夫
		館長補佐	岩崎 晃一

(平成24年4月1日現在)

なお下線は館長辞令による人と自然の博物館独自の職制



各研究部の概要

■自然・環境評価研究部

自然環境保全の基盤となる地形学や地質学、過去と現在の生物を対象とした分類学や形態学、生物地理学等の分野の調査研究と資料収集活動に取り組んでいます。

本研究部では、これらの成果に基づき、過去から現在、そして兵庫県から地球レベルにいたる自然環境の変遷や生物相の由来、生物多様性を創出し維持している共生関係の解明を進め、自然環境保全のための有効な提案を行っていきます。

■自然・環境マネジメント研究部

人間の生活は、農山村はもちろんのこと、都市においても自然と深く結びついて成立しています。人間による自然へのインパクトが強力になっている現在、自然と環境のマネジメントが不可欠になっているのは、このことによります。

本研究部では、人間と野生動物の共存、自然と調和した地域づくり、都市の再生などに関する資料収集・調査・研究を行い、未来の人と自然のあり方を探求します。

■自然・環境再生研究部

植生・植物に関する保全生態学や保全生物学の研究を行っています。現在、さまざまな要因によって自然が破壊され、里山林や半自然草原などの植生やフジバカマ、エビネ、カザグルマなどの植物が危機的な状況にいたっています。

本研究部では、そのような状況にある植生や植物の保全・復元・創出活動を積極的に進めています。このような活動を通じて、県下の植生・植物の生態情報の収集や貴重種のジーンファーム（ジーンバンク機能を果たす圃場）における増殖などの事業も展開しています。

平成 23 年度事業報告

1 子どもや親子を対象としたKid'sキャラバンを県内外の27ヶ所で展開

2011年4月より、小学校3年生以下の小さな子どもたちへの生涯学習支援をこれまでよりも強化することを目的として、「キッズひとはく推進室」が発足しました。キッズひとはく推進室では、小さな子ども向けプログラムの開発、子どもたちに科学のおもしろさを伝える科学コミュニケーターの養成など、さまざまな事業を進めていますが、児童館や幼稚園などに出かけてさまざまなプログラムを実施するキャラバン事業は大きな柱の一つです。2011年度は、兵庫県内のキッズキャラバンとして、神戸市内の25児童館、三田市と佐用町の幼稚園、猪名川町の小学校を訪問しました。児童館へのキャラバンでは、キッズひとはく推進室のメンバーがフロアスタッフとともに児童館を訪れ、デジタル紙芝居を交えて、植物、動物、化石などさまざまなテーマに基づいたプログラムが行われました。プログラムの中味は、事前に研究員が児童館を訪れて、児童館のスタッフと相談して決定され、キャラバン終了後には、事業の評価に役立つため、児童館のスタッフに対するアンケートが行われています。なお、キッズひとはく推進室のキャラバンを始めとした事業を展開するに当たって、2011年度よりJST（独立行政法人科学技術推進機構）からの助成金（先進的科学的連携推進事業）をいただくことができ、事業の積極的推進に役立っています。



写真1. 小さな化石を顕微鏡で観察



写真2. イノシシの歯はどんなかな？



写真3. 児童館の近くにはこんなものが

...



写真4. 箱の中には何がある？

2 山陰海岸ジオパークに広がるひとはくの活動の場

平成 22 年 10 月、但馬地域北部を中心に京都府京丹後市と鳥取県の鳥取市・岩美町を加えた山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定されました。ひとはくは、それ以前から 2 名の委員を派遣するなど、山陰海岸ジオパークの活動を主に学術的な面から支援し、世界ジオパーク認定においても一定の役割を果たしてきました。そして 23 年度は新しく設置された地域展開推進室が主体となり、山陰海岸ジオパーク地域での生涯学習活動を展開しました。

ひとはくジオキャラバン「おもれ～山陰海岸ジオパーク」は山陰海岸ジオパーク推進協議会との共催で、新温泉町山陰海岸ジオパーク館(23 年 7/16～8/29)、香美町海の文化館(9/1～9/27)、岩美町渚交流館(10/1～10/23)、鳥取市湖山池情報プラザ(10/29～11/20)、道の駅「神鍋高原」(11/23～12/18)、琴引浜鳴き砂文化館(12/23～24 年 1/15)、道の駅「てんきてんき丹後」(10/19～24 年 1/18)の各施設で開催しました。その間 42 件のセミナーやイベントを企画し、展示観覧者と合わせたビジター数は延べ 58,000 人にのびりました。また、各イベントには実施した施設の皆さん以外にも地元で活躍されている方々や多くの団体に参画していただき、いずれの回も好評のうちに終わることができました。

香美町との共催で実施した「ひとはくジオパークセミナー in 香美町」や鳥取県立博物館と共催で開催したバスツアーなど、山陰海岸ジオパーク内では 17 回のセミナーを実施し、延べ 267 名の皆様に受講いただきました。この中には普段博物館のセミナーを受講されている方も多く、阪神間の人たちと山陰海岸の人たちの新たな交流も生まれました。またこれらに加え、11 月 12 日・13 日に豊岡市の県立但馬ドームで開催された山陰海岸ジオパークフェスティバルにも出展し、多くの方にひとはくの活動を知っていただきました。

これまでひとはくの活動はどうしても兵庫県の南部が中心になってしまいがちでしたが、山陰海岸ジオパークをきっかけに但馬北部での活動が展開されるようになり、さらにそれは県境を越えて鳥取県や京都府にも広がりました。また生涯学習を通じて直に地域の皆さんとの交流が深まりつつあります。これからも山陰海岸に限らず、全県をカバーした生涯学習活動を展開していきますのでご期待ください。



写真 1. 巨大テトラポッド作り(岩美町渚交流館)



写真 2. 地質図付き地形模型作り(琴引浜鳴き砂文化館)

3 県立丹波並木道公園にて小型恐竜の化石を発見

篠山市内の県立丹波並木道中央公園から小型の恐竜の化石が産出していることが分かりました(2011年7月15日記者発表)。同公園の管理者の依頼により篠山層群をしらべる会(人と自然の博物館連携活動グループ)が体験発掘会に使える石を探していたところ、2010年9月18日に同会の松原薫・大江孝治両氏が同公園内に残されている造成時の残土中から骨化石を含む岩塊を発見しました。この岩塊をひとはく恐竜ラボでクリーニングを進めたところ、鳥に近縁な恐竜であるデイノニコサウルス類の関節状態の前肢と後肢の膝周辺の骨であることが分かりました。その体長は1m前後と推定され小型ですが、恐竜の骨格化石が完全に骨が関節した状態で発見されるのは国内初です。2011年7月20日～31日には県立丹波並木道中央公園でボランティアの協力を得ながら残土の発掘が行われ、その結果、2010年発見の化石と同一個体である可能性のあるデイノニコサウルス類の脛骨と腓骨および中足骨、トカゲ類の部分骨格、そして小型の角竜(基盤的ネオケラトプ



写真 1. 県立丹波並木道中央公園での発掘調査(2011年7月)

ス類恐竜)の前顎骨、大腿骨および肋骨が見つかりました。この小型の角竜は2008年に篠山市宮田で頭骨の一部が見つかった角竜と類似しています。これまで県立丹波並木道中央公園内で発見された化石はすべて造成時に公園内の篠山層群(前期白亜紀、約1億1千万年前の地層)を削って出来た残土から発見されています。篠山層群からは2006年以来多くの恐竜化石が発見されていますが、この公園の地下にはさらに保存の良い恐竜の骨格化石をたくさん含んだ地層が残されているかもしれません。

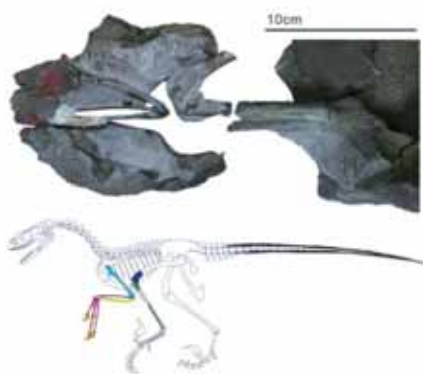


図2. 県立丹波並木道中央公園産のデイノニコサウルス類化石。岩塊中の化石と骨格の中での位置(塗りつぶした部分)

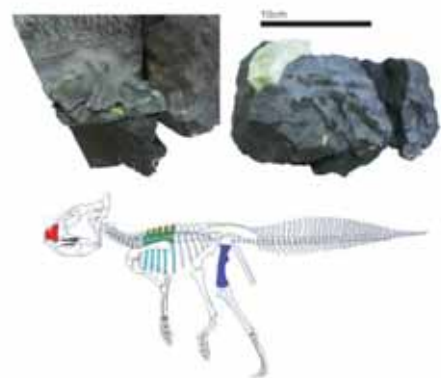


図2. 県立丹波並木道中央公園産の小型角竜類化石。岩塊中の化石と骨格の中での位置(塗りつぶした部分)

4 生物多様性協働フォーラム～関西から発信する多様な主体による 広域連携に向けて～

愛知県名古屋市で2010年に開催されたCBD-COP10(第10回生物多様性条約締約国会議)では、「人類が生物多様性の恵みをうけ続けるにはどうすべきか」が議論され、「社会のあらゆる場面で生物多様性の保全と持続可能な利用の取り組みを実践すべき」との目標が共有されました。生物多様性の保全と持続可能な利用を実現するには、社会のあらゆる関係者の協働が不可欠です。

2011年度、ひとはくは、企業や行政が積極的に生物多様性の課題に関われるような社会環境を整えることを目指し、生物多様性に関する最新動向と事例、民・官・産・学など様々な立場の人々の連携について紹介する3回連続のフォーラムを、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)とNPO法人西日本自然史博物館ネットワークと共同で企画しました。

第1回は「企業・地方自治体をとりまく生物多様性の最新動向と事業インフラを活用した生物多様性CSRの展開」をテーマとして8月25日に当館にて、第2回は「企業の持続性を高める生物多様性の理解」をテーマとして10月17日に大阪銀行協会にて、第3回は「社会の『つながり』を活かした取り組みの展開」をテーマとして2月12日に兵庫県公館にて開催しました。講演には、環境省、関西広域連合、生物多様性分野で活躍する国際的NGOや、主に関西地域で生物多様性に積極的に取り組む企業の皆様を招き、生物多様性の課題にどう取り組むかについての様々な情報を提供いただきました。

本フォーラムには企業関係者や行政担当者をはじめ、市民団体、個人など様々な立場の方が多数聴講にお越しになりました(第1回:185名、第2回:147名、第3回:450名)。また、ロビーに設けた生物多様性の取り組みを紹介するブースにも多数の企業・行政・社会教育施設が出展し、参加者への情報提供が活発に行われました(第1回:30団体、第2回:21団体、第3回:30団体)。

各フォーラムでの聴講者の皆様が熱心に耳を傾ける様子を拝見し、関西圏における「多様な主体による参加と協働」への関心の高まりを強く感じました。ひとはくは2012年度以降もこのフォーラムの取り組みを継続し、関西における生物多様性にかかわる協働の実現に向けて主導的役割を担っていきます。



5 充実！二年目の「いきものかわらばん」

子どもの目線で生きものを観察し、自分の言葉で「かわらばん」(一枚物の手書き新聞)をつくるという初の試みで、昨年 818 点も集まったのに「味を占めて」、今年も「いきものかわらばん」を募集しました。

昨年は、締切りが近付いてもさっぱり集まってくる気配がなく、各研究員が知り合いの先生方に緊急に頼んで書いてもらった場合が多かったので、生徒たちもしぶしぶつくっていたことがわかってしまうような作品も多く見受けられました。しかし、今年は依頼する方もされる方も、事情がわかっている場合が多く、実際に手を動かす生徒たちも余裕があるというか、「楽しんで」かわらばんをつくった感がありました。

今年は 661 点で、昨年の 8 割という応募数だったのですが、全体をざっと眺めた感じでは昨年と大差がないように思いました。それはそれだけ今年作品には「ちから」がこもっていて見応えがあったということでしょうか。

多くの力作の中で、受賞作になったものは、内容をわかりやすく伝える「努力」が加わっているように感じました。タイトルがわかりやすく、大きな飾り文字。図や写真にアピール度がある。本文が簡潔で、ていねいに書かれている、等々。

展示の仕方は昨年の三連結を踏襲しました。二階の「空きスペース」を利用した展示で、大量の作品を効率よく展示するために、昨年いろいろ考えた末に編み出した方式です(写真 1~3)。昨年はよくも 818 点が詰め込まれたという感じで、1000 点はいけるかも、という自信が湧いてきたほどです。

それから、今年は何人かの研究員のコメントが入りました。同定ミスで間違いの種名や、勘違いの指摘、プラスアルファの知識など、ごくわずかですが、研究員との交流ができたのではないかと思います。

次年度は、未就学児と保護者を対象にした「ひとはく キッズ かわらばん」という新しい試みにも手を広げながら、地学分野の作品増加を意識した「ひとはく しぜん かわらばん 2012」という改名でスタートします。



写真 1. 設営の様子



写真 2. いきものかわらばん展示会場



写真 3. 閲覧の様子

6 20年を振り返るミニフォーラムの開催

ひとはくは平成 24 年度をもって開館 20 周年を迎えます。これまで実施してきた事業を館内外の視点で振り返り、21 年目以降の展開につなげるべく、平成 23 年度にミニフォーラムを開催しました。ミニフォーラムの開催にあたり、館内で①生涯学習部会、②シンクタンク部会、③連携部会、④パートナーが求めるひとはく部会の 4 部会を立ち上げ、20 年の実績資料を収集・分析しました。その結果を基に、館外からもコメンテーターを招き、20 年の評価と 21 年目以降の提案を各部会のミニフォーラムで議論しました。

生涯学習部会では、生涯学び続ける基盤としての博物館を全県民が活用できるように、ユニバーサルデザイン等のハード面の整備、多様な世代の参画と協働によるソフトの実施、県下の各地域の特性や資源(ヒト・モノ・コト)を活かした取り組みを進めていくことが話し合われました。

シンクタンク部会では、これまでの人材や資料を活かした行政支援の拡大に加えて、特定テーマへの重点支援を継続し、企業とも連携して関西広域での事業を進めていくことが話し合われました。

連携部会では、人と自然の会や地域研究員、連携活動グループをはじめとする様々なパートナーとの連携を強化していくとともに、パートナー間の連携も積極的に支援し、エリアマネジメントに発展していく将来を描きました。

パートナーが求めるひとはく部会では、将来のパートナーの養成を視野に入れ「幼少期における自然・環境学習」に注目し、現世代から次世代への知恵や知識の継承や、幼稚園・児童館などの施設との今後の連携について議論しました。

これらのミニフォーラムの結果を基にして、平成 24 年度に「ひとはく将来検討」として、21 年目以降の計画をとりまとめます。

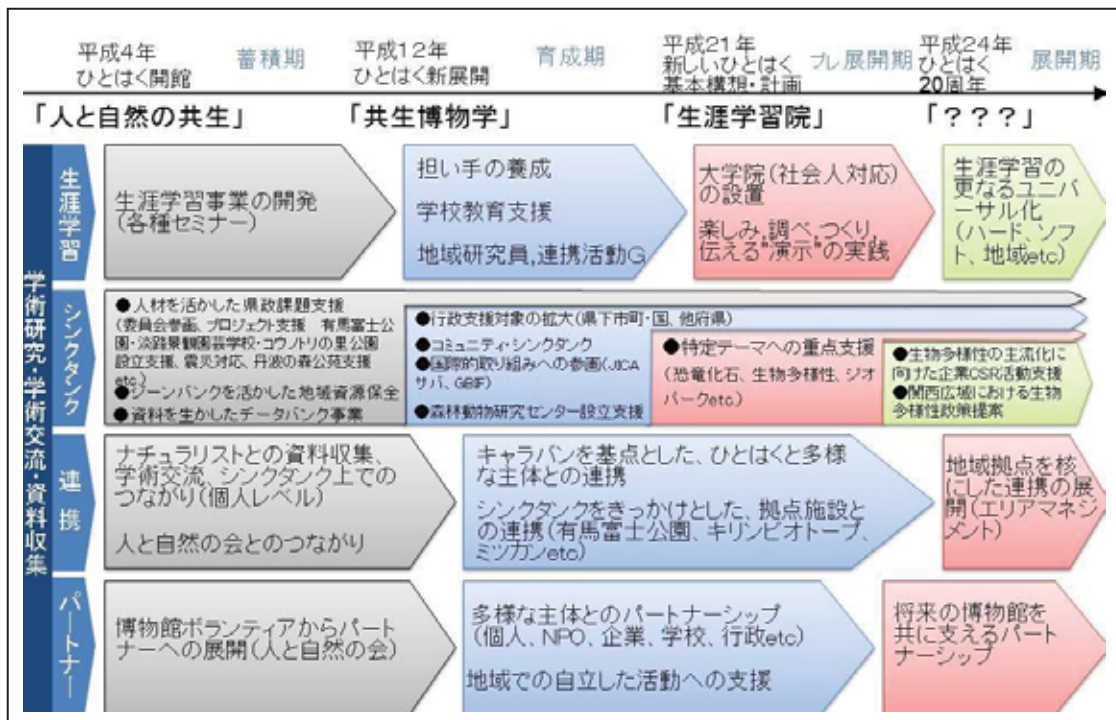


図 1. ミニフォーラムでまとめたひとはくのこれまでとこ

7 広がる共生の“わ”ー今年もにぎわった共生のひろば

2月11日の恒例行事となった「共生のひろば」が第7回目を迎えました。今年度も兵庫県内の各地域で活動している市民団体や学校団体を中心にした52件の発表を前に、さまざまな世代の参加者224名が活発な意見交換を行いました。今回は、里山を活動の場として利用しているグループから10件を超す発表があり、県内の里山への注目の高さを反映した発表会となりました。共生のひろばの常連となったグループが長年の継続データや活動内容を発表しただけではなく、共生のひろばに初参加のグループもレベルの高い発表を行いました。山陰海岸ジオパークをテーマにした発表や淡路島の化石の発表など、神戸・阪神地区だけではなく、兵庫県内のさまざまな地域を活動対象とした発表もあり、県内各地に世代を超えた共生のひろばの“わ”が広がっていることを実感できました。



写真 1. 里山関連団体の発表



写真 2. 名誉館長賞を受賞した篠山東雲高等学校の発表

8 加東市との協力協定を更新

本年3月、加東市との協力協定を更新しました。2009年7月に、ひとはくは加東市の推進する「まちまるごとミュージアム事業」に協力するため、加東市との間で協力協定を締結しました。「まちまるごとミュージアム事業」は加東市の3町（滝野町、社町、東条町）合併3周年を記念して3年間実施され、ひとはくは本事業の推進を支援してきました。その主な事業内容は、夏休みに開催される展示会と自然観察会「子ども生き物調査隊」、および冬期の「加東市ノーベル大賞」の授与式です。夏期の「子ども生き物調査隊」は同時期に開催する展示会の内容に関連づけて、市内の小学生を対象に行う自然観察会です。2011年は「子ども水辺の生き物調査隊」と題し、7月30日に加東市内を流れる鴨川で観察会を実施しました。



一方、加東市ノーベル大賞とは、市内の小学生と中学生が夏休みに取り組んだ環境学習の成果の中から優れた作品を選出し、賞を授与するものです。ひとはく研究員は授賞作品の選定委員を務め、授与式において作品の講評を行ってきました。



この間、加東市では2011年3月に環境基本計画及び行動方針が新たに策定されました。今回の協定では、基本計画に掲げられた自然環境の保全や環境学習の推進において協力関係を深めていくことになります。

9 ミニ企画展示「みんなの福島展」を開催

2012年3月3日から4月9日まで、ミニ企画展「みんなの福島展」を開催しました。この展示は、地震、津波、原発事故、風評被害など、何重にも苦しめられている福島県の皆さんを応援するために企画されたものです。展示は3つのテーマで行われました。「ビッグパレットふくしま避難所記 写真展」では、福島県最大の避難所「ビッグパレットふくしま」での避難者の生活を記録した写真集「生きている生きてゆく：ビッグパレットふくしま避難所記」の中の写真が展示され、避難者の「つぶやき」も紹介されました。2番目の「福島のミュージアムから」では、困難に立ち向かう福島県内の博物館、アクアマリンふくしま・福島県立博物館・福島市子どもの夢を育む施設こむこむ・郡山市ふれあい科学館スペースパーク・ムシテックワールド・福島市古閑裕而記念館・いわき市立美術館などの活動を紹介し、担当者へのインタビューも紹介されました。次に「巡回パネル展放射線とエネルギーの科学」は、千葉市科学館製作の、放射線や原子力エネルギーに関する内容をわかりやすくまとめられたパネルが展示されました。他にメッセージ交換コーナーもあり、観覧者から寄せられたメッセージのコーナーが展示され、福島の方々との間でメッセージの交換も行われました。今後、この展示は他館での巡回も計画されています。



写真 1.ビッグパレットふくしま避難所記
写真展



写真 2.福島のミュージアムから



写真 3.巡回パネル展放射線とエネルギーの科学



写真 4.メッセージコーナー

10 東日本大震災「被災地支援キャラバン」2011

2011年3月11日に東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）が発生後、ひとはくは、被災地支援として様々な活動を行っています。その一つである「ひとはく Kids キャラバン」は、いわゆるアウトリーチ活動で、これまで当館が行ってきたキャラバン事業の経験を生かしての活動です。2011年度は第1回目の東北キャラバンとして7月に宮城県に、第2回東北キャラバンとして、12月に青森県と岩手県をそれぞれ訪問させていただきました。

宮城県では「ひとはく Kids キャラバン in 仙台」として、仙台市若林区の六郷児童館と七郷児童館で行なうことになりました。ひとはくのスタッフの他、兵庫県からは佐用町昆虫館を運営するNPO法人「こどもとむしの会」のスタッフ、現地の財団法人 仙台市公園緑地協会・太白山自然観察の森 自然観察センター（仙台市建設局百年の杜推進部公園課の所管施設）、仙台市科学館、仙台市青葉の森緑地管理センターなどのスタッフと連携して「たのしい かや遊び」（蚊帳の中に翅を持った虫を放し、さわりながら観察をする）、「化石のレプリカづくり」（お湯で柔らかくなる樹脂を使ってアンモナイトなどのレプリカをつくる）、「身近な植物で遊んだり、クルクル回るタネの模型をつくろう」（イタダリの茎の笛を鳴らしたり、マツ類のタネの模型を作って飛ばしたりする）などのさまざまなプログラムや展示を行いました。

青森県八戸市で行なった「ひとはく Kids キャラバン in 八戸」は、八戸市児童科学館に行かせていただきました。これは、NPO法人のあおもり NPO サポートセンターで調整をしていただき実現しました。また、八戸市役所へも表敬訪問をしました。



写真 1. 六郷児童館でのようす

岩手県久慈市で行った「ひとはく Kids キャラバン in 久慈」は、「もぐらんぴあ・まちなか水族館」に行かせていただきました。これは、独立行政法人科学技術振興機構（JST）を通じて依頼があって実施することになりました（JST 先進的的科学館連携推進事業の一環として行った）。第2回の東北キャラバンでも地元のスタッフの方々と一緒に、生き物や自然に関するさまざまなプログラムを行い、たくさんのお子どもたちの笑顔を見ることができました。



写真 2. 七郷児童館でのようす



写真 3. 仙台市児童科学館でのようす

11 津波によって被災した学術標本のレスキュー

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は大規模な津波を引き起こし、東北地方の太平洋岸を中心に甚大な被害をもたらしました。博物館も例外ではなく、今回発生した津波により岩手県の陸前高田市立博物館は壊滅的な被害を受けました。陸前高田市立博物館は1959年開館の古い歴史をもつ総合博物館で、東北地方初の公立の登録博物館としても知られており、収蔵庫には陸前高田の自然・歴史・文化に関する15万点以上の資料・標本類が収められていました。同館は、隣接する図書館とともに屋根以外のすべてが津波に飲み込まれ、職員6名全員が死亡または行方不明となり、学問の発展や復興に寄与するであろう貴重な資料・標本類は、流出あるいは砂泥まじりの海水をかぶり、時間の経過とともに失われようとしていました。収蔵資料のうち自然史系の標本については、陸前高田市教育委員会の要請を受け、岩手県立博物館が中心となって被災建物からの搬出作業が行われました。しかし、回収された資料が膨大であったため、全国の博物館等に対して支援要請が出されました。この要請を受け、当館では植物標本と地質標本のレスキューに取り組みました。

植物標本レスキュー：深刻な被害をうけた約7,500点の標本のうち、600点を当館に送ってもらい、植物担当研究員と資料整理職員らが、洗浄・整形・再乾燥等の作業を実施しました（平成23年5月17日～6月2日）。その後、入力したラベル情報とともに、修復した標本を岩手県へ返却しました。今回の震災において、生物標本など貴重な学術資料が被災し支援が必要な状況であることは、当時報道されておらず、多くの人々が知らない状況でした。そのため、今回の標本レスキューに関する情報の早期公開を心がけ、作業の進捗や作業方法等の関連記事をひとはくブログで順次公開し、一般来館者が作業の様子を見られるよう実験セミナー室で標本修復作業の多くを行いました。また、修復作業およびラベル情報の入力完了後は、ひとはく展示室4階において、「津波被害にあった標本を救おう展(2011年6月18日～9月30日)」を開催しました(詳細は、人と自然 22: 53-60 (2011) をご参照ください)。

地質標本レスキュー：旧陸前高田市立生出小学校（陸前高田市立博物館・海と貝のミュージアム仮収蔵施設）で実施された第1次救済事業(平成23年8月1日～8月5日)に地学担当研究員2名が、第2次救済事業(同10月4日～10月7日)に同研究員1名が派遣され、地質標本の殺菌・消毒と水洗作業を行いました。また、資料のおおまかな再分類とラベルに記された各資料の基礎情報の保全と復元を行いました。



写真1.植物標本レスキューの作業の様子



写真2.「津波被害にあった標本を救おう展」の様子

12 生物多様性に配慮した被災堤防法面の修復

東日本大震災は巨大津波により沿岸部の地域に甚大な人的・物的被害をもたらしただけでなく、内陸部の路面や山地斜面、河川下流部の堤防法面に土壌陥没や亀裂を多数もたらした。これらの堤防法面の陥没や亀裂は出水による破堤の原因となるため、応急盛土やブロック設置などの復旧工事がなされている。一方、堤防法面は、堤体保全のための定期的な草刈り作業が実施されることで、近年全国的に減少の著しい半自然草原が維持される貴重な生態系である。東日本大震災の復興にあたっては、防災だけでなく、このような生物多様性保全の機能を備えた堤防法面の修復・維持管理が現地で望まれているものの、その手法は確立されていない。人と自然の博物館ではこれまでに多数の河川堤防の草原を調査し、生物多様性の高い草原植生の復元・創出手法に関する研究を進めてきた。このような背景の下、国土交通省東北地方整備局ならびに財団法人河川環境管理財団からの依頼を受け、宮城県内を流下する鳴瀬川、阿武隈川、名取川の堤防法面において、当館研究員と関係諸機関の協働により植物・植生調査を実施した。その結果、ナンブアザミなど本地域に特徴



写真 1.河川堤防法面

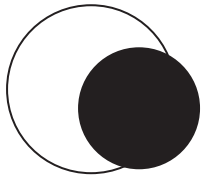
的な草原生植物の多く混生するチガヤ草原が確認され、当地で植生復元・創出すべき草原のモデルとなる植分のデータを得ることができた。今後、本調査資料をもとに、生物多様性に配慮した堤防法面の修復が進められることが期待される。



写真 2.調査の様子



写真 3.ナンブアザミ等を含む草原生植物の多様性の高い植分



平成 23 年度のタスクフォース事業報告

タスクフォース(組織群)について

従来の組織群とは別に平成 20 年度から導入したものである。各タスクフォースは、短期の課題を達成するために結成したものである。構成員は、リーダーおよびサブリーダー、その他であり、人員は、実情に応じて年度途中でも変更可能にしている。また、新たなタスクフォースを発足できるようにしている。平成 23 年度は 2 つのタスクフォース(恐竜・化石、マーケティング)が結成された。

■ 恐竜・化石 タスクフォース

(1) 第6次発掘調査の実施

・平成 23 年 12 月 11 日～平成 24 年 1 月 15 日に実施。発掘ボランティアの参加人数は、のべ 139 人(登録は 31 名)であった。子供のものと思われる竜脚類の歯が発見された。

(2) 県立丹波並木道中央公園における調査

・県立丹波並木道中央公園における残土の調査を7月 20 日(水)～31 日(日)に実施、小型恐竜・脊椎動物化石を含む岩塊4個を発見した。同公園内に化石密集層が伏在する可能性が高まった。

(3) 国際シンポジウムに向けた準備

・篠山市において「恐竜化石シンポジウム in たんば 恐竜の世界をよみがえらせる」(10 月 22 日)を共催した。米国の化石クリーニングの専門家、恐竜研究者による講演、そしてパネルディスカッションでは、恐竜復元を行っているアーティストとこれら専門家によるディスカッションにより即興で復元画を描くというこれまでにない試みがなされ、大変好評であった。

(4) 恐竜化石を活かした教育普及活動の充実

・篠山産業高等学校「りぼん工房」による「チョコレートを使った化石のレプリカ作り」を開催した。
・丹波市小学校理科教員にたいする「篠山層群の地質と化石」をテーマとした講座・野外実習の開催、丹波市恐竜を活かしたまちづくり課・丹波市教育員会編「丹波の恐竜と大地の秘密」学習パンフレットの監修協力、篠山市教育委員会主催の小学校校外学習への協力、篠山市教育委員会社会教育・文化財課編「?からはじまる」施設案内パンフレットの監修協力を行った。

(5) 展示および演示コンテンツの充実

・館内外で行った様々なイベント・展示(恐竜化石シンポジウム、サイエンスカフェ、恐竜フィギアの展示、丹波並木道公園産ディノニコサウルス類化石の復元模型の製作等)に恐竜復元を行っているアーティストに協力していただき、博物館と恐竜復元アーティストとの協働が始まった。

(6) 三田の化石発掘体験広場の活用

・トライやるウィーク(平成 23 年 6 月)およびセミナー(平成 23 年 11 月)にて三田の化石発掘体験広場を活用した。

(7) 研究成果や事業の新聞等への報道推進

・展示特別企画「丹波と恐竜を知ろう2011-第五次発掘報告-」について(平成 23 年 4 月 7 日)
・「ひとはく恐竜・化石プロジェクト 中間報告書」について(平成 23 年 5 月 12 日)

- ・竜と獣の道学・連続セミナーについて(平成 23 年 6 月 2 日)
- ・県立丹波並木道中央公園産出の恐竜化石とその発掘調査について(平成 23 年 7 月 15 日)
- ・シンポジウム「恐竜の世界をよみがえらせる」の開催について(平成 23 年 9 月 1 日)
- ・県立丹波並木道中央公園の発掘調査結果について(平成 23 年 9 月 30 日)
- ・第 6 回丹波恐竜化石発掘等連絡調整協議会の開催について(平成 23 年 10 月 21 日)
- ・丹波の恐竜化石第 6 次発掘調査にかかる現地説明(平成 23 年 12 月 11 日、発掘現場)
- ・丹波の恐竜化石第 6 次発掘調査について(平成 24 年 3 月 1 日)

以上のように、今年度の重点事業をほぼ当初の計画どおりに実行した。また、そのことにより次年度以降の活動にもつながる成果を得ることができた。

■ マーケティング タスクフォース

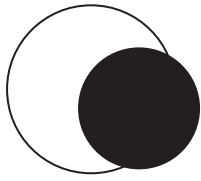
(1) ひとつはく事業実施に関わる企業との連携

- ・広告協賛企業数は 55 団体に上ったが、これは昨年度実績よりも 11 団体の減少となった。

(2) 外部資金を活用したひとつはく手帖広告協賛の募集による印刷資金調達

- ・55 団体からの協賛金により、例年と同じ頁数のひとつはく手帖を出版できるだけの資金を調達したが、金額ベースで 25 万以上の減額となっており、次年度以降のさらなる協賛先の開拓が重要な課題である。

3月11日の東日本大震災を契機としての日本全体の経済活動の低下は、ひとつはく活動への協賛を得る上でも大きく立ちはだかる試練となった。館員諸氏の尽力により、ひとつはく手帖出版に必要な最低限の資金を集めることができたのは、縮小する経済活動の中で今後どのようにして、広範な企業・市民団体との連携を深めてゆくのかが、その戦略を練り直す上での試金石として捉えたい。博物館がより広範な活動を行うための活動資金としての協賛資金を集める上で、その受け皿となる組織のあり方について今年度は検討を行ったが、その検討成果の一部は、24年度の20周年記念事業実行委員会の設立に活かされることになった。次年度以降は、広告のあり方等を含めて企業との協賛をどのようにしてより前進させるのか、そのためのタスクフォースとしての取り組みが新たな課題として浮上している。



平成 23 年度事業報告

人と自然の博物館では、その活動内容をよりわかりやすくかつ明確にするために、平成 14 年度から「中期目標」と「措置」を設けている。中期目標は、いわば博物館の行動の指針となる大項目であり、これが全部で 9 項目設けられており、それぞれに達成を目指すべき目標値(指標)が設定されている。そして、この中期目標の各項目の下位項目として「措置」が設定されている。措置では、中期目標の達成と博物館活動の活性化に資する具体的な項目について、その行動の方針と、具体的な数値目標が設定されている。

次ページ以降の図表および解説は、中期目標の各項目に即して、平成 23 年度の博物館の活動内容とその自己評価、および平成 24 年度の事業方針を整理したものである。また、中期目標を支える措置の項目については、それぞれについての目標値・実績・達成度(%)を示した。

なお、平成 19 年度に中期目標と指標、および措置について、平成 14 年度から平成 18 年度の活動成果をふまえて、さらに社会のニーズへの対応を考慮して修正を行った。平成 23 年度は、平成 21-22 年度の実績や達成状況、博物館の将来構想を吟味したうえで中期目標と措置の最終案を設定し、それに従って事業を進めた。

1 研究

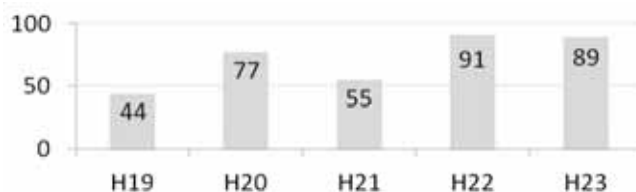
研究
推進室

兵庫から世界を対象に自然・環境に関する調査研究を行い、その成果を新しいプログラムやコンテンツ開発等の事業にフィードバックさせます。

1-1 学術論文数

学会等の査読を経て掲載された学術論文数

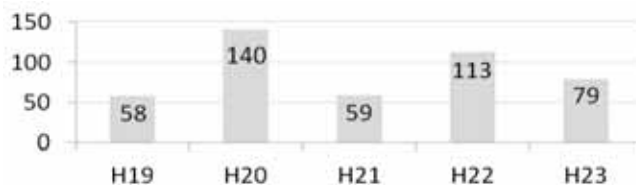
中期目標：40本/年
平成23年度：89本(223%)



1-2 一般向け著書数(総説・その他)

自費出版を除く一般向け著書、雑誌・新聞等の執筆数

中期目標：80本/年
平成23年度：79本(99%)



平成23年度の取組みについて

全ての博物館活動の基礎となる「自然・環境」また「人と自然の共生」に関する研究を進め、その成果について研究員あたり最低年間1報を学会誌等で発表し、さらに一般市民向けの著書・新聞・雑誌等でもそのエッセンスを積極的に公表することを目標に掲げました。

平成23年度の達成状況と自己評価

学術論文の公表数は、第2期中期目標期間中最多となった昨年にはわずかに及びませんでした。計89報と目標値を大きく上回りました。いっぽう一般向け著書等は目標値を大幅に上回った昨年に比べ79編と大きく減少してしまい、目標値に及びませんでした。本年度も学術論文数、一般向け著書数とも研究員の間で偏りがあり、最低限の目標がすべての研究員において達成されたわけではありませんでした。

平成24年度の取組に向けて

最低限の学術論文また一般向け著書の公表が、博物館の総体として、またひとりひとりの研究員においてももれなく達成されるよう、引き続き努力を重ねることが肝要です。より多くの研究成果をあげるため、科学研究費補助金をはじめとした助成金の獲得にむけ、勉強会の開催・情報の共有を推進します。また、「総合共同研究」などの研究部横断的な課題にも取り組み、研究成果の多様化・学際化にも努力します。

2 資料

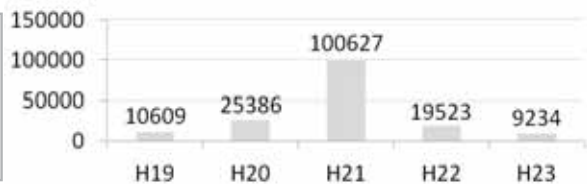


質の高い特色ある資料の収集を行い、学術利用のみならず「演示」への利用を積極的に推進します。

2-1 資料の登録点数

「ひとはく資料データベース」への年間登録件数

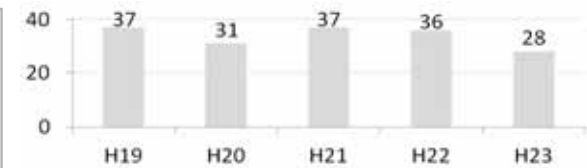
中期目標：10,000 点/年
平成 23 年度：9,234 点(92%)



2-2 資料の利活用件数

資料の館外利用件数(貸出資料件数・館外展示件数)とマルチメディアデータ等の提供件数の合計

中期目標：50 件/年
平成 23 年度：28 件(56%)



平成 23 年度の取組みについて

収蔵資料および環境情報の収集・保存またその研究等への利活用は、博物館の研究活動とともに博物館活動の根幹をなす。資料収集方針に従った研究員自らの環境情報を含む資料収集、県内外の自然史資料の受贈手続きを進めること。またこれらの資料や情報は利活用されて初めてその意義を發揮することから、登録件数だけでなく公開件数やその利活用の件数もその目標にあげました。

平成 23 年度の達成状況と自己評価

収蔵資料の登録点数は平成 22 年度の値の半数程度で、年間目標の 1 万点をこの 5 年間で初めて下回った。登録資料 9,234 点は、館 HP の他サイエンスミュージアムネットや地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) でもデータを登録し、全世界からアクセス可能で、閲覧・利用することができます。画像等のマルチメディアを含む博物館資料の貸し出し件数・館外展示などの「利活用件数」は目標の 56% (28 件) にとどまりました。

平成 24 年度の取組に向けて

研究とともに博物館活動の根幹をなす、資料収集方針に従った資料の収集・受贈・整理登録は、分野に偏ることなく継続します。博物館資料・環境情報の利活用件数を増やすため、情報のインターネットによる公開や、県民や専門家にとって魅力的なコレクションの充実を図ります。一方で、演示をはじめとする環境学習などに有用な教材となる「資料」の整備を進めます。また地域住民や行政にとって有用な資料・情報が利用されるように「広報」をはじめ「利活用の仕組み」を整備します。

3 生涯学習の支援

生涯学習
推進室

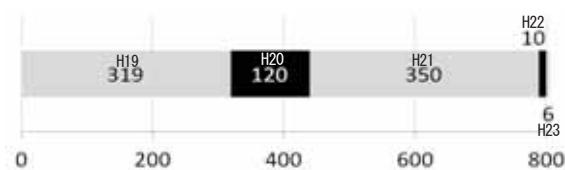
段階的・連続的な学習プログラムを提供し、地域研究員・連携活動グループを育成します。これらの「担い手」や他団体との連携を促進し、博物館事業の拡大を図ります。

3-3 地域研究員・連携活動グループ登録者数

地域研究員と連携活動グループ登録者数の合計

中期目標：500人(H23時点)

平成23年度：805人(161%)

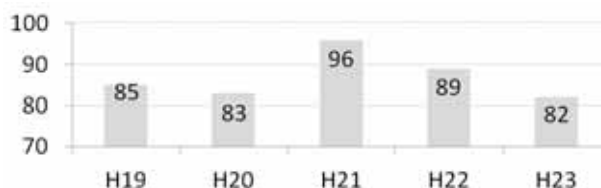


3-4 他団体との連携プログラム数

共催事業、協力事業、後援事業、館外展示件数の合計(地域研究員・連携活動グループによるものを含む)

中期目標：100件/年

平成23年度：82件(82%)



平成23年度の取組みについて

1) ひとはくを訪れて、自然・環境に関心をもつきっかけとなる展示・演示を展開する、2) ひとはくフェスティバルでのビジター数2万人、傘下関連団体数50(昨年度並み)を目指す、3) 地域研究員、連携活動グループの活動推進、4) 学校との連携や博物館の活用促進、の4項目を主な取り組みの骨子としました。

平成23年度の達成状況と自己評価

展示事業では、館内で29件の企画展示・ミニ展示を開催、この内、県民・学校からの出展も8件になり、特別な展示予算が無い状況下で、ひとはくを訪れて、自然・環境に関心をもつきっかけとなる展示・演示を展開する目標を達成できたと考えています。フェスティバルは「山陰海岸ジオパーク」をテーマに実施し、山陰海岸ジオパーク協議会、鳥取市観光協会、京丹後市観光協会などの参画も得て、のべ53団体(ミュージアムワールド36、ステージ7、まんぶく屋台10)の参加があり、ビジター数23,371人と盛況に執り行うことができました。スクールパートナー事業では、昨年度に続いて実施した第二回「いきものかわらばん」に661点の応募があり、児童の自然環境への興味や小中高校の来館促進などの狙いを果たすことができたと考えています。「共生のひろば」は、今年度は里山関係の市民団体や高校連携交流団体からの新規の発表がありました。発表件数は例年並みの52件、聴講者数は例年より若干少ない224名となり、発表者を完全に公募するなど、今後は実施形式を検討する必要があると考えています。

平成24年度の取組に向けて

24年度は、ひとはく開館20周年の年となります。これまでの研究・資料収集活動の成果を披露し、環境教育や演示でより活用できるように、本館展示室2階を「ひとはく多様性フロア：魅せる収蔵庫トライアル」として改修を行うなど、21年目のひとはくの新・新展開に向けた生涯学習支援の展開に力を注いでいきます。

4 シンクタンク活動の支援

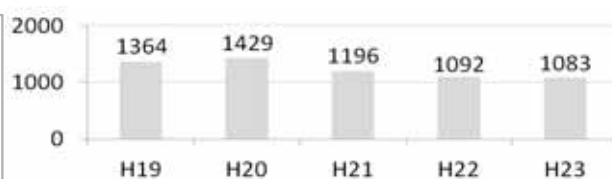
研究・
シンクタンク
推進室

自然・環境に関する県政課題に対して、適切な助言や提言等を行います。また、企業や行政団体等のニーズに応え、先駆的な調査研究を積極的に受託します。

4-1 県政・市町行政に対する貢献度

国・県・市町関連の委員会及びプロジェクト参画数

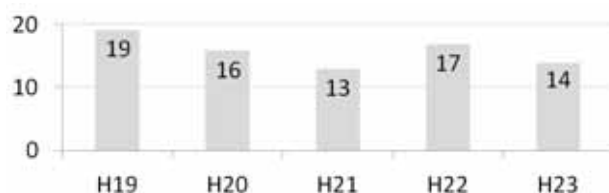
中期目標：1,000 件/年
平成 23 年度：1,083 件(108%)



4-2 受託研究件数

調査研究受託契約件数

中期目標：15 件/年
平成 23 年度：14 件(93%)



平成 23 年度の取組みについて

県・市また国関連部局の委員会・審議会等への学識経験者としての参画を進めました。県職員等の来館相談目標数を 1,000 件に設定しました。また、関連部局・施設、また企業とともに地域の問題を解決する受託研究の目標獲得件数を 15 件に設定しました。

平成 23 年度の達成状況と自己評価

博物館研究員の県政関連の委員会・審議会等への学識経験者としての参画数は 280 件 (280%) にのぼり、それに関連して博物館に来訪する県職員等関係者の来館は 1,083 件で目標を達成しました。受託研究はここ数年ほぼ横ばい傾向で、23 年度は 14 件で目標をわずかに下回りました。受託研究金総額は 1,990 万円に達し、平成 22 年度の総額の約 1,230 万円を上回り目標に達しました。また、関西広域圏を対象として 3 回の生物多様性協働フォーラムを開催することが出来ました。

平成 24 年度の取組に向けて

博物館のシンクタンク活動が行政施策また県民の活動に活かされる状態にあり、野外調査や研究・プログラム開発などの多様な事業に及んでいます。COP10 で採択された目標や生物多様性ひょうご戦略の地域での具体的な活動を推進するための財政基盤の確保として、受託研究の獲得目標を昨年度より若干増やした 20 件、総額 2,000 万円とします。また、昨年に引き続き広域圏を対象とした生物多様性協働フォーラムを 3 回開催することを目標とします。

5 マーケティング・マネジメント

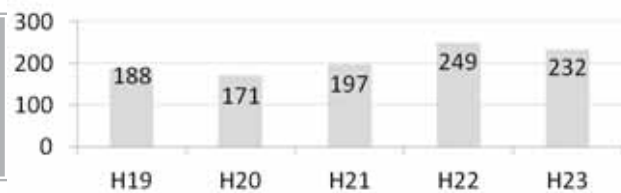
企画調整室

情報化社会に対応した情報提供を拡大し、広く県民の博物館事業への理解を醸成するとともに、博物館を活用する気運を高めます。

5-1 ホームページアクセス件数

ホームページに対するアクセス件数

中期目標：300千件/年
平成23年度：232千件(77%)



5-2 メディア等出演件数

新聞・雑誌等記事掲載件数、テレビ・ラジオ等への出演件数の合計

中期目標：500回/年
平成23年度：471回(94%)



平成23年度の取組みについて

平成23年は、前年度に世界ジオパークネットワーク加盟が認定された山陰海岸ジオパークを支援すべく、ジオキャラバンや関連セミナーを実施しました。また、館として東日本大震災からの復興支援を、標本レスキューや被災地キャラバン、自然環境の調査・復元、復興計画の作成支援などを通して行いました。これらの取り組みを含め、博物館の役割を広く知っていただくべく、ホームページの更新回数を増やすことによって、知名度の向上に努めました。

平成23年度の達成状況と自己評価

ホームページに対するアクセス件数は、数値は77%の達成に留まりました。博物館の事業の様子をブログで事後に詳しく紹介することが多く、今後は事業実施前の告知を兼ねた発信にも努めるなど課題が残りました。一方で、博物館事業の様子を動画で発信するなど、これまで以上にわかりやすく情報発信をする試みは、博物館を活用する気運を高める方法として有効でした。

平成24年度の取組に向けて

ひとはくは、平成24年度に20周年を迎えます。本年度から20年の歩みを検証し、21年目以降のひとはくの展開に向けたミニフォーラムを開催するなど準備を始めています。平成24年度には、開館記念日の10月を中心に各種イベントを実施すると共に、一部展示の更新や移動博物館車の整備をすすめ、それらを広く県民に発信していきます。

5 マーケティング・マネジメント

企画調整室

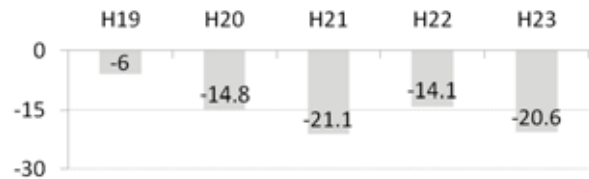
効率的で健全な博物館運営を目指します。

5-3 二酸化炭素排出量の削減

対平成 18 年度比での削減率

年度目標：-6%(H18 年度比)

平成 23 年度：-20.6%

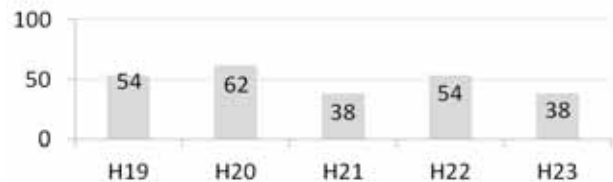


5-4 中期目標の達成度

中期目標の総指標数のうち達成した指標数の割合

年度目標：80%

平成 23 年度：38%



平成 23 年度の取組みについて

第 2 期中期目標の 5 年目の年度でした。継続して行っている事業を通じて多くの方に博物館の活動を知っていただくのはもちろん、新たに設置した地域展開推進室とキッズひとく推進室による事業をあわせて、より効果的にひとく活動を広げるよう努めました。また、数値には無いものの、東日本大震災からの復興に博物館として貢献できることを考え、標本レスキューや被災地キャラバン事業、自然再生に向けた調査や復興計画策定支援などを行いました。

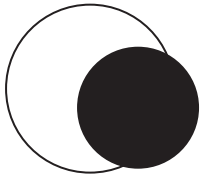
平成 23 年度の達成状況と自己評価

電気、水道、ガスの使用量から算出する二酸化炭素排出量は、平成 21 年度に次ぐ最高水準の削減を達成しました。一方で、中期目標の総指標数のうち達成した指標数の割合（達成度）は 38% であり、達成度が前年度よりも低くなりました。達成度の低かった数値の改善に努めつつ、中期目標を設定してからの 10 年の蓄積を元に、新たなひとくの展開とそれを実現するための中期目標の再設定が必要だと考えます。

平成 24 年度の取組に向けて

平成 24 年度に 20 周年を迎え、将来検討をとりまとめることとなったので、第 2 期中期目標は 1 年延長し 6 カ年で検証することとしました。加えて、21 年目以降の展開に向けて、第 3 期中期目標を平成 24 年度に策定し、見直しと改善を加えた新たな博物館活動を展開していきます。

資料および個人別成果



博物館概要等に関連する資料

○主な収蔵資料

1) 主な購入資料

[化石]

オフサルモサウルス
ドイツ・メッスル産化石一式
ポプロフォネウス
アマリカマストドン全身骨格
ヒブセロサウルス卵化石
ユーステノプテロン
ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式

[地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物
石鉄隕石
隕鉄

[動物]

オオヒクイドリ剥製
鳥類剥製
甲殻類剥製
軟体動物含浸標本
貝類含浸標本
鳥類生態写真
魚類生態写真

[昆虫]

タマバエ科他標本（ママエフコレクション 8,500点）
ノミ・チョウ類標本（阪口コレクション 50,000点）
チョウ類標本（宮脇コレクション 6,060点）
（台湾・中国産 1,300点）
チョウ類他標本（小林コレクション 11,000点）
チョウ・甲虫類標本（江田コレクション 272,600点）
シロチョウ科標本（熊谷コレクション 2,581点）
フタオチョウ類標本（佐藤コレクション 1,766点）
甲虫類標本（泉コレクション 2,400点）
（高橋コレクション 7,248点）
ハナムグリ類標本（億田コレクション 3,000点）

[植物]

兵庫県産木材樹幹
外国産木材樹幹
屋久杉輪切り（年輪）標本
種子標本（種子コレクション）

[映像資料]

兵庫の自然シリーズビデオ本
生物系ビデオ本
地球大紀行再編集ビデオ本

2) 主な受贈資料

[化石]

神戸層群産植物化石 4,627点（堀治三郎氏）
神戸層群産植物化石 2,656点（高岡得太郎氏）
日本産中生代貝類化石 890点（市川浩一郎氏）
高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251点（仙頭鷹雄氏）
備北・勝田層群産中新世生化石 187点（岸本眞五氏）
岩手県一関地域産中新世貝類化石 80点（林広樹氏）
長野県富草層群産中新世貝類化石 49点（小関正嗣氏）
兵庫県養父市産化石 800点（長岡桂介氏）

[地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7点（シルバー生野）

[動物]

貝類標本 10,000点（菊池典男氏）
鳥類標本 620点（西堀静江氏）
鳥類標本 130点（柴田嘉三氏）
鳥類標本 15,000点（小林登美子氏）
無脊椎動物標本 100点（土井敏男氏）
トラ本剥製 1点（伊丹検察庁）

[昆虫]

ハエ類等標本 10,300点（田中梓氏）
チョウ類等標本 14,000点（柴田篤弘氏）
チョウ類等標本 5,700点（山本廣一氏）
チョウ類等標本 11,000点（小林登美子氏）
チョウ類標本 13,132点（佐藤英次氏）
カリバチ類タイプ標本 367点（常木三澄子氏）
ハバチ類標本 14,000点（猪股光子氏）
ゴミムシ類標本 5,700点（大倉孝子氏）
ハネカクシ科等標本 114点（林靖彦氏）
ゾウムシ科標本 2,221点（中村剛之氏）

[植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000点（中西田鶴子氏）
シダ類標本 4,000点（稲田政子氏）
高等植物標本 20,000点（細見末雄氏）
日本産植物標本 1,045点（松岡成久氏・吉田誠治氏・友永常太郎氏）

平成23年度の主な受贈標本

高岡コレクション2（神戸層群植物化石）・神戸層群産サルノコシカケ科化石・泉層群カメ化石・長野県産植物標本（シダ類）・中岡コレクション（植物）・ゾウムシ上科標本（中村コレクション）・鉢伏高原産蛾類標本・山科コレクション（ホトケドジョウ属）・トラ、ヒョウ、ジャガー、ピューマ、タイリクオオカミ等大型哺乳類剥製

○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っている。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能である。

この機能を実現するためには、博物館自身が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要である。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行う。

なお、博物館の情報システムは以下の7つのサブシステムで構成されている。

1) システム構成



① 収蔵品管理システム～ひとはくデータベース～

100万点を超える収蔵品を管理するシステムで、収蔵品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいる。

博物館の収蔵品（標本の管理単位）の属性データ及び静止画像・音・動画等のデータや収蔵品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムである。データベースへの登録や検索は、館員の端末からWebブラウザを利用して行う。



② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムである。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示するものである。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末からWebブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現している。



③ 普及広報システム

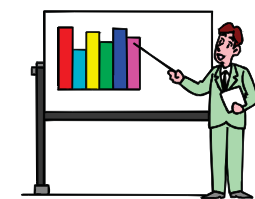
平成8年6月25日に館内に独自サーバを設置し、インターネット発信を開始した。現在の発信内容は、博物館の紹介・交通案内・展示解説・イベント情報などの基本情報の提供に加え、資料データベースの公開、館員の活動内容を紹介するミュージアムブログなど、内容の充実を図っている。



④ 地理情報システム (GIS)

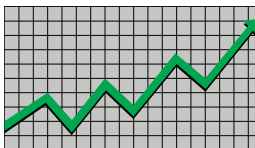
収蔵品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである。

博物館の展示システム、資料データベース、ホームページと連携して利用でき、各種自然環境情報が閲覧可能なマップサーバとして機能している。



⑤ 研究支援システム

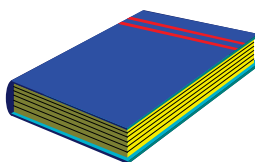
館内LANを利用して、各種データの解析、映像編集、作図等が行えるようになっている。顕微鏡の精細な映像や博物館で作成したビデオ映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っている。



⑥ 運営支援システム

各種イベント、セミナー受講受付、団体受付に関し、館員の端末からWebブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築している。

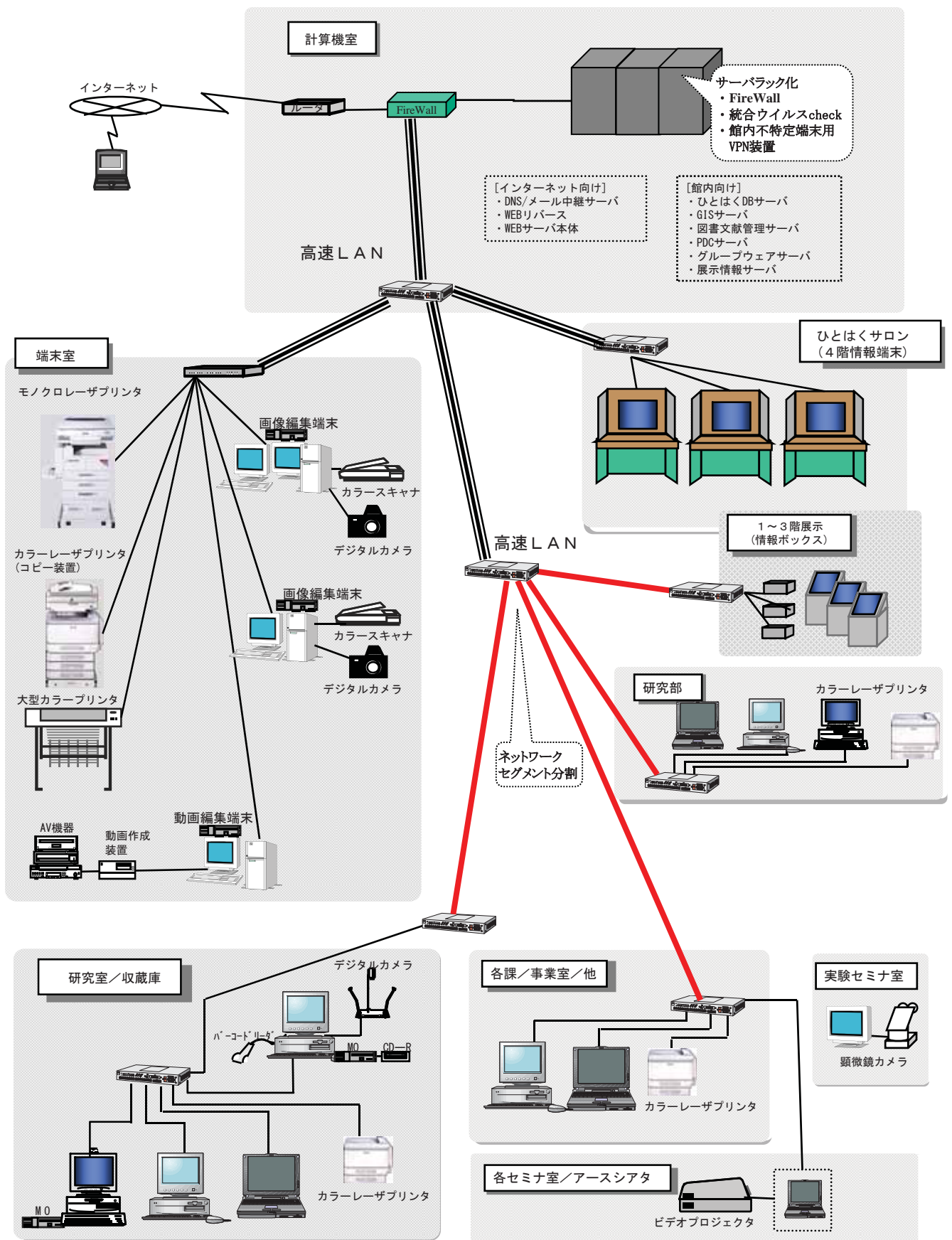
このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化が図られている。



⑦ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する10万点を超える図書・文献等を管理するシステム。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できる。

2) システム概要図



〇条例等

兵庫県立人と自然の博物館 設置及び管理に関する条例 (平成4年3月27日 条例第25号)

〔沿革〕

平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正
平成19年3月16日条例第9号改正 平成22年3月19日条例第6号

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する国民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。

3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
- (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
- (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。

2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

(77) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	13,500円
	副会長	日 額	11,500円
	委 員	日 額	11,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の前日に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成15年3月17日条例第7号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成16年3月26日条例第7号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成18年9月28日条例第53号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月16日条例第9号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成22年3月19日条例第6号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。(後略)

別表第1 (第5条関係)

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	200円	150円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	150円	100円	
高校生	100円	70円	

全部改正 (平成22年条例6号)

別表第2 (第5条関係)

区分	特別展示観覧料 (1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	2,000円	1,600円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	1,500円	1,200円	
高校生	1,000円	800円	

全部改正 (平成22年条例6号)

別表第3 (第9条関係)

区分	使用料			備 考
	開館前12時まで	13時から開館まで	開館後12時まで	
ホール	5,500円	7,000円	12,500円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日以外の日をいう。
利便施設	使用料及び手数料徴収条例(平成12年兵庫県条例第12号)別表第1建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額(一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の条件が県にとって最も有利なものをもって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあっては、当該入札の落札者の申込みに係る価格に相当する金額)			
附属設備	別に教育委員会規則で定める額			

全部改正 (平成15年条例7号)、一部改正 (平成16年条例7号・18年53号・19年9号・22年6号)

兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

(平成4年3月27日)
教育委員会規則第8号

(沿革)

平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正

平成15年3月25日教育委員会規則第7号改正

平成16年3月26日教育委員会規則第14号改正

平成19年3月30日教育委員会規則第11号改正

平成22年3月31日教育委員会規則第6号

平成23年3月29日教育委員会規則8号

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館(以下「博物館」という。)の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日(当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日)とする。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧料の納付)

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

(特別展示観覧料)

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

(特別観覧の許可等)

第6条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

(展示品の利用)

第7条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

(施設の利用の許可等)

第8条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書(様式第2号。以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員会が指定する期間に、兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書(様式第3号。以下「利便施設利用許可申請書」という。)に、利便施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。

3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書(以下「利用許可書」という。)を申請者に交付する

- ものとする。
- 4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書（様式第4号。以下「利便施設利用内容変更承認申請書」という。）に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。
- 5 教育委員会は、利便施設利用内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。
- 6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名（法人及び団体にあっては、所在地又は名称）を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。

（使用料の額）
 第9条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めるとおりとする。

（特別観覧料及び使用料の納付）
 第10条 特別観覧許可書及び利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項の許可を受けた場合であって、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。

（観覧料等の免除）
 第11条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料（特別展示観覧料を含む。）、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。観覧料（特別展示観覧料を含む。）の2分の1に相当する額
- (2) 教育委員会が特別の理由があると認めるとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額
- （利用等の許可の基準等）

第12条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額
- (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。

- ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額
- イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。当該使用料の2分の1に相当する額
- 2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書（様式第5号）を教育委員会に提出しなければならない。

（寄託又は寄贈）
 第13条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）
 第14条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

（補則）
 第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則
 （施行期日）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項（観覧時間に係る部分に限る。）、第4条から第6条まで、第9条（特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。）、第10条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）並びに第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則（平成4年10月26日教育委員会規則第19号）
 この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則（平成15年3月25日教育委員会規則第7号）
 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日教育委員会規則第14号）
 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第11号）
 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄）
 （施行期日）

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成23年3月29日教育委員会規則第8号抄）

別表第1（第6条関係）

区 分	特別観覧料（1点1回につき）		
熟 覧	150円		
模写・模造	2,000円		
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	150円	1,000円
	原色	300円	2,000円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。
- 2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。
- 3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別紙第2（第9条関係）

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金 額	4,400円	5,600円	10,000円

2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250円
持込み電気器具用コンセント （録音器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 2,000円
持込み電気器具用コンセント （録画器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 3,000円
持込み電気器具用コンセント （ミキシングセットを持込む場合）	持込み器具1式につき 5,000円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号
 （第6条関係）

特別観覧許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話 _____ 番

次のとおり申請します。

品 目	点 数	所 有 者 備 考
観覧希望日時	年 月 日 時から 時まで	
研究の方法	熱 覧 模 写 模 造 撮 影	
研究の目的		

様式第2号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話 _____ 番

次のとおり申請します。

利用目的	
利用室名	
附属設備の名称	
期 間	年 月 日 時から (日 時間) 時まで
利用者数	
※使 用 料	円
※備 考	

(注) ※印の欄は、申請書において記入しないでください。

様式第3号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話 _____ 番

次のとおり申請します。

利便施設の用途	
利用許可を受けようとする利便施設	
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※使 用 料	円
※備 考	

(注) 1 ※印の欄は、申請書において記入しないでください。
2 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第4号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話 _____ 番

次のとおり申請します。

変更の内容	事 項		変 更 前		変 更 後	
	利便施設の用途 利用許可を受けようとする利便施設					
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで		年 月 日から 年 月 日まで			
変 更 の 理 由						

(注) 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号
(第12条関係)

兵庫県立人と自然の博物館観覧料等選付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話 _____ 番

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 番 号
選 擇 請 求 の 内 容	※選付金の内訳
利用等の日時	年 月 日 時から (日 時間) 時まで
既 納 付 額	円
選 擇 を 受 け よ う と す る 理 由	
※ 選 付 率	パーセント
※ 選 付 額	円

(注) 1 ※印の欄は、申請書において記入しないでください。
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議
会の組織及び運営に関する規則 (平成4年3月27日)
(教育委員会規則第9号)
(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第14条の規定に基づき、兵庫県立人

と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（補則）

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程 （平成4年3月31日） （教育長訓令第2号）

（趣旨）

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則（平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。）第15条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

（権限の委任）

第2条 教育長は、規則第14条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第11条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育長訓令第4号）

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程（抜粋） （平成4年3月31日） （教育長訓令第2号）

（沿革）

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、平成19年3月30日第5号

第1章 総則

（目的）

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もつて教育行政事務の適正かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

（機関の分類）

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

（機関の定義）

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

（行政機能の発揮）

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となつて教育行政機能の発揮に努めなければならない。

（規定の範囲）

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

（組織の特例）

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

（位置）

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号）第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

（業務）

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- （1）自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- （2）博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- （3）博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
- （4）博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- （5）自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- （6）貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- （7）自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- （8）他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- （9）前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

（組織）

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

事業推進部
総務課
情報管理課
生涯学習課
自然・環境評価研究部
自然・環境マネジメント研究部
自然・環境再生研究部
（事業推進部の事務）

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- （1）博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
- （2）大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
- （3）自然、生命及び環境に関する学術研究集会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
- （4）自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
- （5）その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。

（総務課の事務）

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- （1）公印の管守に関すること。
- （2）文書の收受、発送、保存等に関すること。
- （3）職員の進退及び服務に関すること。
- （4）給料その他の諸給与に関すること。
- （5）児童手当に関すること。
- （6）会計経理に関すること。
- （7）県立人と自然の博物館の管理に関すること。
- （8）人と自然の博物館協議会に関すること。
- （9）県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
- （10）前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。

(情報管理課の事務)

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
- (2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
- (3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
- (4) 情報機器の管理に関すること。
- (5) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。

(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
- (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
- (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
- (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。

(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。
- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名称	担任専務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

(組織)

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制

(教育機関の長)

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立特別支援教育センター、県立但馬やまびこの郷(さと)及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

(館長及び副館長)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

- 2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。
- 3 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。

(副所長等)

第79条の3

4 県立図書館、県立嬉野台生涯教育センター、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。)又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。

(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職名	組織	職務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことがある。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。

(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主幹	上司の命を受け、教育機関の事務のうち、困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任調査専門員	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的事務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることがある。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長（県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。）若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあつては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長、(副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長)が、その他の教育機関にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

職 名	職 務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。
主任保安員又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例

(沿革)

(昭和46年3月25日)
条例第16号

平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正、平成17年3月28日第15号改正、平成19年2月28日第2号改正、3月16日第25号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫県陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正〔平成15年条例37号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用等)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のためその他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例43号・19年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年10月8日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成14年3月27日条例第32号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成15年3月17日条例第37号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第15号)

この条例は、兵庫県陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫県条例第14号）の施行の日から施行する。

附 則 (平成19年2月28日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

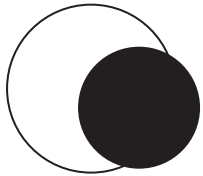
附 則 (平成19年3月16日条例第25号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する

博物館協議会委員名簿

区 分	役 職	氏 名
学校関係者	三田市教育委員会学校教育部長	佐久間 学
〃	神戸市西神中学校長	森川豊文
〃	県立伊川谷北高等学校長	梶原愛子
社会教育関係者	県立考古博物館長	石野 博信
〃	神戸松蔭女子学院大学教授 (兵庫県社会教育委員)	寺見陽子
〃	兵庫県ライフデザイン研究所 FLAP 代表	岩木啓子
学識経験者	大阪市自然史博物館長	山西良平
〃	大阪府立大学大学院教授	上甫木昭春
〃	兵庫県立大学環境人間学学部教授	岡田眞美子
〃	兵庫県立大学副学長	新免輝男
〃	三田市長	竹内英昭
〃	関西学院大学総合政策学部教授	角野幸博
〃	キッズプラザ大阪企画運営グループプランナー	石川梨絵
公募委員	香美町ジオパーク推進員	今井裕子
公募委員	NPO 法人人と自然の会	長里英美子

平成 23 年 4 月現在



個人別成果報告に関する資料

No. 0

●館長

岩槻 邦男, Kunio IWATSUKI

昭和9 (1934) 年兵庫県生。京都大学大学院理学研究科博士課程終了。理学博士。

東京大学名誉教授

所属学協会: (社) 日本植物学会 (編集顧問、元会長ら)、(社) 日本植物園協会 (顧問、元会長ら)、日本植物分類学会 (元会長ら)、日本シダ学会、生きもの文化誌学会 (編集委員)、熱帯生態学会、植物形態学会; 国際植物園連合 (直前会長)、国際植物分類学連合 (元理事ら)、国際植物形態学会 (評議員)、アメリカ植物分類学会 (名誉会員)、国際シダ学連合、インドシダ学会 (名誉会員)、アメリカシダ学会、イギリスシダ学会

<研究開発>

1.調査研究

■著書・論文

著書

岩槻邦男: 進化と系統30講 朝倉書店 2012
岩槻邦男・堂本暁子 (監修) 災害と生物多様性 生物多様性 JAPAN-JRC 2012.

論文

Lin, Su-juan, T.Suzuki, A.Ebihara, H.-S.Lu, J.-Q.Liu, S.-G.Wu & K.Iwatsuki. 2011. A New Record of *Polystichum otomasui* Sa.Kurata (Dryopteridaceae) from Fujian Province, China. J. Jpn. Bot. 86: 115~119.

Tomizuka, T., K.Iwatsuki & M.Miyata. 2011. A New Index [I/H]RCP for Estimation of Seaweed Flora, with Special Reference to Life History and Distribution of Chlorophyta, Phaeophyta and Rhodophyta. J. Jpn. Bot. 86: 287~293.

富塚朋子, 岩槻邦男, 富田昌彦. 2012. 大学・博物館等に保存された海藻の証拠標本を用いた浅海域の環境変動の推定 植物研究雑誌 87: 31~40

■その他著作 (一部)

Iwatsuki, K. 2011. The Futurability of Islands: A Japanese Reflection on the Harmonious Coexistence of Nature and Humankind. In Baldacchino, G. & D.Niles (eds.): Island Futurability: Conservation and Development Across the Asia-Pacific Region 9~18.

岩槻邦男: 直面する危機を乗り越えて 『都市問題』 102: 巻頭言

岩槻邦男: 災害と生物多様性—東日本大震災から学ぶこと 岩槻邦男・堂本暁子 (監修) 『災害と

生物多様性』 4~11.

五十嵐敬喜, 岩槻邦男, 西村幸夫, 松浦晃一郎: 富士山の価値とクライテリア 世界遺産登録, その先へ向かって 『BioCity 別冊 1: 富士山, 世界遺産へ』 48~57.

岩槻邦男: 小笠原諸島, 世界遺産の候補地から登録まで 同上: 116~122.

岩槻邦男: 自然環境の現実とこれから 環境研究 165: 134~139.

岩槻邦男: 植物園が果たした成果、果たすべき役割 日本植物園協会誌 46: 25~34.

■学会役員など

(社) 日本植物園協会、顧問、元会長ら

(社) 日本植物学会、元会長、編集顧問ら

アメリカ植物分類学会、名誉会員

インドシダ学会、名誉会員

インドネシア学術機構 (LIPI)、科学顧問

マレーシア植物誌委員会、評議員

国際植物形態学会、評議員

Indian Fern Journal (印)、編集顧問

ビオヒストリー (生き物文化誌学会、日)、編集委員

2.資料収集・整理

■資料収集

ベトナム産シダ植物 (1990年代東大隊採集品) の同定

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館外講演など

岩槻邦男 (2011.6.19) ボルネオジャングル体験スクール事前勉強会で挨拶、講話

岩槻邦男 (2011.7.10) 「災害と生物多様性」千葉フォーラム 千葉大学 基調講演

岩槻邦男 (2011.8.25) 「生物多様性協働フォーラム 第1回」三田 挨拶

岩槻邦男 (2011.10.22) 「化石シンポ」篠山 挨拶

岩槻邦男 (2011.11.12) 「北摂里山フォーラム」三田 講演

岩槻邦男 (2011.12.9) 丹波の森大学講演「文明が育てた植物たち」丹波市柏原町

岩槻邦男 (2011.12.11) シダの会講演「共生する生

き物たち」東京

岩槻邦男 (2011.12.16) 「環境教育実践大会」神戸 講演

岩槻邦男 (2012.2.4) 「水辺キッズの会」三田 挨拶

岩槻邦男 (2012.2.5) 「樹上リス国際シンポ」京都 基調講演

岩槻邦男 (2012.2.12) 「生物多様性協働フォーラム 第3回」神戸 兵庫、滋賀両県知事の対談を司会

岩槻邦男 (2012.2.17) 世界遺産40周年記念「災害と生物多様性」フォーラム 東京 パネルディスカッションに参加

岩槻邦男 (2012.2.23) 静岡市世界遺産フォーラム「富士山」パネラー

テレビ・ラジオ等出演

取材記事

2011年8月1日 「植物の新種報告は英語でも」朝日新聞デジタル

2011年9月17日 「識者評論：大震災と科学」共同通信配信、京都新聞ら

2011年12月1日 読売新聞西部版特集「屋久島の立ち入り制限」へのコメント

2012年1月12日 読売新聞：マリモと世界遺産についての記事にコメント

2012年2月23日 中日新聞静岡版「自然と文化を統合した富士山学の必要性」

2010年5月23,31日 読売新聞中部支社版

2010年9月12日 東京新聞カラー版日曜特集「里山は日本人のこころ」

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

成果発表

2010.2.11, 共生のひろばでコメンテーターとして参加、館長賞の授賞を行った。

2.シンクタンク事業

■行政支援

政府機関等委員

環境省関係委員 (特定外来種検討委員会座長、世自然遺産検討委員会座長、SATOYAMA イニシアティブ委員、他)

(独) 理化学研究所、名誉相談役

(独) 国立科学博物館評議員、アドバイザー；同筑波実験植物園運営委員会、会長

(国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所アドバイザー；同生物資源委員会、幹事

JICA 地球環境部森林・自然環境グループ国内支援委員会、委員長

国際植物園連合(IABG)直前会長

国際機構等

国際生物学賞委員会、委員

法人等役員

コスモス国際賞委員会、委員

日本国際賞審査委員会、委員

(財) WWF-ジャパン、顧問

(財) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団、特別顧問

(財) 松下幸之助花博記念財団理事、松下幸之助記念財団評議員

(財) 日本自然保護協会、参与

(財) 国際花と緑の博覧会記念協会、参与、コスモスフォーラム実行委員長

(財) 科学技術振興財団、研究植物園助成選考委員

(NPO) 聚、グリーンセイバー実行委員長

(NPO) ベルデ、理事

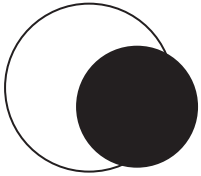
(IUCN メンバー) 生物多様性 JAPAN, 代表

兵庫県関係委員ら

兵庫県生涯教育審議会、委員

(財) ひょうご科学技術協会、理事

JICA 兵庫応援団、会長



個人別成果報告に関する資料 No. 1

● 自然・環境評価研究部 地域環境地質研究グループ／
埋蔵自然遺産研究グループ

小林 文夫, Fumio KOBAYASHI

自然・環境評価研究部／地域環境地質研究グループ
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部
門 教授。
兵庫県立大学大学院 環境人間学研究所 共生博物館部門
兼任。
昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士
課程修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会,
The Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The
Paleontological Society 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. タスクフォース

マーケティング タスクフォース
恐竜・化石タスクフォース

2. 研究開発部門

博物館学術交換図書の整理, 旧地球科学研究部研究担
当, 「人と自然」第2号編集委員.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 中・古生代基盤岩の地質構造発達史
2. 古生代後期・中生代有孔虫化石群集解析
3. 「小林文夫コレクション」の世界
4. 地域防災に関わる地学教育

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割-持続
可能なサポートシステム構築に関する研究-, 研究
分担者. 「円山川水系と豊岡盆地の自然環境」, 研究
分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテ
ンツの探索とその活用」, 研究分担者.

■論文・著書

Kobayashi, F. (2011) Two species of *Profusulinella* (*P. aljutovica* and *P. ovata*), Early Moscovian (Pennsylvanian) fusulines from southern Turkey and subdivision of primitive groups of the Family Fusulinidae. *Rivista Italiana di Paleontologia e Stratigrafia*, 117: 29-37.
Kobayashi, F. (2011) Permian fusuline faunas and biostratigraphy of the Akasaka Limestone (Japan). *Revue de Paléobiologie*, 30: 431-574.
Kobayashi, F. (2012) Comparative study of the Capitanian (Late Guadalupian) foraminiferal faunas in the *Lepidolina*

shiraiwensis Zone of the Akiyoshi Limestone Group, SW Japan. *Journal of Foraminiferal Research*, 42: 82-101.

Kobayashi, F. and Demir Altiner (2011) Discovery of the Lower Murgabian (Middle Permian) based on neoschwagerinids and verbeekinids in the Taurides, southern Turkey. *Rivista Italiana di Paleontologia e Stratigrafia*, 117: 39-50.

Jérôme Chablais, Rossana Martini, Fumio Kobayashi, Gérard M. Stampfli, and Tetsuji Onoue (2011) Upper Triassic foraminifers from Panthalassan carbonate buildups of Southwestern Japan and their paleobiogeographic implications. *Micropaleontology*, 57: 93-124.

Yuta Shiino, Yutaro Suzuki, and Fumio Kobayashi (2011) Sedimentary history with biotic reaction in the Middle Permian shelly sequence of the Southern Kitakami Massif, Japan. *Island Arc*, 20: 203-220.

■その他著作

◎小林文夫・先山 徹 (2011) 山陰海岸ジオパーク現地見学基礎資料-円山川下流域. *人と自然*, 22: 71-84.

F. Kobayashi (2011) Middle Permian (Wordian) foraminifers of the Furen Limestone, Oita Prefecture, Japan. *Nature and Human Activities*, 22: 19-25.

■研究発表

小林文夫 2011.7. 秋吉石灰岩層群 *Lepidolina shiraiwensis* 帯の有孔虫群集. 日本古生物学会・2011年度総会(金沢大学).

小林文夫 2011.7. ペルム紀中期後葉有孔虫化石の構成と多様性. 日本古生物学会・2011年度総会(金沢大学).

◎堤 之恭・三枝春生・堀江憲路・横山一己・小林文夫・白石和行・楠橋 直(2012) ジルコン-U-Pb年代による篠山層群下部層の堆積年代. 日本古生物学会第161回例会, 富岡市生涯学習センター・群馬県立自然史博物館, 富岡市

■学会役員など

日本地質学会, 代議員.
日本地質学会, 関西支部行事委員.
Journal of Asian Earth Sciences, レフェリー

■海外調査

2011.8.22 - 2011.9.10 ドイツ・オーストリアの Eastern Alps の中生代石灰岩の観察, サンプルング, 同 Molasse Basin の地質観察, ライン地溝帯と周辺に分布する火山岩類の地形・地質観察, など.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2011.12, 石灰岩岩石薄片の作成と登録企画展関連資料の収集(2419点) 大分県風連洞, 大分県浅海井, 山口県秋吉石灰岩, 岐阜県赤坂石灰岩, ドイツ-オーストリア国境 Zug Spitz アルプス相三畳系石灰岩(小林文夫コレクション).

2011.4-2011.12, 石灰岩薄片写真資料(750点, 小林文夫コレクション).

2011.4-2011.12, 石灰岩岩石資料の整理と登録(172点, 小林文夫コレクション).

2011.4-2011.12, 地質資料の整理と活用 日本各地のジュラ系/白亜系トリノス石灰岩, 山口県秋吉石灰岩, 岐阜県赤坂石灰岩, ドイツ・オーストリアの東アルプスのアルプス相中生界, ライン地溝帯など.

■整理同定担当資料

小林文夫コレクション(中・古生代石灰岩岩石薄片).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

小林文夫, 2011.5, 秋芳洞と秋吉石灰岩台地の観察(全3回) 題1回「事前学習会と現地観察説明会」, 博物館. (13名).

小林文夫, 2011.6, 秋芳洞と秋吉石灰岩台地の観察(全3回) 題2回「秋芳洞の洞内観察」, 現地. (13名).

小林文夫, 2011.6, 秋芳洞と秋吉石灰岩台地の観察(全3回) 題3回「カルスト地形観察, 秋吉台科学博物館見学, 化石採集」, 現地. (13名).

小林文夫, 2011.10, 「星砂を集めよう」, 博物館. (18名).

小林文夫, 2012.1, 「火山活動と日本の国立公園」, クラーク記念国際高校芦屋キャンパス. (99名).

小林文夫, 2011.6, 「丹波の恐竜発掘状況」, 博物館. (特注セミナー, 神戸大学理学部学生・教員34名).

小林文夫, 2011.10, 「化石の話と簡単化石のレプリカづくり」2回, 博物館. (特注セミナー, 兵庫県立神戸特別支援学校生徒・教員76名).

小林文夫, 2011.11, 「日本列島の基盤岩の形成過程」, 博物館. (特注セミナー, 兵庫県立飾西高等学校SSCクラス生徒・教員42名).

小林文夫, 2011.11, 「フズリナ化石の断面の作成と観察①」, 博物館. (特注セミナー, 兵庫県立飾西高等学校SSCクラス生徒・教員21名).

小林文夫, 2011.11, 「フズリナ化石の断面の作成と観察②」, 博物館. (特注セミナー, 兵庫県立飾西高等学校SSCクラス生徒・教員21名).

小林文夫, 2012.2, 「地震のはなし」, 博物館. (特注セミナー, たつのこどもエコクラブ, 21名).

◎小林文夫, 2011.4, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館. (オープンセミナー, 48名).

◎小林文夫, 2011.7, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館. (オープンセミナー, 32名).

◎小林文夫, 2011.10, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館. (オープンセミナー, 36名).

◎小林文夫, 2011.12, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館. (オープンセミナー, 31名).

館外講演など

小林文夫, 2011.6, 「教科書でない川, 武庫川」, 宝塚市社会福祉協議会市民カレッジ, 講師, 宝塚市立老人福祉センター. (30名).

小林文夫, 2011.6, 「野外観察-教科書でない川, 武庫川」, 宝塚市社会福祉協議会市民カレッジ, 講師, 仁川下流域. (27名).

小林文夫, 2011.8, 「上滝の篠山川河床に顔を出した含恐竜化石層」, 竜と獣の道学連続セミナー講師, 上久下地域づくりセンター. (15名).

小林文夫, 2011.12, 「恐竜化石発掘現場の見学と施設見学ツアー」, 現地, チータンの館, 講師, (38名).

小林文夫, 2011.12, 「琴引浜の鳴き砂と海岸砂の生物遺骸」山陰海岸ジオパーク, 京丹後市琴引浜鳴き砂文化館, 講師. (18名).

兵庫県立大学・大学院教育

地域地質論(主任)

ラジオ・テレビ等出演

2012.2, 兵庫の有孔虫化石, 神戸新聞

2012.2, 有孔虫の展示化石. 毎日新聞

■研究生等の受入

博物館実習

2011.8.5-8.19, 大学生3名.

■展示

ミニ企画展

2012.2~2012.3, トピックス展「兵庫県産中・古生代有孔虫化石」

2.シンクタンク事業

■行政支援

相談・指導助言

2011.12, 新聞取材記事 「海の一生涯」In いのちの不思議, ひとつはく便り-11-. 神戸新聞

来訪者14件, 20名. 電話・FAX相談7件.

佐藤 裕司 Hiroshi SATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究所 共生博物館部門 兼任

昭和32年大阪府生まれ。神戸大学大学院理学研究科修士課程修了。

学術博士(神戸大学)。日本第四紀学会、日本陸水学会、日本藻類学会、日本珪藻学会、日本環境教育学会等所属。

日本藻類学会、日本珪藻学会、日本環境教育学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース(シンポジウム担当)

2.研究開発部門

研究部長代理、研究部門会計担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1.完新世の相対的海水準変動に関する研究

2.兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究

3.淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究

■共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした地域コンテンツの探索とその活用に関する研究」、研究代表者。

■論文・著書

◎伴美美香・佐藤裕司・古谷裕(2011)大阪堆積盆地の更新世海成粘土層・Ma11層における

Pseudopodosira kosugii の出現。Diatom(日本珪藻学会誌), 27: 46-51.

■その他著作

◎佐藤裕司・田中哲夫・永吉照人(2011)キリンビール神戸工場のビオトープ池に出現した絶滅危惧種。人と自然, 22: 81-84.

■研究発表

◎Tanigawa, T., Hyodo, M. and Sato, H. (2011.7) Holocene relative sea-level changes and paleoenvironment from incised-valley fill in Toyooka Basin, western Japan. XVIII INQUA Congress, Bern.

Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H., and Matsushita, M. (2011.7) Geomagnetic field impact on paleoclimatic: geological evidences during the Matuyama-Brunhes transition and Lower Jaramillo polarity reversal. XVIII INQUA Congress, Bern.

北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子(2011.5)地質時代に見られる地磁気と気候のリンク。日本地球惑星科学連合2011年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市。

北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子(2011.8)地磁気逆転期の高精度気候復元。

IUGONET 研究集会, 第179回生存圏シンポジウム「メタ情報のデータベースを利用した分野横断型地球科学研究の進展」, 京都大学理学研究科セミナーハウス, 京都市。

Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H., Matsushita, M. (2011.12). Disruption in climatic rhythm and anomalous cooling during large decreases in geomagnetic field intensity. AGU 2011 Fall meeting, San Francisco, USA.

■学会役員など

2011.10, 日本珪藻学会・査読

■助成を受けた研究

「恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築」(科学研究費補助金・基盤研究(C))分担者。

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 現生淡水藻類の標本採集。丹波市・上郡町など。

■整理同定担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司, 2011.4.23, 24, 5.14, 15, 「ため池をさぐる」, (全4回, のべ47名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2011.10.4, 11, 高校連携セミナー「身近な環境を調査しよう〜ビオトープ池を調べる〜」, キリンビール(株)神戸工場, (のべ2名)

佐藤裕司, 2011.12.4, 「珪藻土を顕微鏡で見よう」(9名)

佐藤裕司, 2011.7.29, 特注セミナー「地球温暖化のはなし」, 城陽環境パートナーシップ(33名)

佐藤裕司, 2011.9.10, 特注セミナー「展示解説」, 日本温泉科学会(5名)

佐藤裕司, 2012.2.7, 特注セミナー「地球史から読み解く温暖化問題」, NPO法人グリーンパーク熊取(42名)

オープンセミナー

◎解説! 恐竜ラボ, 2011.5.18. (12名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2011.9.4. (41名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2012.1.8. (25名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2012.2.5. (13名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2012.3.4. (21名)

館外講演など

2011.11.2, 「安全で安心な生活を送るために〜「水」と「地球温暖化」から考える〜, (1)地球の水と私たちの生活」, 豊中市立中央公民館。(10名)

2011.11.9, 「安全で安心な生活を送るために〜「水」と

「地球温暖化」から考える～、(2)地球温暖化、何が問題か」、豊中市立中央公民館。(11名)

2012.3.18、「地球史から読み解く温暖化問題」、山の案内人の会研修会、兵庫県民会館。(45名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学全学共通教育科目「共生生物学」(オムニバス形式、代表)

大学院担当授業科目「陸・水圏自然史特別演習」

■キャラバン事業

主担当

加東市との協力協定事業(まちまるごとミュージアム事業)

セミナー担当

2011.7.28, 子ども水辺の生き物調査隊(加東市, 分担)

成果発表

2011.12.18, 加東市ノーベル大賞授与式, 講評

■連携事業

協力事業

2012.3, 「たんば恐竜化石マップ2012」作成, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会(助言)

■学校教育支援

講師派遣

2011.6.16, 加東市立社小学校(加東市小学校環境教育研修会, 21名)「環境教育とは何か」

2011.7.13, 加東市立米田小学校(校内研修会, 15名)「自由研究で大切にしたいこと」

■フェスティバル等

2011.10.22, 恐竜化石シンポジウム in たんば「恐竜の世界をよみがえらせる」

2010.10.23, サイエンスカフェ&ワークショップ「恐竜の世界をよみがえらせる」企画・運営

2012.11 ひとつはくフェスティバル(分担)

■展示

企画展

特別企画「化石集合2011—ジオパークを彩る化石—」(分担)

2.シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ創出に関する研究」分担者, キリンビール株式会社神戸工場.

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 8回, 22名.

■行政支援

委員会等(計4件)

2011.4-2012.3, 加東市とひとつはく協力協定連携推進会議委員

2011.4-2012.3, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会・企画運営委員会 委員

2011.4-2012.3, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課

2011.4-2012.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市教育委員会

相談・指導助言

来訪者15件, 31名. 電話・FAX相談8件, メール相談11件.

先山 徹, Tohru SAKIYAMA

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門/
ジオ環境研究部門 准教授.

昭和 29 年岐阜県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本岩石鉱物科学会,
日本地学教育学会, 日本科学教育学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. タスクフォース

地域展開推進室

ジオパーク推進マネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 火成岩を主とした兵庫県下の地質に関する研究
2. 地質を活用した生涯学習, 博物館学の研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテ
ンツの探索とその活用に関する研究」, 研究代表者.

■論文・著書

◎Sakiyama T. and Matsubara N. (2012) Educational
programs using topographic models for understanding the
geology and land use at the volcanic area in San-in
Kaigan Geopark, Japan. Journal of Geology Series B,
General Department of Geology and Mineral Resources,
Vietnam, no.29.

◎先山 徹 (2011) 都市を育んだ断層の山・六甲山地.
新人物文庫: 兵庫県謎解き散歩 (大国正美編), 新人物
往来社, 272-273.

◎先山 徹 (2011) 花崗岩が御影石と呼ばれる理由.
新人物文庫: 兵庫県謎解き散歩 (大国正美編), 新人物
往来社, 274-275.

◎先山 徹 (2011) 多紀アルプスで見つかる火打石は
どこから来たか. 新人物文庫: 兵庫県謎解き散歩 (大
国正美編), 新人物往来社, 276-277.

◎先山 徹 (2011) 玄武洞と玄武岩, どちらが先に命
名された?. 新人物文庫: 兵庫県謎解き散歩 (大国
正美編), 新人物往来社, 278-280.

■その他著作

◎Matsubara, N., Sakiyama, T. and Mitamura, M.: The
Natural Environment and People's Lives Dependent on
Geodiversity - Case Studies in the San'in Kaigan
Geopark - . Proceedings of the 2nd Asia-Pacific Geoparks
Network Symposium, Vietnam, p31.

◎小林文夫・先山 徹 (2012) 山陰海岸ジオパーク, 円

山川下流部ジオツアー案内. 人と自然, no.22, 67-80.

◎先山 徹 (2011) 岩石調査. 高砂市文化財総合的把握
モデル事業 文化財調査報告書, 高砂市, 128-141.

先山 徹 (2011) 彦根城石垣の岩石記載と石材産地. 特
別史跡彦根城石垣総合調査報告書, 彦根市, 105-111.

先山 徹 (2011) 額安寺宝篋印塔の石材. 額安寺宝篋印
塔修理報告書, 大和郡山市, 14-17.

■研究発表

◎先山 徹・松原典孝 (2011) 山陰海岸ジオパーク・
神鍋火山を題材にした模型作りとその効用ーコミュ
ニケーション地質学の創出ー. 日本地球惑星科学連
合・2011 年度連合大会, 千葉・幕張メッセ.

◎松原典孝・先山 徹・三田村宗樹 (2011) 多様な大
地に成り立つ自然と人々の暮らしー山陰海岸ジオパ
ークの例ー. 日本地球惑星科学連合・2011 年度連合
大会, 千葉・幕張メッセ.

◎Sakiyama, T. and Matsubara, N. (2011)
Educational programs using topographic models
for understanding the geology and land use at the volcanic
area in San-in Kaigan Geopark, Japan -Creation of
Communicating Geology -. 第 2 回アジア太平洋ジオ
パークネットワーク・シンポジウム, ベトナム・ハ
ノイ.

◎Matsubara, N., Sakiyama, T. and Mitamura, M. (2011)
The Natural Environment and People's Lives
Dependent on Geodiversity - Case Studies in the
San'in Kaigan Geopark -. 第 2 回アジア太平洋ジオ
パークネットワーク・シンポジウム, ベトナム・ハ
ノイ.

◎松原典孝・先山 徹 (2011) 山陰海岸ジオパークで
起こった直下型地震遺産の保存と活用. 日本地質学
会第 118 年学術大会, 茨城大学.

◎松原典孝・三木武行・先山 徹 (2011) 岩相解析に
基づいた堆積環境の復元ー山陰海岸ジオパークにお
けるグリーンタフジオロジーの再検討ー. 日本地質
学会第 118 年学術大会, 茨城大学.

◎先山 徹・松原典孝 (2011) 山陰海岸ジオパークに
おける地すべり地の活用. 日本地質学会第 118 年学
術大会, 茨城大学.

◎先山 徹 (2011) なぜ花崗岩のことをみかげ石と呼
ぶかー六甲山地がもたらした災害と恵みー. 日本
地質学会第 118 年学術大会, 茨城大学.

◎先山 徹・松原典孝 (2011) ジオパークにおける生
涯学習の意義ー山陰海岸ジオパークを例に. 日本地
学教育学会第 65 回全国大会, 広島大学.

■学会役員など

日本地質学会, 生涯教育委員会, 委員.
地学団体研究会, 「地球科学」常任エディター.

■助成を受けた研究

恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プ
ログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C),
研究代表者 (金額 60 万円/190 万円).

西日本における中世石造物の成立と地域的展開 ー石材と形態・様式に着目してー。文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者 (金額 38 万円/570 万円)。

■海外調査

2011.7, ベトナム・ハノイおよびドンバンカルストジオパーク調査

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3, ジオパーク関連資料の収集。豊岡市, 香美町, 新温泉町など。

■受贈担当資料

岩石鉱物 3 点。

■整理同定担当資料

岩石・鉱物

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

加藤茂弘・先山 徹, 2011.4, 「春の石めぐりハイキング: 播磨小富士の地層と火山豆石」姫路市。(41 名)

◎先山 徹, 2011.5, オープンセミナー「偏光シートで遊ぼう, 偏光顕微鏡を見よう」, 博物館。(61 名)

◎先山 徹, 2011.5, オープンセミナー「偏光シートで遊ぼう, 偏光顕微鏡を見よう」, 博物館。(52 名)

先山 徹, 2011.5, 「バスでめぐるジオスポットツアー」, 豊岡市。(44 名)

高橋 晃, 布施静香, 先山 徹, ハチ北自然案内人, 2011.5「香美町 海と山のジオパークツアー! ~海と山の生きものと石~」, 香美町。(19 名)

先山 徹, 2011.6-2012.2, 「石ころクラブ」, 博物館・豊岡市。(全9回, 159 名)

先山 徹, 2011.6, 「山陰海岸ジオパークの石を見分けよう」, 香美町香住区中央公民館。(21 名)

先山 徹, 2011.8, 「瀨川溪谷の滝と溶岩ハイキング」, 香美町。(22 名)

先山 徹, 2011.8, 「兵庫は石の国, 丹波竜・ジオパーク・御影石」, 博物館。(26 名)

先山 徹, 2011.8, 「鉱物の不思議に触れ, 見分け方を知ろう」, 博物館。(28 名)

先山 徹, 2011.8, 「鉱物の不思議を体験しよう」, 博物館。(27 名)

先山 徹, 2011.8, 特注セミナー「日本列島が海だったころ・大陸だったころ」, シニア自然大学鉱物クラブ, 博物館。(30 名)

先山 徹・加藤茂弘, 2011.11, 「秋の石めぐりハイキング: 撰津峡」, 高槻市。(24 名)

先山 徹, 2011.11, 「小代の火山と滝めぐり」, 香美町。(17 名)

◎先山 徹, 2011.12, オープンセミナー「液状化と建物の揺れ方を実験しよう」, 博物館。(31 名)

先山 徹, 2012.1, 「チョコとココアでおいしい火山実験を使用」, 香美町。(14 名)

◎先山 徹, 2012.2, オープンセミナー「山陰海岸でとれる火打石をためしてみよう」, 博物館。(77 名)

先山 徹, 2012.2, 特注セミナー「地震の起こり方, 液状化, 建物の揺れ方」, 猪名川木喰会, 博物館。(26 名)

先山 徹, 2012.2, 特注セミナー「日本海ができるころ・日本列島の火山」, シニア自然大学鉱物クラブ, 博物館。(30 名)

館外講演など

先山 徹, 2011.5, 但馬県民局職員研修, 但馬県民局。(50 名)

先山 徹, 2011.6, 兵庫県博物館協会例会, 兵庫県立歴史博物館 (50 名)

先山 徹, 2011.6, 人と自然の会例会, 豊岡市・香美町 (15 名)

先山 徹, 2011.7, 青少年科学の祭典, 但馬文教府 (520 名)

先山 徹, 2011.8, 香美町ジオパークマスター養成講座 (1), 香美町文化会館 (53 名)

先山 徹, 2011.8, 香美町ジオパークマスター養成講座 (2), 香美町文化会館 (36 名)

先山 徹, 2011.8, 大地の模型を作ろう, 新温泉町ジオパーク館 (12 名)

先山 徹, 2011.8, ジオパークの石を見分けよう, 新温泉町ジオパーク館 (4 名)

先山 徹, 2011.8, 「ジオパークと地震ー建物のゆれ方や液状化をためそうー」, 新温泉町ジオパーク館 (98 名)

先山 徹, 2011.9, ジオパークと地震 建物の揺れ方と液状化をためそう, 香美町海の文化館 (65 名)

先山 徹, 2011.9, ジオパークマスター養成セミナー: 村岡・小代, 香美町村岡区中央公民館 (40 名)

先山 徹, 2011.9, ジオカフェ 日本海と香美町の大地, 香美町香住区中央公民館 (8 名)

先山 徹・山崎義人, 2011.9, 海辺散歩「岡見公園と香住の町並み」, 香美町香住区 (9 名)

先山 徹, 2011.9, ジオパークの大地の模型をつくろう, 香美町海の文化館 (5 名)

先山 徹, 2011.9, ジオパークの石を見分けよう, 香美町海の文化館 (6 名)

先山 徹, 2011.9, シンクタンク協議会研究サロン, 兵庫県シンクタンク協議会 (19 名)

先山 徹・藤本真里, 2011.9, 兵庫県立大学アカデミックツーリズム, 兵庫県立大学 (40 名)

先山 徹, 2011.10, 鉱物クラブ淡路ツアー, シニア自然大学 (30 名)

先山 徹, 2011.10, 但馬中学校理科研究会, 但馬中学校理科部会 (60 名)

先山 徹, 2011, 10, 岩美町の大地の模型を作ろう,
岩美町渚交流館 (5名)

先山 徹, 2011, 10, ジオパークと地域づくりを考え
る in 岩美, 鳥取県岩美町渚交流館 (50名)

先山 徹, 2011, 11, 湖山池周辺の石を見分けよう,
湖山池情報プラザ (14名)

先山 徹, 2011, 11, ジオカフェー山陰海岸ジオパー
クの大地を知ろう, 湖山池情報プラザ (14名)

先山 徹, 2011, 11, 神鍋の岩石, 道の駅「神鍋高原」
(30名)

先山 徹, 2011, 11, 兵庫県立大学学友会研修, 玄武
洞公園 (30名)

先山 徹, 2011, 12, 篠山層群を調べる会定例会, 玄
武洞公園～香美町海の文化館 (7名)

先山 徹, 2011, 12, ジオパークの大地の模型を作ろ
う, 琴引浜 鳴き砂文化館 (11名)

先山 徹, 2011, 12, ジオパークと地震 建物の揺れ
方と液状化をためそう, 琴引浜 鳴き砂文化館 (22
名)

先山 徹, 2011.12, いきいき学舎・フレミラ, 「宝塚
の石を見よう I」, 講師, 宝塚市・フレミラ宝塚, 20
名

先山 徹, 2011.12, いきいき学舎・フレミラ, 「宝塚
の石を見よう II」, 講師, 宝塚市・中山寺, (20名)

先山 徹, 2012, 2, 香美町ジオパークマスター養成講
座, 香美町香住区中央公民館 (52名)

先山 徹, 2012.2, 山陰海岸ジオパークの中での岩美
町, 岩美町老人福祉センター (30名)

先山 徹, 2012.3, ジオパークと防災教育: 東北地方
太平洋沖地震と兵庫県南部地震からわかったこと,
京丹後市中央公民館 (25名)

先山 徹, 2012.3, 丹波珪石と丹波マンガン, 篠山市み
たけ集会場 (8名)

兵庫県立大学・大学院教育
人と自然の共生 (分担)
ジオパークと地域 (分担)

■キャラバン事業

副担当

ひとはくジオキャラバン「おもれー山陰海岸ジオパー
ク」 in 香美町海の文化館

ひとはくジオキャラバン「おもれー山陰海岸ジオパー
ク」 in 湖山池情報プラザ

展示作成

ひとはくジオキャラバン「おもれー山陰海岸ジオパー
ク」 in 湖山池情報プラザ

ひとはくジオキャラバン「おもれー山陰海岸ジオパー
ク」 in 道の駅「神鍋高原」

セミナー担当

2011.8, ジオパークの大地の模型をつくろう. 新温泉
町山陰海岸ジオパーク館. (8名)

2011.8, ジオパークの石を見分けよう. 新温泉町山陰
海岸ジオパーク館. (4名)

2011.8, ジオパークと地震—建物のゆれ方や液状化を
ためそう—. 新温泉町山陰海岸ジオパーク館. (67
名)

2011.9, ジオパークと地震—建物のゆれ方や液状化を
ためそう—. 香美町海の文化館. (65名)

2011.9, ジオパークマスター養成セミナー: 村岡・小
代. 香美町村岡区中央公民館. (40名)

2011.9, ジオカフェー 日本海と香美町の大地. 香美町
香住区中央公民館. (8名)

2011.9, 海辺散歩「岡見公園と香住の町並み」. 香美
町香住区. (9名)

2011.9, ジオパークの大地の模型をつくろう. 香美町
海の文化館. (5名)

2011.9, ジオパークの石を見分けよう. 香美町海の文
化館. (6名)

2011.10, ジオパークの大地の模型をつくろう. 鳥取県
立山陰海岸学習館. (5名)

2011.10, 天然のガラス, ピッチストーンを探そう. 鳥
取県岩美町. (5名)

2011.10, ジオパークと地域づくりを考える i n 岩美.
鳥取県岩美町. (50名)

2011.11, ジオパークの石を見分けよう. 湖山池情報プ
ラザ. (15名)

2011.11, 神鍋の岩石と鉱物. 道の駅・神鍋高原. (60
名)

2011.12, ジオパークの大地の模型をつくろう. 琴引浜
鳴き砂文化館. (13名)

2011.9, ジオパークと地震—建物のゆれ方や液状化を
ためそう—. 琴引浜鳴き砂文化館. (20名)

■ミニキャラバン事業

2011.11.12～13, 山陰海岸ジオパークフェスティバル

■連携事業

共催事業

2011.4～2012.3, ひとはくジオセミナーin 香美町, 香美
町・山陰海岸ジオパーク推進協議会(セミナー企画・
実施)

■学校教育支援

学校団体対応

2011.11, 「鉱物の不思議体験」加東市立福田小学校,
(28名)

講師派遣

2011.10, 但馬中学校理科研究会, 但馬中学校理科部会
(60名)

■研修生等の受入

博物館実習

2名.

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計6件)

2010.4-, 山陰海岸ジオパーク推進協議会兵庫分会, 会
長, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2010.4-, 山陰海岸ジオパーク推進協議会学術部会, 委員, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2010.4-, 山陰海岸ジオパーク推進協議会運営委員, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2010.4-, 松江市誌編纂委員会松江城部会, 委員, 松江市.

2010.6-, 県立豊岡高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員, 県立豊岡高等学校.

相談・指導助言

来訪者 5 件, 10 名. 電話・FAX 相談 3 件, メール相談 5 件.

加藤 茂弘, Shigehiro KATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/研究・シンクタンク推進室
主任研究員

昭和35年岐阜県生. 東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学. 理学修士. 日本第四紀学会, 日本活断層学会, 日本人類学会, 日本地理学会, 日本地質学会, 日本地形学連合, 東北地理学会, ナイル・エチオピア学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 副室長
地域展開推進室 地域担当 (淡路地区)
広報・出版支援マネージャー

2.タスクフォース部門

20周年ふりかえり生涯学習検討部会 リーダー代理

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1.火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究
- 2.近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
- 3.地震断層の保存と活用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・修復・再生に関する研究」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎Kotaki, A., Katoh, S., Kitani, K. (2011) Correlation of middle Pleistocene crystal-rich tephra layers from Daisen Volcano, southwest Japan, based on the chemical composition and refractive index of mafic minerals., *Quaternary International*, 246 (1/2), 105-117.

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Matsushita, M. (2012) Phase-lagged warming and the disruption of climatic rhythms during the Matuyama-Brunhes magnetic polarity transition. *Gondwana Research*, 21, 595-600.

■その他著作

加藤茂弘 (2011) 「エチオピアで人類の起源を探る (シリーズ ひとつはく研究紀行)」, ひとつはく新聞 73号, p.3.
中尾賢一・加藤茂弘・川東丈純 (2011) 「描かれた地震」 (徳島県立博物館2011年度第2回企画展 展示解説書), 徳島県立博物館, 63p.

■ブログへの情報提供

2件

■研究発表

加藤茂弘・古谷 裕 (2011.8) 兵庫県氷上盆地における中期更新世以降の埋積過程と加古川-由良川間の

河川争奪. 日本第四紀学会 2011年大会, 鳴門教育大学, 鳴門市.

北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子 (2011.5) 地質時代に見られる地磁気と気候のリンク. 日本地球惑星科学連合 2011年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H., Matsushita, M. (2011.7) Geomagnetic field impact on paleoclimate: geological evidences during the Matuyama-Brunhes transition and Lower Jaramillo polarity reversal. XVIII. INQUA Congress, Bern, Switzerland.

山口 覚・窪田高宏・上田哲士・村上英記・加藤茂弘・大志万直人 (2011.5) 山崎断層系安富断層・暮坂峠断層の AMT 探査 (2010年東測線). 日本地球惑星科学連合 2011年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

戸田 茂・森岡麻衣・加藤茂弘・岡田篤正 (2011.5) 近畿トライアングル北部の横ずれ断層に伴う袋状埋積谷における反射法地震探査. 日本地球惑星科学連合 2011年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子 (2011.8) 地磁気逆転期の高精度気候復元. IUGONET 研究集会, 第179回生存圏シンポジウム「メタ情報のデータベースを利用した分野横断型地球科学研究の進展」, 京都大学理学研究科セミナーハウス, 京都市.

Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H., Matsushita, M. (2011.12). Disruption in climatic rhythm and anomalous cooling during large decreases in geomagnetic field intensity. AGU 2011 Fall meeting, San Francisco, USA.

■学会役員など

日本活断層学会, 普及教育専門委員会委員 (2010年6月~2012年5月).

日本第四紀学会, 編集委員 (2009年9月~2013年8月).

日本第四紀学会, 渉外委員会委員 (2011年9月~2013年8月).

国際地理学会 (IGU) 京都地域会議組織委員会, 日本第四紀学会代表委員 (企画・プログラム班委員) (2010年9月~2014年3月).

■助成を受けた研究

エチオピアにおける人類と類人猿化石の探索と進化的意義に関する研究. 文部科学省科学研究費基盤研究 (A), 研究分担者 (金額 338万円/平成23年度総額 1547万円).

地磁気逆転期における寒冷化イベントの発生原因の解明. 文部科学省科学研究費基盤研究 (B), 研究分担者 (金額 52万円/総額)

袋状埋積谷に着目した近畿三角帯北部域の伏在活断層の高精度評価. 文部科学省科学研究費基盤研究 (B), 研究分担者 (金額 65万円/総額)

■海外調査

- 2011.10 中国（黄土高原のレス堆積物の調査）
2012.2-3 エチオピア（チョローラ層分布域での中新世類人猿化石の探索）

2.資料収集・整理

■資料収集

- 2011.4-5 福知溪谷，福知泥炭層の泥炭および植物・昆虫化石。宍粟市一宮町。
2011.6-7 福井県三方湖東岸の100m コア中の火山灰。福井県若狭町。
2011.9 始良 Tn 火山灰と泥炭層。京都府京丹後市袖志。
2012.1-2 福井県中山低地ボーリングコア中の始良 Tn 火山灰と泥炭層ほか。福井県若狭町。
2012.2-3 エチオピア，アフアー地溝帯南部のチョローラ層中の火山灰，軽石層など。

■整理同定担当資料

- 第四紀堆積物（火山灰，ボーリングコア等，活断層・地層のはぎとり標本等）。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 加藤茂弘・先山 徹，2011.4，「春の石めぐりハイキング～播磨小富士の地層と火山豆石～」，姫路市麻生山。（41名）
加藤茂弘，2011.6，「エチオピアの大地で探る人類の起源とその背景」，人と自然の博物館。（24名）
加藤茂弘，2011.8，「地形や地層から探る兵庫の自然史～兵庫県西部編～」，人と自然の博物館。（32名）
◎加藤茂弘，2011.5，「ペーパークラフトで学ぶ火山のしくみ」，人と自然の博物館。（48名）
◎加藤茂弘，2011.7，「偏光顕微鏡で見る岩石と鉱物」，人と自然の博物館。（26名）
◎加藤茂弘，2011.11，「動く断層ペーパークラフトを作ろう」，徳島県立博物館。（128名）
◎加藤茂弘，2011.11，「ペーパークラフトで学ぶ活断層と地震」，人と自然の博物館。（12名）
先山 徹・加藤茂弘，2011.6-2012.2，「石ころクラブ」，人と自然の博物館。（全9回，128名）
先山 徹・加藤茂弘，2011.11，「秋の石めぐりハイキング～撰津峡」，高槻市撰津峡。（24名）
◎加藤茂弘・古谷 裕・上田萌子ほか，2012.1，「アンモナイト化石のレプリカ作り」，あわジオフェスティバル，淡路市国営明石海峡公園ビジター棟。（638名）
◎古谷 裕・加藤茂弘・野田富士樹（南あわじ地学研究会）ほか，2012.1，「ちいさな化石をさがそう」，あわジオフェスティバル，淡路市国営明石海峡公園ビジター棟。（40名）
加藤茂弘，2010.9，「火山灰を調べる」，平成22年度兵

庫県理科支援員研修，講師，兵庫県立人と自然の博物館。（27名）

加藤茂弘，2010.10，「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」，阪神シニアカレッジ4年生，講師，宝塚ソリオ。（148名）

加藤茂弘，2010.10，「近未来の東南海・南海地震と西南日本の内陸地震」，阪神シニアカレッジ2年生，講師，宝塚ソリオ。（99名）

加藤茂弘，2010.12，丹波恐竜化石発掘現場の解説，丹波市上久下。（75名）

加藤茂弘，2010.12，「中山寺周辺の活断層を歩く」，いきいき学舎・フレミラ 専門コース（環境・自然コース），講師，フレミラ宝塚。（29名）。

加藤茂弘，2010.12，「宝塚の活断層と大地震の長期予測」，いきいき学舎・フレミラ 専門コース（環境・自然コース），講師，フレミラ宝塚。（31名）。

加藤茂弘，2011.1，「近未来の日本列島を襲う巨大地震—南海・東南海・東海地震—」，講師，921地震教育園区，台湾。（70名）

古谷 裕・加藤茂弘，2010.6，バス見学「淡路の地層と断層」，TAMBA シニアカレッジ教養講座（地理），講師，野島断層保存館や南淡路市灘荷頃周辺。（16名）

特注セミナー

◎加藤茂弘，2011.10，「地震の揺れ方，液状化，断層の起こり方」，伊丹市立摂陽小学校3年生。（72名）

加藤茂弘，2011.12，「六甲山とその周辺の地形・地質の成り立ち」，兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生。（40名）

加藤茂弘，2011.12，「地震はどうして起こるのか」，三田市立狭間小学校6年生。（62名）

館外講演

加藤茂弘，2011.6.18，「淡路島周辺の活断層と近未来の大地震」，淡路地域ひょうご防災リーダー講座講師，洲本市文化体育館（51名）。

加藤茂弘，2011.7.10，「但馬地方とその周辺地域の活断層と近未来の大地震」，但馬地域ひょうご防災リーダー講座講師，県立但馬長寿の郷（75名）。

加藤茂弘，2011.7.30，「西播磨地域の活断層と近未来の大地震」，西播磨地域ひょうご防災リーダー講座講師，あすかホール（太子町）（71名）。

加藤茂弘，2011.8，「野島断層保存館見学会」，野島断層親子体験教室講師，北淡震災記念公園セミナーハウス（54名）。

加藤茂弘，2011.8，「活断層ペーパークラフトを作ろう」，野島断層親子体験教室講師，北淡震災記念公園セミナーハウス（54名）。

加藤茂弘，2011.12.2，「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」，阪神シニアカレッジ4年生，講師，宝塚ソリオ（88名）。

加藤茂弘，2011.12.5，「近未来の東南海・南海地震と西南日本の内陸地震」，阪神シニアカレッジ2年生，講

師、宝塚ソリオ (130名)。

加藤茂弘, 2011.12.14, 「中山寺周辺の活断層を歩く」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース (環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚 (30名)。

加藤茂弘, 2011.12.14, 「宝塚の活断層と大地震の長期予測」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース (環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚 (32名)。

加藤茂弘, 2012.1.28, 「氷上回廊の成り立ちを探る」, 講師, 氷上生涯学習センター, 丹波市, (30名)。

加藤茂弘, 2012.2.7, 「近未来の大地震を考える」, 生涯学習サポートクラブ SSC 講演会講師, 三田市中央公民館, (91名)。

■キャラバン

2011.7.5-8, 仙台復興支援 Kids キャラバン, 宮城県仙台市六郷および七郷児童館,

■ミニキャラバン事業

2011.10.15-16, ふれあいの祭典 (出展), 副担当, 神戸市中央区。

■連携事業

連携グループ等

南あわじ地学の会 (副担当)

東中国クマ集会 (副担当)

共催事業

2011.8, 夏休み企画「野島断層親子体験教室」, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス・野島断層保存館, 淡路市. (242名)

2011.10-11, 企画展「描かれた地震」, 徳島県立博物館, 徳島市. (5247名)

2011.12-2012.1, 「あわジオフェスティバル」, 国営明石海峡公園, 淡路市. (7300名)

協力事業

2012.1, 「野島断層普及講演会」, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. (61名)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6.9, 三田市立上野台中学校 1名, 同狭間中学校 1名, 同けやき台中学校 1名, ボーリングコアの整理ほか

学校団体対応

2011.12, 「六甲山と大阪湾を造り上げた活断層」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科 1年生, 人と自然の博物館. (44名)

講師派遣

2011.5.10, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校 2年生. (5名)

2011.6.7, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校 2年生. (5名)

2011.6.27, 「近未来の南海地震について」, 「液状化実験とグラリンで学ぶ耐震と免震」講師, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科 1年生 (40名)。

2011.7.26, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校 2年生. (5名)

2011.10.11, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校 2年生. (5名)

2011.11.15, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校 2年生. (5名)

2012.1.24, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校 2年生. (5名)

2012.2.7, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校 2年生. (5名)

2012.2.16, 「我々はどこから来たか」発表会, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校 2年生. (5名)

■研究生等の受入

博物館実習

2011.8.8, 鳥取大学 1名, 神戸大学 1名, つくば大学 1名。

卒論生等

2011.4.1-2012.3.31, 大学院生 2名 (京都大学大学院理学系研究科博士後期課程 1名, 同博士前期課程 1名)。

■フェスティバル等

ひとはくフェスティバル 2011 実行員会委員, ステージ・着ぐるみ担当責任者, 山陰海岸ジオパーク関連展示の作成。

2.シンクタンク事業

■受託研究

野島断層の保存・活用に関する研究 (研究代表者), 淡路市教育委員会, 金額 27 万円。

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 10回, 20名。

■行政支援

委員会等 (計 1 件)

2011.4-2012.3. 野島断層活用委員会, 委員, 淡路市教育委員会。

相談・指導助言

来訪者 20件, 30名。電話・FAX 相談 20件, メール相談 150件。

2011.4-2011.8 企画展「自然から学ぼう—災害と環境—」についての指導・助言および資料の提供, 吹田市立博物館。

2011.12 野島断層保存館内の地震断層の保存・修復作業の指導・助言, 淡路市教育委員会。

■学会開催等支援

2011.8.26-8.29, 日本第四紀学会 2011 年大会, 一般講演座長, 鳴門教育大学, 徳島県鳴門市。

古谷 裕, Hiroshi FURUTANI

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教授.

昭和27年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程単位取得満了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会, 日本地学教育学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

キッズひとはく推進室 室長

2.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース

<研究開発>

■特別課題研究(個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究
3. 子どもたちに対する地学教育に関する研究

■共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした地域コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 分担者.

■論文・著書

◎伴芙美香・佐藤裕司・古谷裕(2011) 大阪堆積盆地の更新世海成粘土層・Ma11層における *Pseudopodosira kosugii* の出現. *Diatom* (日本珪藻学会誌), 27: 46-51.

小舘誓治 八木剛 小林美樹 古谷裕 布施静香 塚本健司(2011) 兵庫県立人と自然の博物館の Kids プログラム — 「キッズひとはく推進室」のスタート. *博物館研究*, 40巻, 11号, 9-11.

■ブログへの情報提供

4件

■研究発表

加藤茂弘・古谷 裕(2011.8) 兵庫県氷上盆地における中期更新世以降の埋積過程と加古川 - 由良川間の河川争奪. 日本第四紀学会 2011年大会, 徳島.

古谷 裕(2011.10) 横倉山中大平セクションで見られる Palaeoscenediidae 科, Ceratohiscidae 科放散虫の変遷. 2011年放散虫研究集会松山大会, 松山.

古谷 裕(2011.11) 地域連携に向けた取り組みの実例 — 兵庫県立人と自然の博物館からの報告. 科学コミュニケーションに関する研究会, 理化学研究所, 神戸.

◎三枝春生, 田中里志, 池田忠広, 松原尚志, 古谷裕, 半田久美子(2011) 篠山層群の脊椎動物化石: 白亜紀の世界への窓. 兵庫県立大学シンポジウム—産学公連携による地域の活性化—, 神戸市産業振興センター, 神戸市

■助成金を受けた研究

恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者,

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.3. 岩放散虫化石酸性凝灰岩資料の収集.

■整理同定担当資料

無脊椎動物化石.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

古谷 裕, 2011.8 「地層の見方・調べ方 in 淡路」, 南あわじ市 (16名)

古谷 裕, 2011.8 「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 篠山市・丹波市 (18名)

古谷 裕, 2011.9 「丹波で地層を見る」, 丹波市, 篠山市, (13名)

古谷 裕, 2010.9 「顕微鏡で見る化石」, 丹波市. (5名)

古谷 裕, 2011.12 「南あわじで地層を見る」, 南あわじ市, (15名)

古谷 裕, 2012.2~3 「電子顕微鏡で見る化石」ひとはく, (11名)

古谷 裕, 2011.4 「オープンセミナー, 解説, 化石大集合2010」(1回, 5名)

古谷 裕, 2011.5~2012.3 「オープンセミナー, 顕微鏡で見る化石」, 博物館, (8回, 362名)

古谷 裕, 2011.8 「オープンセミナー, かんたん化石のレプリカづくり」フローラ88, (554名)

古谷 裕, 2011.8 「オープンセミナー, 解説・古生代の化石」, 丹波市 (2回, 33名)

古谷 裕・フロアスタッフ, 2011.7 「オープンセミナー, フカタン, 化石を探そう」, 博物館・深田公園, (40名)

古谷 裕, 2011.8~2011.11 「オープンセミナー, 恐竜ラボ&展示解説」, 博物館, (4回, 57名)

古谷 裕, 2011.6 「特注セミナー, 丹波の恐竜化石, ひとはくのキッズプログラム」, 私立保育園研修会, (30名)

古谷 裕, 2011.6 「特注セミナー, 丹波の地層と化石」篠山市小学校理科部会研修会 (10名)

古谷 裕, 2011.9 「特注セミナー, 丹波の地層と恐竜」, 大阪シニア自然カレッジ, (14名)

古谷 裕, 2011.9.30 「特注セミナー, 地層のはなしと石ころの見分け方」, 理科推進員研修会, (30名)

館外講演など

古谷 裕, 2011.5 「丹波の地層と化石」, 神河町立神崎公民館, 講師, (20名)

古谷 裕, 2011.7 「丹波の地層と化石」, 姫路市立香
寺健康福祉センター, 講師, (100名)
古谷 裕, 2011.7 「宝塚市民カレッジ 本科・宝塚
学コース 古生物・地質学から見た宝塚」, 宝塚市立
東公民館, 講師, (30名)
古谷 裕, 2011.9 「化石のはなしー福崎の古い地層
ー」, 福崎町立神埼郡歴史民俗資料館, (20名).
古谷 裕, 2011.11 「地域連携に向けた取り組みの実
例ー兵庫県立人と自然の博物館からの報告, (40名).
古谷 裕, 2012.2 「いきいき学舎フレミラ 街の中
で化石探し, 宝塚で見られる地層と化石」, 講師, フ
レミラ宝塚 (30名)
古谷 裕, 2012.2 「超丹波帯の時代, 古生代とは?」,
丹波市青垣公民館, 講師, (15名)

兵庫県立大学・大学院教育
共生博物学 (分担)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2011.7 「ひとはくキッズキャラバン in 仙台」, 仙台
市立六郷児童館, 仙台市立七郷児童館.
2011.8 「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」, 神戸
市立長楽児童館, 神戸市立高倉台児童館, 神戸市立
たかとり児童館, 神戸市立大黒児童館.
2011.9 「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」, 神戸
市立若草児童館,
「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」神戸市立愛垂
児童館, 神戸市立広陵児童館.
2011.12 「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」神戸
市立玉津児童館, 神戸市立八幡児童館.
2011.12 「第2回 ひとはくキッズキャラバン in 東
北」八戸市児童科学館, もぐらんぴあ・まちなか水
族館 (岩手県久慈市).
2012.2 「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」神戸
市立灘児童館.
2012.3 「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」神戸
市立夢野児童館.
2012.3 「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」神戸
市立清風児童館.
2012.3 「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」神戸
市立落合児童館.

副担当

2011.12 「ひとはくキッズキャラバン in 神戸」神戸
市立八多児童館.
2012.2 「ひとはくキッズキャラバン in 佐用」マリ
ア幼稚園 (佐用町)

■ミニキャラバン事業

2012.1, 「おゆまるを使った化石のレプリカ作り」, 国立
明石海峡公園. (650名)

■連携事業

連携グループ等

南あわじ地学の会 (主担当)
篠山層群をしらべる会 (顧問)

共催事業

2011.4~2011.5 GW フェア 「兵庫の恐竜化石ー丹波
竜の仲間たち」, 丹波の森ショッピングタウン主担当
2011.4~2011.5 「丹波竜化石工房特別展〜ゾルンホー
フェンの化石 中生代のジュラ紀の世界〜」丹波市
山南町, ちーたんの館, 主担当
2011.7.~2011.9 「歴民に化石がやってくる」ドイツ・
メッセルの化石など, 主担当.
2011.7~2011.12 「丹波竜化石工房特別展〜古生代の
生物 不思議な生き物の世界」丹波市ちーたんの館,
主担当.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6.8 三田市立長坂中学校1名, 丹波市立山南中学
校2名.

学校団体対応

2011.4 兵庫県立宝塚北高等学校, (20名)
2011.6 姫路市立曾左小学校, (160名)
2011.10 京都府立西舞鶴高等学校 (30名)
2011.11 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園, (30名)

講師派遣

2011.5~2012.3 プロジェクト学習, 講師, 兵庫県立大
学附属中学校 (5名)
2011.8 「丹波の地層と化石」講師, 丹波市小学校教
員研修会 (30名)
2011.8 「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 篠山市教育
委員会初任者研修 (15名)
2011.11 「淡路島南部の地層と化石」, 講師, 洲本市
立由良小学校 (47名).
2011.11 「淡路島南部の地層と化石」, 講師, 洲本市
立加茂小学校 (40名)
2012.2 多可町立中町中学校, 講師.

■フェスティバル等

2011.11 ひとはくフェスティバル, 「どんぐりどこと
こ」(分担者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

「断層保存館展示更新」. 淡路市. (委託金額) (分担者)
相談・指導助言
来訪者10件, 12名. 電話・FAX相談11件, メール相
談1件.

三枝 春生, Haruo SAEGUSA

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門
准教授.

昭和33年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本
人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会
等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース リーダー

<研究開発>

■特別課題研究(個人研究)

- 1.後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
- 2.恐竜を中心とした兵庫県産出の脊椎動物化石

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテ
ンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■その他著作

- ◎三枝春生(2011) タンバリュウの全身骨格は発見さ
れるか. *Milsil*, 4(2): 16-17
- ◎三枝春生(2011) ティタノサウルス形類の系譜. *Milsil*,
4(2): 22-23.
- ◎三枝春生(2011)「波」連載四回. 朝日新聞(2011.8・
25, 9.1, 9.8, 9.15)
- ◎三枝春生(2011) 第五次発掘報告. ひとく新聞(ハ
ーモニー73号: 2011.6)
- ◎三枝春生(2011) 篠山で見つかった小型羽毛恐竜の
化石.ひとく新聞(ハーモニー74号: 2011.9)
- ◎Saegusa, H. (2011) Fossils from the Tha Chang sand pits and
their bearing on the Neogene proboscidean evolution.
Program and Abstracts, World Conference on Paleontology
and Stratigraphy (WCPS2011): 2-3
- ◎三枝春生(2011) 兵庫の恐竜: 篠山層群の白亜紀前
期脊椎動物群とその意義. *温泉科学*, 61(3): 222-226.

■研究発表

- Haruo Saegusa (2011) Fossils from the Tha Chang sand pits
and their bearing on the Neogene proboscidean evolution.
World Conference on Paleontology and Stratigraphy
(WCPS2011), Nakhon Ratchasima, Thailand
- ◎Nao Kusuhashi, Haruo Saegusa, Tadahiro Ikeda, and
Satoshi Tanaka (2011) A new Early Cretaceous eutherian
mammal from the "Lower Formation" of the Sasayama
Group, Sasayama, Hyogo, Japan. International
Symposium on the Paleoclimates of the Cretaceous in

Asia and their Global Correlation -The 6th Symposium of
the International Geoscience Program IGCP 507, Beijing,
China

◎三枝春生, 田中里志, 池田忠広, 松原尚志, 古谷裕, 半
田久美子(2011)篠山層群の脊椎動物化石: 白亜紀の世界
への窓. 兵庫県立大学シンポジウム-産学公連携
による地域の活性化-, 神戸市産業振興センター,
神戸市

◎堤 之恭・三枝春生・堀江憲路・横山一己・小林文夫・白
石和行・楠橋 直(2012) ジルコン-U-Pb 年代による篠山層
群下部層の堆積年代. 日本古生物学会第161回例会, 富岡
市生涯学習センター・群馬県立自然史博物館, 富岡市
宮田和周・三枝春生・仲谷英夫・鶴崎宏明・加藤敬史・中田
敦之・服部浩史・明石拓子・半田直人・中谷大輔・大出 悟・
山田英佑・赤星仁美・關谷宗旦・村上達郎・大塚健斗・小
野寺麻由・祝 純・渡辺浩史・北川和也・坂門愛美(2012)
長崎県松浦市鷹島の「鷹島層」産白垩中新世サイ科化石.
日本古生物学会第161回例会, 富岡市生涯学習センター・
群馬県立自然史博物館, 富岡市

国府田良樹・小池 渉・三枝春生・岡村喜明・安藤寿男・飯
泉克典・宮谷忠夫(2012) 石川県輪島市下部中新統産
Stegolophodon 属(長鼻目, 哺乳綱)の臼歯化石の再検討.
日本古生物学会第161回例会, 富岡市生涯学習センター・
群馬県立自然史博物館, 富岡市

■学会役員など

- 2011.5, Quaternary International, レフェリー
- 2011.7 Paleontological Research, レフェリー
- 2012.3, Journal of Vertebrate Paleontology, レフェリー

2.資料収集・整理

■資料収集

- 2011.7, 篠山市産恐竜化石の発掘, 篠山市.
- 2011.12-2012.1, 丹波市産恐竜化石の発掘, 丹波市.
- 2012.2, 哺乳類化石の発掘, 洲本市.

■受贈担当資料

- 2010.9, 三重県鳥羽産竜脚類歯化石レプリカ, 2点.

■整理同定担当資料

- 脊椎動物化石(哺乳類, 恐竜類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎三枝春生, 2011.4-2011.7, 「オープンセミナー・解説!
丹波の恐竜化石」, 博物館. (全4回, 106名)
- 三枝春生, 2011.5, 「丹波の恐竜化石第五次発掘報告会」,
博物館. (19名)
- ◎三枝春生, 2011.6, 「化石や動物の歯のレプリカを作
ろう」, 博物館. (9名)
- 三枝春生, 2011.8, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」,
和歌山県立海南高等学校, 博物館. (41名)

三枝春生, 2011.10, 「兵庫の恐竜」, 県立有馬高等学校連携セミナー, 博物館. (39名)
三枝春生, 2011.11, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 神戸市シルバーカレッジ, 博物館. (74名)
三枝春生, 2011.11, 「三田哺乳類化石産地見学会」, 化石発掘体験広場・博物館. (12名)

館外講演など

三枝春生, 2011.7.2 兵庫県宅地建物取引業協会三田・丹波支部50周年記念講演, 「丹波竜-化石がつなぐ地域の輪-」, 兵庫県宅地建物取引業協会三田・丹波支部, 神戸三田新阪急ホテル (200名).

三枝春生, 2011.9, 竜と獣の道学「丹波の恐竜化石」, ちーたんの館. (29名)

三枝春生, 2011.9.7 「兵庫の恐竜: 篠山層群の白亜紀前期脊椎動物群とその意義」, 日本温泉科学会有馬温泉大会公開講演会, 有馬グランドホテル (150名)

三枝春生, 2011.9.25, 「篠山層群の脊椎動物化石: 白亜紀に向けて開く新たな窓」, 第6回琵琶湖博物館地学研究発表会, 滋賀大学大津サテライトプラザ (30名).

三枝春生, 2011.9, 竜と獣の道学「福井県立恐竜博物館ツアー」, 福井県立恐竜博物館. (19名)

三枝春生, 2011.11 兵庫県阪神シニアカレッジ講座, 「哺乳類の進化」, 阪神シニアカレッジ宝塚学習室(2回, 90名).

三枝春生, 徳川広和, 渡部真人, 小田隆, 對比地孝亘, 2011.10.22, パネルディスカッション「たんばでよみがえる恐竜の世界」, 恐竜化石シンポジウム in ささやま「恐竜の世界をよみがえらせる」, 篠山市, 四季の森生涯学習センター

三枝春生, 小田隆, 對比地孝亘, 渡部真人, 2011.10.23 サイエンスカフェ in ひとはく「恐竜復元画を描く方法」, 博物館

三枝春生, 2011.11.13 山南町ライオンズクラブ45周年記念事業講演, 「山南町にいた恐竜」, 山南町ライオンズクラブ, 山南町民多目的ホール (200名).

三枝春生, 2011.11.19, パネルディスカッション「恐竜との出会いとその魅力」, 丹波竜化石工房ちーたんの館1周年記念, 丹波市, やまなみホール. (50名)

三枝春生, 2012.3.4, 「化石から読み解くゾウの歴史」, 第5回ゾウオロジー〜ゾウを学ぶ, ゾウから学ぶ〜, 共催: ゾウオロジー実行委員会&恩賜上野動物園 協賛: 総研大・学融合推進センター「大型哺乳類における行動生態学と比較認知科学の融合」, 上野動物園動物園ホール. (140名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (野外実習分担)

非常勤講師

2011.7.11, 「篠山層群の脊椎動物化石: 白亜紀世界への窓」, 鹿児島大学地球環境科学専攻先端科学

ラジオ・テレビ等出演

2010.7.15, 県立丹波並木道中央公園産出の恐竜化石とその発掘調査に関するニュース, NHK, 毎日テレビ,

ABC, 関西テレビ, サンテレビ
2011.7.16, 篠山層群産デイクニコサウリア類の化石, 毎日テレビ

2011.9.30, 県立丹波並木道中央公園の発掘調査結果に関するニュース, NHK, サンテレビ

2011.12.11, 丹波の恐竜化石第6次発掘調査に関するニュース, サンテレビ

2011.12.12, 丹波の恐竜化石第6次発掘調査に関するニュース, NHK神戸

2012.3.1, 丹波の恐竜化石第6次発掘調査結果に関するニュース, NHK神戸, サンテレビ

■連携事業

連携グループ等

篠山層群をしらべる会 (主担当)

ラボーンズ (副担当)

協力事業

2011.4-2012.3, 丹波竜化石工房 (ちーたんの館) 拡充工事, 丹波市恐竜を活かしたまちづくり課 (展示監修・制作)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6.8, 三田市立長坂中学校1名, 丹波市立山南中学校2名.

■展示

企画展

2011.4.23-2011.9.4, 企画展「丹波と恐竜を知ろう 2010-第5次発掘報告」(分担者)

2011.10.1-2012.4.8, 特別企画「化石集合 2011-ジオパークを彩る化石」(責任者)

ミニ企画展

2011.7.16-2011.8.31, 「篠山層群産デイクニコサウリア類の化石」臨時展示 (責任者)

2011.10.1-, 「県立丹波並木道中央公園で発見された恐竜化石」臨時展示 (責任者)

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計2件)

2011.11-2012.3, ミエゾウ全身骨格復元検討委員会, 委員, 三重県.

2012.1. 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会委員, 篠山市.

相談・指導助言

来訪者3件, 3名. 電話・FAX相談5件, メール相談1件.

2011.4-, 丹波市山南町「ちーたんの館」, 展示指導 (株) 日展.

半田 久美子, Kumiko HANDA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和45年栃木県生. 大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 国際シンポジウム担当, 発掘担当, 山南化石工房クリーニングスタッフ支援担当

2.研究推進室部門

研究推進室 副室長, 研究企画開発マネージャー 総合共同研究・部門研究の推進および進行管理, 科研費勉強会の開催担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.新生代における植生・植物相の変遷史
- 2.花粉の形態分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■ブログへの情報提供

1件

■その他の著作物

◎半田久美子(2011)神戸層群の植物化石, 兵庫県広報誌「ニューひょうご ごこく」.

■研究発表

◎三枝春生, 田中里志, 池田忠広, 松原尚志, 古谷裕, 半田久美子(2011)篠山層群の脊椎動物化石: 白亜紀の世界への窓. 兵庫県立大学シンポジウムー産学公連携による地域の活性化ー, 神戸市産業振興センター, 神戸市

■学会役員など

- 2008.11-2011.10 日本花粉学会, 図書幹事.
2007.11-2011.10 日本植生史学会, 編集書記.
2011.6 日本第四紀学会, レフェリー.

2.資料収集・整理

■資料収集

- 2011.4-5 福知溪谷の泥炭層調査. 宍粟市一宮町.
2011.7 丹波並木道中央公園における脊椎動物化石発掘調査 篠山市西古佐
2011.12-2012.1 丹波恐竜化石第六次発掘調査 丹波市山南町.

■受贈担当資料

2011.6 高岡コレクション2 (神戸層群産植物化石). 1429点.

2011.10 神戸層群産植物化石(青木コレクション). 9点.

2011.11, 神戸層群産珪化木(西宮市山口町産). 1点.

■整理同定担当資料

植物化石, 葉脈標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2011.7, 「ボルネオジャングル体験スクール」, マレーシア. (分担者)

半田久美子, 2011.8, 「花の役割を調べよう」, 博物館. (1回, 16名)

半田久美子, 2012.3, 「植物化石のクリーニング入門編」, 博物館. (1回, 6名)

半田久美子, 2012.3, 「花粉のはなし」, 香美町小代物産館. (7名)

◎半田久美子, 2011.4-2012.3, 「ちいさな化石をさがそう」, 博物館 (3回, 94名)

館外講演

半田久美子, 2011.8 「福知溪谷の地質の不思議」, 宍粟市 森と水の地球環境大学, 講師, 福知溪谷休養センター (40名).

半田久美子, 2011.9 「恐竜時代の植物たち」, 竜と獣の道学, 講師, 丹波並木道公園 (23名).

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6.7-6.10 三田市立長坂中学校 1名, 丹波市立山南中学校 2名.

学校団体対応

2011.4 兵庫県立大学附属中学校 1年生 (40名).

2011.9 尼崎市立塚口中学校 (238名)

2011.10 加古川市立山手中学校 (176名)

■展示

企画展

2011.4 展示特別企画「丹波と恐竜を知ろう 2011-第5次発掘報告-」(分担者)

2011.10 展示特別企画「化石集合 2011-ジオパークを彩る化石-」(分担者)

ミニ企画展

2011.7-8 植物化石展「神戸層群から産出した珪化木」須磨離宮公園

2011.8 「神戸層群の植物化石」福崎町

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等(計1件)

2011.7-2012.3 加東市とひとはく協力協定連携推進会議委員

相談・指導助言

来訪者2件, 3名. 電話・FAX相談3件, メール相談
1件.

松原 尚志, Takashi MATSUBARA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／研究・シンクタンク推進室
主任研究員

昭和43年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科地学専攻
単位取得退学. 博士(理学). 日本古生物学会,
Paleontological Society (United States), 日本貝類学会, 日本
地質学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

企画調整室 副室長

地域展開推進室 地域展開担当(但馬). ひとつはくジオ
キャラバン in 香美町海の文化館 副担当, ひとつはく
ジオキャラバン in 道の駅神鍋高原 分担. 山陰海岸
ジオパークフェスティバル 2011 イベント支援. 香美
町ジオセミナーの開催.

2. タスクフォース

展示特別企画「丹波と恐竜を知らう 2011〜第5次発掘
報告〜」, 「化石集合 2011〜ジオパークを彩る化石〜」
分担者. ポスター・チラシのデザイン. 展示作製分
担. シンポジウム「恐竜の世界をよみがえらせる」
記録写真撮影.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 新生代貝類の分類・古生態・古生物地理に関する研究
2. 日本の古生物学史に関する研究

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割―持
続可能なサポートシステム構築に関する研究―(平
成22年〜24年度)」, 研究分担者.

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方
に関する研究(平成23年度)」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コン
テンツの探索とその活用に関する研究(研究期間:平
成23年度〜24年度)」, 研究分担者.

■論文・著書

Matsubara, T. (2011) Valid name for *Venericardia compressa*
Yokoyama, 1890 (Bivalvia: Carditidae) revisited.
Paleontological Research, 15, 290-291.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘・天野和孝(2011)
東京大学総合研究博物館所蔵の新生代化石貝類タイ
プ標本図説. 11. カキ上科(二枚貝綱). ちりばたん,
41, 138-151.

■その他著作

松原尚志(2011)岡山県南西部, 浪形地域に分布する
「中新統」浪形層の貝類化石群. 日本地質学会第118
年学術大会・日本鉱物学会2011年学術大会合同学術大会

(水戸大会)講演要旨集(セクションB), 132.

Matsubara, T. (2011) Illustrated catalogue of molluscan and
other taxa of Professor Kenshiro Ogasawara. In:
Motoyama, I., Fujiwara, O. and Matsubara, T. eds.,
Publication in Commemoration of Professor Kenshiro
Ogasawara's Retirement (小笠原憲四郎教授記念誌),
p. 21-38, i, pls. 1-4. c/o Faculty of Science, Yamagata
University, Yamagata.

■研究発表

松原尚志・野呂一恵・入月俊明・松浦康隆(2011) 島
根県隠岐諸島島前西ノ島に分布する中新統市部層の
貝類化石群. 日本古生物学会2011年学術大会・総会,
金沢大学, 金沢.

松原尚志(2011)岡山県南西部, 浪形地域に分布する
「中新統」浪形層の貝類化石群. 日本地質学会第118
年学術大会・日本鉱物学会2011年学術大会合同学術大会
(水戸大会), 茨城大学, 水戸.

松原尚志(2012)西南日本の古第三系産イトグルマガ
イ属(腹足綱:オニコブシガイ科)の分類と古生態.
日本古生物学会第161回例会. 富岡市生涯学習セン
ター, 富岡.

松原尚志(2012)日本産古第三紀現生 Crassatellidae に
ついて. 日本古生物学会第161回例会夜間小集会.
富岡市生涯学習センター, 富岡.

奥村よほ子・大石雅之・吉田充・真鍋 真・間嶋隆一・
遠藤大介・高桑祐司・永広昌之・加納 学・小林快
次・川村寿郎・菊池佳子・千葉和昌・金子尚知・小
池 渉・細谷正夫・横山一巳・立澤富朗・佐藤たま
き・川辺文久・伊左治鎮司・加藤久佳・大島光春・
佐藤哲哉・樽 創・河本和朗・高橋みどり・大路樹
生・川端清司・先山 徹・松原尚志・澤田結基・大
橋智之(2012)陸前高田市立博物館地質標本救済事
業報告. 日本古生物学会第161回例会特別ポスター
発表. 富岡市生涯学習センター, 富岡.

◎三枝春生, 田中里志, 池田忠広, 松原尚志, 古谷裕, 半
田久美子(2011)篠山層群の脊椎動物化石:白亜紀の世
界への窓. 兵庫県立大学シンポジウム―産学連携
による地域の活性化―, 神戸市産業振興センター,
神戸市

■学会役員など

日本貝類学会, 「ちりばたん」編集委員.
日本地質学会「地質学雑誌」特集号編集委員.

■助成を受けた研究

日本産古第三紀内湾性貝類化石群の時代的変遷に関
する研究. 科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者
(金額60万円/220万円).

中国地方における第三系の年代と地質学的背景の再
検討. 科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者(研
究代表者:澤田順弘(島根大学))(金額7万円/330
万円)

最古の現生種化石記録から探る現生貝類群集の成立:
その時期と古環境背景. 科学研究費補助金基盤研究

(C), 研究分担者(研究代表者:近藤康生(高知大学)).
(金額 13 万円/240 万円)

明治・大正・昭和前期の論文に記載された古生物証拠標本の所蔵調査. 科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者(研究代表者:伊藤康弘(東京大学)). (金額 25 万円/390 万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.10 浦幌層群産貝類化石. 北海道釧路市.
2011.10 石狩層群産貝類化石. 北海道夕張市・岩見沢市.
2012.3 佐世保層群産貝類化石. 佐賀県玄海町.

■整理同定担当資料

新生代貝類化石.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

松原尚志, 2011.5, 「ひとはくで見る化石」, 人と自然の博物館. クラーク記念国際高等学校芦屋校 (23 名)
松原尚志, 2011.8, 「アンモナイトの化石をクリーニングしてみよう」, 人と自然の博物館. (10 名)
松原尚志, 2011.9, 「小さな化石の抽出と観察」, 人と自然の博物館. (3 名)
松原尚志, 2011.10, 「但馬の化石をさぐる」, 香美町香住区中央公民館 (10 名)
◎松原尚志, 2011.11, 「但馬の貝化石のレプリカをつくろう」, 博物館. (全4回, 40 名)
◎松原尚志, 2011.11, 「但馬の貝化石のレプリカをつくろう」, 道の駅神鍋高原. (15 名)
◎松原尚志, 2011.9-2012.2, 「解説! 丹波の恐竜」, 博物館. (全5回, 88 名)

館外講演など

松原尚志, 2011.11, 「兵庫の化石」, 竜と獣の道学連続セミナー, 講師, たんば恐竜・ほ乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会, 人と自然の博物館 (13 名).

■キャラバン事業

副担当

2011.9 但馬地区 テーマ「ひとはくジオキャラバン in 香美町海の文化館」

セミナー担当

2011.10 但馬地区 「但馬の貝化石のレプリカをつくろう」. 道の駅神鍋高原 (講師・企画運営)

■地域研究員養成事業

共催事業

ひとはくジオキャラバン, 分担者. 山陰海岸ジオパーク推進協議会.
ひとはくジオセミナーin 香美町, 分担者. 香美町教育委員会, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.

竜と獣の道学連続セミナー, 分担者. たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会.

■学校教育支援

学校団体対応

2012.8, 岡山大学理学部 (38 名).

■研究生等の受入

博物館実習

2011.8.6-8.7, 神戸大学理学部 1 名, 鳥取大学地域学部 1 名, 筑波大学生命環境系群地球学系 1 名.

■フェスティバル等

2011.11 ひとはくフェスティバル, 「但馬の貝化石のレプリカをつくろう!」(責任者).

■展示

企画展

2011.4.23-2011.9.4, 展示特別企画「丹波と恐竜を知ろう 2011〜第5次発掘報告〜」(分担者).
2011.10.1-2012.4.8 「化石集合 2011〜ジオパークを彩る化石〜」(分担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 4 回, 10 名.

■相談・指導助言

来訪者 2 件, 5 名. 電話・FAX 相談 5 件, メール相談 15 件.

■学会開催等支援

2012.1 日本古生物学会第 161 回例会夜間小集会「現生種最古の化石記録を探る: 貝類版 EOS 計画」, 富岡市生涯学習センター, 世話人.

■招聘等

2011.8 陸前高田市立博物館地質標本救済事業 (第 1 次). 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会. 派遣専門家. 旧陸前高田市立生出小学校, 陸前高田.
2011.10 陸前高田市立博物館地質標本救済事業 (第 2 次). 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会. 派遣専門家. 旧陸前高田市立生出小学校, 陸前高田.

池田 忠広, Tadahiro IKEDA

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ
研究員

昭和53年鹿児島県生。鹿児島大学大学院理工学研究科博士課程生命物質システム修了。理学博士。日本古生物学会、日本爬虫両棲類学会、Society of Vertebrate Paleontology 所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 丹波地域担当

2.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース サブリーダー

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

- 1.下部白亜系篠山層群産小型両生爬虫類化石の分類学的研究
- 2.日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「地域課題解決型の博物館実習プログラムの構築 ～丹波地域における実証実験～」, 研究分担者。

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者。

■研究発表

池田忠広 (2011) 日本のプレパレーションの現在。日本古生物学会。2011年年会 金沢大学

◎Nao Kusuhashi, Haruo Saegusa, Tadahiro Ikeda, and Satoshi Tanaka (2011) A new Early Cretaceous eutherian mammal from the “Lower Formation” of the Sasayama Group, Sasayama, Hyogo, Japan. International Symposium on the Paleoclimates of the Cretaceous in Asia and their Global Correlation -The 6th Symposium of the International Geoscience Program IGCP 507, Beijing, China

◎三枝春生, 田中里志, 池田忠広, 松原尚志, 古谷裕, 半田久美子(2011)篠山層群の脊椎動物化石: 白亜紀の世界への窓。兵庫県立大学シンポジウムー産学公連携による地域の活性化ー, 神戸市産業振興センター, 神戸市

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.7 丹波並木道中央公園における脊椎動物化石発掘調査 篠山市西古佐

2011.12-2012.1 丹波恐竜化石第六次発掘調査 丹波市山南町。

■整理同定担当資料

小型両棲爬虫類化石 (カエル類, トカゲ類, ヘビ類)

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎池田忠広, 2011.4-12, 「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館。(全5回, 101名)

池田忠広, 2011.4,8,9, 2012.2, 「恐竜について勉強しよう～丹波の恐竜化石発見～」, 博物館。(全4回, 400名)

池田忠広, 2011.5, 「へびの世界」, 博物館。(全1回, 4名)

池田忠広, 2011.6, 「篠山層群から産出した小型脊椎動物化石」, 博物館。(全1回, 3名)

池田忠広, 2011.7, 「篠山層群から産出した恐竜化石」, 博物館。(全4回, 201名)

池田忠広, 2011.7, 「カエルの世界」, 博物館。(全1回, 11名)

古谷裕, 高野温子, 沢田佳久, 池田忠広, 2011.7, 「収蔵庫見学」, 博物館。(全1回, 21名)

池田忠広, 上田萌子, 2011.8, 「竜と獣の道学 恐竜時代の動物たち」, 篠山市黒豆の館。(全1回, 24名)

◎池田忠広, 三橋弘宗, 山崎義人, 2011.8, 「展示解説と化石のレプリカ作り」, 丹波竜化石工房。(全5回, 140名)

◎池田忠広, 2011.9, 2012.2, 「展示・恐竜ラボ解説」, 博物館。(全4回, 267名)

徳川広和, 佐藤裕司, 池田忠広, 2011.10, 「恐竜復元模型をつくろう」, 博物館。(全1回, 16名)

◎池田忠広, 篠山層群をしらべる会, 2011.11, 「君も発掘調査隊員!! 丹波の恐竜化石を探しだそう」, 博物館。(全4回, 150名)

池田忠広, 2012.3, 「丹波の恐竜とちいさな生きもの化石」, (全1回, 35名)

館外講演など

池田忠広, 2011.8, 「恐竜について勉強しよう～丹波の恐竜化石発見～」, 篠山市役所西紀支所。(全1回, 30名)

三枝春生・池田忠広, 2011.6, 「サイエンスカフェ・丹波の恐竜化石」, 丹波市山南住民センター。(全1回, 20名)

池田忠広, 2011.8, 「篠山層群から産出した恐竜化石」, 丹波竜化石工房。(全1回, 28名)

池田忠広, 2011.8, 「恐竜について勉強しよう～丹波の恐竜化石発見～」, 宝塚アピアホール。(全1回, 6名)

◎池田忠広, ラボーンズ 2011.11, 「恐竜化石発掘体験会」, 丹波市青垣。(全1回, 40名)

池田忠広, 2012.3, 「サイエンスカフェ・篠山層群から産出した恐竜化石」, 県立伊川谷北高等学校。(全1回, 16名)

非常勤講師

2011.5 「篠山層群から産出している恐竜化石」, 兵庫県立大学山南スタジオ.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6.7-6.8, 三田市立長坂中学校 1 名, 丹波市立山南中学校 2 名.

学校団体対応

2011.4, 追手門小学校 6 年生 (163 名).

2011.9, 尼崎市立武庫川小学校 3 年生 (160 名).

2012.2, 川西市桜が丘小学校 3 年生 (49 名)

2012.2, 川西市多田小学校 (107 名)

講師派遣

2011.8 「篠山層群から産出した恐竜化石」, 講師, 丹波市教職員. (28 名).

2012.3 「サイエンスカフェ・篠山層群から産出した恐竜化石」, 講師, 県立伊川谷北高等学校 2,3 年生. (16 人)

■研究生等の受け入れ

博物館実習

2011.8.13.岡山理科大学理学部学生 1 名. 鳥取大学地域学部 1 名, 農学部 1 名. 甲南女子大学文学部 1 名. 近畿大学農学部 1 名. 関西学院大学文学部 1 名. 筑波大学生命環境学群 1 名. 神戸学院大学人文学部 1 名. 神戸大学理学部 1 名. 琉球大学理学部 1 名.

■フェスティバル等

2011.10.22,23, シンポジウム「恐竜の世界をよみがえらせる」(分担者).

■展示

企画展

2011.4.23-2011.9.04, 展示特別企画「丹波と恐竜をしろう 2011—第五次発掘報告—」(責任者).

2011.10.01-2012.4.08, 展示特別企画「化石集合 2011—ジオパークを彩る化石—」(分担者).

ミニ企画展

2011.7.16-2011.8.31, 臨時展示「篠山層群産ダイノコサウルス類の化石」(分担者).

2011.10.08-2011.10.23, 臨時特別展示「ひとはくに恐竜フィギュアがやってくる ~恐竜復元作家・徳川広和の世界~」(責任者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 1 回, 21 名.

■行政等支援

委員会等 (計 5 件)

丹波市役所 恐竜を活かしたまちづくり課・丹波市教育委員会編 「丹波の恐竜と大地の秘密」 監修

たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会編「たんば恐竜化石マップ 2012」 監修

篠山市教育委員会社会教育・文化財課編「?からはじ

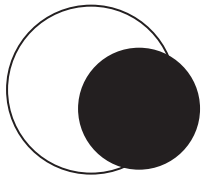
まる」 監修

丹波市丹波竜化石工房 (ちーたんの館) の展示指導, クリーニング技師・ボランティア作業員に対する技術指導

篠山市教育委員会化石保護技術員・ボランティア作業員に対する技術指導

相談・指導助言

来訪者 3 件, 4 名.



個人別成果報告に関する資料 No. 2

● 自然・環境評価研究部 森林多様性研究グループ／
昆虫共生系研究グループ

高橋 晃, Akira TAKAHASHI

自然・環境評価研究部
森林多様性研究グループ／生涯学習推進室
研究部長
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部
門 教授.
昭和 29 年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士課程
単位取得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類
学会, 植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学
会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

総合調整

2.研究開発部門

自然・環境評価研究部 部長
研究部における諸事業推進の統括

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.兵庫県内各地の植物の分類・地理学研究
- 2.木本植物の組織形態学・解剖学的研究
- 3.植物を素材とする自然史教育・環境学習の展開

■共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究代表
者.

■その他著作

- ◎高橋 晃 2011.12 兵庫県三田市の植物. 人と自然,
no. 22, 103-149.
- ◎布施静香・山本伸子・高橋 晃 2011.12 東日本大
震災により被災した植物標本のレスキュー —兵
庫県立人と自然の博物館が果たした役割—. 人と自
然, no. 22, 53-60.

■研究発表

布施静香・山本伸子・高橋 晃 2012.3 津波被害に
より被災した植物標本の修復法. 日本植物分類学会
第 11 回大会, 大阪学院大学, 大阪.

■学会役員など

日本植物分類学会第 11 回大会準備委員会委員長.
日本植物学会第 76 回姫路大会準備委員会委員

■助成を受けた研究

恐竜発掘を素材にした、地域と博物館をつなぐ学習プ
ログラムの構築, 科学研究費・基盤研究 (C), 研究
分担者. (分担金 10 万円／総額 110 万円)

恐竜発掘を素材にした、地域と博物館をつなぐ学習プ
ログラムの構築, 科学研究費・基盤研究 (C), 研究
分担者. (分担金 10 万円／総額 110 万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

- 2011.5 種子植物, 但馬の山間部.
- 2011.6 種子植物, 熊本県南部.
- 2011.10 種子植物, 東京都奥多摩地域.
- 2011.11 種子植物, 三田市内

■受贈担当資料

- 2011.8.24 材鑑プレパラート標本 (2006 北薩), 森林
総合研究所, 交換, 192 点.
- 2011.8.25 材鑑プレパラート標本 (2007 徳之島), 森
林総合研究所, 交換, 98 点.
- 2011.9.10 材鑑証拠さく葉標本 (2011 熊本), 森林総
合研究所, 交換, 198 点.
- 2011.9.10 材鑑標本 (2011 熊本), 森林総合研究所,
交換, 146 点.
- 2011.10.26 材鑑証拠さく葉標本 (2011 奥多摩), 森林
総合研究所, 交換, 117 点.
- 2011.11.30 材鑑標本 (2011 奥多摩), 森林総合研究所,
交換, 90 点.
- 2011.12.23 各地の自然関係図書, 安枝志朗, 寄贈, 10
点.

■整理同定担当資料

種子植物 (日本産、外国産)、材鑑標本・プレパラート
標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎高橋 晃 2011.4 オープンセミナー, ボルネオ、熱帯の
めずらしい生きもの, (3回). 博物館 (73名)
- 高橋 晃・布施静香 2011.4 植物リサーチクラブ 植物を
調べて展示に挑戦! 1. 博物館 (8名)
- 高橋 晃 2011.5 熱帯雨林の生き物と保全の現状. 高交連
携セミナー, 有馬高校 (41名)
- 高橋 晃・布施静香 2011.5 植物リサーチクラブ 植物を
調べて展示に挑戦! 2. 博物館 (8名)
- 高橋 晃・布施静香 2011.5 香美町、海と山のジオパーク
ツアー (2日間). 香美町 (31名)
- 高橋 晃・布施静香 2011.7 植物リサーチクラブ 植物を
調べて展示に挑戦! 3. 博物館 (9名)
- 布施静香・高橋 晃 2011.7 夏の山陰海岸〜ユウスゲと海
岸の花々. 香美町 (25名)

高橋 晃・半田久美子・北村俊平・八尾滋樹・本多淳二
2011.7.8 第13回ボルネオジャングル体験スクール, マレーシア・サハ洲. (28名)

高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ 2011.10 植物画を描こう1&2, 博物館. (16名)

◎高橋 晃 2011.10 オープンセミナー, 落ち葉をはりつけ絵をかこう, 博物館. (52名)

高橋 晃・布施静香・高野温子 2011.11 植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!4. 博物館. (10名)

◎橋本佳明・高橋 晃・布施静香・北村俊平 2011.11 オープンセミナー, 生物系収蔵庫ツアー, 博物館. (27名)

高橋 晃・布施静香・高野温子 2011.12 植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!5. 博物館. (9名)

高橋 晃・布施静香・高野温子 2012.2 植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!6. 博物館. (10名)

布施静香・高橋 晃 2012.2 植物リサーチクラブ2ー標本庫の利用法と調べ方1. 博物館. (10名)

布施静香・高橋 晃・高野温子 2012.3 植物リサーチクラブ2ー標本庫の利用法と調べ方2. 博物館. (4名)

◎高橋 晃・橋本佳明・布施静香・北村俊平 2012.3 オープンセミナー, 生物系収蔵庫ツアー, 博物館. (40名)

館外講演など

高橋 晃 2011.6 但馬の絶滅危惧植物, 講師, みてやま学園専門講座B, 但馬文教府. (35名)

高橋 晃 2011.6 博物館とボランティアの協働について. 講師, 第1回夢資料館フォーラムーみんなで作ろう新しい資料館ー, 「参加型資料館とは」, 亀岡市文化資料館, 京都府亀岡市. (28名)

非常勤講師

2010.4-2010.7 系統分類学, 関西学院大学理工学部.

兵庫県立大学・大学院教育

2011.6 環境人間学研究科担当科目「生物多様性特別演習」, (主任)

2011.4-2012.3 全学 総合教育推進委員会委員

2012.1-2012.3 全学 人権啓発委員会委員

2011.4-2012.3 環境人間学研究科 教務委員会委員

2011.4-2012.3 環境人間学研究科 キャリアデザイン委員会委員

非常勤講師など

2011.4-2011.9 系統分類学, 関西学院大学理工学部

ラジオ・テレビ等出演

2011.6 津波被害にあった標本を救おう展解説, サンテレビ.

■連携事業

連携グループ等

GREEN GRASS (アドバイザー, 主担当: 植物画研究会、主催事業等運営支援)

ハチ北高原自然協会 (アドバイザー, 主担当: 自然案内人講座等運営支援)

地域研究員: 福岡忠彦 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 西野雅満 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 西野真美 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 林 美嗣 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 法西 浩 (アドバイザー, 副担当)

地域研究員: 増井啓治 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 松岡成久 (アドバイザー, 主担当)

成果発表

2012.2 第7回共生のひろば, アリに種子を運ばせる植物たち, 藤井真理・小坂あゆみ・増井啓治 (植物リサーチクラブ アリさんチーム) (指導・助言)

2012.2 第7回共生のひろば, ひつつきむしの世界, 松岡成久・西野真美・福岡忠彦・林美嗣・小谷裕子 (植物リサーチクラブ ひつつきむしチーム) (指導・助言)

2012.2 第7回共生のひろば, しらべてみよう「飛ぶ」植物の種子, 西野雅満・小林秀子・林美嗣 (植物リサーチクラブ 飛ぶチーム) (指導・助言)

共催事業

2011.2-2011.4 ミニ企画展「植物画で語るキョスミウツボの生活」, ひとくはく連携活動グループ GREEN GRASS (展示製作・運営アドバイザー).

2011.4 ミニ企画展関連講座「けったいな植物キョスミウツボにとりつかれた人々」, ひとくはく連携活動グループ GREEN GRASS (企画・運営)

協力事業

2011.6-2012.3 平成22年度六甲山環境整備協議会「二つ池環境学習林」の指導者派遣, 六甲山記念碑台周辺, 六甲山を活用する会 (アドバイザー).

2012.1 冬の六甲山「子どもパークレンジャーを目指そう!」, 六甲山小学校・記念碑台周辺, 六甲山を活用する会 (アドバイザー).

■学校教育支援

学校団体対応

2011.9 兵庫の生物多様性, 兵庫県立大学附属高校, 博物館. (17名)

2011.12 世界一の木の話, 尼崎市立杭瀬小学校, 博物館. (77名)

講師派遣

高橋 晃 2011.1 熱帯の生き物ーその多様性と進化, 講師, 科学の達人招へい事業・丹波市立市島中学校. (112名)

■研究生等の受入

博物館実習

研修生

2011.10.23 JICA 研修: 生物多様性保全のための野生動物問題解決手法コース, 博物館資料の保存と管理, 講師, EnVision 環境保全事務所.

■フェスティバル等

2011.11 ひとくはくフェスティバル, 着ぐるみ運営担当

2012.2 第7回共生のひろば, 茶話会準備担当

■展示

ミニ企画展

2011.2-4 植物画で語るキョスミウツボの生活展 (共催事業, 主担当)

2011.6-9 ひとくはくの被災地支援ー津波被害にあった

標本を救おう展（副担当）

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 5回, 88人

委員会等（計4件）

2011.4 環境省版レッドデータブック兵庫県主任調査員, 環境省自然環境局.

2011.4 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局.

2011.4 県立北摂三田高校評議員.

2011.4 六甲山環境整備協議会, アドバイザー, 六甲山を活用する会.

相談・指導助言

電話・メール・手紙等による相談 8件(5名)

来訪者 5名

■学会開催支援

2012.3 日本植物分類学会第11回大会 開催準備委員会・大会運営（大阪学院大・吹田市）. 225名.

秋山 弘之, Hiroyuki AKIYAMA

自然・環境評価研究部
森林・昆虫研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授.
昭和31年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本蘚苔類学会, 米国蘚苔類学会, 英国蘚苔類学会, 米国植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

ひとはく 20周年記念事業委員会事務局

2.タスクフォース

マーケティングタスクフォース リーダー, ひとはく
手帖広告協賛, 新組織立案担当

3.研究開発部門

研究関係とりまとめ担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1.近畿地方における絶滅危惧蘚苔類の調査
- 2.東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究
- 3.タイ国インタノン山蘚類相の研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

Akiyama, H. (2011). Contributions to the Moss Flora of Borneo, 1. A new species, *Dimorphocladon echinocarpum* (Symphyodontaceae, Musci), with unique multicellular exothecial spines. *Acta Phytotax. Geobot.* 62(1): 55-63.

Akiyama, H. & B. Goffinet. (2011). *Indopottia irieandoana* sp. nov. (Pottiaceae) from Northern Thailand. *J. Bryol.* 32(2): 122-129.

Akiyama, H., Y. Chang, T. Yamaguchi & B. C. Tan. (2011). *Yakushimabryum longissimum* (Pylaisiadelphaceae) gen. & sp. nov., from the Yakushima Island, Japan. *J. Bryol.* 32(1): 42-49.

Akiyama, H., T. Furuki, K. Sri-ngernyuang & M. Kanzaki. (2011). Alphabetical list of bryophytes occurring in a 15ha long-term monitoring plot at Doi Inthanon, northern Thailand. *Bryol. Res.* 10 (4): 153-164.

秋山弘之 (2011). ケゼニゴケ複合体 (ケゼニゴケ科, 苔類) の倍数性と種分化. *分類* 11(2): 121-138.

秋山弘之 (2011). アジア産蘚苔類の分類・生態ノート 23. 三重県松阪市から見つかった日本新産種 *Rhabdoweisia crenulata* ヒロハヤスジゴケ (シッポゴケ科). *蘚苔類研究* 10(4): 89-92.

秋山弘之 (2011). アジア産蘚苔類の分類・生態ノート 24. 三重県松阪市から見つかった日本新産の *Schofieldiella micans* ウツクシツヤシメリゴケ (ハシボソゴケ科). *蘚苔類研究* 10(4): 93-96.

秋山弘之 (2011). アジア産蘚苔類の分類・研究ノート 22. 日本産コモチイトゴケ科, 特にヤクシマコモチイトゴケについて. *分類* 11(1): 27-34.

秋山弘之 (2012). アジア産蘚苔類の分類・研究ノート 25. 近畿地方から見つかったイトウロコゴケ. *蘚苔類研究* 10(7): 221-222.

秋山弘之 (2012). アジア産蘚苔類の分類・研究ノート 26. 日本産ネジレイトゴケから新たに見つかった3細胞性無性芽と早落性小枝. *蘚苔類研究* 10(7): 223-225.

■著書

「コケはともだち」 秋山弘之 (監修)・藤井久子 (著) リトルモア (東京).

■その他著作

秋山弘之 (2011). 日本の貴重なコケの森「芦生演習林」. *蘚苔類研究* 10(4): 99-101.

秋山弘之 (2011). 日本の貴重なコケの森「赤目溪谷 (赤目四十八滝)」. *蘚苔類研究* 10(4): 102-104.

秋山弘之 (2011). 第8回マレーシア植物誌シンポジウム (Flora Malesiana Symposium 8 シンガポール植物園) の報告. *蘚苔類研究* 10(3): 63-64.

秋山弘之 (2011). 書評 *Gathering Moss---A Natural and Cultural History of Mosses*. *蘚苔類研究* 10(4): 105-107.

秋山弘之 (2011). 書評 *Mosses and Liverworts (Collins New Naturalist Series)* *蘚苔類研究* 10(4): 108.

秋山弘之 (2011). 朔壁に多細胞性のトゲを持つ *Dimorphocladon* 属 (蘚類) の新種. *蘚苔類研究* 10(6): 169-170. (講演要旨)

秋山弘之 (2012). 新・コケ百選 第9回 キンシゴケ科 (セン類). *蘚苔類研究* 10(7): 230-233.

■ブログへの情報提供

31件

■研究発表

秋山弘之 (2011.2). 蘚苔類のハビタット分化と種多様性: インタノン山と屋久島の研究事例から. 国際ワークショップ「雲霧林と林冠部を探る: 林冠部研究の包括化を目指して」 京都大学.

秋山弘之 (2011.7). コケ植物と菌類. シダとコケの会 第167回例会 (大阪).

秋山弘之 (2011.8). 朔壁に多細胞性のトゲを持つ *Dimorphocladon* 属 (蘚類) の新種. *蘚苔類学会* 第40回奈良大会.

秋山弘之 (2012.3). 学会賞受賞記念講演「白山, セラム, ボルネオ, そしてこれから」 日本植物分類学会 第11回大阪大会.

■学会役員など

日本植物分類学会 評議員, 編集委員.

日本蘚苔類学会 会長, 編集委員.

公益財団法人平岡環境科学研究所 監事.

京都府希少野生生物生息地等保全地区検討委員
環境省希少野生動植物保存推進員

International Association of Bryologists, Council
(2012-2016)

日本植物分類学会第11回大会, 事務局・会場担当.

■賞罰

第11回日本植物分類学会学会賞 (2012.01.24)

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 蘚苔類 (三田市、宝塚市、西宮市、
神戸市、篠山市、香美町、南光町)

2011.8-2012.3 蘚苔類 (京都府)

■整理同定担当資料

植物 (蘚苔類、菌類).

緊急雇用による資料整理 (蘚苔類) の監督/指導

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

秋山弘之, 2011.7 「夏のキノコかんさつ 一庫公園」
博物館 (全1回, 17名)

秋山弘之 2011.9 「ハチ北高原 秋の自然観察エコ
ツアー」 香美町 (全2回, 20名)

秋山弘之, 2011.10 「秋のキノコかんさつ1 神戸」
神戸市 (全1回, 19名)

秋山弘之, 2011.10 「コケ植物をみてみよう」 神戸
市 (全1回, 9名)

秋山弘之, 2011.10 「秋のキノコかんさつ2 有馬富
士公園」三田市 (全1回, 22名)

◎秋山弘之, 2011.5 「オープンセミナー ツノゴケ
をみてみよう」博物館 (全1回, 49名)

◎秋山弘之, 2011.10 「オープンセミナー キノコの
ことがよくわかる」博物館 (全1回, 52名)

◎秋山弘之, 2012.3 「オープンセミナー かたいキ
ノコをさわってみよう」博物館 (全1回, 69名)

館外講演など

秋山弘之, 2011.11 「観る知る感じる紅葉のつどい(キ
ノコ観察と講演)」丹波少年の家 47名

兵庫県立大学・大学院教育

「人と自然の共生」(分担 3回)

講師派遣

秋山弘之, 2011.6 兵庫県立柏原高等学校 6名

秋山弘之, 2011.10 兵庫県立柏原高等学校 6名

■フェスティバル等

2011.11 ひとつはくフェスティバル, 場内整理ならびに
着ぐるみ介助担当

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計3件)

2011.4- 環境省絶滅危惧植物 (蘚苔類) 調査担当委

員

2011.4- 環境省希少野生動植物保存推進員

2011.8- 京都府レッドデータブック専門委員

相談・指導助言

来訪者12件, 16名. 電話・FAX相談11件, メール相
談13件.

■学会開催等支援

2011.3 日本植物分類学会第11回大阪大会 実行委員
会委員 (講演要旨集・プログラム編成担当).

高野 温子, Atsuko TAKANO

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/研究・シンクタンク推進グループ

主任研究員

昭和46年大阪府生. 大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 米国植物分類学会他所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 副室長 関係 HP 更新、展示品カタログ作成、京丹後ジオキャラバン担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ショウガ科の分類学的研究
2. 兵庫県産植物の分類学的研究

■その他著作

メルマガ 友常永太郎植物コレクションのみどころ

■ブログへの情報提供

5件

■学会役員など

Malayan Nature Journal レフェリー
Journal of Plant Research レフェリー
Molecular Ecology Research レフェリー

2.資料収集・整理

■寄贈担当資料

2011. 8. 兵庫県産維管束植物(江村伸一コレクション 2011)

■整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

布施静香・高橋晃・高野温子, 2012.2.-2012. 3, 「リサーチクラブ標本の作り方」, 博物館. (全2回, 15名)
高野温子, 2012.2, 「ドレミの鳴き砂体験」, 博物館. (51名)

■キャラバン事業

主担当

2011.10-2012.1 道の駅てんきてんき 琴引浜ジオキャラバン先行展示

2011.12-2012.1 琴引浜鳴き砂文化館 ジオキャラバン

副担当

2012.1-3 博物館 ジオキャラバン報告展示

展示作成

ジオキャラバン はてなボックス準備

■ミニキャラバン事業

2011.11, 大阪自然史フェスティバル(主担当), 大阪市立自然史博物館.

■連携事業

連携グループ等

小豆むつ子(地域研究員 主担当)

成果発表

2012. 2. 共生の広場「新たにみつかったノアザミの雌株の混生3集団」, 小豆むつ子. (発表指導)

2012. 2. 共生の広場「アリに種子を運ばせる植物たち」, 植物リサーチクラブ・アリさんチーム. (発表指導)

■学校教育支援

学校団体対応

2011. 7. 兵庫教育大, (20名)

■研修生等の受入

卒論生等

Ms. Nurainas(インドネシア・アンダラス大学講師), スマトラ島産ショウガ科 *Hornstedtia* 属の分類と分子系統解析(研究の助言と実験指導)

■展示

ミニ企画展

2011.9.3.-2011.10.30. トピックス展示 「明治期に採集された丹波の植物たち～友常永太郎標本コレクション～」(分担者).

2011.12.10-2012.1.9 「ひととはくの干支展～タツさんようこそ!～」(分担者)

2012.2.4-2012.3.11 「ジオキャラバン報告展示」(分担者).

2.シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 1回, 20名

■行政支援

委員会等

2005.4., 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員, 環境省

相談・指導助言

メール16件, 来館13件, 電話6件

■学会開催等支援

2012. 3. 日本植物分類学会第11回大会実行委員会 委員(参加発表申込み受付・会計担当)

2012. 1. 日本植物学会第76回大会 ロゴ作成

布施 静香, Shizuka FUSE

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/キッズひとはく推進室

主任研究員

昭和51年奈良県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本植物学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

キッズひとはく推進室 副室長, 室長補佐, 先進的科學館連携推進事業の推進, キッズくらすの運営, Kidsキャラバンの推進等.

2.研究開発部門

資料燻蒸担当. 資料審査会メンバー.

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.キンコウカ科の分類学的研究
- 2.カラスザンショウとイヌザンショウの性表現に関する研究
- 3.単子葉植物の姉妹群推定に関する研究
- 4.ショウジョウバカマ属の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割—持続可能なサポートシステム構築に関する研究—」, 研究分担者.

総合共同研究「北摂地域の里地里山エリア」研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

◎M. N. Tamura, S. Fuse, N. S. Lee, J. O. Kim, J. Yamashita & T. Ishii (2011) Biosystematic studies on the family Tofieldiaceae III. Classification of *Tofieldia nuda* into three species and three varieties. *Taxon* 60(5):1339-1348.

◎布施静香・山本伸子・高橋晃(2011)東日本大震災により被災した植物標本のレスキュー—兵庫県立人と自然の博物館が果たした役割—. *人と自然* No.22, 53-60.

◎布施静香(2012)植物標本、塩分とのたたかい. pp.82-88. 所収: 岩槻邦男・堂本暁子監修, 災害と生物多様性—災害から学ぶ、私たちの社会と未来. 生物多様性 JAPAN, 東京.

◎布施静香(2012) ショウジョウバカマ属(シュロソウ科). 所収: 田村実・戸部博(編)「新しい植物分類学Ⅰ」, pp.195-204, 講談社, 東京.

■その他著作

◎布施静香・先山徹(2011)山でも海でも自然科学! 山陰海岸ジオパーク. *ひとはく新聞(ハーモニー)*, 73: 3.

◎布施静香・山本伸子(2011)白い花のヒガンバナ. *ひとはく新聞(ハーモニー)*, 74: 2.

◎小舘誓治・八木剛・小林美樹・古谷裕・布施静香・塚本健司(2011)兵庫県立人と自然の博物館のKidsプログラム—「キッズひとはく推進室」のスタート. *博物館研究*, 46(11)9-11.

■ブログへの情報提供

11件

■研究発表

S. Fuse and M. N. Tamura(2011)Phylogeny of Nartheciaceae (Dioscoreales).*East Asian Botany: International Symposium 2011*. Tsukuba, Ibaragi.

K. Ushijima, T. Ushijima, S. Fuse and N. Kurosaki(2011) Flowering phenology in two androecious trees, *Zanthoxylum ailanthoides* and *Z. schinifolium* (Sapindaceae) from Hyogo, Japan. *East Asian Botany: International Symposium 2011*.

H.Noda, J. Yamashita, S. Fuse and M.N. Tamura(2011)Molecular Phylogeny and taxonomic reexamination of *Dioscorea* (Dioscoreaceae) from Japan and the other Asian regions. *East Asian Botany: International Symposium 2011*. Tsukuba, Ibaragi.

M.N. Tamura, J. Yamashita and S. Fuse(2011)Is the sister group of the monocots really eudicots? *East Asian Botany: International Symposium 2011*. Tsukuba, Ibaragi.

S. Fuse, N. S. Lee and M. N. Tamura (2011) Phylogenetic relationships, character evolution and taxonomic reexamination of Nartheciaceae (Dioscoreales). XVIII International Botanical Congress. The Melbourne Convention & Exhibition Centre, Melbourne, Australia.

S. Fuse, K.Ushijima, T. Ushijima and N. Kurosaki(2011) New reports of androdioecious species from Rutaceae. XVIII International Botanical Congress. The Melbourne Convention & Exhibition Centre, Melbourne, Australia.

M. N. Tamura, J. Yamashita and S. Fuse(2011) Another candidate for the sister group of the monocotyledons. XVIII International Botanical Congress. The Melbourne Convention & Exhibition Centre, Melbourne, Australia.

布施静香・李南淑・田村実(2011)キンコウカ(ヤマノイモ目)の系統と分類的再検討. 日本植物学会第75回大会, 東京大学, 東京.

田村実・山下純・布施静香・野田博士(2011)日本産ヤマノイモ科の系統と分類. 日本植物学会第75回大会, 東京大学, 東京.

布施静香・牛島清春・牛島富子・黒崎史平(2011)サンショウ属植物の性型に関する新報告. 第43回種生物学シンポジウム, 一般財団法人人材開発センター富士研修所, 山梨.

布施静香・山本伸子・高橋晃(2012)津波被害により被災した植物標本の修復法. 日本植物分類学会第11回大会, 大阪学院大学, 大阪.

■学会役員など

種生物学会, 会計幹事.
種生物学会, HP 担当.
種子植物談話会, 事務局・世話人.

■助成を受けた研究

特異な性の維持機構とその進化—全く新しい性表現を持つ植物からのアプローチ. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 (B), 研究代表者 (金額 150 万円/350 万円).

兵庫県で見つけた世界初の性型をもつ植物の繁殖システムの解明. 公益財団法人ひょうご科学技術協会 奨励研究助成金, 研究代表者 (金額 98 万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.6-12, 種子植物. 香美町, 神戸市, 三田市, 丹波市, 大阪府, 京都府, 北海道.

■受贈担当資料

2011.4 南波松太郎コレクション (シダ植物標本). 7 点.

2011.6 中南義夫コレクション (植物標本). 159 点.

2011.10 長野県産シダ植物標本 (永瀬幸一コレクション). 28 点.

■整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

高橋晃・布施静香・高野温子, 2011.4-2012.2, 「植物リサーチクラブ「植物を調べて展示に挑戦」博物館. (全6回, 54名)

◎布施静香, 2011.5, 2011.10, 「花を大きくしてみると?」博物館. (103名)

◎高橋晃・布施静香・先山徹・ハチ北自然案内人, 2011.5, 「香美町 海と山のジオパークツアー! ~海と山の生き物と石~」香美町. (31名)

布施静香, 2011.7, 「夏の山陰海岸~ユウスゲと海岸の花々」香美町. (25名)

布施静香, 2011.11, 「DNA抽出実験」芦屋市. (6名)

◎高橋晃・橋本佳明・布施静香・北村俊平・山本伸子, 2011.11, 2012.3, 「生物系収蔵庫ツアー」博物館. (67名)

布施静香・福岡誠行, 2011.12, 「蕎麦打ち体験と植物のソバの話」博物館. (19名)

◎布施静香, 2012.2, 「葉っぱを大きくしてみると?」博物館. (14名)

布施静香・高橋晃・高野温子, 2012.2-3, 「植物リサーチクラブ②「標本庫の利用法と調べ方」」博物館. (14名)

館外講演など

布施静香, 2011.7, 「植物標本, 塩分とのたたかい (ディスカッション2「標本レスキュー, 過去を未来

へ)」。緊急・公開フォーラム「災害と生物多様性—災害から学ぶ, 私たちの社会と未来—」, 生物多様性 JAPAN, 千葉大学. (182名)

ラジオ・テレビ等出演

テレビ

2011.5.29, 「植物標本レスキュー」, サンテレビジョン

2011.6.1, 「植物標本レスキュー」, 日本放送協会 (NHK)

2011.6.3, 「植物標本レスキュー」, 日本放送協会 (NHK)

2011.6.17, 「植物標本レスキュー」, 日本放送協会 (NHK)

2011.6.18, 「植物標本レスキュー」, サンテレビジョン

2011.6.20, 「植物標本レスキュー」, 読売テレビ放送

2011.6.23, 「植物標本レスキュー」, 日本放送協会 (NHK)

2011.6.28, 「植物標本レスキュー」, 日本放送協会 (NHK)

ラジオ

2011.6, 「植物標本レスキュー」, NHK ラジオ第一

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2011.11 神戸市立八多児童館 ひとつは Kids キャラバン

2011.11 神戸市立上野児童館 ひとつは Kids キャラバン

2011.12 神戸市立生田川児童館 ひとつは Kids キャラバン

2011.12 神戸市立兵庫児童館 ひとつは Kids キャラバン

2012.2 神戸市立大沢児童館 ひとつは Kids キャラバン

セミナー

2011.8 神戸市立長楽児童館 ひとつは Kids キャラバン「周辺の自然観察」

2011.8 神戸市立たかとり児童館 ひとつは Kids キャラバン「身近な哺乳動物たち」

2011.11 神戸市立八多児童館 ひとつは Kids キャラバン「植物を拡大して観察しよう」

2011.11 神戸市立上野児童館 ひとつは Kids キャラバン「身近な哺乳動物たち」

2012.12 青森県八戸市児童科学館 ひとつは Kids キャラバン (復興支援) 植物関連プログラム

2011.12 神戸市立生田川児童館 ひとつは Kids キャラバン「身近な植物を拡大してみよう」

2011.12 神戸市立兵庫児童館 ひとつは Kids キャラバン「身近な哺乳動物たち」

2012.1 猪名川町立楊津小学校 ひとつは Kids キャラバン「身近な哺乳動物たち」「哺乳動物と植物の関係」「植物の種子散布」

2012.2 佐用マリア幼稚園 ひとつはく Kids キャラバン
「身近な哺乳動物たち」「哺乳動物と植物の関係」「ひ
つつきむしのひみつ」

成果発表

2012.2 共生のひろば「しらべてみよう「飛ぶ」植物
の種子」, 植物リサーチクラブ・飛ぶチーム (指導)

2012.2 共生のひろば「アリに種子を運ばせる植物た
ち」, 植物リサーチクラブ・アリさんチーム (指導)

2012.2 共生のひろば「ひつつきむしの世界」, 植物リ
サーチクラブ・ひつつきむしチーム (指導)

■連携事業

共催事業

2011.9, 第10回バイオミメティクス研究会, バイオミ
メティクス研究会, 博物館 (セミナーの実施)

2011.12, 第13回バイオミメティクス研究会「企業研
究開発者のリカレントと博物館の社会的役割」, バイ
オミメティクス研究会, 博物館 (セミナーの実施)

■学校教育支援

学校団体対応

2011.4, 大阪府立泉北高等学校 (62名).

2011.8, 香川県立観音寺第一高等学校 (34名).

2011.9, 香川県立三本松高等学校 (30名).

2011.10, 池田市立石橋小学校 (76名).

2011.11, クラーク記念国際高校 (98名).

■フェスティバル等

2011.11 ひとつはくフェスティバル, 「キッズくらぶ説
明会」(責任者). 「どんぐりどどこ」(分担者).

■展示

ミニ企画展

2011.6.18-9.30, ミニ企画展示「ひとつはくの被災地支援
「津波被害にあった標本を救おう」展」(責任者).

2011.12.4-2012.1.9, ミニ企画展示「丹波のシロシヤク
ジョウ展」(分担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 22回, 189名.

■行政支援

委員会等 (計1件)

2005.4, 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員,
環境省

相談・指導助言

来訪者10件, 16名. 電話・FAX相談10件, メール相
談8件.

■学会開催等支援

2011.9, 第10回バイオミメティクス研究会開催. 22
名.

2011.12, 第13回バイオミメティクス研究会開催. 16
名.

太田 英利, Hidetoshi OTA

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授.

昭和 34 年愛知県生 京都大学大学院理学研究科修士課程修了. 博士 (理学). 日本爬虫両棲類学会, 日本動物学会, 動物分類学会, 日本生物地理学会, 日本動物行動学会, 沖縄生物学会, American Society of Ichthyologists and Herpetologists, Biological Society of Washington, British Herpetological Society, Herpetologists' League, Linnean Society of London, Societas Europaea Herpetologica, Society for the Study of Amphibians and Reptiles 等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

研究推進室 室長

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1.アジア・オセアニアの熱帯・亜熱帯島嶼に見られる爬虫・両生類の系統分類と生物地理
- 2.東アジアにおけるウミヘビ類の多様性と分類の再検討
- 3.有鱗目爬虫類における形態形質の進化
- 4.琉球列島を中心とした日本産爬虫・両生類の自然
- 5.わが国における外来種の在来生物相へのインパ

■共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

本多正尚・八畑謙介・富永篤・太田英利 (2011) 沖縄島および奄美大島産イボイモリ (両生綱: 有尾目) の胃内容について. *Akamata*, No. 22, 5-8.

富永篤・本多正尚・太田英利 (2011) 渡嘉敷島のイボイモリ (両生綱: 有尾目) の分布について. *Akamata*, No.22, 12-14.

◎Sumida, M., N. Satou, N. Yoshikawa, A. Kurabayashi, M. M. Islam, T. Igawa, S. Oumi, S. Katsuren, H. Ota, N. Shintani, H. Fukuniwa, N. Sano and T. Fujii (2011) Artificial production and natural breeding of the endangered frog species *Odorrana ishikawae*, with special reference to fauna conservation in the laboratory. *Zoological Science*, Vol. 28, No. 10, 834-839.

◎Suzuki, D., H. Ota, H.-S. Oh, and T. Hikida (2011) Origin of Japanese populations of the Reeves' pond turtle, *Mauremys reevesii* (Reptilia: Geoemydidae), as inferred by a molecular approach. *Chelonian Conservation and Biology*, Vol.10, No. 2, 237-249.

◎Lovich, J. E., Y. Yasukawa, and H. Ota (2011). *Mauremys reevesii* (Gray 1831). *Chelonian Research Monographs* Vol. 4, No. 4, doi: 10.3854/crm.5.051.reevesii.vl.2011

Honda, M., A. Tominaga, Y. Maeda, and H. Ota (2011) Geographic Distribution: *Echinotriton andersoni* (Anderson's Crocodile Newt). *Herpetological Review*, Vol. 42, No. 4, 235.

◎Takeuchi, H., H. Ota, H.-S. Oh, and T. Hikida (2012) Extensive genetic divergence in the East Asian natricine snake, *Rhabdophis tigrinus* (Serpentes: Colubridae), with special reference to prominent geographical differentiation of the mitochondrial cytochrome *b* gene in Japanese populations. *Biological Journal of the Linnean Society*, Vol. 105, No. 2, 395-408.

Ota, H. and T. Yamadashima (2012) Notes on the previous records of two sea snakes from southwestern islands of Kagoshima Prefecture, Kyushu, Japan. *Bulletin of the Kagoshima Prefectural Museum*, Vol. 31, 57-64.

太田英利・那須哲夫・末吉豊文・星野一三雄・森田哲夫・岩本俊孝 (2012) 鹿児島県本土部における国内外来種オキナワキノボリトカゲ *Japalura polygonata polygonata* (Hallowell, 1861)(爬虫綱, アガマ科)の生息状況. *Nature of Kagoshima*, Vol. 38, 1-8.

■その他著作

太田英利 (2012) ヘビ学のプロフェッショナル, 鳥羽通久博士のご逝去を悼む. *爬虫両棲類学会報*, Vol. 2012, No.1, 30-32.

◎太田英利・森口一 (2012) 鳥羽通久博士の著作. *爬虫両棲類学会報*, Vol. 2012, No.1, 33-38.

■研究発表

◎Hidetoshi Ota (2011) Species richness, lineage diversity, and current conservation status of terrestrial vertebrates in East Asia. *Seminar in Evolutionary Biology*, Villanova University, Villanova, Pennsylvania

太田英利 (2011) 琉球列島の地史・古環境と陸生動物-更新世化石群集における種の豊富さ、そして現生種の描く分子系統地理ハ・タンカ・示唆するもの. 東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「東シナ海および琉球弧の地史と古環境」, 千葉県柏市.

太田英利・本多正尚・ク・エン=チュオン カン (2011) トカゲ・モト・キ属の系統. *日本爬虫両棲類学会*, 京都大学, 京都市.

◎薮優子・江崎保男・太田英利 (2011) 日本の固有種タワヤモリの繁殖と食性. *日本爬虫両棲類学会*, 京都大学, 京都市.

◎竹内美里・河村功一・呉弘植・太田英利 (2011) ミトコンドリア DNA の塩基配列から見たニホンスッホマン (*Pelodiscus sinensis*) 種群の遺伝的多様性と分布履歴の推定. *日本爬虫両棲類学会*, 京都大学, 京都市.

小嶋一輝・本多正尚・瀧口勲・太田英利 (2011) ミトコンドリア DNA から推定されたアカマタ (爬虫綱,

ナミヘヒ・科)の遺伝的分化. 日本爬虫両棲類学会, 京都大学, 京都市.

ノンティビッチ=タンダバニティ・太田英利・戸田守 (2011) 琉球列島沿岸にみられるウミヘヒ・属2種(クロカ・シラウミヘヒ・とマタ・ラウミヘヒ・)の分類学的関係: 分子データにもとづく再検討. 日本爬虫両棲類学会, 京都大学, 京都市.

本多正尚・栗田隆気・戸田守・太田英利 (2011) クロイワトカケ・モト・キ(爬虫綱,トカケ・モト・キ科)の亜種間での遺伝的分化. 日本爬虫両棲類学会, 京都大学, 京都市.

◎H. Takeuchi, H. Ota, H.-S. Oh, and T. Hikida (2012) Extensive genetic divergence in the in the East Asian natricine snake, *Rhabdophis tigrinus* (Serpentes: Colubridae). Kyoto University and The University of Tokyo Global COE Joint Symposium, Hongo Campus of Univ. Tokyo, Tokyo.

貴島靖仁・太田英利・那須哲夫・末吉豊文・星野一三雄・森田哲夫・岩本俊孝 (2012) 日南市に生息する国内移入種オキナワキノボリトカゲの生息環境及び生息密度に関する研究. 九州両生爬虫類研究会, 文化交流ホール, 宇佐市.

■学会役員など

日本爬虫両棲類学会, 英文誌編集委員, 評議員
沖縄生物学会, 学会誌編集委員

Asian Herpetological Research Society, 学会誌編集委員
BioFormosa, 学術雑誌編集委員

amadryad, 学術雑誌編集委員

Tropical Natural History, 学術雑誌編集委員

Linnean Society of London, 特別会員 (Fellow [F.L.S.])

日本進化学会, 評議員

Russian Journal of Herpetology, 学術雑誌編集委員

Animal Systematics, Evolution and Diversity, 学術雑誌編集委員

■助成を受けた研究

琉球列島産ウミヘヒ亜科における遺伝的多様性と個体群分類 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額 100 万円/300 万円).

国内外来種オキナワキノボリトカゲの生態系への影響評価に関する研究 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者 (金額 14 万円/330 万円)

■海外調査

2011.6 中華民国・台湾省

2011.8 アメリカ合衆国・ペンシルバニア州, ニューヨーク州, マサチューセッツ州

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.6, 9-10 セミナー関連資料 (カエル類, ヤモリ類など) の収集. 沖縄県, 鹿児島県など.

■整理同定担当資料

爬虫類 (カメ目, ワニ目)

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎太田英利, 2011.4.10, 「兵庫の動物たち—春」, 博物館. (9 名)

◎太田英利, 2011.5-2011.7, 「カエルの食卓」, 博物館. (全3回, 97 名)

太田英利, 2011.8.10, 「外来種の現状と対策」, 博物館. (19 名)

◎太田英利. 2011.10.2, 「兵庫の動物たち—秋」, 博物館. (14 名)

◎太田英利. 2011.10.8, 「動物の体を見てみよう 1. 両生類」, 博物館. (3 名)

◎フロアスタッフ (寺尾由美子)・太田英利. 2011.10.23, 「深田公園のいきものたち」, 博物館・深田公園. (45 名)

田中哲夫・黒田有寿茂・西岡敬三・太田英利, 2011.11.8, 「学校連携セミナー発表会事前学習会」, 三田祥雲館高等学校. (26 名)

田中哲夫・黒田有寿茂・西岡敬三・太田英利, 2011.12.6, 「学校連携セミナー発表会」, 三田祥雲館高等学校. (81 名)

◎太田英利. 2012.2.25, 「動物の体を見てみよう 2. 爬虫類」, 博物館. (4 名)

◎太田英利. 2012.2.26, 「兵庫の動物たち—冬」, 博物館. (17 名)

館外講演など

太田英利, 2011.7, 「特別セミナー: 琉球列島の陸生動物相の成立履歴と近年の外来生物侵入の影響」, 環境省沖縄事務所石垣島サンゴ礁モニタリングセンター (40 名).

太田英利, 2012.3, 「環境省世界自然遺産フォーラム: 琉球弧の両生・爬虫類の多様性とその歴史生物地理」, レインボーホテル, 那覇 (85 名).

兵庫県立大学・大学院教育

系統分類学特論 (主任)

特別ゼミナール (主任)

特別研究 (主任)

ラジオ・テレビ出演等

2012.3, 「人と自然の博物館, 兵庫のほ乳類コーナー解説」, J:COM 「ココカラ」

■連携事業

連携グループ

三田祥雲館高等学校「カエルの食卓」研究チーム (指導)

成果発表

2012.2 共生の広場「カエルの食性」, 三田祥雲館高等学校「カエルの食卓」研究チーム (指導)

■フェスティバル等

2011.11 ひとはくフェスティバル, 「出店の設置・撤収時の整理」(責任者), ゆるきゃら着ぐるみ警護

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計 12 件)

- 2011.4--. 世界自然保護基金日本委員会 (WWF ジャパン) 運営委員, WWF ジャパン
- 2011.4--. 雑誌「SEEDer」編集委員, 総合地球環境学研究所—昭和堂印刷.
- 2011.5--. 環境省希少野生植物種保存推進員, 環境省
- 2011.5--. 絶滅の恐のある野生動物の種の選定・評価検討会 爬虫・両生類分科会委員, 環境省
- 2011.10--. 絶滅危惧種アベサンショウウオ保護増殖等検討会委員, 環境省
- 2011.12--. 世界自然遺産指定に向けた琉球・奄美諸島評価検討会委員, 環境省
- 2012.1--. オオヒキガエル防除事業対策会議委員, 環境省
- 2012.2--. 琉球列島における要注目外来種選定委員会委員, 環境省
- 2011.7--. 生物多様性ひょうご戦略推進委員会委員, 兵庫県
- 2011.7--. 新石垣空港環境モニタリング委員会委員, 沖縄県
- 2011.9--. 西表島エコロド検討委員会委員, 沖縄県
- 2011.10--. 「生物多様性いたみ」検討委員会委員, 伊丹市

相談・指導助言

来訪者 24 件, 75 名. 電話・FAX 相談 63 件, メール相談 124 件.

橋本 佳明, Yoshiaki HASHIMOTO

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 准教授
昭和31年大阪府生 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程
修了、学術博士 昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

生涯学習推進室 室長

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

- 1.膜翅目昆虫（アリ類等）の系統分類学的研究
- 2.熱帯雨林生物多様性に関する研究
- 3.昆虫を素材にした環境教育システムの研究
- 4.共生生物学

■共同研究

総合共同研究「山陰ジオパーク」, 研究分担者.
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

◎原著論文: 橋本佳明 (2011) 武庫川流域の管住性ハチ類相とその多様性による里山環境評価 人と自然 No.22 p1-12.

■その他著作

橋本佳明他 (2011) 昆虫の擬態 朝日小学生新聞
橋本佳明 (2011) ひとつはく研究紀行 ひとつはく新聞
橋本佳明 (2011) ひとつはく昆虫画収蔵資料 ひとつはく新聞

■ブログへの情報提供

6件

■研究発表

橋本佳明他 (2011) アリ類の多様性はアリ擬態クモ類の多様性の鏡型となっているかーボルネオ島熱帯林のアリとアリグモ類の体長・体色等のアソシエーションー 熱帯生態学会第21回大会

岩山裕子, 橋本佳明他 (2011) タイ乾燥季節林における土壌呼吸の時空間変動 熱帯生態学会第21回大会

Sasitorn Hasin, Hashimoto, Y. et al (2011) Effects of ant nests on soil respiration in a tropical seasonal forest, Northeast Thailand, and an insight into "hot spots" of soil respiration. 熱帯生態学会第21回大会

橋本佳明他 (2011) Morphometric 手法による擬態とモデル群集の形態マッチング度の評価ーアリ類の多様性はアリグモ類の多様性の鏡型となっているか: その2ー 日本昆虫学会第71回

坂本広道, 橋本佳明他 (2011) 画像処理によるアリ類とアリ擬態グモの類似度指標の開発ーアリ類の多様性はアリグモ類の多様性の鏡型となっているか: その1. 日本昆虫学会

第71回

岸本圭子, 橋本佳明他 (2011) 景観規模の熱帯雨林の減少が 糞虫・アリ類の多様性に与える影響. 日本昆虫学会第71回

Hashimoto, Y. et al (2011) Why are there so many poor mimic of ant-mimic spider in tropical forests?: Association pattern of morphological characters between ants and ant-mimic spiders. 8th International Conference on Ants (ANeT Meeting 2011)

Yamasaki, T., Hashimoto, Y. et al (2011) Ant-mimicking spiders of the genus Myrmarachne (Araneae: Salticidae) in Southeast Asia. 8th International Conference on Ants (ANeT Meeting 2011)

Sakamoto, H., Hashimoto, Y. et al. (2011) Development of similarity indexes of ants and ant mimic spiders based on image processing. 8th International Conference on Ants (ANeT Meeting 2011)

Hasin, S., Hashimoto, Y. et al. (2011) Effects of ant nests on soil respiration in a tropical seasonal forest, Northeast Thailand, and an insight into "hot spots" of soil respiration. 8th International Conference on Ants (ANeT Meeting 2011)

Ohashi M., Y. Hashimoto, et al (2011) Impact of ants on hot spots of soil CO2 flux in a tropical rainforest in Borneo, Malaysia. 8th International Conference on Ants (ANeT Meeting 2011)

神保宇嗣, 橋本佳明他 (2011) 鱗翅類コレクション画像データベース LepImages の構築 鱗翅学会 第58回 (北海道大学)

Maekawa, Y., Hashimoto, Y. et al. (2012) Amount of CO2 efflux from ant nests in a tropical forest, Borneo Malaysia. 日本生態学会第59回大会 (京都大学)

■学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員.

Asian myrmecology レフェリー

Revista Brasileira de Entomologia レフェリー

■助成を受けた研究

東南アジア熱帯雨林における土壌呼吸のホットスポット現象に関する研究 文部科学省科学研究費 若手研究 (A) 研究分担者 (620万円)

■海外調査

2011.7 マレーシア・サラワク州

2011.11 タイ国 サケラート

2.資料収集・整理

■資料収集

マレーシア・サラワク州等アリ類標本収集

■整理同定担当資料

チョウ類コレクション(3,000点)の整理登録等実施 生物系収蔵庫公開3回 (35名)

岩田久二雄フィールドノートアーカイブの収蔵資料(400点)と坂口チョウ標本画像資料(500点)を人博ホームページで公開

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎姉妹県フランスアベロンの自然とマイクロボリス紹介、博物館セミナー (5名)
- ◎生物多様性とはなにか, 博物館セミナー (12名)
- ◎生物多様性を計測する, 博物館セミナー (12名)
- ◎昆虫館学芸員体験, 博物館セミナー (20名)
- ◎生物系収蔵庫ツアー, 博物館オープン (11月開催分 27名, 2回目は3月開催)
- ◎帰って来たファーブル, 博物館オープン (40名)
- ◎フランスアベロンの自然, 博物館オープン (4名)
- ◎ボルネオジャングルスクール体験スクール卒業生のつどい (82名)

館外講演など

- 「生物多様性を学ぶ」, 兵庫県立福崎高校特別非常勤講師, 福崎高校 (40名)
- 「アリ擬態が創出する生物多様性」講師, 兵庫県立大学人間環境学科 (20名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (分担 2回)

兵庫県立付属中学校

3年生プロジェクト学習 (分担全10回)

ラジオ・テレビ等出演

神戸新聞「ひとはく研究員紹介」2回

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

連携活動グループ

アリ類による種子分散調査の指導等

連携事業

バリフラワーショー「おもしろ昆虫・植物展」, 兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館, (展示制作)
奇跡の星の植物館少年少女自然科学教室, 兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館, (開催支援)
ラン展, 兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館, (展示制作)

■学校教育支援

学校団体対応

明石市立林小学校5年生102名)
本山南少年野球部(46名)
西宮市立南甲子園小学校4年生(172名)

研究生等の受入

岩山裕子 (兵庫県立大学人間環境学部修士1回生) 熱帯季節林における土壌生態系からの CO₂ 排出系の変動, 修論研究指導
坂本広道 (兵庫県立大学人間環境学部修士1回生) 画像認識技術によるアリ擬態類似の計測, 修論研究指導
前川ゆう子 (兵庫県立大学人間環境学部4回生) 熱帯林におけるアリ類コロニーから CO₂ 排出 卒論研究指導

■フェスティバル等

生涯学習推進室室長としてフェスティバル実行委員会委員等を担当

■展示

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫公開3回 (35名).

■行政支援

相談・指導助言

来訪者6件, 15名. 電話・FAX相談10件, メール相談7件.

学会開催等支援

全学委員会・産学連携委員として産学連携シンポ等実施

沢田 佳久, Yoshihisa SAWADA

自然・環境評価研究所
昆虫共生系研究グループ
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 助手。
昭和34年京都府生。九州大学大学院農学研究所修了，農学博士，
日本昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

地域展開推進室 キャラバン備品担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. オトシブミ，チョッキリの多様性

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援
および地域振興に関する研究」

■論文・著書

沢田佳久 (2011) タチバナチビチョッキリの近畿での記録
さやばね, (2):32.

沢田佳久 (2011) フトタゴゾウムシ (新称) の日本からの
記録 昆虫ニューシリーズ, 14(3):187.

■ブログへの情報提供

12件

■研究発表

沢田佳久 (2011) ホリカワアシブトゾウムシの幼虫. 日本
昆虫学会第71回大会, 信州大学, 松本市.

沢田佳久 (2011) 証拠標本の保存と活用 一兵庫県立人と
自然の博物館の場合. 第20回昆虫担当学芸員協議会総
会, 信州大学, 松本

沢田佳久 (2011) 3D表現の進歩と昆虫. 日本昆虫学会近
畿支部大会, 大阪自然史博, 大阪市.

■学会役員など

日本昆虫学会, 電子化推進委員.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 各種昆虫類. 三田市等

2011.7 剣山付近の甲虫類. 徳島県

2011.8 加古川の甲虫類. 小野市

2011.8 夢前川流域の昆虫類. 姫路市

2011.10 吹上浜の海浜性昆虫類. 南あわじ市

■受贈担当資料

2011.12 鉢伏高原産蛾類(永瀬コレクション). 26点

2011.12 ゾウムシ科標本(中村コレクション). 1,289点
約2,000点.

2011.2, タマキノコムシ科ホロタイプ標本 (保科コレ
クション). 3点.

■整理同定担当資料

昆虫 (鞘翅目, 半翅目ほか).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

沢田佳久, 2011.4, 「もいちど始める昆虫採集」, 博物館
ほか. (5名)

◎沢田佳久, 2011.5, 「深田公園オトシブミ観察会」, 博物
館.

沢田佳久, 2011.7, 「小さな虫の標本作り」, 博物館. (20
名)

沢田佳久, 2011.8, 「土の中のむし」, 博物館. (20名)

沢田佳久, 2011.9, 「虫の体を調べよう」, 博物館. (10
組)

◎沢田佳久, 2011.10, 「デジタルの虫で遊ぼう」, 博物館.
(20名)

◎沢田佳久, 2011.11, 「しましまで遊ぼう」, 博物館. (20
名)

沢田佳久, 2011.11, 「立体写真入門」, 博物館. (10名)

◎沢田佳久, 2012.2, 「ゾウムシ学序論」, 博物館. (5名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2011.10 ジオキャラバン, 渚交流館

展示作成

スナゴミムシダマシ類等海浜性昆虫の標本展示品
淡路島産ヤマトマダラバットの生態写真アナグリフ展
示品

■連携事業

連携グループ等

アピス同好会 (副担当)

共催事業

2011.7, 世界のクワガタ展, 但馬国府・国分寺館 (展
示とセミナー実施)

協力事業

2011.11, 大阪自然史フェスティバル2011・リミテッド,
大阪自然史博物館 (分担者)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.31-6.3, 3名.

■展示

企画展

2011.2 企画展示 (ファーブルたちの夏〜昆虫の世界
2011〜) (分担者)

ミニ企画展

2012.2 ミニ展示 (めぐってきました! 山陰海岸ジオパ
ーク) (分担者)

展示作成

2012.3 生物の世界, オオスズメバチ拡大映像

2. シンクタンク事業

■行政支援

相談・指導助言

来訪者10件程度, 電話・FAX・メール相談等, 計30

件程度.

八木 剛, Tsuyoshi YAGI

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ／企画調整室

主任研究員

昭和43年大阪府生. 神戸大学大学院農学研究科修士課程
修了. 農学修士. 日本昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

マーケティングタスクフォース サブリーダー

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 昆虫分布の解釈に関する研究
2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

■共同研究

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方に関する研究」, 研究分担者.

■その他著作

- ◎八木 剛 (2012) 昆虫を通じた学びのデザイン〜兵庫県立人と自然の博物館における事例〜. 昆虫と自然, 47(2), 15-18.
- ◎吉田浩史・八木 剛(2012)兵庫県の注目すべき双翅類. きべりはむし, 34(2), 12-25.
- ◎八木 剛 (2011) ひとつはくが、昆虫少年を、応援しつづける理由. ひとつはく新聞 73号. 1.

■ブログへの情報提供

12件

■研究発表

◎八木 剛 (2011) 小規模ミュージアムにおける災害復興のあり方. 兵庫県シンクタンク等協議会.

■学会役員など

日本昆虫学会, 近畿支部幹事.

■助成を受けた研究

博物館での「演示」の実施による環境学習効果の研究.

科学研究費補助金基盤研究(C). 研究代表者(60万円/350万円)

小規模ミュージアムにおける災害復興のあり方. 平成22年度兵庫県シンクタンク等協議会自主研究グループ助成金, 研究代表者(30万円/30万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.5-7, ホテル類. 伊丹市, 神戸市, 新温泉町, 愛知県, 奈良県, 大阪府,

2010.4-10, 各種昆虫類. 三木市, 香美町

■整理同定担当資料

昆虫(双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

八木 剛, 2011.4-2012.3. 「ユース昆虫研究室」. 明石市立文化博物館・博物館. (全12回, 150名).

八木 剛, 2011.8, 「佐用町昆虫館で昆虫標本づくりたいけん」, 佐用町昆虫館. (全1回, 45名)

ひとつはく連携グループrun♪run♪plaza・八木 剛, 2011.5, 「パパといっしょの昆虫アドベンチャー かわいい春をみつけよう!!」, 博物館・深田公園, (全1回, 20名)

ひとつはく連携グループrun♪run♪plaza, 八木 剛, 2011.6, 「パパといっしょの昆虫アドベンチャー 水辺の虫をみつけよう!」博物館・深田公園, (全1回, 18名)

ひとつはく連携グループrun♪run♪plaza, 八木 剛, 2011.7, 「パパといっしょの昆虫アドベンチャー 夏の虫をみつけよう!」博物館・深田公園, (全1回, 45名)

ひとつはく連携グループrun♪run♪plaza, 八木 剛, 2011.7, 「ひとつはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール」博物館・ハチ北高原, (全5回, 78名)

ひとつはく連携グループあかねちゃんクラブ, 足立 勲, 2011.6, 「あかねちゃん学園2011」博物館・逆瀬川・西山小学校, (全7回, 15名)

八木 剛, 2012.5,11,2012.3, 「オープンセミナー:ほたるシアター」博物館, (全3回, 90名)

八木 剛, 2011.7, 「オープンセミナー:昆虫少年の日」博物館, (全1回, 31名)

八木 剛・フロアスタッフ, 2011.9, 「オープンセミナー:ふかだん「バッタとり」」, 博物館・深田公園(全1回, 48名)

八木 剛・古谷 裕・小舘誓治・布施静香・フロアスタッフ・小林美樹・塚本健司, 2011.5, 「オープンセミナー:カブトムシの幼虫を飼ってみよう!」, 博物館, (全1回, 52名)

特注セミナー

八木 剛・布施静香, 2011.12, 「収蔵庫見学②」, 博物館, 10名(近畿大学いきもの談話会)

八木 剛・沢田佳久・西岡敬三, 2011.11, 「収蔵庫見学」, 博物館, 15名(京都府立大学生命環境学部)

八木, 2011.4, 「昆虫の採集と観察①」博物館, 22名(兵庫県立大学附属中学校第1学年)

八木, 2011.4, 「昆虫の採集と観察②」博物館, 22名(兵庫県立大学附属中学校第1学年)

八木, 2011.5, 「ミヤマアカネリサーチ」博物館, 127名(宝塚市立西山小学校)

八木, 2011.6, 「仁川の昆虫」博物館, 191名(西宮市立上ヶ原小学校)

八木, 2011.9, 「ひとつはくで虫とり」深田公園, 131名(稲美町立天満小学校)

八木, 2011.10, 「トンボとりペナントレース」深田公園, 75名(稲美町立天満東小学校)

八木, 2011.10, 「深田公園でトンボとり」深田公園, 102名(小林聖心女子学院小学校)

八木, 2011.11, 「説明・質疑応答」博物館, 15名 (京都府立大学生命環境学部)

八木, 2011.12, 「ホテルのお話」博物館, 70名 (尼崎市立武庫小学校)

館外講演

八木 剛, 2011.6, 「住吉川でホテルを見よう」コープ神戸生活文化センター, (全1回, 30名)

八木 剛, 2012.3, 「住吉川でトンボの赤ちゃんをさがそう」コープ神戸生活文化センター, (全1回, 15名)

八木 剛, 2011.6, 「みんなでしらべる! 高槻のいきもの」講師, 芥川緑地資料館あくあびあ芥川, 15名

八木 剛, 2011.9, 「区民アートサポートスタッフ研修会」講師, 東京都港区男女平等参画センター(リーブラ), 15名

八木 剛, 2011.9, 「六甲・虫物語」, 兵庫県民会館, 40名

八木 剛, 2011.9-10, 「いきいき学舎ふれみら」講師, フレミラ宝塚, 30名

八木 剛, 2011.10, 「高槻市ホテルミニサミット」講師, 高槻市緑政課, 80名

八木 剛, 2011.10, 「博物館学芸員専門講座」講師, 国立社会教育研究センター, 50名

八木 剛, 2012.1, 「輝け! 昆虫少年」熊本県自然保護協会総会記念講演, 崇城大学ホール, 150名

八木 剛, 2011.11, 「ヒメボタルについて」講演, 姫路市安富町鹿が壺キャンプ場, 30名

八木 剛・大谷 剛, 2012.2 「道場町の自然について」講演, 道場町生野自治会館, 15名

八木 剛, 2012.2 「虫で孫そだて」佐用町高齢者大学, さよう文化情報センター, 250名

■ミニキャラバン事業

2011.8, 神戸元町・夏の昆虫館(主担当), (財)兵庫県学校厚生会, アートホール神戸.

2011.8, くにさき・夏の昆虫館(主担当), (財)兵庫県学校厚生会, アートホール神戸.

2011.7 ひとつはく Kids キャラバン in 仙台(分担者), 仙台市六郷児童館

2011.7 ひとつはく Kids キャラバン in 仙台(分担者), 仙台市七郷児童館

2011.12 ひとつはく Kids キャラバン in 八戸(分担者), 八戸市児童科学館

2011.12 ひとつはく Kids キャラバン in 久慈(分担者), もぐらんぴあ・まちなか水族館

2012.3 明石公園の昆虫展(主担当), 明石市立文化博物館

■連携事業

連携グループ等

NPO 法人人と自然の会(アドバイザー:主)

run♪run♪plaza(アドバイザー:主)

テネラル(アドバイザー:主)

あかねちゃんクラブ(ミヤマアカネ生態研究会)(アドバイザー:主)

きんひばり(アドバイザー:副)

さんぽクラブ(アドバイザー:副)

地域研究員:吉田浩史(アドバイザー:主)

佐用町昆虫館(連携施設)(主担当)

成果発表

2012.2 共生の広場, 未来の食事を支える昆虫食考察グループ MushiEater」たちの挑戦!, 吉村卓也・阪上洗多・堀内 Ray 湧也・ひとつはく連携活動グループ テネラル(指導・助言)

2012.2 共生の広場, II 世誕生~産卵 ヒサゴクサキリ(第2報), 宮武美恵子・ひとつはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」(助言)

2012.2 共生の広場, 鳴く虫ワールド 2011, ひとつはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」(助言)

2012.2 共生の広場, ミヤマアカネリサーチプロジェクトの取り組み, 宝塚市立西山小学校(助言)

共催事業

2011.7, ホテルの夕べ(ヒメボタル編), 佐用町昆虫館(講師)

2011.6, 第14回ヒメボタルサミット in 和田山, 朝来市立東河小学校(講師)

2011.8 あかねちゃん学園 2011, 宝塚市立西山小学校(展示等)

協力事業

2011.8, 氷河時代の生き残りエゾゼミの観察, NPO 法人こどもとむしの会・兵庫県立六甲山自然保護センター(観察会)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6, 三田市立上野台中学校1名, 同けやき台中学校2名, 同狭間中学校1名, 同藍中学校1名, 宝塚市立西谷中学校1名.

講師派遣

2011.6, 「明石公園の昆虫」, 講師, 明石市立明石小学校3年生(80名).

2011.7, 「ミヤマアカネリサーチ」, 講師, 宝塚市立西山小学校4年生(100名).

2012.2, 「昆虫しらべのまとめ」, 講師, 加東市立三草小学校3年生(28名).

2012.2, 「ミヤマアカネリサーチのまとめ」, 講師, 宝塚市立西山小学校4年生(100名).

■研究生等の受入

博物館実習

2011.8 神戸学院大学1名, 神戸芸術工科大学1名, 愛媛大学1名

2011.8 琉球大学農学部3回生1名(現業実習(インターンシップ))

■フェスティバル等

2011.11, ひとつはくフェスティバル, 「駐車場係」(分担者).

■展示

企画展

2011.7.20-10.21, 展示特別企画「ファーブルたちの夏〜

昆虫の世界 2011〜」(責任者).

ミニ企画展

2011.12-2012.1, 干支展「辰」(分担者).

2012.3- みんなの福島展(分担者)

2.シンクタンク事業

■**収蔵庫・ジーンファームの公開**

生物系収蔵庫等の案内, 5回.

■**行政支援**

委員会等(計3件)

2011.4- 貴重な野生生物等(昆虫類)専門委員会,
委員, 兵庫県自然環境課.

2011.8. ヒメボタル生息環境保全検討委員会, 委員,
国土交通省近畿地方整備局京都工事事務所.

2011.4. ひょうご丹波オオムラサキの会, 顧問.

■**相談・指導助言**

来訪者 20件, 50名. 電話・FAX 相談 20件, メール相談
20件.

2011.4-2012.3 チョウ類について, 西日本高速道路株式
会社.

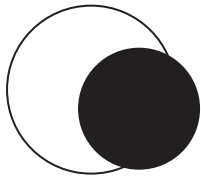
2011.9 猪名川河川敷のヒメボタルについて, 伊丹市道
路建設課.

2011.10 猪名川河川敷のヒメボタルについて, 国土交通
省猪名川工事事務所.

2011.11. 震災復興とボランティアについて, 国立社会教
育研究センター

■**学会開催等支援**

2012.2 兵庫トンボ研究会総会開催. 15名.



個人別成果報告に関する資料 No. 3

● 自然・環境マネジメント研究部 流域生態研究グループ / 動物共生研究グループ

江崎 保男, Yasuo EZAKI

自然・環境マネジメント研究部
流域生態研究グループ/総合調整担当
研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 田園生態系次長, 田園生態保全管理部門生態研究部門 教授, 兵庫県立コウノトリの郷公園研究部長.

昭和26年大阪府生 京都大学大学院理学研究科博士課程修了, 理学博士. 日本鳥学会, 応用生態工学会, 日本生態学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

総合調整担当 館内研究系の調整

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ダム水源地を含む流域生態系保全に関する研究
2. 人と陸域生物群集の相互作用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者

部門研究「共生の現実と未来」, 研究代表者.

外部との共同研究

「水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究」研究グループ長, 水源地生態研究会

■論文・著書

◎江崎保男・佐竹節夫・吉沢拓祥・三橋陽子・大迫義人 2012. 兵庫県豊岡市に飛来・定着した野生コウノトリの死亡とその原因—激しい種内闘争?山階鳥類学雑誌 43:197-201.

◎大迫義人・江崎保男 2011. 野外コウノトリへの実験的な給餌中止とその効果. 野生復帰 1:45-53.

■その他著作

◎江崎保男 2011. COP10 と生物多様性をエコロジカルに紐解く(2). 環境技術 40, 8:1-5.

◎遠藤菜緒子・江崎保男 2011. 兵庫県におけるサギ類集団繁殖地の観察記録. 人と自然 22:85-100.

■研究発表

江崎保男「木津川の鳥類—樹林化・チドリと河川物理・人為」2011年度日本生態学会近畿地区会フィールドシンポジウム, 木津市加茂文化センター, 木津.

江崎保男, 総合討論・パネリスト, 第14回河川生態学術研究発表会, 発明会館ホール, 東京

江崎保男「コウノトリ野生復帰のランドデザインと

ゴール」日本の鳥類の生復帰に関する国際ワークショップ, 近畿大学豊岡短期大学, 豊岡
江崎保男「コウノトリ野生復帰のゴール—国際ワークショップ速報」近畿大学豊岡短期大学, 豊岡
江崎保男, 総合討論・パネリスト, 地域づくりのたねとしかけ, 近畿大学豊岡短期大学, 豊岡

■学会役員など

日本鳥学会, 会長 (2010.1~)

日本鳥学会, 評議員

応用生態工学会, 理事 (2009.10~)

応用生態工学会, 技術援助委員会委員 (2010.4.1~)

日本鳥学会員近畿地区懇談会, 世話人

平成23年度科学研究費補助金(特定奨励費)「山階鳥類研究所データベースシステムの構築と公開」, 外部評価委員

平成23年度山階賞選考委員会, 委員, 山階鳥類研究所

学術雑誌「野生復帰」編集委員長 (2011.10~)

■助成を受けた研究

水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究. ダム水源地環境整備センター. 研究代表者(金額70万円)

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎江崎保男 2011.5.22 ひとくセミナー「自然とはなにか」, 博物館. (全1回, 9名)

◎江崎保男 2011.7.31 ひとくオープンセミナー「鳥を知る」, 博物館. (全1回, 6名)

◎江崎保男・脇坂英弥 2011.8.28 ひとくセミナー「鳥にとっての水田生態系—歴史的変遷」, 博物館. (全1回, 10名)

◎江崎保男 2011.10.2 ひとくオープンセミナー「鳥を知る」, 博物館. (全1回, 8名)

◎江崎保男 2011.11.11 ひとく特注セミナー「コウノトリの野生復帰と地域づくり」, 博物館. (全1回, 55名)

◎江崎保男 2011.11.11 ひとくセミナー「コウノトリの野生復帰と地域づくり」, 博物館. (全1回, 12名)

館外講演など

江崎保男 2011.10.30「コウノトリ野生復帰ランドデザインとジオパーク」講師, 兵庫県立コウノトリの郷公園博物館ソフト展開事業, コウノトリ文化館(30

名)

江崎保男・大迫義人・内藤和明・菊地直樹 2011.3.8
「野生復帰グランドデザインと豊岡の現状」講師,
各地のコウノトリの様子を知る会, コウノトリ生息
地保全協議会, コウノトリ文化館(50名)
江崎保男 2012.2.13 「自然とはなにか」講師, シニア
自然大学校, 大阪NPOプラザ(200名)
江崎保男 2012.3.13 「コウノトリの野生復帰と地域づ
くり」講師, 豊岡市立三江小学校(教員15名)
江崎保男 2012.3.14 「コウノトリの野生復帰と地域づ
くり」講師, 豊岡市立三江小学校(児童60名)
江崎保男 2012.3.18 「自然とはなにか」講師, 山の案
内人の会, 県民会館(50名)

兵庫県立大学・大学院教育

<兵庫県立大学での実績>

自然・環境科学研究科 教授

環境人間学研究科 教授

<講義等>

生態学特別演習(博士前期)

特別ゼミナールI(博士前期)

特別ゼミナールII(博士前期)

特別研究(博士前期)

環境人間学特別演習(博士後期)

環境人間学特別研究(博士後期)

共生生物学(学部)

<大学院生・主指導>

中川 潤(M1)「水田の鳥類群集に関する研究」

鳥居憲親(M1)「都市の鳥類群集に関する研究」.

脇坂英弥(博士後期課程)「人為管理下の農地に生息する鳥
類の生態学的研究」

<同, 副指導>

中塚圭子(博士後期課程)「人と犬の共生社会の創造」

<修士論文指導>

竹内美里「東アジアにおけるニホンスッポン(*Pelodiscus
sinensis*) 種群の遺伝的多様性, 分布履歴の解明と個体
群分類」修士論文副査

北尾一真「ミツバチへの神経系農薬の影響」修士論文副
査

<その他>

学部共通科目「共生生物学」40名

平成23年度大学院環境人間学研究科博士後期課程専門科目
の出題および採点委員

同 口述試験 面接委員

<委員等>

自然・環境科学研究科教員選考委員会, 委員長

自然・環境科学研究科教員評価委員会, 委員

自然・環境科学研究科自然環境系教員評価部会, 部長

同, 委員

環境人間学研究科資格認定委員会, 委員長

■連携事業

連携グループ等

指導: 溝田浩美, 楠瀬雄三, 脇坂英弥, 工 義久(い
ずれも主担当)

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等(計29件)

2009.6- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県.

2009.6- 兵庫県環境審議会, 鳥獣部会長, 兵庫県.

2008.8- 水源地生態研究会, 委員長, (財)ダム水源
地環境整備センター

2004.4- 川上ダム自然環境保全委員会, 委員, 水資源開
発機構

2004.4- 川上ダム希少猛禽類保全検討会, 委員長, 水
資源開発機構

2004.4- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会, 委
員, 大阪府

2004.10- 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員, 京都府

2007.11- 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会,
委員, 国土交通省

2009.8- 与布土ダム環境保全検討委員会, 委員長, 兵
庫県

2009.4.1- 河川・海岸環境機能等検討委員会, 委員,
リバーフロント整備センター

2009.9.4- 外来生物対応方策検討委員会, 委員, 兵庫
県

2011.6- 豊岡高等学校スーパーサイエンスハイスク
ール運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会

2011.10- 豊岡市生物多様性地域戦略策定検討委員会,
委員, 豊岡市

2011.4- 近畿地方整備局事業評価監視委員, 国土交通
省近畿地方整備局

2006.6- 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」ア
ドバイザー, 兵庫県

2007.6- 金出地ダム鳥類モニタリング, アドバイザー,
兵庫県

2009.10- 緑の生活林道建設業務(調査業務委託)丹
波広域基幹林道, アドバイザー, 京都府

2007.8- 丹住谷川通常砂防事業鳥類調査, アドバイザ
ー, 京都府

2008.3- 上流武庫川自然を活かした治水対策, アドバ
イザー, 兵庫県

2010.4- 紀の川湛水域生物生態調査, アドバイザー,
国土交通省, 和歌山河川国道事務所

2010.4- 由良川河川水辺の国勢調査, アドバイザー,
国土交通省, 福知山河川国道事務所

2010.10- 新名神高速道路兵庫県域自然環境保全検討
会, 委員, 西日本道路株式会社関西支社・西日本高
速道路エンジニアリング関西株式会社

2010.10- 和田山八鹿道路環境保全調査, アドバイザ
ー, 国土交通省,

2010.10- 加古川小野線東播磨南北道路環境調査, ア
ドバイザー, 加古川土木事務所

2010.3- コウノトリ野生復帰連絡協議会, 委員, 但馬
県民局

2011.6- 公益財団法人但馬ふるさとづくり協会, 評議
員

2011.11- 福井県コウノトリ定着推進会議, 委員, 福井
県安全環境部

相談・指導助言

来訪者 40 件, 180 名. 電話・FAX 相談 30 件, メール
相談 10 件.

田中 哲夫, Tetsuo TANAKA

自然・環境マネジメント研究所

流域生態研究グループ／研究推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授.

昭和23年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本生態学会, 日本魚類学会, 兵庫県
県政学会, 魚類自然史研究会, 関西自然保護機構, 兵庫
陸水生物研究会, ひょうご水辺ネットワーク等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

資料データベース整理活用M

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究
2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究
3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究
4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

■共同研究

部門研究「共生の現実と未来」分担者

■論文・著書

◎佐藤裕司・田中哲夫・永吉照人(2011)
キリンビール神戸工場のビオトープ池に出現した絶
滅危惧種. 人と自然, 22:81-84.

■その他著作

- ◎田中哲夫(2011) 書評「旅するウナギ」、黒木真理・
塚本勝巳(著)、熱帯生態学会ニューズレター、
No.85:6-8.
- ◎田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・谷本卓
弥(2012)「キリンビール神戸工場レフュジアビオト
ープに関する研究X」,レフュジアビオトープ研究会.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

田中哲夫(2011)キリンビオトープがカワバタモロコ
を救う、水辺のこわざ集会、人と自然の博物館、三
田.

田中哲夫(2012)カワバタモロコの絶滅要因を探る、
ひとはくセミナー、人と自然の博物館、三田市.

田中哲夫(2012)絶滅危惧種カワバタモロコの個体群
動態、日本生態学会、龍谷大学、大津.

■助成を受けた研究

治水と希少種の保全是両立するか(河川改修と魚類の
応答)河川環境管理財団, 研究代表者(金額98万円
/196万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 兵庫県産水生生物.

■受贈担当資料

- 2011.11 山科コレクション(淡水魚:ホトケ・ナガレホトケ
ドジョウ). 27点.
- 2011.11 大型哺乳類剥製(トラ・タイリクオオカミ等).
8点.
- 2011.11 ヤマドリ本剥製. 2点.
- 2012.3 タイメイ・アオウミガメ剥製. 2点.

■整理同定担当資料

淡水魚および水生生物全般昆虫.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 田中哲夫, 2011.4-5, 「ため池を探る」, 博物館・三田
市香下ため池群. (全4回,51名)
- 田中哲夫, 2011.8, 「キリンビール・ビオトープ池調査」,
夏季教職員セミナー, 博物館・キリンビール神戸工
場. (14名)
- 田中哲夫, 2011.9-10, 「ビオトープ池を調べる」, 祥雲
館高校連携セミナー, 博物館・キリンビール神戸工
場. (全3回,56名)

館外講演など

- 田中哲夫,2011.4, 「カワバタモロコとは」,宝塚市立逆
瀬台小学校, 宝塚市(11名).
- 田中哲夫,2011.5, 「キリンビオトープ探検隊」,播磨町
立播磨南小学校, 神戸工場(41名).
- 田中哲夫,2011.5, 「キリンビオトープ探検隊」,淡河町
立淡河小学校, 神戸工場(23名).
- 田中哲夫,2011.5, 「カワバタモロコの放流」,宝塚市立
逆瀬台小学校, 宝塚市(211名).
- 田中哲夫,2011.6, 「武庫川の魚たち」,武庫川流域環境
講演会、武庫川流域環境保全協議会、伊丹市立産業・
情報センター, 伊丹市(31名).
- 田中哲夫,2011.6, 「カワバタモロコの放流」,尼崎市立
潮小学校, 尼崎市(45名).
- 田中哲夫,2011.7, 「青垣の淡水魚」, 青垣・生き物ふれ
あいの里,丹波市(37名).
- 田中哲夫,2011.7, 「武庫川上流の淡水魚」, 草野公民館・
篠山市(38名).
- 田中哲夫,2011.7, 「食と生物多様性」, 兵庫県栄養士会
生涯学習研修会,神戸女子大学, 神戸市(39名).
- 田中哲夫,2011.8, 「水辺の生き物探検」むこっ子 サマ
ースクール, 兵庫県立西武庫公園,尼崎市(25名).
- 田中哲夫,2011.11, 「里の水辺に遊ぶ」, 篠山市高齢者大
学, 篠山市教育委員会, 四季の森生涯学習センター、
篠山市, (314名).
- 田中哲夫,2011.11, 「ホトケドジョウ」, ホトケドジョウ
フォーラム, 丹波の森公苑,
森林動物研究センター、丹波市, (28名)

兵庫県立大学・大学院教育

田中哲夫,2011.4,「研究と私」,課題研究ガイダンス、
兵立大学附属中学、博物館、(45名).

兵庫県立大学集中講義「共生生物学」(分担田中哲夫)
2010.9,「キリンビオトープの環境への取り組み」,キ
リンビール神戸工場,神戸市(24名).

非常勤講師

2011.10,「武庫川の淡水魚」,神戸大学「生物学野外実
習」,篠山市(15名).

2011.10,「武庫川の水生動物」,神戸大学「生物学野外
実習」,篠山市(20名).

2011.11,「進化と生物多様性」,関西学院大学「環境学
習」,三田市(240名).

2011.11,「外来生物と環境」,関西学院大学「環境学習」,
三田市(240名).

2011.11,「治水と河川環境」,関西学院大学「環境学習」,
三田市(240名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2011.7.~2011.8. 加東市 夏休み展示「水辺の生き物
たち」(滝野図書館)、加東市、971名

■連携事業

連携グループ等

谷本卓弥(ひとはく地域研究員;主アドバイザー)

琢磨千恵子(ひとはく地域研究員;主アドバイザー)

法西 浩(ひとはく地域研究員;主アドバイザー)

藤田茂宏(ひとはく地域研究員;主アドバイザー)

丹波のホトケドジョウを守る会(ひとはく連携活動グ
ループ;主アドバイザー)

山東の自然に親しむ会(ひとはく連携活動グループ;
副アドバイザー)

NPO 里山レンジャー(ひとはく連携活動グループ;副
アドバイザー)

森本静子(ひとはく地域研究員;副アドバイザー)

成果発表

2012.2 共生の広場 「カワバタモロコの数の変化に
ついて」,兵庫県立三田祥雲館高校(指導・協働)

2012.2 共生の広場 「わたしたちのビオトープ カ
ワバタモロコを増やす」,宝塚市立逆瀬台小学校ビオ
トープ委員会(指導・協働)

2012.2 共生の広場 「丹波地域のホトケドジョウの
保全活動」,丹波地域のホトケドジョウを守る会(ひ
とはく連携活動グループ)(指導・協働)

2012.2 共生の広場 「水の中の宝石」,森本静子(ひ
とはく地域研究員)(指導・協働)

■研究生等の受入

■フェスティバル等

2011.11 ひとはくフェスティバル,「駐車場整理」(分
担者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場におけるレフュジアビオトー
プに関する研究」. 代表者,キリンビール神戸工場.
(70万円).

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内,4回,25名.

■行政支援

委員会等(15件)

2011.4.-2012.3. 兵庫県立宝塚西谷の森公園運営協議
会,委員,宝塚市

2011.4.-2012.3. 加東市とひとはく協力協定連携推進
会議,委員,加東市教育委員会

2011.9.-2012.9. 篠山市森の学校復活大作戦実行委員
会,委員長,篠山市教育委員会

2011.4.-2012.3. 神戸市産業振興局指定管理者候補者
選定委員会,委員,神戸市産業振興局

2011.10.-2012.3. 「全国的な自然史系標本セーフティ
ネット構築」のためのワーキンググループ,委員,
独立行政法人 国立科学博物館

2011.6.-2012.3 「兵庫の貴重な自然」改定方針検討委
員会,委員,兵庫県環境課

2011.6.-2012.3 「兵庫の貴重な自然」生態系RDB検
討委員会,委員,兵庫県環境課

2011.6.-2012.3. 生物多様性兵庫戦略推進委員会,委
員,兵庫県自然環境課

2011.4.-2012.3 兵庫県環境影響評価審査会,委員,兵
庫県環境影響評価室

2011.4.-2012.3 武庫川水系に生息・生育する生物及び
その生活環境の持続に関する2つの原則に係る専門
検討委員会,委員,兵庫県国土整備部土木局

2011.6.-2012.3. 円山川水系自然再生推進委員会,委
員,豊岡河川国道事務所,豊岡土木事務所

2011.4.-2012.3 大滝ダム運用環境調査委員会,委員,国
土交通省近畿地方整備局

2011.4.-2012.3 猪名川自然環境委員会,委員,国土交通
省近畿地方整備局,猪名川河川事務所

2011.4.-2012.3 猪名川自然環境委員会・構造部会,委員,
国土交通省近畿地方整備局,猪名川河川事務所

相談・指導助言

来訪者20件,50名. 電話・FAX相談20件,メール相
談20件

■学会開催等支援

2012.2 近畿「子どもの水辺交流会」開催. 人と自然
の博物館、三田、400名.

三橋 弘宗, Hiromune MITSUHASHI

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ/シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
講師。

昭和45年京都府生. 京都大学大学院理学研究科博士前期
課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本陸水学会, 応
用生態工学会, アメリカベントス学会, 兵庫陸水生物研
究会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

シンクタンク推進室 室長

地域担当 (丹波)

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究
3. 樹脂を活用した展示物の作製技法に関する研究

■共同研究

総合共同研究「地域課題解決型の博物館実習プログラ
ムの構築」代表

部門研究「共生の現実と未来」分担者

■論文・著書

◎Osawa T., Mitsuhashi H., Niwa H. & Ushimaru A. (2011)

The role of river confluences and meanderings in
preserving local hot spots for threatened plant species in
riparian ecosystems. *Aquatic Conservation: Marine and
Freshwater Ecosystems*, 21, 358-363.

◎Tsujii M., Ushimaru A., Osawa T. & Mitsuhashi H. (2011)

Paddy-associated frog declines via urbanization: A test of
the dispersal-dependent-decline hypothesis. *Landscape
and Urban Planning* 103. 318-325

◎Arakida H., Mitsuhashi H., Kamada M. & Koyama

K.(2011) Mapping the potential distribution of
shorebirds in Japan: the importance of landscape - level
coastal geomorphology. *Aquatic Conservation: Marine
and Freshwater Ecosystems*, 21, 553-563.

◎Osawa T., Mitsuhashi H., Uematsu Y and Ushimaru A

(2011) Bagging GLM: improved generalized linear model
for the analysis of zero-inflated data. *Ecological
Informatics* 6. 270-275.

◎佐々木宏展・大澤剛士・久加朋子・前田知己・石田
裕子・清水洋平・三橋弘宗 (2011) コンクリート三
面張り河川における生息場所不均一性と底生動物の
群集構造の関係. *人と自然* 22, 13-20

◎渡辺昌造・三橋 弘宗 (2011) オオカクツツトビケ

ラ(トビケラ目カクツツトビケラ科)終齢幼虫の巣材
選択の季節変化, *人と自然* 22, 61-65

■その他著作

◎三橋弘宗 (2012) 「小さな自然再生のすすめ〜水辺
の生態系保全のための地域戦術〜」, 知水読本, 財
団法人リバーフロント整備センター. PP.95

■ブログへの情報提供

20件

■研究発表

久加朋子,竹林洋史,藤田正治,大澤剛士,清水洋平,石田
裕子,佐々木宏展,三橋弘宗(2011)固定床河川におけ
る流砂の伝播特性と水制を利用した生態系機能の回
復技術. 第15回応用生態工学会金沢大会, 金沢学院
大学

丹羽英之,三橋 弘宗(2011) 環境類型区分と指標生物を
ベースとした河川の健全性評価. 第15回応用生態
工学会金沢大会, 金沢学院大学

片野泉,三橋弘宗,森照貴,赤坂卓美,小野田幸生,一柳英
隆,萱場祐一,中村太士(2012)ベントス種多様性への
ダムの影響: データ解析によるダム上流下流間比較.
第59回日本生態学会滋賀大会, 龍谷大学, 大津市
三橋弘宗(2012) 生物分布データを用いたポテンシャ
ルマップの作成. 第59回日本生態学会滋賀大会, 龍
谷大学, 大津市

三橋弘宗(2012)河川の攪乱プロセスを還元する異なる
2つのアプローチ: チスジノリとバイカモ. 第59回
日本生態学会滋賀大会, 龍谷大学, 大津市

大澤剛士,神山和則,三橋弘宗(2012) 耕作放棄によって
"元"普通種が絶滅する. 第59回日本生態学会滋賀大
会, 龍谷大学, 大津市

三輪隆,小島倫直,河崎泰了,伊勢紀,伊東憲正,澤田昭男,
三橋弘宗(2012) 名古屋中心市街地におけるチョウ
類の移入と景観構造 - プランター設置による実証実
験. 第59回日本生態学会滋賀大会, 龍谷大学, 大津
市

宮田弘樹,伊勢紀,三輪隆,北野正人,三橋弘宗, 伊東憲正,
鈴木明子(2012) 種の多様性を規定する都市の景観
構造. 第59回日本生態学会滋賀大会, 龍谷大学, 大
津市佐々木宏展,大澤剛士,久加朋子,前田知己,田裕子,
清水洋平,三橋弘宗(2012) コンクリート三面張り河
川における生息場所不均一性と底生動物の群集構造
の関係, 第59回日本生態学会滋賀大会, 龍谷大学,
大津市

竹川有哉,三橋弘宗,河口洋一(2012) 日本列島における
イワナ属の生息適地モデルとその保全計画への活用.
第59回日本生態学会滋賀大会, 龍谷大学, 大津市
Naito, K., Mitsuhashi, H. and Ezaki, Y.(2012) Visibility and
selection of nest sites in oriental white stork. The 5th
EAFES International Congress, Ryukoku Univ. Otsu City

■学会役員など

日本生態学会近畿地区委員

日本生態学会保全生態学研究 編集幹事

関西淡水動物談話会 世話人
NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク 事務局

■助成を受けた研究

- 2011.4- 河川生態系管理における数値目標と実践的フレームワークの構築、文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究,研究代表者(金額130万円/240万円)
2011.4- 「ひょうごの川・自然環境調査」の標本資料の受入と管理に関する分任,兵庫県県土整備部河川計画課(主担当:70万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 兵庫県産水生生物.

■受贈担当資料

2012.3 兵庫県県土整備部河川計画室調査標本(円山川水系 魚類・底生動物). 200点.

■整理同定担当資料

底生動物および水生生物全般.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 三橋弘宗, 2011.5, 「川の水生昆虫の観察会 芦屋川上流編」, 芦屋市(54名)
三橋弘宗, 2011.5, 「芦屋川のモクズガニ調査(高校連携セミナー)」, 芦屋市(105名)
三橋弘宗, 2011.7, 「川の水生昆虫の観察会 加古川上流編」, 丹波市(24名)
三橋弘宗, 2011.7, 「小さな自然再生のすすめ」, シンポジウム・小さな自然再生のすすめ part2, 兵庫県立人と自然の博物館(130名)
三橋弘宗, 2011.8, 「第1回生物多様性協働フォーラム」, 兵庫県立人と自然の博物館(185名)
三橋弘宗, 2011.9, 「須磨海岸でウミホタルを観察しよう」, 神戸市(38名)
三橋弘宗, 2011.8, 「第2回生物多様性協働フォーラム」, 兵庫県立人と自然の博物館(147名)
三橋弘宗, 2011.11, 「プラスチック封入標本をつくらう」, 博物館(28名)
三橋弘宗, 2012.1, 「芦屋川の水環境調査(クラーク記念国際高等学校)」, 芦屋市(96名)
三橋弘宗, 2012.2, 「第3回生物多様性協働フォーラム」, 兵庫県立人と自然の博物館(430名)

オープンセミナー

- ◎三橋弘宗, 2011.4.3, 「きのこの解説やります!」, 博物館・ひとはくサロン(74名)
◎三橋弘宗, 2011.5.21, 「顕微鏡で水生昆虫を観察しよう」, 博物館・小セミナー室(65名)
◎三橋弘宗, 2011.8.28, 「顕微鏡で水生昆虫を観察しよう」, 博物館・小セミナー室(69名)

◎三橋弘宗, 2012.3.10, 「顕微鏡で水生昆虫を観察しよう」, 博物館・小セミナー室(40名)

特注セミナー

- 三橋弘宗, 2011.5, 「プラナリアの生態学」, 兵庫県立御影高等学校, 御影高等学校(20名)
三橋弘宗, 2011.6, 「水辺の生き物とその暮らし①」, 明石市立朝霧小学校, 博物館(36名)
三橋弘宗, 2011.6, 「水辺の生き物とその暮らし②」, 明石市立朝霧小学校, 博物館(36名)
三橋弘宗, 2011.6, 「水辺の生き物とその暮らし③」, 明石市立朝霧小学校, 博物館(37名)
三橋弘宗, 2011.8, 「川にすむ水生昆虫の調べ方(理科実験助手研修)」, 西宮市立総合教育センター, 博物館(14名)
三橋弘宗, 2011.9, 「プラナリアの生態学」, 兵庫県立御影高等学校, 御影高等学校(20名)
三橋弘宗, 2011.9 「生物多様性保全における博物館の役割」, GISによる天然資源農作物の管理(事務局:名古屋大学・JICA), 博物館(7人)
三橋弘宗, 2011.10 「テトラポッドづくり」, ジオキャラバン(岩美町立渚交流館), 鳥取県岩美町(30名)
三橋弘宗, 2011.10, 「水生昆虫の観察」, 加東市立東条東小学校, 加東市(40名)
三橋弘宗, 2011.10, 「川のしくみ」, 尼崎市立武庫南小学校, 博物館(107名)
三橋弘宗, 2011.10, 「水辺の生き物とその暮らし」, 神戸市立荒田小学校, 博物館(54名)
三橋弘宗, 2011.10 「地理情報システムと生息地管理」, 生物多様性保全のための野生動物問題解決手法コース(事務局:EnVision・JICA), 博物館(9人)
三橋弘宗, 2011.11, 「水辺の生き物とその暮らし」, 明石市立大久保南小学校, 博物館(199名)
三橋弘宗, 2011.11, 「水生生物について」, 川西市立川西北小学校, 博物館(82名)
三橋弘宗, 2012.2, 「川のしくみ」, 篠山市立古市小学校, 博物館(25名)
三橋弘宗, 2012.2, 「水生昆虫の観察」, 加東市立東条東小学校, 加東市立東条東小学校(40名)
三橋弘宗, 2012.3 「生物多様性情報と生態系管理」, アルゼンチン生物多様性情報システム改善コース(事務局:自然環境研究センター・JICA), 博物館(7人)
- #### 館外講演など
- 三橋弘宗, 2011.6 「ゲンジボタルの生態について」, 篠山市曾地川ホテル観察会, 篠山市曾地中區自治会(20名)
三橋弘宗, 2011.6 「河川整備計画における数値目標設定」, 北海道大学農学部森林管理学教室ゼミナール, 北海道大学(35名)
三橋弘宗, 2011.7 「神戸の水辺～生物多様性とその保全～」, KOBE環境大学(神戸市環境局), 神戸市長田区(45名)

三橋弘宗, 2011.7 「ひょうご・人と自然の川づくり事例集 2011」について, 河川講習会(兵庫県県土整備部), 神戸市中央区(200名)

三橋弘宗, 2011.7 「親子水辺の生き物観察会」, 東大阪幼稚園, 丹波市青垣町(145名)

三橋弘宗, 2011.7 「湿地づくり」, 豊岡市生息地保全協議会, 豊岡市(50名)

三橋弘宗, 2011.7 「河原の生き物探検」, 丹波市, 丹波市青垣町(40名)

三橋弘宗, 2011.7 「芦屋川の水生生物の観察会」, 芦屋市, NPO 法人さんびいす (70名)

三橋弘宗, 2011.7 「自然史系博物館の地域学」, 月例フォーラム「地域におけるアクターとしての科学者の役割」, 東京農工大学(40名)

三橋弘宗, 2011.7 「鴨川の水生生物観察会」, 加東市・ひとほく連携事業, 加東市(50名)

三橋弘宗, 2011.8 「羽束川の生態系について」, 篠山市環境課, 篠山市(15名)

三橋弘宗, 2011.8 「小稗地区におけるバイカモについて」, 神楽自治会, 丹波市(50名)

三橋弘宗, 2011.8 「水生生物の封入標本づくり(その1)」, 芦屋市, NPO 法人さんびいす (30名)

三橋弘宗, 2011.8 「水生生物の封入標本づくり(その2)」, 芦屋市, NPO 法人さんびいす (30名)

三橋弘宗, 2011.9 「小さな自然再生の実地見学」, 兵庫県立コウノトリの郷公園, 豊岡市(12名)

三橋弘宗, 2011.10 「自然史博物館の役割」, 神戸大学理学部特別講義, 神戸市東灘区(15名)

三橋弘宗, 2011.10 「ENEOS わくわく生き物学校」, 豊岡市生息地保全協議会, 豊岡市田結(45名)

三橋弘宗, 2011.11 「多自然川づくり近畿ブロック会議」, 近畿地方整備局河川部, 近畿地方整備局大会議室(200名)

三橋弘宗, 2011.11 「篠山城外来種駆除」, 篠山市森の学校大作戦(篠山市環境課), 篠山市 (50名)

三橋弘宗, 2011.12 「コウノトリの生息地推定モデルと自然再生」, 北海道大学農学部森林管理学教室セミナー, 北海道大学(28名)

三橋弘宗, 2011.12 「生息適地モデリング実習」, 数理生態学勉強会, 東京都千代田区 (55名)

三橋弘宗, 2012.1 「気候変動と生息適地モデリング実習」, 自然環境研究センター特別講義, 東京都台東区 (10名)

三橋弘宗, 2012.1 「博物館常設展示ワークショップ」, 三重県立博物館展示更新(NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク), 三重県立博物館 (58名)

三橋弘宗, 2012.1 「川のしくみ」, 西播磨高齢者文化大学, たつの市(70名)

三橋弘宗, 2012.2 「湿地づくり検討会」, 神戸市総合運動公園(神戸市公園緑化協会), 神戸市西区(20名)

三橋弘宗, 2012.2 「全体総括」, 第5回近畿子どもの水辺交流会, 兵庫県立人と自然の博物館(430名)

三橋弘宗, 2012.3 「気候変動と生息適地モデリング実習」, 第19回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会, 神戸市中央区(兵庫県立大学シミュレーション科学研究科) (46名)

非常勤講師

2011.11 名古屋大学環境学研究科特別講義「環境問題への挑戦」 (50名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

森本静子(ひとほく地域研究員; 主アドバイザー)
渡辺晶造(ひとほく地域研究員; 主アドバイザー)

副担当

琢磨千恵子(ひとほく地域研究員; 副アドバイザー)
東山真也(ひとほく地域研究員; 副アドバイザー)

展示作成

2011.7.16-8.26 ジオキャラバン展示製作一式, 新温泉町山陰海岸ジオパーク館

2011.9.1-9.27 ジオキャラバン展示製作一式, 香美町海の文化館

2011.8.1-8.31 守ろう但馬の自然遺産(但馬ドームサマーミュージアム) 展示製作一式, 豊岡市但馬ドーム

2011.10.1-10.23 ジオキャラバン展示製作一式, 岩美町立渚交流館

2011.10.15-10.30 豊岡盆地とコウノトリ展示製作一式, 兵庫県立コウノトリの郷公園

2011.10.29-11.20 ジオキャラバン展示製作一式, 湖山池情報プラザ

2011.11.23-12.18 ジオキャラバン展示製作一式, 道の駅「神鍋高原」

2011.12.23-2012.1.15 ジオキャラバン展示製作一式, 京丹後市琴引浜鳴き砂文化館

2012.2.4-3.11 ジオキャラバン展示製作一式, 兵庫県立人と自然の博物館

セミナー担当

三橋弘宗, 2011.10 「テトラポッドづくり」, ジオキャラバン(岩美町立渚交流館), 鳥取県岩美町(30名)

■連携事業

連携グループ等

NPO 法人さんびいす(ひとほく連携活動グループ; 主担当)

里山レンジャー(ひとほく連携活動グループ; 主担当)
水辺のフィールドミュージアム(ひとほく連携活動グループ; 主担当)

丹波のホトケドジョウを守る会(ひとほく連携活動グループ; 副アドバイザー)

成果発表

2011.2 共生の広場「あなたの町でもザリガニはいはい?! ~アメリカザリガニの遡上特性を利用した新しい駆除方法の開発~」, 佐々木宏展・久加明子・清水洋平・石田裕子・大澤剛士・戸田京嗣・立木裕貴(ひとほく連携活動グループ 水辺のフィールドミュージアム研究会)

2011.2 共生の広場「キノコの出現には雨量と気温のどちらが優先的にはたらくのか～六甲山再度公園における長期観測データから読み解く～」, 中川貴博・山本海豪・河野沙音・小野菜津 (兵庫県立御影高等学校)

2011.2 共生の広場「プラナリアの住みやすい環境をつくる～小改造!石屋川・ビフォア→アフター～」, 飛田美樹・末岡真里奈・谷本紗希・藤原尚子 (兵庫県立御影高等学校)

2011.2 共生の広場「丹波地域のホトケドジョウの保全活動」, 山科ゆみ子・仲井啓郎・樋口清一・大塚剛二・足立隆昭・大谷吉春・長井克己・杉本義治・矢尾健三郎・田井彰人・酒井達哉・村上俊明・上平健太 (ひとはく連携活動グループ 丹波地域のホトケドジョウを守る会)

2011.2 共生の広場「見て!嗅いで!触って感じる六甲山のキノコ展～五感で感じる多様性の不思議～」, 河野沙音・村上史絵織・山本海豪 (兵庫県立御影高等学校)

2011.2 共生の広場「水の中の宝石」, 森本静子 (ひとはく地域研究員、NPO 法人シニア自然大学校水生生物科)

2012.3 日本生態学会第 59 回全国大会 (2012 年 3 月, 大津) 「コンクリートの川にホテルを増やそう～池尻川ホテル再生計画～」, 室崎隆春, 棘木悠, 奥絵梨香, 國戸麻生, 清内優一, 鈴木魁人, 堀内湧也, 本松明日香, 廣畑直樹, 福井一輝, 山口裕之, 鳥生大祐 (兵庫県立有馬高等学校)

2012.3 日本生態学会第 59 回全国大会 (2012 年 3 月, 大津) 「キノコの出現パターンに雨量と気温がどのように影響するのか～六甲山再度公園における長期観測データから読み解く～」, 中川貴博, 坂田雅之, 飛田美樹, 小野菜津 (兵庫県立御影高等学校)

共催事業

2011.7 小さな自然再生のすすめ, 水辺のフィールドミュージアム研究会, 兵庫県立人と自然の博物館 (130 名)

2011.1 六甲山のキノコ展, 県立御影高校, 御影公会堂, 神戸市東灘区 (340 名)

■研究生等の受入

博物館実習

2011.8.10-8.21 琉球大学, 関西学院大学, 岡山理科大学, 近畿大学, 鳥取大学, 神戸学院大学それぞれ 1 名

■フェスティバル等

2011.11 会場設営係・駐車場係・ステージ補助係

■展示

ミニ企画展

2011.2.16-2011.5.15 ミニ企画展「六甲山のキノコ展 2011—野生のキノコの不思議な魅力」(主担当).

2012.3.13-2012.5.6 ミニ企画展「六甲山のキノコ展 2012」(主担当).

2012.2-2F 常設展示 (生物の世界) における演習プログラム「川で魚釣り」(主担当).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内, 5 回, 30 名.

■行政支援

委員会等 (19 件)

2011.4-2012.3 円山川水系自然再生推進委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.

2011.4-2012.3 円山川水系自然再生推進委員会技術部会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.

2011.4-2012.3 森の学校復活大作戦検討委員会, 委員, 篠山市.

2011.4-2012.3 円山川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県但馬県民局.

2011.4-2012.3 生物多様性支援アドバイザー, アドバイザー, 兵庫県自然環境課.

2011.4-2012.3 「源流の里」環境保全活動支援委員会, 委員長, 丹波県民局.

2011.4-2012.3 武庫川上流ルネッサンス懇談会, 委員, 兵庫県三田土木事務所.

2011.4-2011.9 千種川水系河川整備計画検討委員会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所.

2011.4-2012.3 G B I F 技術専門委員会, 委員, 独立行政法人科学技術振興機構.

2011.4-2012.3 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する 2 つの原則に係る専門検討委員会, 委員長, 兵庫県土整備部土木局.

2011.4-2012.3 生物多様性評価の地図化に関する検討会, 委員, 環境省自然環境局.

2011.4-2012.3 淀川水系猪名川圏域河川整備計画検討委員会, 委員, 兵庫県宝塚土木事務所.

2011.4-2012.3 中国横断自動車道環境マネジメント検討委員会, 委員, 国土交通省中国地方整備局

2011.7-2012.3 我が国の絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する点検会議, 委員, 環境省自然環境局.

2011.8-2012.3 豊岡市生物多様性戦略検討委員会, 委員, 豊岡市.

2011.11 兵庫県森林動物研究センター (第 II 期) 所内ネットワーク及び情報システム構築業務企画提案競技, 審査委員, 兵庫県森林動物研究センター.

2011.9 長期的な国土利用と生態系サービスの変化に関する調査, 有識者ヒアリング, 国土交通省国土政策局総合計画課.

2012.3 生物多様性分野の代償措置に関する評価手法等調査, 有識者ヒアリング, 環境省総合環境政策局.

2012.3 生物多様性ハビタットマップ作成手法調査業務, 委員, 環境省自然環境局.

相談・指導助言

来訪者 90 件, 230 名. 電話・FAX 相談 75 件, メール

相談 90 件.

大谷 剛, Takeshi OHTANI

自然・環境マネジメント研究所
動物共生研究グループ/生涯学習推進室副室長、生涯学習推進室スクールパートナーマネージャー
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門教授。

昭和22年福島県生、北海道大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学。理学博士。日本昆虫学会、日本生態学会、日本動物行動学会、国際社会性昆虫学会、兵庫県生物学会、日本直翅類学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 スクールパートナーマネージャー・担当 「第二回いきものかわらばん」募集・展示・表彰のマネジメント、ワークシート類の改訂のマネジメント、その他学校関係のマネジメント

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ミツバチ類の収穫ダンスに関する基礎的研究
2. 1 個体追跡法に基づく動物の行動研究
3. 動物の歩行肢に関する考察

■論文・著書

上道賢太・大崎浩一・大谷 剛 (2011) セイヨウミツバチの造巣初期段階における行動と巣のパターン過程. 兵庫生物 14:185-189.

■その他著作

大谷 剛 (2011) 鳴く虫の聞き分けは意識のチューニング. 「自然保護」N0.523: 20-21.
大谷 剛 (2011) 第二回ひとはく「いきものかわらばん」実施報告. ひとはく新聞(ハーモニー73号 2011.12.25).

■研究発表

大谷 剛 (2011) ミツバチはダンスコミュニケーションを理解していないのではないか, 第10回バイオメティクス研究会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市(2011.9.1).
大谷 剛(2011) ミツバチはダンス言語を使いこなせない. 第五回生物学基礎論研究会.慶応義塾大学、東京都 (2011.9.6).

■学会役員など

兵庫県生物学会, 編集委員.
日本昆虫学会, 評議員

■助成を受けた研究

新規神経毒系殺虫剤がミツバチ概日振動、帰巣行動の攪乱にかかわる可能性(研究代表者:竹田真木生). 山田養蜂場みつばち研究助成基金・CCD 緊急公募助成金・H21年10月1日~H23年9月30日(株・山田養

蜂場), 研究分担者(金額225千円/450千円).

ミツバチに収穫ダンスを踊らせなかったら何が起こるか. 科学研究費助成・挑戦的萌芽研究, 研究代表者(金額90万円/140万円).

■賞罰

学会賞(日本昆虫学会)

Sugiura, M., Imafuku, M. and Ohtani, T. (2010) Skipping flights in *Ypthima* butterflies (Lepidoptera: Nymphalidae). Entomological Science, 13:183-190

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.3-7 ゲンジボタル幼虫上陸数観察・成虫飛来数. 神戸市北区道場町.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

大谷 剛, 2011.4~7, 「愛蜂家養成講座・上級」、博物館. (全4回, 9+6+10+5=30名)

大谷 剛, 2011.5.29, 「家族で蜜しぼり5月」、博物館. (34名)

大谷 剛, 2011.6.26, 「家族で蜜しぼり6月」、博物館. (26名)

大谷 剛, 2011.6~10, 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」、博物館・深田公園(全4回 6+5+5+6=22名)

大谷 剛・フロアスタッフ, 2011.6.12, ふかたん「ハチの巣の観察」、博物館(オープン、11名)

大谷 剛, 2011.7.16, 「六本足と四本足の不思議」、博物館. (オープン、17名)

大谷 剛・沢田佳久, 2011.8.4; 8.11, 「親子でつくる昆虫標本(全2回)」, 博物館. (全2回, 15+15=30名)

大谷 剛・沢田佳久, 2011.8(土・日・月), 「昆虫標本づくり実演コーナー2011」、博物館. (オープン、全12回, 444名)

大谷 剛, 2011.8.9;8.16 「標本をつくって昆虫につよくなろう」(教職員セミナー) 博物館(全2回 8+8=16名)

大谷 剛, 2011.8~2011.10, 「上級鳴く虫インストラクター養成講座」、道場町日下部・博物館. (全4回, 4+4+4+4=16名)

「きんひぼり」・大谷 剛, 2011.10.8, 「親と子の鳴く虫の夕べ」、神戸市北区道場町日下部ふれあい会館. (全1回, 13名)

大谷 剛, 2011.9.25, 「昆虫と食文化」、博物館. (オープン、11名)

大谷 剛, 2011.8~12, 「愛蜂家養成講座・初級」、博物館. (全4回, 15+11+9+7=42名)

大谷 剛, 2012.2.25, 「ミツバチの蜂群崩壊症候群(CCD)と大量死」、博物館. (オープン、14名)

大谷 剛, 2012.3.24, 「昆虫のさなぎのふしぎ」、博物館。(オープン, 36名)

館外講演など

大谷 剛, 2011.4.21, 「昆虫トピックス30分」、大阪府立泉北高校、(25名)

大谷 剛, 2011.5.13, 「さなぎのふしぎ」、川西市立川西小学校、(112名)

大谷 剛, 2011.5.19, 「昆虫トピックス30分」、三木市立広野小学校、(94名)

大谷 剛, 2011.6.19, 「ハチミツ絞り午前の部・午後の部」、JAF兵庫支部、(52名)

大谷 剛, 2011.6.25, 「ハチミツ絞り午前の部・午後の部」、JAF兵庫支部、(45名)

大谷 剛, 2011.7.13, 「ハチミツ絞り」、宝塚市立老人福祉センターいきいき学舎・フレミラ宝塚2年生、(28名)

大谷 剛, 2011.7.13, 「毒をもつ虫たち」、宝塚市立老人福祉センターいきいき学舎・フレミラ宝塚1年生、(20名)

大谷 剛, 2011.7.30, 「ハチミツ絞り午前の部・午後の部」、JAF兵庫支部、(48名)

大谷 剛, 2011.8.3, 「ハチミツしぼりたいけん」、(財)ひょうご科学技術協会、(43名)

大谷 剛, 2011.8.7, 「昆虫クイズ8問」、広野子ども会(三木市)、(37名)

大谷 剛, 2011.9.16, 「昆虫クイズ8問」、宝塚市立宝塚小学校、(161名)

大谷 剛, 2011.9.30, 「昆虫の話」、高砂市立荒井小学校、(127名)

大谷 剛, 2011.10.14, 「深田公園のむし」、三田市立弥生小学校、(41名)

大谷 剛, 2011.11.1, 「深田公園の昆虫」、丹波市立南小学校、(35名)

大谷 剛, 2011.11.25, 「昆虫トピックス30分」、尼崎市立浜田小学校、(61名)

大谷 剛, 2011.12.6, 「昆虫トピックス30分」、市川町立瀬加小学校、(13名)

館外連携共催セミナー

大谷 剛, 2011.7.17, たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり」、講師, NPO 法人たかつき, 大阪府衛生会けんこうの里地域交流支援センター (32名)

大谷 剛, 2011.7.23, 「昆虫採集と標本の作り」、講師, NPO 法人北はりま田園空間博物館, 道の駅北はりまエコミュージアム (28名).

大谷 剛, 2011.7.31, 「昆虫標本の作り方、仕上げ、同定」、講師, NPO 法人北はりま田園空間博物館, 道の駅北はりまエコミュージアム (28名).

大谷 剛, 2011.8.8, 「ギッチョン君・ハチミツカメン・くびれ紋」、今治タオル美術館 (37名)

大谷 剛, 2011.8.21, NPO たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり、仕上げ、標本へ」、大阪府衛生会けんこうの里地域交流支援センター (28名).

館外講師派遣

大谷 剛, 2012.1.18, 「昆虫と食文化」、神戸国際大学ゲストティーチャー講義、(80名)

兵庫県立大学・大学院教育

昆虫行動特論 (主任)

非常勤講師

2011.5.16, 「昆虫野外観察」、神戸市シルバーカレッジ.

ラジオ・テレビ等出演

2011.9.20, 「秋の鳴く虫について」、ラジオ関西(浅井・雨宮・赤沢)

■連携事業

連携グループ等

アピス同好会 (主担当)、鳴く虫研究会「きんひばり」(主担当)、NPO さんぽくらぶ (主担当)

成果発表

2011.2, 共生の広場 「クツワムシはどこにいる?—加西市・篠山市の分布調査—」(口頭発表), 高田要・河井典子・鳴く虫研究会「きんひばり」(指導)

2011.2, 共生の広場 「一粒の大豆から、親子で味噌作り」(ポスター発表), 鈴木久代他6名・NPO さんぽくらぶ (指導)

2011.2, 共生の広場 「鳴く虫ワールド2010」(ポスター発表), 鳴く虫研究会「きんひばり」(指導)

共催事業

2011.8, 「北はりま昆虫展」、NPO 法人北はりま田園空間博物館 (展示制作, セミナー実施)

2011.7.11~8.9 「タヨウ星人原画展」、今治市タオル美術館 ICHIRO (展示制作, セミナー実施)

2011.8.13~8.28 「タヨウ星人原画展」、豊岡市コウノトリ文化館 (展示制作, セミナー実施)

協力事業

2011/6/4;7/4;8/23;8/28;10/4 ①ホテルの観察会②はちみつ搾り③昆虫標本づくり④イナゴを獲って食べるひとはく連携活動グループ・NPO 法人「さんぽくらぶ」(セミナーの実施)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6.7-6.10, 三田市立長坂・八景・ゆりのき台中学校 3名、丹波市立山南中学校 1名.

学校団体対応

8校に対応

講師派遣

2012.1, 「昆虫と食文化」、講師, 神戸国際大学3年生 (80人)

■展示

企画展

2011.7.20~10.2, 展示特別企画「フェアブルたちの夏—昆虫の世界2011」(分担者).

ミニ企画展

2011.10.8~2012.1.9, 臨時展示「ひとはくいきものかわらばん展」<661点> (責任者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内，2回，5名.

■行政支援

相談・指導助言

来訪者2件，4名. 電話・FAX相談8件，メール相談7件.

三谷 雅純, Masazumi MITANI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ/研究推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授

昭和29年香川県生. 京都大学大学院動物学研究科博士後
期課程修了. 理学博士. 日本霊長類学会, International
Primatological Society, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ
学会, 日本生態学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所
属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

研究推進室 研究紀要マネジメント・グループ 紀要
『人と自然 Humans and Nature』編集委員会委員長、

2. 研究開発部門

博物館哺乳類標本の管理

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. ユニバーサル・デザインの視点から見た生涯学習の
あり方
2. インドネシア熱帯林の霊長類の生態と保全

■論文・著書

三谷雅純 (2011) ユニバーサル・ミュージアムで文章
はどう書くべきか: コミュニケーション障がい者へ
の対応を中心とした年齢, 発達, 障がいの有無によ
るギャップ克服の試み. 人と自然 *Humans and
Nature* 22: 43-51.

三谷雅純 (2011) 『ヒトは人のはじまり』, 毎日新聞社,
単著, pp. 221.

三谷雅純 (共訳) (2011) 『動物園学』, 村田浩一・楠田
哲士 (監訳), 文永堂出版, 507-534. [*Zoo Animals
Behavior, Management, and Welfare*. Geoff Hosey,
Vicky Melfi, Sheila Pankhurst (eds.), Oxford University
Press.]

■その他著作

◎三谷雅純 (2011) ユニバーサル・ミュージアムを
めざして: 文章のくふうはどこまで可能か? 博物
館研究 46: 58.

◎三谷雅純 (2011) 大震災とこころのストレス/阪
神・淡路大震災の経験. 霊長類学の窓: ヒトは人
のはじまり (107), 毎日新聞 (4月5日)

◎三谷雅純 (2011) 記録にない規模の災害/それでも
ヒトは生き続ける. 霊長類学の窓: ヒトは人のは
じまり (108), 毎日新聞 (4月12日)

◎三谷雅純 (2011) 原子力とボコの<掘り棒>/弱者
としての人間. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり
(109), 毎日新聞 (4月19日)

◎三谷雅純 (2011) 誰が子どもを育てるのか? /「お
ばあさん仮説」と現代の家族. 霊長類学の窓: ヒト
は人のはじまり (110), 毎日新聞 (4月26日)

◎三谷雅純 (2011) 赤ん坊を育てる-1/授乳とキャ
ンプの移動. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり
(111), 毎日新聞 (5月3日)

◎三谷雅純 (2011) 赤ん坊を育てる-2/大きなコド
モが乳首をしゃぶる. 霊長類学の窓: ヒトは人のは
じまり (112), 毎日新聞 (5月10日)

◎三谷雅純 (2011) 赤ちゃんは宇宙人? /もうひとつ
の脳内地図. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり
(113), 毎日新聞 (5月17日)

◎三谷雅純 (2011) 長い授乳期間/われわれが忘れた
感覚. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (114),
毎日新聞 (5月24日)

三谷雅純 (2011) ゴリラの新婚生活/メスが持つ選択
権. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (115), 毎
日新聞 (5月31日)

三谷雅純 (2011) エサ場の選択もメスの役目/ゴリ
ラのオスの立場は? 霊長類学の窓: ヒトは人のは
じまり (116), 毎日新聞 (6月7日)

三谷雅純 (2011) ゴリラの家族生活/家族を守るオ
スのゴリラ. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (117),
毎日新聞 (6月14日)

三谷雅純 (2011) 湿地でのゴリラの遭遇/オスとオ
スがであったら? 霊長類学の窓: ヒトは人のはじ
まり (118), 毎日新聞 (6月21日)

◎三谷雅純 (2011) ピラミッド型社会の神話メスの
都合とオスの都合. 霊長類学の窓: ヒトは人のは
じまり (119), 毎日新聞 (6月28日)

三谷雅純 (2011) 霊長類学者には女性が多い? /根
気強さと繊細さと. 霊長類学の窓: ヒトは人のは
じまり (120), 毎日新聞 (7月12日)

三谷雅純 (2011) ゴリラは資源か? /フォッシーさ
んの功罪. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (121),
毎日新聞 (7月26日)

三谷雅純 (2011) 地面の指のあと-1/ゴリラが砂
絵を描く? 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (122),
毎日新聞 (8月2日)

三谷雅純 (2011) 地面の指のあと-2/砂をなめる
ゴリラ. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (123),
毎日新聞 (8月9日)

三谷雅純 (2011) ゴリラに広がる皮膚病-1/人にも
残る感染症. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり
(124), 毎日新聞 (8月23日)

三谷雅純 (2011) ゴリラに広がる皮膚病-2/ゴ
ールはまだ見えない. 霊長類学の窓: ヒトは人のは
じまり (125), 毎日新聞 (8月30日)

◎三谷雅純 (2011) デイジー? DAISY? /視覚に頼
らずに本を読む. 霊長類学の窓: ヒトは人のは
じまり (126), 毎日新聞 (9月6日)

◎三谷雅純 (2011) 失語症者が自由にしゃべる? /

- デジニーのもうひとつの利用法. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (127), 毎日新聞 (9月27日)
- ◎三谷雅純 (2011) 社会の中の障がい者/どうやって共に暮らすか. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (128), 毎日新聞 (10月4日)
- ◎三谷雅純 (2011) 「後形質的多様性」?/脳こうそくのもうひとつの意味. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (129), 毎日新聞 (10月18日)
- ◎三谷雅純 (2011) ユニバーサル社会-1/さまざまな人が共に暮らす. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (130), 毎日新聞 (11月1日)
- ◎三谷雅純 (2011) ユニバーサル社会-2/コミュニケーションを支援する. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (131), 毎日新聞 (11月8日)
- ◎三谷雅純 (2011) ユニバーサル社会-3/ユニバーサル・ミュージアムは社会実験. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (132), 毎日新聞 (11月15日)
- ◎三谷雅純 (2011) 図書館の音訳サービス/わたしの本の音訳. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (133), 毎日新聞 (11月22日)
- ◎三谷雅純 (2011) 10代という年齢/ヒトだけが向き合う課題. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (134), 毎日新聞 (11月29日)
- ◎三谷雅純 (2011) 10代での結婚/アフリカの村人の場合. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (135), 毎日新聞 (12月6日)
- ◎三谷雅純 (2011) 姉と弟と近所の子ども/小さな社会で学ぶこと. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (136), 毎日新聞 (12月13日)
- ◎三谷雅純 (2011) フクシマを見守る/未来を信じることでしか. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (137), 毎日新聞 (12月20日)
- ◎三谷雅純 (2012) 音楽と科学の関係-1/わたしが音楽のことを書くなんて. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (138), 毎日新聞 (1月17日)
- ◎三谷雅純 (2012) 音楽と科学の関係-2/〈クー〉というハーモニー. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (139), 毎日新聞 (1月24日)
- ◎三谷雅純 (2012) 音楽と科学の関係-3/ネアンデルタール人の「お墓」. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (140), 毎日新聞 (1月31日)
- ◎三谷雅純 (2012) 音楽と科学の関係-4/広がる世界が違う. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (141), 毎日新聞 (2月7日)
- ◎三谷雅純 (2012) ろう者の生きるもうひとつの世界/空間の記憶と「豊かな世界」. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (142), 毎日新聞 (2月14日)
- ◎三谷雅純 (2012) 「脳の鏡」に映る姿は...../失語症者には〈共感〉が必要? 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (143), 毎日新聞 (2月21日)
- ◎三谷雅純 (2012) わたしたち、ヒトの日常/〈ことば〉と〈こころ〉の関係. 霊長類学の窓: ヒトは人

のはじまり (144), 毎日新聞 (3月6日)

- ◎三谷雅純 (2012) ヒトの集団サイズの大きさ/さまざまな人のいる社会. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (145), 毎日新聞 (3月18日)

- ◎三谷雅純 (2012) これで、おしまい/自分の生きる世界が広がる. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (146), 毎日新聞 (3月27日)

■研究発表

三谷雅純, 渡邊邦夫 シルバールトンの個体数密度はどのように決まるのか? 日本霊長類学会, 犬山コンベンション・ホール, 犬山市.

三谷雅純 二次植生と繊維食性霊長類の食性: 海洋に面する孤立したハビタートの持つ意味. 共同利用研究会「アジアの霊長類の保全と社会生態研究に関する近年の新たな展開」, 京都大学霊長類研究所, 犬山市.

■学会役員など

日本霊長類学会, 優秀賞審査委員
Acta Theriologica, Reviewer

■助成金を受けた研究

失語症者が楽しめるユニバーサル・ミュージアムの研究. 日本科学協会 実践研究, 研究代表者 (金額 28万円)

高齢な失語症者が楽しめる博物館の研究: ユニバーサルな観点から. 大阪ガスグループ福祉財団「研究・調査助成」, 研究代表者 (28万円/45万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3, ユニバーサル・ミュージアムに関する資料

■整理同定担当資料

インドネシア, 西ジャワ州パンガンダランの植物の同定

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三谷雅純, 2011.4, 特注セミナー「霊長類考古学?」(大阪大学理学部生物系), 博物館. (60名)

◎三谷雅純, 2011.4, オープンセミナー「絵をかき、字を読むチンパンジー」, 博物館. (10名)

◎三谷雅純, 2011.4, オープンセミナー「道具を使うチンパンジー」, 博物館. (20名)

三谷雅純, 2011.5, 「霊長類学 頭の体操 2011年版」, 博物館. (11名)

三谷雅純, 2011.8, 夏期教職員セミナー「『障害』のある子どもたちとの野外活動入門」, 博物館. (23名)

◎三谷雅純, 2011.4, オープンセミナー「絵をかき、字を読むチンパンジー」, 博物館. (20名)

◎三谷雅純, 2011.4, オープンセミナー「道具を使う

チンパンジー」, 博物館. (60名)
三谷雅純, 2011.11, 「<こころ>とくことば>を科学する」, 博物館. (11名)
三谷雅純, 2011.12-2011.1, 「霊長類学が描くヒトの姿ーわれわれは何者か?」(県立有馬高等学校連携セミナー), 博物館. (全2回, 90名)
三谷雅純, 2011.12, 「むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと」, 博物館. (9名)
三谷雅純, 2011.12, 「霊長類学 頭の体操 2011年版」(大阪府立豊中高校ウィンタースクール), 博物館. (40名)

館外講演など

三谷雅純, 2011.4-11, 「パソコンを使った言語リハビリ」, 地域活動支援センター トークゆうゆう. (10名 x 20回)
三谷雅純, 2011.5, 「霊長類学の話」, 失語症友の会 むつみ会. (40名)
三谷雅純, 2011.6, 「霊長類学 頭の体操 2011年版」, 兵庫県立津名高等学校. (120名)
三谷雅純, 2011.11, 「脳梗塞になって見えてきたもの」, ひょうご失語症者の会交流会. (140名)
三谷雅純, 2011.12, キャリアパス・セミナー, 京都大学霊長類研究所. (100名)
三谷雅純, 2012.3, 「パソコンを使った言語リハビリ: DAISYの話」, 失語症友の会 むつみ会. (40名)

■兵庫県立大学・大学院教育

非常勤講師

2011.10-2012.3. 「生物学」, 近大姫路大学.

ラジオ・テレビ等出演

2011.7, 「モーニングアベニュー ヒトを探る霊長類学」, FM あまがさき aiai

■連携事業

連携グループ等

東中国クマ集会 (協働)

市民団体「サイエンス・サロン」(主催)

■学校教育支援

学校団体対応

2011.4, 大阪大学理学部生物系. (60名)

2011.12, 兵庫県立有馬高等学校. (42名)

2011.12, 大阪府立豊中高等学校. (40名)

2012.1, 兵庫県立有馬高等学校. (42名)

■フェスティバル等

2011.11, ひとはくフェスティバル, 記録担当.

2012.2, 共生のひろば2011, ポスター発表審査員.

2011.4- 青少年育成事業団, 理事, (財)関西テレビ 青少年育成事業団.

相談・指導助言

来訪者 10件, 20名. メール相談 200件.

2011.4- 失語症者の発話機能回復のためのコンピュータ利用について.

2011.4- 脳梗塞者に無理のない野外活動について.

2011.4- 青少年のキャンプを中心とした野外活動について.

2011.4- インドネシア、パンガンダラン自然保護区などの自然について.

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (3件)

2011.4-2012.3, Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).

2011.4-2012.3, Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).

北村 俊平, Shumpei KITAMURA

自然・環境マネジメント研究部
動物共生研究グループ／事業推進室
研究員

昭和50年石川県生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
後期課程修了. 理学博士.

日本生態学会, 日本熱帯生態学会, Association for Tropical
Biology and Conservation 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室, フェスティバル・共生のひろば担当
地域担当 (神戸)

2.研究開発部門

会計担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 東南アジアの熱帯林における動物による種子散布の研究
2. 日本国内の動物による果実食と種子散布情報の収集

■共同研究

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」, 研究分
担者.

■論文・著書

Kitamura, S. (2011) Frugivory and seed dispersal by
hornbills (Bucerotidae) in tropical forests. *Acta
Oecologica* 37:531-541.

Viseshakul, N., Charoenitikul, W., Kitamura, S., Kemp, A.
C., Thong-Aree, S., Surapunpitak, Y., Poonswad, P., &
Ponglikitmongkol, M. (2011) A phylogeny of frugivorous
hornbills, linked to the evolution of Indian plants within
Asian rain forests. *Journal of Evolutionary Biology*
24:1533-1545.

北村俊平 (2012) タイの熱帯季節林における大型の果
実食鳥類サイチョウ類による種子散布. In 種間関係
の生物学: 共生・寄生・捕食の新しい姿 種生物学
研究 35: 123-149.

■その他著作

北村俊平. (2011) 果実食動物と種子散布の国際会議
(FSD2010) 参加記. 熱帯生態学会ニューズレター
83号, Pp 9-12

北村俊平. (2011) ひとつはくフェスティバル2011を開
催しました! ひとつはく新聞 (ハーモニー75号)

北村俊平. (2011) 第7回共生のひろばを開催します!
ひとつはく新聞 (ハーモニー75号)

北村俊平. (2012) 第7回共生のひろばが2/11(土・祝)
に開催されました! ひとつはく新聞 (ハーモニー76
号)

北村俊平. (2012) ボルネオに響く音・音・音 ひとつは

く新聞 (ハーモニー76号)

■ブログへの情報提供

14件

■研究発表

北村俊平. (2011) サイチョウ類による果実食と種子散
布の現状. 第21回日本熱帯生態学会 (2011年5月,
沖縄).

Kitamura, S. & Poonswad, P. (2012) Nutmeg-frugivore
interactions in the Asia-Pacific region: importance of
hornbills as seed dispersers for Myristicaceae. 59th Annual
Meeting of Ecological Society of Japan (2012年3月, 滋
賀).

Tsujino, R., Yumoto, T., & Kitamura, S. (2012) Forest area
change and its driving factors in Indonesia. 59th Annual
Meeting of Ecological Society of Japan (2012年3月, 滋
賀).

北村俊平. (2012) FSD2010 から FSD2015 へ. W14 日本
の温帯林における群集レベルの結実フェノロジーと
動物散布 59th Annual Meeting of Ecological Society of
Japan (2012年3月, 滋賀).

■学会役員など

日本熱帯生態学会, 広報幹事 (ニューズレター編集担
当).

日本生態学会, 大会企画委員

日本生態学会, 野外安全管理委員

African Journal of Agricultural Research, レフェリー.

Animal Conservation, レフェリー.

Humans and Nature, レフェリー.

ISSAAS Journal, レフェリー.

Journal of Ethology, レフェリー.

Journal of Threatened Taxa, レフェリー.

Plant Species Biology, レフェリー.

Reintroduction, レフェリー.

Tropics, レフェリー.

Tropical Conservation Science, レフェリー.

日本鳥学会誌, レフェリー.

人と自然, レフェリー.

■助成を受けた研究

小型種のサイチョウ類は大型種の生態系機能 (種子散
布) を代替できるのか? 文部科学省科学研究費若手
研究(B), 研究代表者 (金額 110 万円/320 万円).

■海外調査

2011.5, タイ・バンコク

2011.9, インドネシア・ジャワ

2011.12, インドネシア・スマトラ

2012.2, タイ・バンコク

2.資料収集・整理

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物 (鳥類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

北村俊平, 2011.4, 「動物に花粉・種子を運んでもらう仕組み~花と送粉者たち」, 神戸市立森林植物園. (10名)

北村俊平, 2011.10, 「動物に花粉・種子を運んでもらう仕組み~果実と散布者たち」, 神戸市立森林植物園. (11名)

北村俊平, 2011.7-9, 「熱帯の森に暮らす生きものたち(全3回)」, 博物館. (15名)

高橋晃・橋本佳明・布施静香・北村俊平, 2011.11, 「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館. (38名)

橋本佳明・高橋晃・布施静香・北村俊平, 2012.3, 「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館. (27名)

北村俊平, 2011.4, 「熱帯の森に暮らす生きものたち」, 博物館. (14名)

北村俊平, 2011.8, 「熱帯の森に暮らす生きものたち」, 博物館. (13名)

北村俊平, 2012.3, 「熱帯の森に暮らす生きものたち」, 博物館. (11名)

北村俊平, 2011.7, 「サイチョウのお話」, 博物館, シニア自然大学はばたき. (16名)

北村俊平・布野隆之, 2011.7, 「収蔵庫ツアー」, 博物館, シニア自然大学はばたき. (16名)

西岡敬三・北村俊平, 2011.9, 「展示解説」, 博物館, 県教育委員会事務局高校教育課. (14名)

■フェスティバル等

2011.11, ひとばくフェスティバル, 「事務局長」.

■展示

ミニ企画展

2011.2.15-2011.5.15, ミニ企画展「六甲山のキノコ展2011」(分担者).

トピックス展示

2011.6.4-2011.8.31, トピックス展示「こんな鳥が身近に」(主担当).

■学校教育支援

学校団体対応

布施静香・北村俊平, 2011.4, 「収蔵庫ツアー」, 博物館, 大阪府立泉北高等学校. (60名)

小舘誓治・フロアスタッフ・西岡敬三・北村俊平・上田萌子・小林美樹, 2011.9, 「収蔵庫ツアー」, 博物館, 丹波市立久下小学校. (30名)

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 4回, 6名.

■行政支援

相談・指導助言

来訪者3件, 6名, 電話・FAX・メール相談15件.

布野 隆之, Takayuki FUNO

自然・環境マエンジメント研究部
流域生態研究グループ／企画調整室
研究員

昭和51年島根県生. 新潟大学大学院自然科学研究博士後
期課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 日本鳥学会, 日
本森林学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 希少猛禽類ニホンイヌワシの生態とその保全に関する研究
2. 天然記念物オオヒシクイの生息湿地および採餌水田の保全・再生に関する研究
3. カラスのゴミ被害問題の実態と対策に関する研究
4. 侵略的外来種ウシガエルが生態系に与える影響の評価
5. エコトーンの季節的消長が水系生態系に与える効果

■その他著作

布野隆之(2012) 福島潟周辺の水田地帯におけるオオヒシクイ採餌水田の特性とその分布に関する研究. 佐潟等学術研究奨励補助研究実績報告書

布野隆之(2011) ひとつはく研究紀行 ひとつはく新聞

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

Ikegami S, Funo T, Sekijima T (2012) Factors influencing habitat selection of the invasive bullfrog in Pond in Sado island. Joint Meeting of The 59th Annual Meeting of ESJ and The 5th EAFES International Congress, Ryukoku University, Otsu.

Kodama D, Funo T, Ishima T, Inoue N, Yoshimura C, Sekijima T (2012) The effects of seasonal ecotone on ecosystem in Upper reaches of the Sagae Reservoir. Joint Meeting of The 59th Annual Meeting of ESJ and The 5th EAFES International Congress, Ryukoku University, Otsu.

望月翔太, 池上沙樹, 布野隆之(2012) 自然再生を進める中で外来種ウシガエルにどのように対処するのか?. 日本生態学会第59回大会, 龍谷大学瀬田キャンパス, 大津市.

布野隆之(2012) 福島潟周辺の水田地帯におけるオオヒシクイ採餌水田の特性とその分布に関する研究. 佐潟等学術研究奨励補助研究実績報告会, 赤塚連絡所, 新潟市.

■助成を受けた研究

神鍋高原における雪上プログラムの開発と実践. 山陰海岸ジオパーク学術研究奨励事業. 研究代表者. 10万円. (助成期間 2011.6-2012.2)

■賞罰

Ikegami S, Funo T, Sekijima T (2012) Factors influencing habitat selection of the invasive bullfrog in Pond in Sado island. Excellent poster of invasive species. Joint Meeting of The 59th Annual Meeting of ESJ and The 5th EAFES International Congress, Ryukoku University, Otsu.

Kodama D, Funo T, Ishima T, Inoue N, Yoshimura C, Sekijima T (2012) The effects of seasonal ecotone on ecosystem in Upper reaches of the Sagae Reservoir. Best poster of material cycling, Joint Meeting of The 59th Annual Meeting of ESJ and The 5th EAFES International Congress, Ryukoku University, Otsu.

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 兵庫県内における鳥類標本の採取・受け入れ.

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物(鳥類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

布野隆之, 2011.4 「落葉広葉樹林帯に生息するニホンイヌワシ *Aquila chrysaetos japonica* の生態とその保全に関する研究」, 講師, ひとつはく研究セミナー, 博物館, 35名.

布野隆之, 2011.4 「鳥のはなし」, 講師, シニア自然大学, 博物館, 20名.

布野隆之, 2011.7 「博物館の利用方法」, 講師, 兵庫教育大学特注セミナー, 博物館, 150名.

北村俊平・布野隆之, 2011.7 「収蔵庫ツアー」, 博物館, シニア自然大学はばたき. 博物館, 16名.

布野隆之, 2011.12 「ひとつはく20年館の歩みと今後の展開」, 講師, 人と自然の会新人研修, 50名.

布野隆之, 2012.1 「落葉広葉樹林帯に生息するニホンイヌワシ *Aquila chrysaetos japonica* の生態とその保全に関する研究」, 講師, 人と自然の会新人研修, 博物館, 35名.

布野隆之, 2012.3 「神鍋の生き物の魅力」, 報告展示「めぐってきました! 山陰海岸ジオパーク」関連セミナー, 博物館. (90名).

館外講演など

布野隆之, 2011.11 「神鍋の鳥と動物」, 講師, 「いよいよ! ジオパーク in 神鍋高原一雪が育む神鍋の自然」, 豊岡市. (80名).

布野隆之, 2011.7 「カラスとのやさしい交渉術入門」, 講師, 尼崎市公民館, 35名

布野隆之, 2011.8 「落葉広葉樹林帯に生息するニホン

ンイヌワシ *Aquila chrysaetos japonica* の生態とその保全に関する研究」, 講師, 鳥学会員近畿地区懇談会 102 回例会, 博物館, 50 名

布野隆之, 2012.2 「落葉広葉樹林帯に生息するニホンイヌワシ *Aquila chrysaetos japonica* の生態とその保全に関する研究」, 講師, 大阪市立大学, 40 名

■ラジオ・テレビ等出演

神戸新聞「ひととはく 研究員紹介」

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2011.11.23-12.18 ひととはくジオキャラバン「おもれー山陰海岸ジオパーク in 神鍋高原」, 豊岡市.

副担当

2011.8.1-8.31 ひととはくジオキャラバン「おもれー山陰海岸ジオパーク in 琴弾浜鳴き砂文化館」, 京丹後市.

展示製作

2011.8.1-8.31 円山川下流域「ラムサール登録湿地」を目指して, 守ろう但馬の自然遺産 (但馬ドームサマーミュージアム), 豊岡市.

2012.2.4-3.11 「めぐってきました! 山陰海岸ジオパーク」, ジオキャラバン報告展示, 博物館.

セミナー担当

2011.11.23 「おいでよ! ジオパーク in 神鍋高原ー雪が育む神鍋の自然ー」, 豊岡市, (企画運営).

2011.12.4 「神鍋は奇跡の草原! ?ースキー場が守る貴重な自然」, 豊岡市, (企画運営).

2011.12.11 「兵庫県におけるシカによる自然植生被害の現状と対策」, 豊岡市, (企画運営).

2011.12.18 「寄せ植え教室」, 豊岡市, (企画運営).

2011.12.18 「ミニ門松づくり教室」, 豊岡市, (企画運営).

2011.12.18 「クリスマス Jazz & Pops コンサート」, 豊岡市, (企画運営).

2011.12.24 「琴引浜の砂に入っている有孔虫を観察しよう」, 京丹後市, (運営).

2011.12.24 「琴引浜周辺の魚介類・海藻類の美味しい料理方法」, 京丹後市, (運営).

■連携事業

共催事業

2011.8.1-8.31 円山川下流域「ラムサール登録湿地」を目指して, 守ろう但馬の自然遺産 (但馬ドームサマーミュージアム), 豊岡市.

2011.12-2012.1 「あわジオフェスティバル」, 国営明石海峡公園, 淡路市, (展示設営・撤収).

2011.11.20 ひととはくジオキャラバン「おもれー山陰海岸ジオパーク in 湖山池情報プラザ」, 鳥取市, (展示撤収).

■フェスティバル等

2009.11 ひととはくフェスティバル (当日スタッフ)

■展示

ミニ企画展

2012.2.14-3.11 「めぐってきました! 山陰海岸ジオパーク」 (分担者).

2010.6.4-2012.8.31 トピックス展「こんな鳥が身近に」 (副担当).

2.シンクタンク事業

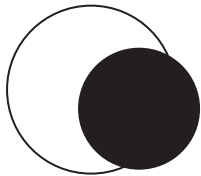
■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 5 回, 20 名.

■行政支援

相談・指導助言

来訪者 5 件, 20 名. 電話・FAX 相談 30 件, メール相談 10 件.



個人別成果報告に関する資料

No. 4

●自然・環境マネジメント価研究部 コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/
コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

中瀬 勲, Isao NAKASE

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/事業
推進部 副館長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部
門 教授.

昭和23年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学研究科修士
課程修了. 農学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会,
環境情報科学センター, 日本学術会議等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

事業推進部長

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

■共同研究

部門研究「大規模公園での住民参画型運営システムと
ソーシャルキャピタル形成」, 研究分担者.

■論文・著書

- ◎塩山沙弥香・山崎義人・中瀬勲(2011), 地域コミュニ
ニティに寄与しうる機能を持つ農産物直売所のシス
テム, ランドスケープ研究 VOL. 74 NO5, 679-684.
- ◎中瀬勲(2011)「震災緑の総括」, JUDI KANSAI 仕事
の軌跡と展望, 都市環境デザイン会議関西ブロック
編, 44-47.
- ◎中瀬勲(2011)「緑の復興とまちづくり」, 災害対策全
書3 復旧・復興, ぎょうせい, 410-409.)
- ◎Isao NAKASE・Mayumi HAYASHI(2011)「*Realizing
Community Design that is in Harmony with
Nature—Tamba Forest Plan Case Study*」, Sustainable
Landscapes, Sustainable Communities, The Record of the
7th Pacific Rim, Community Design Network
Conference, 26-31.
- ◎田代・中瀬・林他編著(2011)「パークマネジメント」,
学芸出版社, 133-140.
- ◎中瀬勲(2011)「東日本大震災における緑からの復興
に向けての提案」, 公園緑地 VOL. 72 AUG.2011,
43-45.
- ◎中瀬勲(2012)「緑のまちづくりー20年余の体験的
緑の市民活動を通じて」, 都市緑化技術 2012No. 84,

(財)都市緑化機構, 04-97.

中瀬勲(2011)「生物多様性と多自然居住地域づくり」,
2010年度地域地理科学学会大会シンポジウム「農村地
域の未来可能性を考える」報告集, 82-85.

■その他著作

中瀬勲(2011)「特別緊急提言の一コラム」, ランドスケ
ープデザイン 78.

◎TAKEYAMA Hiroshi・YAMASHITA Yoshihiro・
NAKASE Isao, Development of Learning Tool which
used "Mobile-Phone with GPS" and "Web-GIS" for
Environmenta Educatio, The Record of the 7th Pacific
Rim, Community Design Network Conference, p.267.

KASUTANI Tomomi・TAKEYAMA Hirishi・
YAMAMOTO Satoshi・NAKASE Isao(2011), "Learning
is PLAY" How Education in Remoto Place Should be in
the Future-Landscape for Different Generation,
Sustainable Landscapes, Sustainable Communities, The
Record of the 7th Pacific Rim, Community Design
Network Conference, p.294.

中瀬勲(2011)「もったいない思想から公園を考える」,
ランドスケープ 関西;CLA 広報誌, No.98.

◎中瀬勲他(2011)「これからの都市公園のマネジメン
ト〜ひょうごからの提案〜」, 兵庫県立都市公園の今
後のあり方に関する研究会, 40P.

◎中瀬勲(2011)「副館長がみた「ひととはく20年の歩み」
前編, ひととはく新聞(12月25日).

◎中瀬勲(2012)「丹波のにわ」, 広報誌丹波の森No.44,
(財)兵庫丹波の森協会.

◎中瀬勲(2012)「副館長がみた「ひととはく20年の歩み」
後編, ひととはく新聞(3月15日).

田代・中瀬・金子・林・管・西山(2012)「新時代に向けた
ランドスケープマネジメント」, ランドスケープ研究
75(4), 2012, 301-302.

■研究発表

◎赤澤宏樹・藤本真里・武田重昭・中瀬勲(2011)兵
庫県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会に
よるパークマネジメント. 日本造園学会, 東京農業
大学, 東京都.

藤本真里・中瀬 勲(2011)有馬富士公園運営・計画
協議会の議論内容からみた住民参画型公園運営の課
題と展望. 日本造園学会, 東京農業大学, 東京都.

◎T. KASUTANI, M.KATAHIRA, TAKEYAMA,
S.YAMAMOTO, I.NAKASE(2010)Learning is Play!!
How Education in Remote Places Should be in the Future
Landscape for Different Generation, 7th Pacific Rim,

Community Design Network Conference..

◎Isao NAKASE・Mayumi HAYASHI(2011)*Realizing Community Design that is in Harmony with Nature—Tamba Forest Plan Case Study*, 7th Pacific Rim, Community Design Network Conference.

◎TAKEYAMA Hiroshi・YAMASHITA Yoshihiro・NAKASE Isao, Development of Learning Tool which used "Mobile-Phone with GPS" and "Web-GIS" for Environmental Education, 7th Pacific Rim, Community Design Network Conference, p.267.

■学会役員など

日本造園学会, 校閲委員.

日本造園学会, 代議員.

日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文審査部会, 委員.

環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員会, 委員.

兵庫県政学会, 評議員.

日本造園学会 CPD プログラム認定委員会, 委員.

環境情報科学センター, 第一期企画委員.

日本造園学会, 関西支部, 顧問.

日本学術会議, 日本学術会議連携会員.

大阪市, (200名)

中瀬勲, 2011.9.30, 「地域づくりを私たちの手で」, 丹波市, (300名)

中瀬勲, 2011.10.3, 「地域の景観を学ぶ」, 伊丹市, (40名)

中瀬勲, 2011.10.29, 「阪神・淡路大震災と新潟県中越地震の経験から 東日本大震災の復興に向けての提言」, 神戸市, (80名)

中瀬勲, 2011.11.13, 「新時代に向けたランドスケープマネジメント」, 東京都, (20名)

中瀬勲, 2011.11.14, 「県ビジョン」, 講師, 兵庫県自治研修所, 神戸市, (80名)

中瀬勲, 2011.11.14, 「川と市民の望ましい関係」, 神戸市, (60名)

中瀬勲, 2011.11.19, 「自然豊かな歴史のあるまち・ふるさと構想」, 高槻市, (150名)

中瀬勲, 2011.11.24, 「地域でつくる自然エネルギー」, 宍粟市, (80名)

中瀬勲, 2011.11.27, 「ため池の地域に果たす役割と地域づくり」, 明石市, (80名)

中瀬勲, 2011.11.28, 「県ビジョン」, 神戸市, (80名)

中瀬勲, 2011.11.28, 「環境NPO・NGOと企業の生物多様性連携フォーラム」, 神戸市, (120名)

中瀬勲, 2011.11.30, 「造園学」, 神戸市, (80名)

中瀬勲, 2011.12.2, 「造園学」, 神戸市, (80名)

中瀬勲, 2011.12.21, 「市民との協働型社会の構築」, 所沢市, (17名)

中瀬勲, 2012.1.18, 「丹波の20年とこれから」, 篠山市, (17名)

中瀬勲, 2012.1.22, 「自然環境を守るために」, 島本町, (60名)

中瀬勲, 2012.1.25, 「海外でのユニバーサルデザインの試み」, 神戸市, (190名)

中瀬勲, 2012.1.25, 「公園からのまちづくり」, 明石市, (40名)

中瀬勲, 2012.1.28, 「カレッジタウン西宮の可能性」, 西宮市, (500名)

中瀬勲, 2012.2.12, 「行政の仕組みを活用した企業の森づくり-兵庫県の事例-」, 神戸市, (400名)

中瀬勲, 2012.2.22, 「造園とまちづくり」, 宝塚市, (26名)

中瀬勲, 2012.2.22, 「地域(環境)づくり」, 宝塚市, (26名)

中瀬勲, 2012.2.25, 「あわじ環境未来島国際シンポジウム」, 淡路市, (400名)

中瀬勲, 2012.3.10, 「これからのまちづくり」, 加古川市, (250名)

中瀬勲, 2012.3.11, 「景観づくり懇話会の経過報告」, 淡路市, (60名)

中瀬勲, 2012.3.12, 「小さいとこサミット」, 吹田市, (250名)

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

中瀬勲, 2010.7-2010.9, 「ランドスケープマネジメントへ」, 博物館, (全3回, 11名)

中瀬勲, 2012.2.21, 「自然を生かした地域づくり」, 博物館, (102名)

館外講演など

中瀬勲, 2011.5.16, 「花と緑のまちづくりと私たちの役割」, 宝塚市, (50名)

中瀬勲, 2011.5.27, 「花のまちづくり全国大会パネルディスカッション」, 三田市, (200名)

中瀬勲, 2011.6.7, 「“もったない”思想で公園を考える」, 大阪市, (80名)

中瀬勲, 2011.7.9, 「フォレストサポーター講座基調講演」, 島本町, (20名)

中瀬勲, 2011.7.24, 「丹波地域の課題について」, 篠山市, (120名)

中瀬勲, 2011.7.29, 「丹波で行動する大学生」, 篠山市, (80名)

中瀬勲, 2011.7.30, 「持続する地域構造」, 神戸市, (200名)

中瀬勲, 2011.8.4, 「日本庭園よもやま話」, 高槻市, (22名)

中瀬勲, 2011.8.31, 「多自然居住のまちづくり」, 神戸市, (60名)

中瀬勲, 2011.9.16, 「市民が主役の花と緑のまちづくり」,

中瀬勲, 2012.3.26, 「三田市観光シンポジウム」, 三田市 (80名)

中瀬勲, 2012.3.28, 「コウノトリの野生復帰・丹波の森構想を通じた地域活性化への兵庫県での挑戦」魚津市, (60名)

兵庫県立大学・大学院教育

環境戦略特論 (主任)

共生地域創生論 (主任)

非常勤講師

2011.4-2011.7, 「造園学」, 国立大学法人神戸大学.

2011.12, 「ランドスケープデザイン論」, 国立大学法人名古屋工業大学.

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2011. 7 ひとつはく復興支援プロジェクト「ひとつはく Kids キャラバン in 仙台」, 仙台市七郷児童館, 仙台市 (96名)

2011. 12 ひとつはく復興支援プロジェクト「ひとつはく Kids キャラバン in 八戸 (八戸市児童科学館)」, 八戸市児童科学館, 八戸市 (474名)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.29-6.3, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校, 3名.

■フェスティバル等

2012.11 ひとつはくフェスティバル, (実行委員長).

■展示

企画展

2011.11.12-2012.1.9, トピックス展「神戸の水害」(分担者).

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計 108 件)

1993.3- (財) 丹波の森協会, 理事, (財) 丹波の森協会.

1994.10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.

1996.4- (財) 丹波の森協会, 所長, 丹波の森研究所.

1996.7- 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財) 丹波の森公苑.

1997.8- 阪神シニアカレッジ運営委員会, 委員, 兵庫県.

1997.8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省) 建設省.

1998.8- 環境アドバイザー, (財) ひょうご環境創造協会.

1999.4- (財) 都市緑化技術開発機構, 研究顧問.

2000.6- 里山保全アドバイザー, (社) 大阪自然環境保全協会.

2001.5-2011.4. (財) 兵庫県 (高齢者) 生きがい創造協会, 理事.

2001.8- 関電公害防止協議会, 委員長, 兵庫県・姫路市・関西電力株式会社.

2002.3- (財) 日本グラウンドワーク協会, 評議員.

2002.5- 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.

2002.7- 長期ビジョン推進委員会, 副委員長, 兵庫県企画管理部 (県民政策部).

2002.7- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.

2002.12- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部 (県民政策部).

2003.2- コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財) 都市緑化基金.

2003.6- (社) 日本公園緑地協会, 研究顧問.

2003.10- 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.

2004.6- (財) 日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財) 日本グラウンドワーク協会.

2004.7- 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.

2004.7- グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2004.12- 国営事業環境配慮アドバイザーグループ, アドバイザー, 近畿農政局.

2005.1- 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市.

2005.1- 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.

2005.4- 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.

2005.5- 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 神戸市.

2005.7- 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会, 臨時委員, 財務省.

2005.7- 大門寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.

2005.7- 長期ビジョン推進委員会公募委員審査委員会, 委員, 兵庫県県民政策部.

2005.8- 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長, (財) 丹波の森協会.

2005.8- 丹波 OB 大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑.

2005.8- たんば共創の森, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑.

2005.9- 平成 17 年度ひょうごガーデンマイスター認定委員会, 委員, (社) 兵庫みどり公社. (以降継続中)

2006.2- 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速道路株式会社.

2006.3- (財) 大阪市文化財協会, 理事.

2006.4- (財) 公園緑地管理財団, 研究顧問.

2006.4- (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 参与.

- 2006.4ー. (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 研究企画委員会, 委員.
- 2006.5ー. 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯, 実行委員長, 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会.
- 2006.5ー. 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』, 塾長, (財) 兵庫丹波の森協会.
- 2006.6ー. 兵庫県高大等連携推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
- 2006.7ー. 近畿農政局農村景観・自然環境保全再生パイロット事業審査委員会, 委員長, 農林水産省近畿農政局.
- 2006.9ー. (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 安全・安心研究所, 上級研究員.
- 2006.10ー. 内ヶ池整備に関する検討委員会, 委員長, 大阪府, 高槻市.
- 2006.10ー. ひょうごっこグリーンガーデン研究会, 会長, 兵庫県健康生活部.
- 2007.1ー. 丹波年輪の里運営協議会, 委員, 兵庫県立年丹波年輪の里.
- 2007.1ー. 環境体験支援委員会, 副委員長, 兵庫県教育委員会.
- 2007.4ー. 神戸市公園緑地審議会運営部会, 部会長, 神戸市.
- 2007.6ー. 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.
- 2007.6ー. 西播磨風景づくり支援センター, 登録, 兵庫県西播磨県民局.
- 2007.6ー. 平成 19 年度助成事業審査委員会, 委員, 特定非営利法人しみん基金・こうべ. (継続中)
- 2007.7ー. 丹波恐竜化石にかかる事業連携推進会議, 会長, 県立人と自然の博物館, 丹波県民局, 丹波市.
- 2008.1ー. 野生動物保護管理運営協議会, 会長(201001 から), 副会長, 兵庫県農林水産部.
- 2008.1ー. 野生動物保護管理運営協議会, WLM 推進部会, 部会長(代行), 兵庫県農林水産部.
- 2008.4ー. 丹波縄文の森塾, 塾長, (財) 兵庫丹波の森協会.
- 2008.4ー. やしろの森公園運営協議会, 委員, やしろの森公園協会.
- 2008.6ー. 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチーム, 座長, 兵庫県丹波県民局.
- 2008.6ー. 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
- 2009.1ー. 丹波の森大学, 学長, (財) 兵庫丹波の森協会.
- 2009.5-2011.4. 県立祥雲館高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
- 2009.6ー. 兵庫の将来像研究会, 委員, 「地域構造チーム」, 委員, 兵庫県企画県民部.
- 2009.6ー. 地域空間再生検討チーム, メンバー, 兵庫県企画県民部.
- 2009.12ー. 丹波地域ビジョン検討委員会, 委員, 兵庫県丹波県民局.
- 2009.12ー. 神戸市環境保全審議会, 臨時委員, 神戸市.
- 2010.02ー. たんば恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進協議会, 副会長.
- 2010.02ー. 円山川水系自然再生推進委員会, 委員, 近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.
- 2010.05ー. 2040 年の兵庫研究会, 委員, 兵庫県企画県民部.
- 2010.05ー. 淡路島国際環境戦略特区構想委員会, 座長, 兵庫県県民企画部.
- 2010.05ー. 兵庫の貴重な自然改訂委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2010.06ー. ひょうごの貴重な自然再生プロジェクト選定委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2010.05ー. 新名神高速道路 大阪府域自然環境保全検討委員会, 委員長, 西日本高速道路株式会社.
- 2010.06ー. 全国花のまちづくり三田大会実行委員会, 委員長, 三田市.
- 2010.11ー. 国営明石海峡公園管理運営協議会, 委員長, (財) 兵庫県公園案芸協会.
- 2010.12ー. 新名神高速道路 兵庫地域自然環境保全検討委員会, 委員長, 西日本高速道路株式会社.
- 2011.4ー. 神戸市公園緑地審議会, 会長, 神戸市.
- 2011.4ー. 神戸市公園緑地審議会, 計画・緑化部会, 部会長, 神戸市.
- 2011.5ー. 兵庫県立明石公園第 1 野球場へのネーミングライツ審査会, 会長, 兵庫県県土整備部.
- 2011.5ー. 兵庫県立丹波の森公苑円卓会議, 座長.
- 2011.5ー. 関西広域環境保全計画策定検討委員会, 副委員長, 関西広域連合.
- 2011.5ー. (財)兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる自己評価システム検討委員会, 委員長, (財)兵庫県園芸・公園協会.
- 2011.5ー. わが国経済社会の進むべき道にかかる意見交換会, 委員, 兵庫県企画県民部.
- 2011.5ー. 生物多様性ひょうご基金審査委員会」委員, (財)ひょうご環境創造協会.
- 2011.5ー. 生物多様性を考える NGO・NPO, 企業の Hyogo 対話運営委員会, 委員長, (財)ひょうご環境創造協会.
- 2011.6ー. 生物多様性ひょうご戦略推進委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2011.6ー. (財)大阪市博物館協会, 理事.
- 2011.6ー. あわじ環境未来島構想推進協議会設立準備会, 座長, 兵庫県淡路県民局.
- 2011.6ー. あわじ環境未来島構想推進協議会企画委員会, 委員長, 兵庫県淡路県民局.
- 2011.6ー. あわじ環境未来島構想推進協議会, 委員,

- 兵庫県淡路県民局.
- 2011.6ー. 六甲山整備戦略検討会議, 会長, 神戸市.
- 2011.8ー. 西播磨花の郷選定委員会, 委員長, 兵庫県西播磨県民局.
- 2011.8ー. 県立但馬ドーム指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 兵庫県産業労働部.
- 2011.8ー. ひょうごの生物多様性保全プロジェクト選定委員会, 委員長, 兵庫県農政環境部.
- 2011.8ー. 平成23年度名勝慶野松原保存整備委員会, 委員, 南あわじ市.
- 2011.9ー. 中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会, 委員, 環境省.
- 2011.9ー. 東日本大震災ひょうごまちづくり専門家バンク登録, 公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター.
- 2011.10ー. あわじ環境未来島構想推進協議会, アドバイザー
- 2011.10ー. あわじ環境未来島構想推進協議会企画委員会, 委員長.
- 2011.11ー. あわじ環境未来島構想推進事業審査会, 委員, 兵庫県淡路県民局.
- 2011.11ー. 豊岡市公の施設指定管理者審査会, 委員, 豊岡市.
- 2011.11ー. 公益(財)兵庫県園芸・公園協会, 理事.
- 2012.1ー. (財)兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる評価・検証委員会, 委員長, (財)兵庫県園芸・公園協会.
- 2012.1ー. 第6期丹波地域ビジョン委員審査委員会, 委員, 兵庫県丹波県民局.
- 2012.1ー. 長浜市まちづくり検討会議, 委員, 長浜市.
- 2012.3ー. 兵庫県立丹波年輪の里運営協議会, 委員長.
- 2012.3ー. 第6期丹波地域ビジョン委員審査会, 委員, 丹波県民局.
- 2012.3ー. 第6期阪神北地域ビジョン委員審査会, 委員, 阪神北県民局.

相談・指導助言

来訪者 100 件, 150 名. 電話・FAX 相談 50 件, メール相談 150 件.

学会開催等支援

2011.10.29ー30 日本造園学会関西支部大会, 270 名.

藤本 真里, MariFUJIMOYO

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員
兵庫県立大学自然・環境科学研究所環境計画研究部門
助教
兵庫県立コウノトリの郷公園研究員
昭和36年兵庫県生. 大阪大学大学院工学研究科博士課程
修了, 工学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 ジオパーク支援マネージャー・担当
ジオキャラバン総括および山陰海岸ジオパーク推進
協議会サポート

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 住民参画型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割—持続可能なサポートシステム構築に関する研究—」, 研究分担者.

部門研究「生物多様性に配慮した「混ぜ垣」によるニュータウンの景観評価と更新・管理の課題」, 研究分担者.

■論文・著書

藤本真里(2011)住民が企画運営する夢プログラム～兵庫県立有馬富士公園. パークマネジメント, 学芸出版社, 172-177.

■その他著作

藤本真里 (2011) 兵庫県立人と自然の博物館と地域支援. 生物多様性市民パートナーシップハンドブック, 104-109, 財団法人ひょうご環境創造協会.

藤本真里 (2011) みんなでダンゴムシになろう. ちのくだんわ室だより, vol.5, 3, 暮らしサポート隊.

藤本真里 (2011) 数字で見るジオキャラバン「おもれエ〜! 山陰海岸ジオパーク」, ひととはく新聞, 2012/3/15号, 2, 兵庫県立人と自然の博物館.

藤本真里 (2011) まちづくり活動支援助成事業 審査講評. 伸びゆく三田, 平成24年4月15日号, 2, 三田市.

藤本真里 (2011) ミツカンよかわビオトープの効果的な広報に関する研究 その3. 株式会社ミツカングループ本社受託研究報告書.

藤本真里 (2011) パークマネジメントの人材養成に関する研究 その5. 兵庫県阪神北県民局受託研究報

告書.

藤本真里 (2011) 山陰海岸ジオパークにおけるアウトリーチ事業報告書. 山陰海岸ジオパーク推進協議会.

■ブログへの情報提供

2件

■研究発表

◎赤澤宏樹・藤本真里・武田重昭・中瀬勲 (2011) 兵庫県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会によるパークマネジメント. 日本造園学会, 東京農業大学, 東京都.

藤本真里・中瀬 勲 (2011) 有馬富士公園運営・計画協議会の議論内容からみた住民参画型公園運営の課題と展望. 日本造園学会, 東京農業大学, 東京都.

藤本真里・武田重昭・田原直樹 (2011) 山陰海岸ジオパークを活用した地域活性化のあり方について. 城崎会議, 豊岡市.

藤本真里・武田重昭・田原直樹・先山 徹 (2011) 山陰海岸ジオパークを活用した地域交流型ツーリズム. 兵庫県立大学シンポジウム—産学公連携による地域の活性化—, 神戸市.

■学会役員など

日本造園学会, 代議員.

日本造園学会, 論文校閲委員.

■助成を受けた研究

博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策. 文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究, 研究分担者 (金額 110万円/300万円) 恐竜発掘を素材にした、地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究 (C), 研究分担者 (金額 10万円/370万円)

■賞罰

藤本真里・武田重昭・田原直樹・先山 徹 (2011) 山陰海岸ジオパークを活用した地域交流型ツーリズム. 兵庫県立大学シンポジウム—産学公連携による地域の活性化—, 優秀ポスター賞

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3, 山陰海岸ジオパーク景観写真. 豊岡市, 香美町, 新温泉町.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里, 2011.11, 「簡単料理教室 味で感じる山陰海岸ジオパーク」, 博物館. (7名)

藤本真里, 2011.12, 「スウィーツカフェ山陰海岸ジオパークの風景物語」, 香美町. (11名)

藤本真里, 2011.3, 「スウィーツカフェ山陰海岸ジオパークの風景物語」, 博物館. (6名)

藤本真里, 2011.5-2011.10, 「クイズ うんちく博物館」, 博物館. (全3回 70名)

館外講演など

藤本真里, 2011.8, 「住民参画型の公園運営」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 神戸市. (31名)

藤本真里, 2011.7, 「みんなで育てる公共施設」, 講師, 関西大学, 吹田市. (9名)

藤本真里, 2011.5, 「NPO法人 人と自然の会とひとはく」, 講師, NPO法人 人と自然の会 藤本真里, 新人研修, NPO法人 人と自然の会, 博物館. (10名)

藤本真里, 2011.6, 「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」1年生, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (31名)

藤本真里, 2011.6, 「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」2年生, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (33名)

藤本真里, 2011.11, 「住民主体のまちづくり 道具としての自治基本条例」, 講師, タウンミーティング2011, 夢前福祉センター, 姫路市. (34名)

藤本真里, 2011.8-9, ワークショップ「山陰海岸ジオパーク パンフレットづくり」, 講師, 兵庫県立大学 全県キャンパスプログラム「ジオパークと地域」, 園田学園女子大学大岡山グリーンキャンパス, 兵庫県立大学.

藤本真里, 2011.9, 「住民参画型公園運営」, 講師, 有馬富士公園公開セミナー'11, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (19名)

藤本真里, 2011.11-12, 「有馬富士公園のしくみ」他, 講師およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー'11, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (19名×4日 76名)

藤本真里, 2011.4-2012.1, セミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー'11, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校人と自然科と共催, 三田市. (16名×13日 208名)

藤本真里, 2011.4-2012.1, セミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー'11, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校総合学科と共催, 三田市. (16名×10日 160名)

藤本真里, 2011.5-2012.2, みんなのまちの公共施設, プロジェクト学習, 兵庫県立大学附属中学校. (5名×9日 45名)

藤本真里, 2012.1, 全体の企画・運営, 有馬富士公園学生サミット, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (50名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

ジオと地域 (分担)

非常勤講師

神戸学院大学人間環境実習Ⅱ2011.9-2012.1

■ミニキャラバン事業

2010.10, ジオフェスティバル (分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 但馬ドーム.

2010.10, ふれあいの祭典 (主担当), ふれあいの祭典実行委員会, 有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

NPO法人 人と自然の会 (副担当)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.29-6.3, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校, 2名.

■フェスティバル等

2010.11, ひとはくフェスティバル, 「まんぷく屋台」(責任者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」. 猪名川町. (30万円)

「ミツカンよかわビオトープの効果的な広報に関する研究」. 研究代表者, 株式会社ミツカングループ本社. (75万円)

「パークマネジメントの人材養成に関する研究 その3」. 研究代表者, 兵庫県阪神北県民局. (100万円)

■行政支援

委員会等 (計22件)

2006.7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

1998.4- 豊中市まちづくり専門家会議, 委員, 豊中市.

2001.8- 阪神北地域ビジョン委員会, 専門委員, 阪神北県民局

2005.6- 三木市都市計画審議会, 委員, 三木市.

2003.4- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.

2009.5-2010.1 宝塚市総合計画検討市民会議委員及び第1部会長, 宝塚市.

2010.2-11 宝塚市総合計画審議会委員及び第1部会長, 宝塚市.

2005.9- 財団法人しそ森林王国協会, 理事, 財団法人しそ森林王国協会.

2008.12- 兵庫県内水面漁場管理委員会, 委員, 兵庫県.

2007.7- 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2008.6- 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市.

2008.8- 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会, 委員長, 尼崎市.

- 2009.6- 市民活動・ボランティアサポートセンター運営会議, 委員長, 姫路市.
- 2009.4-2010.3 山陰海岸ジオパーク専門部会, 委員, 兵庫県但馬県民局.
- 2009.1- 高砂市歴史文化基本構想等策定委員会, 委員, 高砂市教育委員会.
- 2010.5-2011.3 平成 22 年度地域づくり活動支援会議, 委員, こころ豊かな美しい阪神北推進会議.
- 2011.1 姫路城応援事業審査会, 委員, 姫路市.
- 2009.5- 岩塊流を活かした地域づくり検討会, 委員, 宍粟市.
- 2010.6-2011.3 2040 年の兵庫研究会, 委員, 兵庫県企画県民部政策室ビジョン課.
- 2010.4-2010.5 平成 22 年度尼崎 21 世紀の森づくり協議会事業企画提案コンペ審査会, 委員, 兵庫県県土整備部まちづくり局.
- 2010.11-2011.3 安室川自然再生計画検討会, 委員, 兵庫県西播磨県民局.
- 2010.9 但馬地域づくり活動支援会議, 委員, こころ豊かな美しい但馬推進会議.

相談・指導助言

来訪者 60 件, 110 名. 電話・FAX 相談 80 件, メール相談 50 件.

赤澤 宏樹, HirokiAKAZAWA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ／企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 講師。

昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会，日本都市計画学会，環境情報科学センター，人間・植物関係学会，IFPRA 所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室 室長

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する基礎的研究
2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

■共同研究

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方に関する研究」，研究代表者。

部門研究「生物多様性に配慮した「混ぜ垣」によるニュータウンの景観評価と更新・管理の課題」，研究代表者。

■論文・著書

赤澤宏樹（2011）アメリカの公園利用を通じたコミュニティづくり，パークマネジメント 地域で活かされる公園づくり，学芸出版社，80-88.

■その他著作

斎藤馨・赤澤宏樹（2011）コミュニティ再生の支援とその具体的展開，ランドスケープ研究，75（4），289-294.

■研究発表

◎赤澤宏樹・藤本真里・武田重昭・中瀬勲（2011）兵庫県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会によるパークマネジメント。日本造園学会，東京農業大学，東京都。

◎田原直樹・上甫木昭春・杉本容子・赤澤宏樹（2011）江戸時代から現代までの都市の樹木に対する価値認識の変化。日本造園学会，東京農業大学，東京都。

◎加我宏之・赤澤宏樹・小林和子・岩本菜美子・小淵陽子・福田祥子（2011）震災スタジオ2011 神戸プログラム，日本造園学会関西支部，兵庫勤労福祉会館，兵庫県。

■学会役員など

日本造園学会，代議員。

日本造園学会，論文校閲委員。

日本造園学会，ランドスケープ・マネジメント研究委員会 委員。

日本造園学会，平成23・24年度造園技術報告集委員会，委員。

日本造園学会，東日本大震災復興支援調査委員会，調査チームリーダー。

日本造園学会，平成23年度全国大会震災復興支援ワークショップ，企画責任者。

日本造園学会，日本造園学会震災復興支援研究調査ワーキンググループ，コミュニティ担当

日本造園学会関西支部，幹事。

日本造園学会関西支部，ランドスケープ遺産研究会，世話人。

日本造園学会関西支部，大会実行委員会，委員。

日本造園学会関西支部，大会実行委員会，事務局長。

日本造園学会関西支部，学生ワークショップ「震災スタジオ2011」，神戸プログラムリーダー。

日本都市計画学会，校閲委員。

環境情報科学センター，校閲委員。

情報処理学会，校閲委員。

■助成を受けた研究

◎博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策。文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究，研究分担者（金額70万円／300万円）

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 古写真の収集，川西市・神戸市等。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

赤澤宏樹，2011.6，自然に学ぶ「公園のつくりかた」，博物館。（42名）

赤澤宏樹，2011.6，「学芸員の心構え」，博物館。（35名）

赤澤宏樹，2011.6，「展示解説」，博物館。（46名）

赤澤宏樹，2011.6，「ミニ逆さビデオカメラを作ろう」，博物館。（157名）

赤澤宏樹，2011.7，「針穴（ピンホール）カメラをつくって写真をとろう」（教職員セミナー），博物館。（10名）

赤澤宏樹，2011.8，「牛乳パックでカメラをつくって写真をとろう」（教職員セミナー），博物館。（44名）

赤澤宏樹，2011.8，「牛乳パックでカメラをつくって写真をとろう」，博物館。（17名）

赤澤宏樹，2011.8，「針穴（ピンホール）カメラをつくって写真をとろう」，博物館。（11名）

赤澤宏樹，2011.8，「逆さカメラを作ろう」，博物館。

(102名)

赤澤宏樹, 2011.11, 「自然に学ぶ「公園のつくりかた」, 博物館. (37名)

赤澤宏樹, 2011.11, 「立版古たてばんこ」を作ろう, 博物館. (15名)

赤澤宏樹, 2012.3, 「くるくるアニメをつくろう」, 博物館. (78名)

館外講演など

赤澤宏樹, 2011.7, 「アメリカの風景とライフスタイル」, 講師, 阪神シニアカレッジ国際理解コース, 尼崎市中小企業センター (60名)

赤澤宏樹, 2011.9, 「阪神・淡路大震災からの復興事例」, 講師, 日本造園学会関西支部, 神戸市内・芦屋市内 (20名).

赤澤宏樹, 2011.8, 「日本造園学会関西支部学生ワークショップ「震災スタジオ2011」WS02, コーディネーター, 富国生命ビル (40名).

赤澤宏樹, 2011.9, 「日本造園学会関西支部学生ワークショップ「震災スタジオ2011」WS03, コーディネーター, 大阪府立大学・中之島サテライト (40名).

赤澤宏樹, 2011.9, 「日本造園学会関西支部学生ワークショップ「震災スタジオ2011」WS02, コーディネーター, 大阪府立大学・中之島サテライト (40名).

赤澤宏樹, 2011.9, 「日本造園学会関西支部学生ワークショップ「震災スタジオ2011」, コーディネーター, 大阪府立大学・中之島サテライト (40名).

稲熊高子・林ひろみ・福田祥子・依藤智子・赤澤宏樹・上田萌子・武田重昭・嶽山洋志・藤本真里, 2011.10, 「阪神・淡路大震災からの復興の取り組み 市民まちづくりとみどりのネットワークに関するヒアリング報告, 日本造園学会関西支部大会フォーラム, 兵庫勤労福祉会館 (80名)

赤澤宏樹・藤本真里・武田重昭・上田萌子・嶽山洋志・稲熊高子・林ひろみ・福田祥子・依藤智子, 2011.11, 「阪神・淡路からの復興における緑のコミュニティづくり」, 震災復興支援ワークショップ「コミュニティ再生の支援とその具体的展開」, 日本造園学会全国大会, 東京農業大学 (30名)

赤澤宏樹, 2011.11, 「尼崎中央緑地パークセンターの考え方」, 講師, 兵庫県尼崎港管理事務所, 六甲セミナーハウス (30名).

赤澤宏樹, 2011.12, 「尼崎の森中央緑地におけるパークセンター機能検討ワークショップ」, コーディネーター, 阪神南県民局 (15名).

赤澤宏樹, 2012.2, 「尼崎の森中央緑地におけるパークセンター機能検討ワークショップ」, コーディネーター, 阪神南県民局 (15名).

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (分担)

ランドスケープ計画特論

非常勤講師

2005- 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学.

2005- 「農業と社会」, 奈良県立大学.

2006- 「博物館事前実習」, 神戸大学, 分担.

2011 「人間環境実習Ⅱ」, 神戸学院大学, 分担.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.29-6.3, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校, 2名.

講師派遣

2011.2, 「カメラをつくって原理を知ろう」, 科学の達人招聘事業, 講師, 尼崎市立園田中学校2年生 (240名).

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.12-8.17, 神戸学院大学, 尾道大学, 摂南大学, 神戸芸術工科大学, 京都文教大学, 5名.

■展示

2011.12-2012.3 トピックス展「神戸の水害」, 分担.

2011.10, 兵庫県川西市黒川地区古写真展, 代表, 川西市.

2011.10, 兵庫県佐用町古写真展, 代表, 佐用町.

2.シンクタンク事業

■受託研究

「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」, 分担者, 三田市. (70万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

■行政支援

委員会等 (計22件)

2003.10- 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 兵庫県阪神南県民局.

2003.8- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会鉄工団地小部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.

2004.12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.

2005.10- 兵庫県立西武庫公園管理運営協議会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2006.8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会, 委員, 阪神南県民局.

2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 阪神南県民局.

2009.9- 尼崎市総合計画審議会, 委員, 尼崎市.

2009.9- 尼崎市総合計画審議会「あり方検討」専門部会, 委員, 尼崎市.

- 2009.10- 西宮市都市景観審議会, 委員, 西宮市.
2009.10- 西宮市都市景観審議会アドバイザー一部会,
委員, 西宮市.
2010.4- 大阪市立長居公園管理運営協議会, 会長, 大
阪市.
2010.7- 三田市景観形成推進員, 三田市.
2010.9- 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市.
2011.3- 国営明石海峡公園神戸地区管理運営計画検
討会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
2011.4- 尼崎 21 世紀の森中央緑地コーディネーター
会議, 座長, 尼崎港管理事務所.
2011.2- 尼崎市きょう Do 推進検証会議, 副座長, 尼
崎市.
2011.11-2012.3 尼崎の森中央緑地パークセンター検
討ワークショップ, 座長, 尼崎港管理事務所.
2012.3 第 6 期阪神南地域ビジョン委員審査会, 審査
委員, 阪神南県民局.
2012.1- 県立西武庫公園移譲に伴う検討会, コーディ
ネーター, 尼崎市.

相談・指導助言

来訪者 30 件, 70 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相
談 50 件.

■学会開催等支援

2011.10 造園学会関西支部大会. 200 名.

武田 重昭, Shigeaki TAKEDA

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員

昭和50年兵庫県神戸市生. 大阪府立大学大学院生命環境
科学研究科博士後期課程修了. 博士（緑地環境科学）. 日
本造園学会, 日本都市計画学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

企画調整室 経営戦略会議運営

2. 研究開発部門

会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 屋外空間の活用による団地及びニュータウン再生に
関する研究
2. 屋外空間の使いこなしによる地域活性化に関する研
究
3. 地域に対する誇りや愛着の醸成に関する研究
4. 都市再生における建築とオープンスペースとの関係
性に関する考察
5. 1960年代の都市計画及び緑地計画思想に関する研
究
6. 「都市をつくる仕事」の魅力と今後の展望に関する
研究

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割一持
続可能なサポートシステム構築に関する研究」, 研
究分担者.

部門研究「大規模公園での住民参画型運営システムと
ソーシャルキャピタル形成」, 研究分担者.

■論文・著書

武田重昭・西川文香・加我宏之・下村泰彦・増田昇(2010)
利用実態から捉えたニュータウン再生に資する屋外
空間の活用に関する研究. 都市計画論文集 NO.45
vol.3, 787-792.

武田重昭・西川文香・加我宏之・下村泰彦・増田昇(2010)
居住者の緑地環境に対するマネジメント意識の視点
から捉えたニュータウン再生に関する研究. 環境情
報科学論文集 NO.24, 195-200.

◎赤澤宏樹・藤本真里・武田重昭・中瀬勲(2011) 兵
庫県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会に
よるパークマネジメント. ランドスケープ研究, Vol.
74(5), 799-804.

■その他著作

武田重昭(2010) 世界一のおそとへ. OSOTO Web.

■ブログへの情報提供

2件

■研究発表

◎赤澤宏樹・藤本真里・武田重昭・中瀬勲(2011) 兵
庫県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会に
よるパークマネジメント. 日本造園学会, 東京農業
大学, 東京都世田谷区.

藤本真里・武田重昭・田原直樹(2011) 山陰海岸ジオ
パークを活用した地域活性化のあり方について. 城
崎会議, 豊岡市.

藤本真里・武田重昭・田原直樹・先山 徹(2011) 山
陰海岸ジオパークを活用した地域交流型ツーリズム.
兵庫県立大学シンポジウムー産学公連携による地域
の活性化ー, 神戸市.

■学会役員など

日本造園学会, 編集委員会委員

日本造園学会, 作品選集刊行委員会委員

日本造園学会, 代議員

日本造園学会関西支部, 関西支部大会実行委員会委員

日本都市計画学会, 編集委員会委員

日本都市計画学会関西支部, 20周年事業委員会委員

日本都市計画学会関西支部, 「次世代の関西」検討委員
会

日本都市計画学会関西支部, 東日本大震災復興都市づ
くり特別委員会委員

兵庫県立大学政策科学研究所, 客員研究員

NPO法人パブリックスタイル研究所, 理事

■賞罰

藤本真里・武田重昭・田原直樹・先山 徹(2011) 山
陰海岸ジオパークを活用した地域交流型ツーリズム.
兵庫県立大学シンポジウムー産学公連携による地域
の活性化ー, 優秀ポスター賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2011.7-10 キャラバン関連資料の収集. 鳥取県岩美郡
岩美町など.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

武田重昭, 2011.5, 「みんなの庭」, 博物館(4名)

◎武田重昭, 2011.6, 「人と自然のピクニック」, 博物
館(4名)

武田重昭, 2011.8, 「このまちは誰がつくったのだろ
う?」, 博物館(教職員セミナー4名)

武田重昭, 2011.9, 「名画・名景に見る人と自然」, 香
美町中央公民館(4名)

◎武田重昭, 2011.9, 「人と自然のピクニック in 明石公
園」, 明石公園(40名)

武田重昭, 2011.10, 「人と自然の本棚」, 博物館,(8

名)

◎武田重昭, 2011.11, 「まちへのプレゼント」, クラーク記念国際高等学校 (4回, のべ105名)

武田重昭, 2012.3, 「いきものトーク」, 博物館 (8名)

館外講演など

武田重昭, 2011.7, 「ピクニックってなあに」, 暑い夏はお部屋でピクニック, 講師, アーバン グリーンラボ (40名).

武田重昭, 2011.7, 「シビックプライドパークに向けて」, 西条市民公園ワークショップ, 講師, 西条市, 西条市中央図書館 (50名).

武田重昭, 2012.3, 「新しいパブリックスペースのかたち」, ミニシンポジウム: ウォーターフロントと寸法, 東京大学 GCOE 「都市空間の持続再生学の展開」都市空間寸法研究会, 東京大学生産技術研究所 (10名).

兵庫県立大学・大学院教育

博物館実習 (指導補助)

非常勤講師

2011.6-2011.7. 「都市景観保全論」, 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科.

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2011.10 岩美町立渚交流館 テーマ「ジオキャラバン」

副担当

2011.7-9 新温泉町立山陰海岸ジオパーク館 テーマ「ジオキャラバン」

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.29-6.3, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校, 2名.

■フェスティバル等

2011.11 ひとほくフェスティバル, 「ステージ補助」(責任者).

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計4件)

2010.8- 三田市景観形成推進員, 三田市都市整備部

2010.10- 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市都市整備部

2011.8. 生物多様性ネットワーク強化推進事業ワーキング部会, 委員, 財団法人ひょうご環境創造協会

2011.6. 水と光のまちづくり企画推進業務事業者選定委員会, 委員, 大阪府

相談・指導助言

来訪者 10件, 12名. 電話・FAX 相談 1件, メール相談 0件.

学会開催等支援

2011.10. 造園学会関西支部大会. 100名.

田原 直樹, NaokiTAHARA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ次長(研究系)

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授。

昭和28年福岡県生。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。日本造園学会, 日本都市計画学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

部長代理

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 歴史的緑の研究
2. 環境文化に関する考察

■論文・著書

◎田原直樹(2011)震災後の緑の実態調査。都市環境デザイン会議関西ブロック編,「JUDI 関西 仕事の軌跡と展望」,40-43, 都市環境デザイン会議 関西ブロック, 大阪市。

■研究発表

◎田原直樹・上甫木昭春・杉本容子・赤澤宏樹(2011)江戸時代から現代までの都市の樹木に対する価値認識の変化。日本造園学会, 東京農業大学, 東京都。
藤本真里・武田重昭・田原直樹(2011)山陰海岸ジオパークを活用した地域活性化のあり方について。城崎会議, 豊岡市。
藤本真里・武田重昭・田原直樹・先山 徹(2011)山陰海岸ジオパークを活用した地域交流型ツーリズム。兵庫県立大学シンポジウムー産学公連携による地域の活性化ー, 神戸市。

■学会役員など

日本造園学会, 論文集委員。

■賞罰

藤本真里・武田重昭・田原直樹・先山 徹(2011)山陰海岸ジオパークを活用した地域交流型ツーリズム。兵庫県立大学シンポジウムー産学公連携による地域の活性化ー, 優秀ポスター賞

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎田原直樹, 2011.5,「博物館の建物7不思議見学ツアー」, 博物館。(15名)
田原直樹, 2011.4,「都市の歩き方・名所編 大阪・花

の大川沿いを歩く」, 大阪市。(15名)

田原直樹, 2011.4,「都市の歩き方・名所編 大阪・住吉界限を歩く」, 大阪市。(18名)

田原直樹, 2011.5,「都市の歩き方・名所編 大阪・御堂筋界限を歩く」, 大阪市。(19名)

田原直樹, 2011.10.8・22,「都市の歩き方・企画編 都名所図会を歩く」, 博物館, 京都市。(全2回, 17名)

田原直樹, 2011.10,「都市の歩き方・名所編 神戸・晩秋の須磨界限を歩く」, 神戸市。(20名)

館外講演など

田原直樹, 2011.6,「てくてく歩き 今昔比較時間旅行 姫路城周辺」, 兵庫県いなみ野学園 同窓研修会, 講師, 兵庫県いなみ野学園 同窓研修会, 姫路市(25名)

田原直樹, 2011.10,「都市山六甲、最新自然情報 名所図会にみる六甲の姿」, 平成23年度「ひょうご講座2011」, 講師, (公財)ひょうご震災21世紀研究機構, 兵庫県民会館(56名)

田原直樹, 2011.10,「地域を元気にする博物館をめざしてー「ひとほく」の地域連携の取り組みからー」, 平成23年度東播磨・北播磨地区社会教育・公民会大会, 講師, 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会・東播磨・北播磨地区公民館連絡協議会, 加古郡稲美町立コミュニティセンター(30名)

田原直樹, 2011.10,「地域における博物館の役割」, 第59回全国博物館大会シンポジウム, 講師, 財団法人日本博物館協会, 石川県文教会館(200名)

田原直樹, 2011.11,「てくてく歩き 今昔比較 京阪神三都の時間旅行」, 兵庫県いなみ野学園 同窓研修会, 講師, 兵庫県いなみ野学園 同窓研修会, 兵庫県いなみ野学園(400名)

田原直樹, 2011.12,「成熟社会に求められる地域づくりとは」, 平成23年度 但馬ふるさとづくり大学, 講師, 豊岡市鞆協会ホール(80人)

田原直樹, 2012.1,「環境と共生するまちづくり」, 地域指導者養成講座, 講師, (公財)兵庫県生きがい創造協会, 兵庫県いなみ野学園(11名)

田原直樹, 2011.2,「環境と共生するまちづくりII」, 地域指導者養成講座, 講師, (公財)兵庫県生きがい創造協会, 兵庫県いなみ野学園(28人)

兵庫県立大学・大学院教育

化石と地域づくりフィールドワーク(総合教育科目, 兼任, 2単位)

環境文化特別演習(環境人間学研究科, 兼任, 2単位)
都市設計論及び演習(兵庫県立大学環境人間学部, 兼任, 2単位)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.29-6.3, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校, 2名。

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計 17 件)

- 2011.4-1. 揖保川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2011.4-1. 兵庫県土地収用事業認定審議会, 委員, 兵庫県.
- 2011.4-1. 兵庫県国土利用計画審議会, 委員, 兵庫県.
- 2011.4-1. 中播磨地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県中播磨県民局.
- 2011.4-1. 千種川委員会, 委員, 兵庫県西播磨県民局.
- 2011.4-1. 佐用町 浸水被害軽減対策検討会, 委員, 兵庫県西播磨県民局.
- 2011.4-1. SSH 運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
- 2011.4-1. 姫路市都市計画審議会, 委員, 姫路市.
- 2011.4-1. 姫路市景観・広告物審議会, 委員, 姫路市.
- 2011.4-1. 姫路市景観・広告物審議会専門部会, 部長, 姫路市.
- 2011.8-1. 姫路市姫路駅放置自転車対策協議会, 会長, 姫路市.
- 2011.4-1. 姫路市コアゾーン等整備検討懇話会, 副会長, 姫路市.
- 2011.11-1. 姫路市イベントゾーン基本計画検討懇話会, 副会長, 姫路市.
- 2011.11-1. 姫路市地区市民センター指定管理者選定委員会, 委員, 姫路市.
- 2011.10-1. 姫路市立生涯学習大学校並びに好古学園大学校のあり方に関する検討懇話会, 会長, 姫路市.
- 2012.2-1. 地域審議会公募委員選考会議, 審査委員, 姫路市.
- 2012.3-1. キャスティ 2 1 コアゾーン等開発提案競技審査委員会, 副委員長, 姫路市.
- 2011.4-1. 加西市都市計画審議会, 会長, 加西市.
- 2011.4-1. 加西市土地利用委員会, 会長, 加西市.
- 2011.4-1. 加西市土地利用調整委員会, 会長, 加西市.
- 2011.12-1. 加西市生物多様性地域戦略策定委員会, 委員, 加西市.
- 2011.4-1. 三田市環境保全審議会, 会長, 三田市.
- 2011.4-1. 三田市総合計画審議会, 委員, 三田市.
- 2011.4-1. 西はりま天文台公園運営協議会, 委員, 佐用町.
- 2011.4-1. 丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財) 丹波の森協会.
- 2011.4-1. 丹波 OB 大学運営委員会, 委員, (財) 丹波の森協会.

相談・指導助言

来訪者 24 件, 50 名. 電話・FAX 相談 5 件, メール相談 5 件.

山崎 義人, YoshitoYAMAZAKI

自然・環境マネジメント研究室

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ/地域展開推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 講師.

昭和47年神奈川県生. 早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日本都市計画学会, 農村計画学会, 日本生活学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 地域展開マネージャー・担当 地域担当(丹波地域担当)

2.タスクフォース

恐竜化石タスクフォース, サブリーダー

3.研究開発部門

研究推進室 総合共同研究担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 集落持続に向けた民俗慣行にみる居住継承システムの解明
2. 市街地の生活環境資源としての「谷戸」の研究
3. スマトラ島西部地震からの集落再建プロセスの空間論的比較分析
4. アーバン・レジリエンスの研究

■共同研究

総合共同研究「地域展開する博物館学の研究」, 研究分担者.

総合共同研究「山陰海岸ジオパーク」, 研究分担者.
部門研究「古写真にみる自然との共生に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書(県政課題に関連するものは, 先頭に◎)

◎塩山沙弥香, 山崎義人, 中瀬勲「地域コミュニティに寄与しうる機能を持つ農産物直売所のシステム」日本造園学会、ランドスケープ研究論文集第74巻5号、2011.5

◎山崎義人「古写真を通じた戦前からの開拓村の形成過程の解読方法 - 兵庫県三田市下相野平野集落を事例として -」日本建築学会計画系論文集第664号、p1137-p1144、2011.6
跡部富幸, 後藤春彦, 遊佐敏彦, 山崎義人「小規模農村における地域重営のパートナーシップ形成のプロセス - 徳島県美波町木岐地区を対象として -」日本建築学会計画系論文集第667号、p1601-p1610、2011.9

小野ちれか, 後藤春彦, 佐藤宏亮, 山崎義人「市民によるモダニズム建築群の保存活動を通して醸成される社会的価値 - 青森県弘前市に集積する8件の前川建築を対象とした市民活動に着目して -」日本建築学会計画系論文集第

669号、p2169-p2176、2011.11

日本都市計画学会関西支部次世代の「都市をつくる仕事」研究会(山崎義人, 武田重昭他) 編著『いま、都市をつくる仕事 未来を拓くもうひとつの関わり方』学芸出版社、2011.11

矢島拓弥, 後藤春彦, 山崎義人, 遊佐敏彦「自転車利用者の観光地における行動実態 - 「回り道行動」の概念を用いて -」日本建築学会計画系論文集第670号、p2387-p2394、2011.12

■その他著作

山崎義人「津波被害の視点から」『緊急提言 災害復興とまちづくり』日刊岩手建設工業新聞社、2011.4

山崎義人「津波被害の視点から」『緊急提言 災害復興とまちづくり』盛岡タイムス、2011.4

山崎義人「地域の自治力を活かす、Livelihood(生計)の支援を。」at プラス、太田出版、p76-p81、2011.5

山崎義人「私的図面採集・再考」農村建築116号、2011.6
川原晋, 野原卓, 岡村祐, 山崎義人「集落再生の抛り所としてのまちの祝祭空間と祭り回復」季刊まちづくり第32号、学芸出版社、2010.9

山崎義人「CFWとしてのツーリズム 自然や文化を活用した復興の方向性」台湾視察報告会、日本都市計画学会関西支部国際交流委員会、2011.11

山崎義人「書評 山崎亮著 コミュニティデザイン 人つながるしくみをつくる」農村計画学会誌30巻3号、2011.12

山崎義人「宝塚カトリック教会」ひとはく図鑑、ひとはく新聞第19号、兵庫県立人と自然の博物館、2011.12

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

◎山崎義人, 武田重昭, 赤澤宏樹, 上田萌子, 藤本真里, 田原直樹, 中瀬勲(2010) 博物館による古写真の収集・分析・還元. 第12回日中韓国際ランドスケープ専門家会議,

◎山崎義人(2010) 古写真を通じた戦前開拓村の空間的変遷の解読 - 兵庫県三田市下相野平野集落を事例として -. 日本建築学会第5回住宅系研究報告会論文集, pp99-106.

■学会役員など

日本建築学会, 農村計画委員会, 委員.

日本建築学会, 農村計画委員会, ルーラルネットWG, 幹事

日本建築学会, 農村計画委員会, 集落居住小委員会, 幹事
日本建築学会, 農村計画委員会, 中山間地域組織小委員会, 委員

日本建築学会, 近畿支部, 農村計画部会, 委員

日本建築学会, 近畿支部, 都市計画部会, 委員

日本建築学会, 東日本復興支援本部・復旧復興支援部会・委員

日本都市計画学会, 関西支部, 幹事

日本都市計画学会, 関西支部, 国際交流委員会, 副委員長

日本都市計画学会,関西支部,創立 20 周年記念事業委員会,委員

日本都市計画学会,関西支部,創立 20 周年記念事業委員会,次世代の関西検討 WG, 代表

日本都市計画学会,関西支部,東日本震災復興都市づくり特別委員会・委員

■助成を受けた研究

集落持続に向けた民俗慣行に見る居住継続システムの解明. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者 (金額 80 万円/320 万円).

市街地の生活環境資源としての「谷戸」の研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者 (金額 30 万円/320 万円).

生物多様性に配慮した「混ぜ垣」によるニュータウンの景観評価と更新・管理の課題. 財団法人大林都市研究進行財団研究助成 (金額/120 万円)

スマトラ島西部地震からの現地斬進型と集落移転型集落再建プロセスの空間論的比較分析文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者 (金額 20 万円/420 万円).

恐竜発掘を素材にした地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者 (金額 10 万円/370 万円).

博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者 (金額/300 万円).

アーバン・レジリエンス研究会, 日本都市計画学会関西支部研究助成, (研究代表者) (金額 10 万円/20 万円)

■海外調査

2011.9 インドネシア・パダン

■賞罰

日本建築学会奨励賞受賞

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.7 ジョロキャラバン展関連資料の収集. 但馬地域.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎山崎義人,2011.4「体感、三角の力。わりばしを組んで乗ってみよう-トラス編-」, 博物館. (29 名)

◎山崎義人,2011.5「体感、三角の力。多面体おもちゃをつくろう-テンセグリティ編-」, 博物館. (15 名)

◎山崎義人,2011.6「体感、三角の力。小さな家をつくって入ろう-ドーム編-」, 博物館. (36 名)

◎山崎義人,2011.7「立体の塗り絵でつくる、家とまち」(全 2 回), 博物館. (14 名)

◎山崎義人, 2011.8「体感、三角の力」, 博物館,神戸市

立神戸北中学校科学部,博物館. (21 名).

◎先山徹・駒居博之・山崎義人,2011.9「海辺散歩・岡見公園と香住の町並み」, 香美町. (約 10 名)

◎武田重昭・山崎義人他,2011.10「巨大テトラポットを組み立てよう」, 鳥取県岩美町. (約 30 名)

◎山崎義人,2011.10「建築スケッチ紀行 村野藤吾作品 07「関西大学」」, 吹田市. (4 名)

◎山崎義人,2011.10「建築スケッチ紀行 村野藤吾作品 08「千里ニュータウン南地区センター ビル」」, 吹田市. (5 名)

◎山崎義人,2011.11「建築スケッチ紀行 村野藤吾作品 09「西宮トラピクス修道院」」, 西宮市. (11 名)

◎山崎義人,2012.3「ジオセミナー 焼杉板をつくろう」, 博物館. (22 名)

山崎義人,2012.3「まち歩きからまちづくりへ 内発的まちづくり実践編」, 篠山市自治会, 博物館. (44 名)

館外講演など

川原晋・山崎義人他, 2011.5, 「建築・都市計画の新しい職能像を考える -「まちづくり市民事業」と「都市をつくる仕事」」, 学芸セミナー, コメンテーター, 学芸出版社 (約 50 名).

山崎義人他多数, 2011.10, 「次世代のポスターセッション 都市の魅力×仕事の可能性」, モデレーター, 日本都市計画学会関西支部 20 周年記念式典, (約 150 名).

山崎義人, 2011.11, 「大学地域連携フォーラム in 青垣」, 大学地域連携フォーラム実行伊委員会, (約 100 名).

山崎義人, 2012.1. 「伝統的集落における居住環境の再建」, 第 2 回中部台湾日本研究フォーラム, 台湾東海大学 (約 100 名).

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学,丹波山南地域づくりフィールドワーク (分担)

非常勤講師

2011.10-2012.2 神戸市立工業高等専門学校、都市工学科「応用 CAD」

2011.10-2012.2 神戸市立工業高等専門学校、都市工学科「景観工学」

2011.4-2012.3. 早稲田大学理工学術院,客員講師.

■キャラバン事業

副担当

2011.9 香美町海の文化館「ひとはくジオキャラバン おもれえー！山陰海岸ジオパーク」

展示製作

2012.3 「めぐってきました！山陰海岸ジオパーク」

■ミニキャラバン事業

2011.11, 大阪自然史フェスティバル (分担者), 大阪自然史博物館.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.29-6.3, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校, 2名.

■研究生等の受入

博物館実習

2011.8.10-8.21, 島根大学、など学部生約10名。(三橋弘宗、池田忠弘と共同)

卒論生等

2011.4.1-2012.3.31, 金子奈津(早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), 地域ビジネスの創出に向けた地域と外部人材の協働に関する研究.

2011.4.1-2012.3.31, 河内昇平(早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), NPO法人による都市貧困層に対する社会福祉サービスの事業展開プロセス.

2011.4.1-2012.3.31, 柳沼優樹(早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), 東京大都市圏郊外部における小規模知識サービス企業の集積メカニズム.

■フェスティバル等

2011.11 ひとつはくフェスティバル, 「ステージ補助」.

■展示

企画展

2012.3 「めぐってきました!山陰海岸ジオパーク」(分担者).

ミニ企画展

2011.8 「2010 博物館実習生の学習成果, ミニ企画展」(担当者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

「丹波地域の化石資源を活かした人づくりのための調査研究委託」, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会。(委託金額,50万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 1回, 20名.

■行政支援

委員会等(計4件)

2011.4-, 森の学校復活大作戦実行委員会, 委員, 篠山市環境保全課

2011.10-, 朝来市住宅マスタープラン検討委員会, 委員長

2011.10-, 朝来市住宅マスタープラン策定委員会, 委員

2012.2-, 朝来市空き家活用検討委員会・委員

相談・指導助言

来訪者3件, 14名. 電話・FAX相談1件, メール相談1件.

■学会開催等支援

2011.8 日本建築学会大会(関東)農村計画研究部門研究懇談会. 約100名.

2011.10 日本都市計画学会関西支部20周年記念式典約150名.

上田 萌子, MoekoUEDA

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ
研究員

昭和57年愛知県生. 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士前期課程修了. 緑地環境学修士. 日本造園学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 淡路地域担当

2.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 人材育成セミナー担当
(専門編全6回, 入門編1回)

3.研究開発部門

シンクタンク推進室 20周年シンクタンク部会事務局運営、報告書とりまとめ、生物多様性協働フォーラム運営補助、兵庫県シンクタンク等協議会幹事、資料貸出担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 塩性湿地の景観変遷と住民の管理活動に関する研究
2. 近世の大阪湾臨海部における干拓地の変遷と地形断面に関する研究

■共同研究

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方に関する研究」, 研究分担者.

総合共同研究「地域課題解決型の博物館実習プログラムの構築 ～丹波地域における実証実験～」, 研究分担者.

部門研究「生物多様性に配慮した「混ぜ垣」によるニュータウンの景観評価と更新・管理の課題」, 研究分担者

■論文・著書

◎上田萌子・上南木昭春（2012）成ヶ島における塩性湿地に着目した植生の変化と環境管理活動との関係. ランドスケープ研究, Vol.75(5), 625-630

■その他著作

◎上田萌子ほか（2011）「これからの都市公園のマネジメント～ひょうごからの提案～」兵庫県立都市公園の今後のあり方に関する研究会

◎上田萌子ほか（2011）「阪神・淡路大震災からの復興の取り組み」日本造園学会関西支部大会ワーキングチーム

上田萌子（2012）「名所江戸百景 山下町日比谷外さくら田」ニューひょうご ごこく冬号 館蔵品セレクション, p.33, 兵庫県広報課

■ブログへの情報提供

1件

■学会役員など

日本造園学会関西支部大会実行委員会, 実行委員
日本造園学会関西支部大会ワーキングチーム, ワーキングメンバー

日本造園学会全国大会運営委員会, 運営委員

■助成を受けた研究

土地利用履歴からみた塩性湿地の基盤環境と塩生植物の現状との関係性に関する研究—淡路島東部成ヶ島を事例として—. 大阪湾広域臨海環境整備センター, 研究代表者（金額108万円）.

生物多様性に配慮した「混ぜ垣」によるニュータウンの景観評価と更新・管理の課題. (財)大林都市研究振興財団, 研究分担者（金額120万円）.

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.5, 古写真の収集（102点）. 丹波市柏原.

2011.7, 古写真の収集（7点）. 洲本市由良.

■受贈担当資料

2011.6, 私たちの町 寝屋川の自然. 1点.

2011.6, 私たちの町 寝屋川の自然（増補版）. 1点.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

上田萌子, 2011.4, 「ミニ逆さビデオカメラをつくらう」, 大阪府立泉北高等学校1年生, 博物館. (35名)

上田萌子, 2011.4-2011.12, 「立体カードで楽しむマンガロープの自然」, 博物館. (全3回, 137名)

上田萌子, 2011.4, 「研究と私」, 県立大学附属中学校1年生, 博物館. (44名)

小館・フロアスタッフ・田中・半田・上田, 2011.4, 「収蔵庫見学①」, 兵庫県立大学附属中学校1年生, 博物館. (22名)

小館・田中・半田・上田・本多, 2011.4, 「収蔵庫見学②」, 兵庫県立大学附属中学校1年生, 博物館. (22名)

上田萌子, 2011.5, 「漂着物をさがそう 江井ヶ島編」, 明石市江井ヶ島海岸. (6名)

上田萌子, 2011.6, 「博物館の資料と情報処理システムの概要」, 大阪府立大学3年生, 博物館. (21名)

上田萌子, 2011.7, 「ぶらり海辺散歩～塩性湿地を見て歩く～夏の日高川河口編」, 和歌山県御坊市日高川河口. (7名)

上田萌子, 2011.10, 「漂着物をさがそう 新舞子編」, たつの市御津町新舞子海岸. (1名)

小館・北村・上田・本多, 2011.10 「生物系収蔵庫見学と資料解説」, 丹波市立久下小学校3年生, 博物館. (29名)

上田萌子, 2011.11, 「ぶらり海辺散歩～塩性湿地を見て歩く～秋の成ヶ島編」, 洲本市由良成ヶ島. (8名)
上田萌子, 2011.12, 「立版古をつくろう」, 猪名川町立六瀬中学校1年生, 博物館. (43名)
上田萌子, 2011.12, 「立版古をつくろう」, 博物館. (8名)
上田萌子, 2011.2, 「兵庫の海辺のまちを比べてみよう」, 高砂立竜山中学校1年生, 博物館. (110名)

兵庫県立大学・大学院教育

2011.4, ランドスケープ計画特論 (指導補助)
2011.5-7, 丹波山南・地域づくりフィールドワーク (指導・運営補助) 全5回.

■ミニキャラバン事業

2011.4, ありまふじフェスティバル (分担者), ありまふじ10周年記念事業実行委員会・有馬富士公園運営・計画協議会, 有馬富士公園.
2012.1, あわジオフェスティバル (分担者), 国営明石海峡公園, 淡路島国営明石海峡公園.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.29-6.3, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校, 2名.

■研究生等の受入

博物館実習

赤澤宏樹・上田萌子, 2011.8, 「博物館実習事前学習」, 神戸大学発達科学部3回生. (10名)

卒論生等

■フェスティバル等

2011.11.6, ひとはくフェスティバル, 搬入・搬出誘導/ステージプログラム (分担者), 懇親会幹事.

■展示

企画展

2011.4.23-2011.9.4, 展示特別企画「丹波と恐竜を知ろう 2011～第5次発掘報告～」 (分担者).

ミニ企画展

2011.11.12-2012.1.9, トピックス展示「神戸の水害」 (責任者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

丹波地域の化石資源を活かした人づくりのための調査研究委託. たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会, 代表者 (金額39万円).

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 3回, 28名.

■行政支援

委員会等 (計1件)

2010.8, 三田市景観形成推進員.

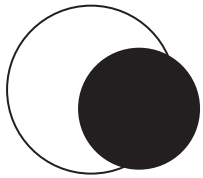
相談・指導助言

来訪者4件, 5名. メール相談2件.

学会開催等支援

2011.5 兵庫県立都市公園の今後のあり方に関する研究会開催, 17名.

2011.10 日本造園学会関西支部大会研究発表会およびフォーラム開催, 270名.



個人別成果報告に関する資料 No. 5

● 自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／

生物多様性保全研究グループ

服部 保, Tamotsu HATTORI

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／事業推進部門

研究部長／総合調整担当

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 教授.

昭和23年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 日本造園学会, 植生学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

総合調整担当

2.タスクフォース

生物多様性タスクフォース リーダー

3.研究開発部門

部門研究調整担当, 会計担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究
2. 森づくりに関する総合的な研究
3. 里山, 草原, 照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究代表者.

■論文・著書

◎黒田有寿茂・石田弘明・服部 保 (2011) 絶滅危惧植物ツクシガヤの種子発芽特性と種子保存方法. 保全生態学研究, 16: 159-167.

■その他著作

◎清水 龍・山崎健司・服部 保 (2011) 兵庫県三原川水系上流域におけるニホンジカ (*Cervus nippon*) の採食の影響. 人と自然, No.22: 27-32.

◎服部 保・南山典子 (2012) 不嗜好性植物の増殖と利用方法. 兵庫県立森林動物研究センター兵庫ワイルドライフモノグラフ, 4: 印刷中.

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂 (2012) 赤穂市文化財調査報告書 74 生島の植生調査報告ー植生管理 10 年後の現状ー. 赤穂市教育委員会生涯学習課, 16p.

◎石田弘明・服部 保 (2012) ニホンジカの過採食が暖温帯夏緑二次林の種多様性に与える影響. 兵庫県立森林動物研究センター兵庫ワイルドライフモノグラフ, 4:印刷中.

◎石田弘明・服部 保 (2012) ニホンジカの激害地における不嗜好性植物を用いた緑化の応用可能性. 兵庫県立森林動物研究センター兵庫ワイルドライフモノグラフ, 4:印刷中.

■研究発表

服部 保・南山典子・岩切康二・栃本大介・福井 聡・澤田佳宏 (2011) 桜島溶岩地帯の植生遷移. 植生学会第16回大会, 神戸大学, 神戸市.

石田弘明・山名郁実・小舘誓治・服部 保 (2011) 淡路島の森林伐採跡地に分布する外来木本ナンキンハゼ群落の生態的特性と成因. 植生学会第16回大会, 神戸大学, 神戸市.

藤原千鶴・田村和也・辻 秀之・服部 保 (2011) 尼崎の森中央緑地における森づくりの現状と種多様性. 植生学会第16回大会, 神戸大学, 神戸市.

Kuroda, A., Ishida, H. & Hattori, T. (2012) Seed germination traits and seed storage techniques for the threatened plant species *Chikusichloa aquatica* Koidz. The 5th EAFES International Congress, Ryukoku University, Otsu.

■学会役員など

日本生態学会 地区委員

■助成を受けた研究

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究.

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者(金額91万円/442万円).

六甲山系の生物多様性保全に関する研究. コベルコ環境創造基金, 研究代表者(金額100円/200万円). 西脇市等における植生調査, 整備計画, 環境調査. サントリーホールディング(株), 研究代表者(金額100万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 植物および植生景観の映像資料収集. 神戸市, 宝塚市, 尼崎市, 姫路市, 伊丹市, 三田市, 川西市, 北海道, 大阪府, 鹿児島県, 宮崎県, 沖縄県.

2011.4-2012.3 照葉樹林の映像資料収集. 沖縄県(石垣島), 鹿児島県(奄美大島), 宮崎県.

■整理同定担当資料

植物および植生景観の映像資料収集, 照葉樹林の映像

資料収集。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

服部 保, 2011.5, 「博物館セミナー 生物多様性保全に向けての行政・企業・NPOの取り組み」, 博物館. (11名)

服部 保, 2011.8, 「教職員セミナー 生物多様性保全のための学校内ビオトープ」, 博物館. (33名)

服部 保, 2011.9, 「博物館セミナー 万葉集の植物・植生」, 博物館. (42名)

服部 保, 2011.5, 「特注セミナー ジーンファーム見学」, みねはな会, 博物館. (10名).

服部 保, 2011.5, 「特注セミナー 森林整備と災害防止」, 全国保険医団体連合会近畿ブロック公害担当者会議, 博物館. (14名).

服部 保, 2011.6, 「特注セミナー ジーンバンクの資料を用いた自然環境の保安全管理について」, 大阪府立大学, 博物館. (20名).

服部 保, 2011.6, 「特注セミナー 里山について」, 武庫川女子大学附属高等学校, 博物館. (35名).

服部 保, 2011.6, 「特注セミナー 森について」, 明石市立鳥羽小学校, 博物館. (86名).

服部 保, 2011.8, 「講演 企業の実践する生物多様性保全」, 生物多様性協働フォーラム, 博物館 (185名).

服部 保, 2011.11, 「パネルディスカッション 北摂里山の魅力を高めるために」, コーディネーター, 北摂里山フォーラム2011, 博物館. (300名).

服部 保, 2012.2 「まちなか里山セミナー①コース: 里山づくり入門」, 講師, 博物館. (71名)

服部 保, 2012.3, 「まちなか里山セミナー②コース: 里山観察ツアー」, 講師, 三田市, (25名).

オープンセミナー

服部 保, 2011.5, 「かわもちとちまき」, 博物館. (7名)

服部 保, 2011.9, 「秋の七種」, 博物館. (13名)

服部 保, 2012.1, 「春の七草」, 博物館. (8名)

館外講演など

服部 保, 2011.4, 「講演 森林のはたらき①照葉樹林と里山林の保全」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ, (90名).

服部 保, 2011.4, 「講演 生物多様性と里山保全」, 講師, 阪神シニアカレッジ同窓会, (280名).

服部 保, 2011.5, 「観察会 中山寺周辺で植生観察」, 講師, フレミラ宝塚, (30名).

服部 保, 2011.5, 「講演 宝塚の里山を考える」, 講師, フレミラ宝塚, (30名).

服部 保, 2011.5, 「観察会 ジーンファーム見学」,

講師, 全国花のまちづくり三田大会, (20名).

服部 保, 2011.6, 「講義 神戸の都市山・六甲山」, 講師, 神戸学, 神戸市看護大学, (200名).

服部 保, 2011.6, 「講義 里山林整備と社家郷山の現状に関する基礎知識」, 講師, 「コープの森・社家郷山」森林整備ボランティア養成講座, (20名).

服部 保, 2011.6, 「講義 大阪ガス姫路製造所の生物多様性保全への取り組み」, 講師, 大阪ガス姫路製造所, (40名).

服部 保, 2011.6, 「講演 地域の自然を学ぶⅠ」, 講師, 阪神シニアカレッジ, (25名).

服部 保, 2011.7, 「講演 地域の自然を学ぶⅡ」, 講師, 阪神シニアカレッジ, (30名).

服部 保, 2011.7, 「講演 原生林から里山林へ」, 講師, 森林ボランティア講座, (110名).

服部 保, 2011.7, 「講演 生物多様性あかし戦略と里山について」, 講師, 自然・環境フォーラム (うおずみ学講座), (20名).

服部 保, 2011.7, 「講演 生物多様性都市山六甲戦略について」, 講師, 日本環境測定分析協会, (100名).

服部 保, 2011.7, 「講演 都市山・六甲山」, 講師, 「都市資源としての六甲山」研究会, (30名).

服部 保, 2011.8, 「講演 兵庫の里山・里海」, 講師, 兵庫県立大学セミナー, (30名).

服部 保, 2011.9, 「観察会 里山観察」, 講師, シニア自然大学, (60名).

服部 保, 2011.9, 「講演 里山の現状と保全の方向」, 講師, 西播磨高齢者文化大学, (70名).

服部 保, 2011.9, 「講演 都市山 (としやま) 六甲の特色は何か」, 講師, ひょうご講座 2011①, ひょうご震災記念21世紀研究機構, (56名).

服部 保, 2011.9, 「講演 生物の交流・共生の場, 六甲」, 講師, ひょうご講座 2011②, ひょうご震災記念21世紀研究機構, (56名).

服部 保, 2011.9, 「講演 生物多様性と混ぜ垣」, 講師, 加西市, (30名).

服部 保, 2011.10, 「講演 生物多様性戦略の地域での実践について」, 講師, 「ふれあいの里山」復活大作戦, (20名).

服部 保, 2011.10, 「講演 里山の基本知識」, 講師, みのお森の学校, (20名).

服部 保, 2011.10, 「講演 生物多様性と里山の保全」, 講師, 宝塚市民カレッジ, (60名).

服部 保, 2011.10, 「講演 生物多様性保全と里山管理の方向性」, 講師, 国際森林年フォーラム, (30名).

服部 保, 2011.10, 「講演 みんなの笹原と万葉植物」, 講師, 万葉の里・猪名寺おもしろ講座, (30名).

服部 保, 2011.10, 「講演 六甲山の特色と植生遷移」, 講師, 神戸市六甲山整備室勉強会, (20名).

服部 保, 2011.11, 「講演 生物多様性の保全に向けて兵庫県, そして西宮の場合」, 講師, 宮水学園選択

講座 環境コース, (40名).

服部 保, 2011.11, 「講演 里山林の保全とナラ枯れ・シカの食害」, 講師, 丹波の森大学, (76名).

服部 保, 2011.11, 「講演 六甲があぶない(温暖化, 外来種の侵入)」, 講師, ひょうご講座2011⑨, ひょうご震災記念21世紀研究機構, (70名).

服部 保, 2011.11, 「講演 里山林の保全の方向」, 講師, コベルコの森 森開き, (100名).

服部 保, 2011.11, 「講演 これからの六甲の自然と生物多様性六甲戦略」, 講師, ひょうご講座2011⑩, ひょうご震災記念21世紀研究機構, (70名).

服部 保, 2011.11, 「観察会 秋の北摂里山街道」, 講師, 北摂きらっとバス, (40名).

服部 保, 2011.11, 「講演 万葉集の植物と植生景観」, 講師, 橿原市昆虫館「むしムシゼミナー」, (40名).

服部 保, 2011.11, 「講演 六甲山の特色と植生遷移」, 講師, 六甲の森づくりフォーラム, (250名).

服部 保, 2011.11, 「観察会 川西市黒川の里山林」, 講師, 里山博物館構想現地意見懇談会, (40名).

服部 保, 2012.2, 「講演 六甲山の特色とこれからの取組み」, 講師, 須磨FRS ネット自然環境サミット2012, (70名).

服部 保, 2012.3, 「講演 生物多様性・西宮市の現状と園芸植物」, 講師, 西宮市, (80名).

服部 保, 2012.3, 「講演 大阪ガス姫路製造所の取組み」, 講師, JBIB 研修会, (60名).

兵庫県立大学・大学院教育

2011.5.14,15,21 植生保全管理論(大学院)

2011.9.14,15 共生生物学(分担講義)

非常勤講師

神戸市看護大学(非常勤講師), 放送大学学園(客員教授)

■研究生等の受入

卒論生等

大学院修士1名, 大学院博士1名

2.シンクタンク事業

■受託研究

「シダ類, ラン類の栽培等業務」. 財団法人ひょうご環境創造協会. 研究代表者(105万円)

「平成23年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 研究代表者(110.04万円)

「平成23年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務」. 西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社. 研究代表者(50.52万円)

「平成23年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連委託業務」. 大阪ガス株式会社. 研究代表者(99.015万円)

「西宮市における生物多様性地域戦略の評価手法検討業務」. 西宮市. 研究代表者(125万円)

「南公園里山体験講座等委託業務」. 三田市. 研究分担者(40万円)

「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 研究代表者(90万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 51回, 178名.

■行政支援

委員会等(計70件)

1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査(猪名川, 加古川, 揖保川, 円山川), アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局.

1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査, アドバイザー, (独)水資源機構.

1995.8- 自然環境アドバイザー, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局.

1996.5- 宝塚市環境審議会, 委員, 宝塚市.

1996.7- 兵庫県緑化推進協会運営協議会 委員, (社)兵庫県緑化推進協会.

1996.10- 宝塚市文化財審議会, 委員, 宝塚市.

1997.9- 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県農政環境部.

2000.10- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, (財)兵庫県園芸・公園協会.

2001.2- 宝塚市環境影響評価専門委員会, 委員, 宝塚市.

2001.9- 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる近畿ブロック調査会議, 委員, 環境省.

2002.3- ささやまの森公園運営協議会 委員, (財)丹波の森協会.

2002.7- 玄武洞公園整備事業検討会, 委員, 豊岡市.

2002.12- 兵庫県環境審議会, 特別委員, 兵庫県.

2003.1- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局・兵庫県但馬県民局.

2003.3- ゆめさきの森公園運営協議会, 委員, ゆめさきの森公園協会.

2004.1- 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省猪名川河川事務所.

2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.

2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業 景観アドバイザー, 国土交通省六甲砂防事務所.

2005.4- 近畿地方整備局景観アドバイザー, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局.

2005.6- 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会, 委員, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.

2005.6- 慶野松原保存管理計画策定委員会, 委員長, 南あわじ市.

2006.6- 琵琶湖・淀川流域圏再生推進会議 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2006.11- 兵庫県河川審議会特別委員会, 委員, 兵庫県土整備部.

2007.1- 野生動物育成林整備にかかる指導・助言,

- アドバイザー，兵庫県農政環境部。
- 2007.4- 丹波の森公苑運営委員会，委員，兵庫丹波の森協会。
- 2007.6- 六甲山自然保護センター環境学習運営委員会，委員長，兵庫県神戸県民局。
- 2007.7- 箕面体験学習の森整備事業検討委員会，委員長，林野庁近畿中国森林管理局。
- 2008.1- 明石市環境審議会，委員，明石市。
- 2008.4- やしろの森公園協会評議会，委員，やしろの森公園協会。
- 2008.11- 一庫公園管理運営協議会，委員長，(財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2009.3- 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会調査委員，委員，文部科学省。
- 2009.4- コープの森・社家郷山森林保全活動推進委員会，委員長，コープこうべ。
- 2009.5- 「ひょうごの川・自然環境調査」，アドバイザー，兵庫県。
- 2009.5- 国道 178 号余部道路，アドバイザー，兵庫県新温泉土木事務所。
- 2009.6- 気候変動と河川環境(影響)委員会，委員，(財)河川環境管理財団。
- 2009.10- 河川堤防及び周辺域における生態緑化技術の開発に関する研究会，委員，(財)河川環境管理財団。
- 2009.11- 猪名川・藻川河川保全利用委員会，委員，国土交通省近畿地方整備局。
- 2009.11- 和田山八鹿道路・八鹿日高道路，アドバイザー，国土交通省豊岡河川国道事務所。
- 2009.12- 川西市環境審議会，委員，川西市。
- 2009.12- 森づくりセンター運営委員会，会長，兵庫県・他。
- 2010.1- 鶏籠山国有林森林整備検討会，委員長，林野庁兵庫森林管理署。
- 2010.1- 国営明石海峡公園神戸地区管理運営計画検討会，委員，国土交通省国営明石海峡公園整備局。
- 2010.2- 「森と緑のふれあい支援事業」実行委員会，委員，黒川自治会。
- 2010.2- 豊岡道路環境基礎調査，アドバイザー，国土交通省豊岡河川国道事務所。
- 2010.3- 国崎クリーンセンター運営懇話会，委員長，国崎クリーンセンター。
- 2010.3- 加古川自然再生，アドバイザー，国土交通省姫路河川国道事務所。
- 2010.4- 公共事業等審査会，委員，兵庫県県土整備部。
- 2010.6- ひょうごの生物多様性保全プロジェクト選定委員会，委員，兵庫県農政環境部。
- 2010.7- 生物多様性地域戦略策定協議会，委員長，西宮市。
- 2010.10- 新名神高速道路兵庫県域自然環境保全検討会，委員，西日本高速道路(株)。
- 2010.12- 国道 178 号浜坂道路，アドバイザー，兵庫県新温泉土木事務所。
- 2011.1- 科学研究費委員会，専門委員，日本学術振興会。
- 2011.3- 阪神北県民局政策アドバイザー，兵庫県阪神北県民局。
- 2011.3- 北摂里山博物館運営協議会，委員，兵庫県阪神北県民局。
- 2011.4- カラクサンダ移植，アドバイザー，清水JV(与布土ダム)。
- 2011.4- 東播磨南北道路，アドバイザー，兵庫県東播磨県民局。
- 2011.5- 阪神北夢づくり応援事業企画提案会，委員，兵庫県阪神北県民局。
- 2011.6- 北摂里山博物館構想推進懇話会，委員，兵庫県阪神北県民局。
- 2011.6- 県立三木山森林公園指定管理者候補者選定委員会，委員長，兵庫県農政環境部。
- 2011.7- 生物多様性ひょうご戦略推進委員会，委員，兵庫県農政環境部。
- 2011.7- 生物多様性アドバイザー，兵庫県農政環境部。
- 2011.7- 武庫川水系河川整備計画フォローアップ委員会公募委員選考会議，委員，兵庫県県土整備部。
- 2011.7- 六甲山森林整備戦略検討会議，委員，神戸市。
- 2011.7- 都市資源としての六甲山研究会，研究員，(財)神戸市都市問題研究所。
- 2011.8- 武庫川水系河川整備計画フォローアップ委員会，委員，兵庫県県土整備部。
- 2011.8- 川西市文化財審議委員会，説明員，川西市。
- 2011.9- 生物多様性たからづか戦略策定委員会，委員長，宝塚市。
- 2011.10- 姫路城跡植生管理計画策定委員会，委員，姫路市。
- 2011.11- 加西市生物多様性地域戦略策定委員会，委員長，加西市。
- 2012.3- 円山川流域委員会，委員，国土交通省近畿地方整備局。

相談・指導助言

来訪者 222 件，612 名。電話・FAX 相談 200 件，メール相談 200 件。

学会開催等支援

2011.9. 植生学会第 16 回大会，神戸大学，神戸市。実行委員会副会長。

石田 弘明, Hiroaki ISHIDA

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師。

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 植生学会, 日本造園学会, 森林立地学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室長および播磨地域担当

2.研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落、特に照葉樹林、ブナ林、里山林の生物多様性とその保全・復元に関する研究
2. 絶滅危惧植物の保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究代表者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎黒田有寿茂・石田弘明・服部 保 (2011) 絶滅危惧植物ツクシガヤの種子発芽特性と種子保存方法. 保全生態学研究, 16:159-167.

■その他著作

◎石田弘明・服部 保 (2012) ニホンジカの過採食が暖温帯夏緑二次林の種多様性に与える影響. 兵庫県立森林動物研究センター兵庫ワイルドライフモノグラフ, 4:印刷中.

◎石田弘明・服部 保 (2012) ニホンジカの激害地における不嗜好性植物を用いた緑化の応用可能性. 兵庫県立森林動物研究センター兵庫ワイルドライフモノグラフ, 4:印刷中.

◎石田弘明 (2012) センターの里山を彩るエドヒガン. 森の泉, 31:4.

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂 (2012) 赤穂市文化財調査報告書 74 生島の植生調査報告—植生管理10年後の現状—. 赤穂市教育委員会生涯学習課, 16p.

■研究発表

石田弘明・山名郁美・小舘誓治・服部 保 (2011) 淡路島の森林伐採跡地に分布する外来木本ナンキンハゼ群落の生態的特性と成因. 第16回植生学会大会,

神戸大学, 神戸.

Kuroda, A., Ishida, H. & Hattori, T. (2012) Seed germination traits and seed storage techniques for the threatened plant species *Chikusichloa aquatica* Koidz. The 5th EAFES International Congress, Ryukoku University, Otsu.

■学会役員など

植生学会, 運営委員.

植生学会, 会計幹事.

日本生態学会近畿地区会, 運営委員.

森林立地学会誌, 論文査読.

■助成を受けた研究

シカの不嗜好性植物が生態系保全に果たす役割とその緑化への応用に関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B), 研究代表者 (金額30万円).

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究.

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究分担者 (分担金なし/91万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集. 南あわじ市, 洲本市, 川西市, 新温泉町, 香美町, 鳥取県, 京丹後市, 鹿児島県, 富山県.

■整理同定担当資料

種子標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2011.5, 「武田尾溪谷の植物を観察しよう」, 宝塚市. (26名)

石田弘明, 2011.5, 「特注セミナー 平成23年度第1回ふるさと探検隊」, 朝来市山東公民館, 朝来市山東町. (34名)

石田弘明, 2011.5, 「キャラバンセミナー エドヒガンの追跡調査方法」, 溪のサクラを守る会, 川西市. (6名)

石田弘明, 2011.5, 「キャラバンセミナー エドヒガンの追跡調査方法」, 菊炭友の会, 川西市. (12名)

石田弘明, 2011.6, 「キャラバンセミナー エドヒガンの追跡調査方法」, 川西里山クラブ, 川西市. (5名)

石田弘明, 2011.6, 「特注セミナー 身近な植物の不思議」, 丹波市立市島中学校, 博物館. (101名)

石田弘明, 2011.6, 「オープンセミナー 色々なタネを観察しよう」, 博物館. (32名)

石田弘明, 2011.7, 「キャラバンセミナー 風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう! 色々なタネを観察しよう!」, 新温泉町. (24名)

石田弘明, 2011.8, 「オープンセミナー 色々なタネを

観察しよう」, 博物館. (49名)
 石田弘明, 2011.9, 「キャラバンセミナー 今子浦ジオマスター講座」, 香美町. (10名)
 石田弘明, 2011.9, 「武田尾溪谷の植物を観察しよう」, 宝塚市. (22名)
 石田弘明 (分担), 2011.10, 「キャラバンセミナー 巨大段ボール・テトラを組み立てよう」, 鳥取県岩美町. (33名)
 石田弘明, 2011.10, 「特注セミナー 里山のいきもの」, 猪名川町立白金小学校, 博物館. (104)
 石田弘明, 2011.10, 「里山の植物を観察しよう」, 三田市. (39名)
 石田弘明, 2011.10, 「植物の葉のデザイン」, 芦屋市. (82名)
 石田弘明, 2011.10, 「キャラバンセミナー 風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう! 色々なタネを観察しよう!」, 鳥取県鳥取市. (25名)
 石田弘明, 2011.10, 「キャラバンセミナー 風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう! 色々なタネを観察しよう!」, 鳥取県鳥取市. (10名)
 石田弘明, 2011.11, 「植物の生存戦略」, 芦屋市. (95名)
 石田弘明, 2011.11, 「オープンセミナー 色々なタネを観察しよう」, 博物館. (28名)
 石田弘明, 2011.11, 「キャラバンセミナー 風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう! 色々なタネを観察しよう!」, 豊岡市. (80名)
 石田弘明, 2011.12, 「特注セミナー エドヒガンのはなし」, 川西市立陽明小学校, 博物館. (58名)
 石田弘明, 2011.12, 「特注セミナー 里山の現状と今後のあり方」, 大阪府立豊中高等学校, 博物館. (41名)
 石田弘明, 2012.2, 「オープンセミナー 色々なタネを観察しよう」, 博物館. (26名)

館外講演など
 石田弘明, 2011.9, 「身近な植物の不思議」, 講師, 公益財団法人兵庫県生きがい創造協会, たつ野市 (50名).
 石田弘明, 2011.10, 「武田尾溪谷の植物観察会」, 講師, 宝塚市老人福祉センター, 宝塚市 (23名).
 石田弘明, 2011.10, 「武庫川の植物」, 講師, 宝塚市老人福祉センター, 宝塚市 (26名).
 石田弘明, 2011.10, 「現地視察 三田市の皿池湿原」, 講師, 三田市, (20名).
 石田弘明, 2011.11, 「里山の現状と今後のあり方」, 講師, 中筋山手自治会「中筋山手の森を楽しむ会」, 宝塚市 (20名).
 石田弘明, 2012.1, 「与布土地域の植生の現状と課題」, 講師, 与布土地域自治協議会, 朝来市 (25名).
 Ishida, H. 2012.1. Management and conservation of the satoyama forest in the Kurokawa area, western Japan. 1st

Workshop on Building Resilience with Common Capital, Asia-Pacific Network for Global Change Research, Tokyo (30名).

石田弘明, 2012.1, 「都市における生物多様性—身近で感じられる生態系とその重要性—」, 講師, 宝塚市環境政策課, 宝塚市 (15名).

石田弘明, 2012.2, 「川西のサクラ」, 講師, 特定非営利活動法人川西再発見, 川西市 (279名)

兵庫県立大学・大学院教育

2011.12.3,4,10,11 植生学特別演習 (大学院教育)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2011.10-2011.11 ジオキャラバン in 湖山池情報プラザ

副担当

2011.11-2011.12 ジオキャラバン in 道の駅神鍋高原セミナー担当

2011.5, 「エドヒガンの追跡調査方法」, 溪のサクラを守る会, 川西市. 責任者 (6名).

2011.5, 「エドヒガンの追跡調査方法」, 菊炭友の会, 川西市. 責任者 (12名).

2011.6, 「エドヒガンの追跡調査方法」, 川西里山クラブ, 川西市. 責任者 (5名).

2011.7, 「風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう! 色々なタネを観察しよう!」, 新温泉町. 責任者 (24名).

2011.9, 「今子浦ジオマスター講座」, 香美町. 分担者 (10名).

2011.10, 「巨大段ボール・テトラを組み立てよう」, 鳥取県岩美町. 分担者 (33名).

2011.10, 「風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう! 色々なタネを観察しよう!」, 鳥取県鳥取市. 責任者 (25名).

2011.10, 「風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう! 色々なタネを観察しよう!」, 鳥取県鳥取市. 責任者 (10名).

2011.11, 「風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう! 色々なタネを観察しよう!」, 豊岡市. 責任者 (80名).

■ミニキャラバン事業

2011.10, ひとくキャラバン in 有馬富士公園 (分担者), ありまふじフェスティバル, ありまふじフェスティバル実行委員会, 三田市.

■連携事業

連携グループ等

山東の自然に親しむ会 (アドバイザー: 主)

菊炭友の会 (アドバイザー: 主)

櫻守の会 (アドバイザー: 主)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6.3, 三田市立けやき台中学校 1名, 三田市立藍中学校 1名.

学校団体対応

- 2011.6 丹波市立市島中学校 (101名).
- 2011.10 猪名川町立白金小学校 (104名).
- 2011.12 川西市立陽明小学校 (58名).
- 2011.12 大阪府立豊中高等学校 (43名).

■研修生等の受入

博物館実習

- 2011.8.8 高知大学1名, 龍谷大学1名

■フェスティバル等

- 2011.11, ジオパークo×クイズ (分担者).

■展示

ミニ企画等

- 2012.2.4-3.11, ミニ企画展「めぐってきました! 山陰海岸ジオパーク」(分担者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

- 「西宮市生物多様性地域戦略策定に関わる調査・資料作成業務」, 西宮市環境課. 研究分担者 (228万円)
- 「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」, 三田市. 研究分担者 (70万円)
- 「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 分担者 (90万円)

■行政支援

委員会等 (計2件)

- 2011.8-2012.3. 宝塚市環境審議会, 委員 (臨時委員), 宝塚市環境政策課.
- 2011.8-2012.3. 野生動物育成林整備事業, アドバイザー, 兵庫県豊かな森づくり課.

相談・指導助言

- 来訪者2件, 4名. 電話・FAX相談6件, メール相談8件.

■学会開催等支援

- 2011.9. 植生学会第16回大会, 神戸大学, 神戸市. 実行委員会委員および会計責任者.

小館 誓治, Seiji KODATE

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門
助教。

昭和37年福岡県生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士
課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 森林立地学会, 植
生学会, 日本ペドロロジー学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

キッズひとはく推進室 室員, キッズプログラム開発
マネージャー, JST「先進的科学館連携推進事業」
事業・実施担当、

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研
究」, 研究分担者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および
里山林の生態学的研究」, 研究分担者。

■その他著作

小館誓治・八木剛・小林美樹・古谷裕・布施静香・塚
本健司(2011)兵庫県人と自然の博物館のKidsプロ
グラム -キッズひとはく推進室のスタート, 博物館研
究, 46(11):9-11.

■ブログへの情報提供

4件

■研究発表

◎小館誓治・武田義明(2011)アカマツ二次林小面積
伐採後初期におけるアカマツの成長と立地環境. 植
生学会第16回全国大会, 神戸大学, 神戸市。

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資
料収集. 神戸市, 芦屋市など。

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎小館誓治, 2011.4, 「ちょっと観察!この植物(春の
植物)」, 博物館・深田公園(31名)。

小館誓治, 2011.4, 「芦屋市奥山地域で植物観察」, 芦
屋市(10名)。

小館誓治, 2011.5, 「六甲山「森の植物」観察会(春)」,
六甲山(29名)。

小館誓治, 2011.6, 「太山寺周辺の樹林で多様性を知る」,
神戸市・太山寺(30名)。

小館誓治, 2011.7, 「森と土の観察会(再度山編)」, 再
度山(15名)。

小館誓治, 2011.8, 夏季教職員セミナー「身近な植物
の観察の仕方」, 博物館・深田公園(27名)。

◎小館誓治, 2011.10, 「ちょっと観察!この植物(秋
の植物)」, 博物館(17名)。

小館誓治, 2011.11, 「六甲山「森の植物」観察会(秋)」,
六甲山(14名)。

館外講演

小館誓治, 2011.9, 「六甲山の植物観察とその手法を学ぶ」,
平成22年度六甲山自然案内人養成研修プログラム入
門コース, 六甲山(45名)。

小館誓治, 2011.9, 「中山寺周辺で植物の見分け方実習」,
いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース, 講師, 宝
塚市。(29名)。

小館誓治, 2011.9, 「植物の観察方法(役に立つ植物と怖
い植物)」, いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース,
講師, 宝塚市。(26名)。

小館誓治, 2011.10, 現地調査II『地域の自然を知る』「里
山林の保全・復元・再生」, 阪神ひと・まち創造講座2
年生, 講師, 三田市。(21名)。

◎小館誓治, 2012.2, 「ちょっと観察!この植物(冬の植
物)」, 博物館(16名)。

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2011.7 ひとほく復興支援プロジェクト「ひとほくK
idsキャラバン in 仙台」, 仙台市六郷児童館, 仙台市
(119名)

2011.7 ひとほく復興支援プロジェクト「ひとほく
Kidsキャラバン in 仙台」, 仙台市七郷児童館, 仙台
市(96名)

2011.9 ひとほく Kidsキャラバン in 神戸(南五葉
児童館), 神戸市立南五葉児童館, 神戸市(31名)

2011.9 ひとほく Kidsキャラバン in 神戸(有野児
童館), 神戸市立有野児童館, 神戸市(34名)

2011.9 ひとほく Kidsキャラバン in 神戸(西山児
童館), 神戸市立西山児童館, 神戸市(53名)

011.12 ひとほく Kidsキャラバン in 神戸(小東山
児童館), 神戸市立小東山児童館, 神戸市(69名)

2011.12 冬休み展示「加東市環境学習地域研究作品
展および身近な生き物の展示」, 加東市(601名)

2011.12 ひとほく復興支援プロジェクト「ひとほく
Kidsキャラバン in 八戸(八戸市児童科学館)」, 八
戸市児童科学館, 八戸市(474名)

2011. 12 ひとつはく復興支援プロジェクト「ひとつはく Kids キャラバン in 久慈 (もぐらんぴあ・まちなか水族館)」, もぐらんぴあ・まちなか水族館,久慈市 (73名)

2012. 2 ひとつはく Kids キャラバン in 神戸 (神戸諏訪山児童館), 神戸市立神戸諏訪山児童館, 神戸市 (34名)

2012. 2 ひとつはく Kids キャラバン in 神戸 (妙法寺児童館), 神戸市立妙法寺児童館, 神戸市 (22名)

2012. 3 ひとつはく Kids キャラバン in 神戸 (中道児童館), 神戸市立中道児童館, 神戸市 (24名)

■連携事業

連携グループ等

おおばこの会 (アドバイザー)

増井啓治 (地域研究員アドバイザー副担当)

共催事業

2011.5-2012.3 「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他 (全3回)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6 けやき台中学校 1名・藍中学校 1名.

学校団体対応

2011.4 兵庫県立大学附属中学校 1年生 (46名).

2011.5 神戸朝鮮初中級学校 1年生 (38名).

2011.6 私立保育園研究会 (保育士) (31名).

2011.7 西脇市立芳田小学校 3年生 (18名).

2011.10 西宮市立段上小学校 3年生 (117名).

2011.10 篠山市立城東小学校 2年生 (30名).

2011.10 丹波市立久下小学校 3年生 (30名).

2011.11 三田市立弥生が丘小学校 3年生 (25名).

2012.2 三田市立あかしあ台小学校 2年生 (85名).

講師派遣

2011.5 探求基礎「里山について」,講師, 三田祥雲館 高等学校 2年生, 三田市 (20名).

2011.7 「開魂園の竹林について」,講師, 加東市立東条西小学校 3年生, 加東市 (20名).

2011.11 「葉っぱをわけてみよう (秋の植物観察)」, 講師, 小野市立小野小学校 3年生, 小野市 (128名).

2011.11 「葉っぱでアート (秋の植物観察)」, 講師, 小野市立小野東小学校 3年生, 小野市 (127名).

2011.11 「校庭の樹木の名前」三田市弥生小学校 (理科おもしろ推進委員),アドバイザー, 三田市 (2名).

2011.11 「タケについて」, 講師, 加東市立東条西小学校 3年生, 加東市 (20名).

2012.1 「冬の植物の観察」, 講師, 小野市立小野小学校 3年生, 小野市 (128名).

2012.1 「冬の芽の観察」, 講師, 小野市立小野東小学校 3年生, 小野市 (127名).

■フェスティバル等

2011.11 ひとつはくフェスティバル, 「植物採れ取れピ

ンゴ」(責任者).

2011.11 ひとつはくフェスティバル, 「どんぐり、どこ、どこ。」(責任者).

■展示

ミニ企画展

2011.4.1-2012.3 深田公園植物情報 (責任者)

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2回, 40名.

■行政支援

委員会等 (計1件)

2011.5-2012.3 加東市協力協定連携推進会議, 委員, 加東市教育委員会.

相談・指導助言

電話・FAX・メール等の相談 20件.

橋本 佳延, Yoshinobu HASHIMOTO

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室

研究員

昭和 51 年愛知県生.神戸大学大学院総合人間科学研究科
修士課程修了.学術博士.日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 造園学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生物多様性地域戦略策定の支援、企業の生物多様性への取組の支援、生物多様性協働フォーラムの運営・実施

3.研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
2. タケ類天狗巢病による竹林の衰退に関する研究
3. 里山の生物多様性保全に関する研究
4. 外来植物の侵入・定着に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■その他著作

◎橋本佳延(2011)博物館と生態学(16) 生物多様性の保全と持続可能な利用のシンクタンクを目指して. 日本生態学会誌 61 : 233-236.

◎中瀬 勲、草刈秀紀、橋本佳延、宮川五十雄(2012) 座談会 生物多様性の意義とその価値、生物多様性を育む社会とは. 生物多様性ひょうご市民パートナーシップHAND BOOK : 2-15.

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂(2012) 赤穂市文化財調査報告書 74 生島の植生調査報告ー植生管理 10 年後の現状ー. 赤穂市教育委員会生涯学習課, 16p.

■研究発表

◎橋本佳延、栃本大介、黒田有寿茂、田村和也、福井聡(2011) シカの喫食によるススキ草原の種多様性への影響-シカ高密度生息地域 兵庫県神河町砥峰高原の事例, 植生学会第 16 回大会 神戸大会, 神戸大学、兵庫

■学会役員など

2011.04-2014.03 植生学会 編集委員

2012.02 保全生態学研究 査読 1 件

■助成を受けた研究

橋本佳延.2011.4-2014.3 「都市域における自然系エコミュージアム形成・持続的運営のための手法の開発」科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究 (B) (120 万円/290 万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集(川西市, 三田市, 姫路市, 神河町, 神戸市, 大分県).

■整理同定担当資料

植生映像資料.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳延. 2011.4 「日本一の里山, 北摂地域の早春を観察しよう」川西市黒川 (21 名)

橋本佳延. 2011.5 「春の六甲山ハイキング」六甲山 (9 名)

◎橋本佳延. 2011.6 「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう!」(22 名)

橋本佳延. 2011.7 「館外特注セミナー 市民による里山保全活動」舞子ビラ(全神戸製鋼労働組合連合会 33 名)

橋本佳延. 2011.8 教職員セミナー「児童・生徒とできる里山の調べ方」22 名

橋本佳延.8 「館外特注セミナー 里山保全と観察」川西市黒川吉川公民館(シニア自然大学 63 名)

橋本佳延. 2011.8 「生物多様性協働フォーラム 第 1 回」(185 名)

橋本佳延. 2011.9 「里山の生物多様性(第 1 回目)」(一般 8 人+学生 40 名)

橋本佳延. 2011.10 「里山の生物多様性(第 2 回目)」(一般 7 名+学生 38 名)

橋本佳延. 2011.10 「生物多様性協働フォーラム 第 2 回」(147 名)

橋本佳延. 2011.10 港町を眺める草原~東お多福山のススキ草原植生観察~(16 名)

◎橋本佳延. 2011.10 「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう!」(9 名)

◎橋本佳延. 2011.11 「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう!」(30 名)

橋本佳延. 2012.2 「生物多様性協働フォーラム 第 3 回」(450 名)

橋本佳延. 2012.2 まちなか里山セミナー①コース: 里山づくり入門 71 名(人と自然の博物館 大セミナー室)

橋本佳延. 2012.3 まちなか里山セミナー②コース:

里山観察ツアー 25名(川西市黒川、有馬富士公園
共生センター、南公園)

■館外講演など

橋本佳延. 2011.10 里山観察会(20名、川西里山クラ
ブ、川西市黒川妙見山)

橋本佳延. 2011.11.7.ひょうご講座2011「都市山(とし
やま)六甲,最新自然情報(第3回)『六甲にスキ
草原を復元できるか(絶滅の危機にある六甲の草
原)』(43名)

橋本佳延. 2011.10 国際森林年記念 六甲山リレー
トーク「六甲山地最大の草原、東お多福山のスキ
草原の再生目指して」(250名 神戸シルバーカレッ
ジ)

橋本佳延. 2012.3 JBIB 事例研究会&土地利用調査研
修会@兵庫地区(主催:企業と生物多様性イニシア
ティブ、47名、キリンビール(株)神戸工場)

■ミニキャラバン事業

2012.2 阪神南地区 ミニキャラバン in 環境街づ
くりフォーラム「生物多様性記念シンポジウム」生
物多様性パネル展、西宮市民会館

■連携事業

成果発表

2012.2 共生のひろば 「東お多福山草原保全活動4
年間の成果と今後の活動の展望」,東お多福山草原保
全・再生研究会.(指導・協働)

2012.2 共生のひろば「猪名川自然林サポータークラ
ブ「タマムシのとぶ森づくり」,自然と文化の森協
会 緑部会.(助言)

2012.2 共生のひろば「ふるさとの原風景再生プロジ
ェクト「太市の郷」『美しい竹林景が保つ、懐かしい
未来を創造して行きたい。』,太市の郷.(助言)

2012.2 共生のひろば「住民の里山活動の運営」,ナシ
オン創造の森育成会.(助言)

2012.2 共生のひろば「森林ボランティア身近なと
ころから生物多様性に役立とう!」,こうべ森の学校.
(助言)

2012.2 共生のひろば「里山和楽会の活動~地域とと
もに~」,里山和楽会.(助言)

2012.2 共生のひろば「豊かな自然の復元を願って」,
豊かな自然の復元を願って.(助言)

協力事業

2011.10.9 里山観察会,川西里山クラブ(20名、川西
市黒川妙見山)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.6.3 三田市立けやき台中学校1名(野々山和樹)、
三田市立藍中学校1名(谷河 匠).

学校団体対応

2011.5.12 神戸市有野台小学校 109名

2011.5.20 豊能町立東ときわ台小学校 77名

2011.6.17 明石市立鳥羽小学校 81名

■研究生等の受入

博物館実習

2011.8 池田絵美(高知大学農学部農学科4年)、森川
智史(龍谷大学理工学部環境ソリューション学科3
年)

■フェスティバル等

2011.11 ひとほくフェスティバル(当日スタッフ)

2.シンクタンク事業

■受託研究

「平成23年度 大阪ガス株式会社姫路製造所等に
おける生物多様性対応関連委託業務」,大阪ガス株式
会社. 99.015万円(分担者)

「南公園里山体験講座等委託業務」,三田市. 40万円
(分担者)

■行政支援

委員会等(計2件)

2011.1-2012.12 加古川市環境審議会,委員,加古川市

2011.5- 神戸市委員会環境課

相談・指導助言

電話・FAX 相談5件.

■学会開催等支援

2011.9. 植生学会第16回大会,神戸大学,神戸市. 実
行委員会委員.

藤井 俊夫, Toshio FUJII

自然・環境再生研究部
生物多様性保全研究グループ
主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期
博士課程修了. 日本生態学会, 日本植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

研究・シンクタンク推進室 研究紀要援担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 野生植物の保全生態学的研究
2. 木本植物の種生態学的研究

■ブログへの情報提供

2件

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4.-2012.3. 兵庫県産維管束植物収集(兵庫県内).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2011.5, 「植物観察会(春の書写山)」, 姫路市
(5名)

藤井俊夫, 2011.6, 「トキノウ観察会」, 三田市 (28名)

藤井俊夫, 2011.7, 「オグラコオホネ観察会」, 三田市
(20名)

藤井俊夫, 2011.8, 「サギソウ観察会」, 三田市 (20名)

藤井俊夫, 2011.9, 「植物観察会(鴨池)」, 加古川市 (21
名)

藤井俊夫, 2011.9, 「オニバス観察会」, 大阪府 (13名)

藤井俊夫, 2011.10, 「マツバラ観察会」, 新宮町 (21
名)

藤井俊夫, 2011.11, 「植物観察会(秋の甲山)」, 西宮市
(24名)

藤井俊夫, 2011.12, 「ノジギク観察会」, 姫路市 (12
名)

藤井俊夫, 2012.1, 「春日山原始林観察会」, 奈良市 (16
名)

藤井俊夫, 2012.1, 「春日山原始林観察会(追加)」, 奈
良市 (6名)

オープンセミナー

藤井俊夫, 2011.10, 「ドングリの観察」, 博物館(17名)

藤井俊夫, 2012.2, 「冬芽の観察」, 博物館(23名)

藤井俊夫, 2012. 3, 「早春の花の観察」, 博物館(15名)

■ミニキャラバン事業

2011.10, ありまふじフェスティバル(責任者), あり
まふじ10周年記念事業実行委員会, 有馬富士公園.

■連携事業

2011, 兵庫県立大学附属中学プロジェクト学習5名,
10回

学校団体対応

2011.9, 西宮浜小学校3年生(130名).

2011.10, 前田児童館(28名).

2012.2, 小浜小学校3年生(70名)

2.シンクタンク事業

■行政支援

相談・指導助言

来訪者64件, 79名. 電話・FAX相談35件, メール相
談80件.

■学会開催等支援

2012.3 日本植物分類学会第11回大会開催(吹田市)、
200名.

鈴木 武, Takeshi SUZUKI

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 展示担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究
2. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究

■共同研究

総合共同研究「武庫川上流域における人と自然の共生」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

Ootsuki, R., Shinohara, W., Suzuki, T. and Murakami, N. (2011) Genetic variation in the agamosporous fern *Cyrtomium fortunei* (Dryopteridaceae). *Acta Phytotax. Geobot.*62: 1-14.

■ブログへの情報提供

4件

■研究発表

鈴木武, 狩山俊悟, 小川誠, 木村進, 高畠耕一郎, 布谷知夫. 2011 西日本における在来二倍体の分布〜タンポポが調査・西日本2010〜. 日本植物分類学会第10回大会, つくば.

Arikawa, T., Inoue, M., Nagamatsu, D., Kiyosue, Y., Yonezawa, T.¹ and Suzuki, T. 2011. Distribution of native polyploid dandelions in San'in district—Dandelions Survey 2010 in West Japan— 日本植物分類学会第10回大会, つくば.

和食敦子, 藤川和美, 渡邊幹男, 芹沢俊介. 鈴木武, 2011 西日本に生育する低地性二倍体タンポポの形態的特徴〜タンポポ調査・西日本2010〜II 日本植物分類学会第10回大会, つくば.

■学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事.
兵庫県生物学会, 事務局.
兵庫植物誌研究会, 理事,

■助成を受けた研究

巡回展「タンポポ」の企画・運営. 西日本自然史ネット 那須自然史基金, 代表者(金額30万円/30万円:2011-12年度分).

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2011.6 西日本のタンポポ物の収集. 豊岡市, 福岡県, 山口県など.

■整理同定担当資料

シダ植物,

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

鈴木武, 2011.4, 「兵庫県加美町のタンポポを見る」, 小代物産館. (全1回, 16名)

鈴木武, 2011.4, 「鳥取県のタンポポを見る」, 山陰海岸学習館. (全1回, 12名)

◎鈴木武, 2011.6, 「カタツムリをさわってみよう」, 博物館. (40名)

鈴木武, 2011.6, 「玄武洞のシダを見る」, 豊岡市玄武洞 (全1回, 16名)

◎鈴木武, 2011.8, 「六甲山のスミスネズミ」, 博物館. (40名)

鈴木武, 2011.9, 「神戸布引滝のシダを見る」, 神戸市布引滝 (全1回, 20名)

鈴木武, 2011.9, 「神戸布引滝のシダを見る」, 神戸市布引滝 (全1回, 22名)

◎鈴木武, 2012.3, 「カタツムリをさわってみよう」, 博物館. (50名)

特注セミナー

鈴木武, 2011.8, 身近ないきもの調査〜タンポポとカタツムリ, 神戸市立六甲アイランド高等学校. (11名)

大谷剛・鈴木武, 2011.8, 標本をつくろう, 読売新聞読者講座. (30名)

鈴木武, 2011.12, 博物館について, 大阪青山歴史文学博物館. (12名)

鈴木武, 2012.2, 六甲山の生き物, 川西市立多田小学校. (100名)

鈴木武, 2012.2, 身近な生き物, 福崎町立八千種小学校. (40名)

館外講演など

鈴木武, 2011.4 綾部市のタンポポ観察会, 綾部市立天文館講座, 講師, 綾部市立天文館 (25名).

鈴木武, 2011.5 六甲山とスミスネズミ, ホールアース自然学校神戸六甲分校講座, 講師, モンベル神戸店 (12名).

鈴木武, 2011.5 但馬の絶滅危惧植物, 但馬高齢者大学講座, 講師, 但馬文教府 (80名).

鈴木武, 2011.6 六甲山の生き物,六甲山自然案内人の会
講座,講師,六甲山自然保護センター (35名) .
鈴木武, 2011.7 兵庫県のタンポポ,兵庫県高等学校理科
研究会生物部会総会, 講師,甲南大学 (150名) .
鈴木武, 2011.7 箕面のシダ植物観察会,大阪シニア自然
大学講座,講師,箕面市箕面滝周辺 (30名)
鈴木武, 2011.8 六甲山の生き物観察会,NPO 法人六甲
山を活用する会,講師,六甲山自然保護センター周辺
(15名)
鈴木武, 2011.9 箕面のシダ植物観察会,大阪シニア自然
大学講座,講師,箕面市箕面滝周辺 (30名)
鈴木武, 2011.10 安全山のシダ植物青垣いきものふれ
あいの郷講座,講師,丹波市氷上町 (18名)
鈴木武, 2011.10 安全山のシダ植物青垣いきものふれ
あいの郷講座,講師,丹波市氷上町 (18名)
鈴木武, 2011.11,シダ植物について,フレミラ自然講座,
講師,フレミラ宝塚 (35名)
鈴木武, 2011.11,最明寺の滝のシダ植物,フレミラ自然
講座,講師,宝塚市平井 (35名)
鈴木武, 2011.12,身近な生き物の研究ータンポポとカ
タツムリー,神戸学講座,講師,神戸市立六甲アイラ
ンド高校 (42名)
鈴木武, 2012.1, 六甲山の冬の植物, 六甲山を活用す
る会, 講師, 六甲山小学校 (120名)
鈴木武, 2012.3, 兵庫県のタンポポ, 講師, 灘浜サイエ
ンススクエア (120名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

ラジオ・テレビ等出演

2011.12. 「丹波のシロシヤクジョウ」 サンテレビ

2011.12. 「辰さん、いらっしやい」 サンテレビ

2011.12. 「辰さん、いらっしやい」 NHK 神戸放送局

■ミニキャラバン事業

2011.11 ふれあいの祭典, 神戸市メリケンパーク, 主担
当

■連携事業

連携グループ等

希少植物研究会 (主担当)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.31-6.3, けやき台中学校 1名, 藍中学校 1名.

学校団体対応

2011.8, 神戸市立六甲アイランド高等学校 (11名)

2011.9, 明石市立王子小学校. (61名)

2011.10, 大阪教育大池田小学校. (120名)

講師派遣

2011.12, 「身近な生き物の研究ータンポポとカタツム
リー」, 講師, 神戸市立六甲アイランド高校 2年生
(42名)

2012.2, 六甲山の生き物, 環境体験授業, 講師, 猪名川
町立つつじが丘小学校 6年生 (130名)

■フェスティバル等

2011.11, ひとつはくフェスティバル, 「ミュージアムモ
ール」 (責任者).

■展示

ミニ企画展

2011.12.3-2012.1., ミニ企画展示「辰さんようこそ！」
(主担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 2回, 30名.

■行政支援

委員会等 (計2件)

2011.7- 神戸市立六甲アイランド高等学校 スーパー
サイエンススクール検討委員会, 委員

2011.10- 神戸市生き物調査検討委員会, 委員, 神戸
市

相談・指導助言

来訪者 10件, 15名. 電話・FAX相談 20件, メール相
談 5件.

■学会開催等支援

2012.3 日本植物分類学会第 11 回大会開催 (吹田市),
200名.

黒田 有寿茂, Asumo KURODA

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教。

昭和53年愛知県生。広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。植生学会, 日本生態学会, 日本造園学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室, 事業推進会議の運営

生涯学習推進室, 地域担当(北・東播磨)

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 各種植生における種組成・構造の多様性とその成因に関する研究
2. 生物多様性に配慮した植生復元に関する研究
3. 希少植物の種生態に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者。

■論文・著書

◎黒田有寿茂・石田弘明・服部 保(2011)絶滅危惧植物ツクシガヤの種子発芽特性と種子保存方法。保全生態学研究, 16, 159-167.

Kuroda, A., Tsubota, H., Mukai, S., Toyohara, G. & Itani, T. (2011) A preliminary study of allelopathic activity of evergreen perennial ferns, *Dicranopteris linearis* and *Gleichenia japonica* (Gleicheniaceae), based on laboratory bioassays using lettuce seeds. *Hikobia*, 16: 1-7.

■その他著作

黒田有寿茂(2011)海辺の植物の生態。ひとはく新聞(3月15日)。

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂(2012)赤穂市文化財調査報告書74 生島の植生調査報告ー植生管理10年後の現状ー。赤穂市教育委員会生涯学習課, 16p.

■研究発表

Kuroda, A., Ishida, H. & Hattori, T. (2012) Seed germination traits and seed storage techniques for the threatened plant species *Chikusichloa aquatica* Koidz. The 5th EAFES International Congress, Ryukoku University, Otsu.

Tanikawa, T., Kuroda, A., Uchida, S., Mukai, S., Tsubota, H. & Toyohara, G. (2012) Successive mapping of secondary

pine forests affected by pine wilt disease and subsequent forest management in Miyajima Island, SW Japan, with a special reference to changes in vegetation units between 2000 and 2010. The 5th EAFES International Congress, Ryukoku University, Otsu.

橋本佳延・柄本大介・黒田有寿茂・田村和也・福井 聡(2011)シカの喫食によるススキ草原の種多様性への影響。シカ高密度生息地域 兵庫県神河町砥峰高原の事例。植生学会第16回大会, 神戸大学, 神戸市。

■助成を受けた研究

山陰海岸における生物多様性の保全と活用に向けた生態学的研究。平成23年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究代表者(金額40万円)

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究。

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者(分担金なし/78万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 植物および植生の映像資料収集。南あわじ市, 三田市, 川西市, 姫路市, 赤穂市, 西宮市, 神戸市, 宮城県, 鹿児島県, 滋賀県, 沖縄県。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

黒田有寿茂, 2011.4, 「一般セミナー 気ままに植物ウォッチング〜六甲山筆屋道〜」, 神戸市北区。(22名)

黒田有寿茂, 2011.4, 「特注セミナー 身近な草・木・森の観察」, 博物館。(84名)

黒田有寿茂, 2011.5, 「一般セミナー 気ままに植物ウォッチング〜鳥取砂丘・久松山〜(2日間)」, 鳥取県鳥取市。(20名)

黒田有寿茂, 2011.5, 「高校連携セミナー 植物・植生を調べる」, 博物館。(33名)

黒田有寿茂, 2011.5, 「特注セミナー ひとはくの森」, 博物館。(14名)

黒田有寿茂, 2011.6, 「特注セミナー 森について(見学)」, 博物館。(87名)

◎黒田有寿茂, 2011.6, 「オープンセミナー 鳴らそう草笛」, 博物館。(13名)

黒田有寿茂, 2011.7, 「一般セミナー 種子発芽の不思議」, 博物館。(15名)

黒田有寿茂, 2011.8, 「教職員セミナー 葉っぱで見分ける身近な樹木」, 博物館。(19名)

黒田有寿茂, 2011.8, 「特注セミナー 葉っぱについて」, 博物館。(36名)

◎黒田有寿茂, 2011.9, 「オープンセミナー つくろう草玩具」, 博物館。(8名)

黒田有寿茂, 2011.9, 「特注セミナー 植物の展示解説

ツアー」, 博物館. (20名)

黒田有寿茂, 2011.9, 「高校連携セミナー 植物・植生を調べる」, 博物館. (30名)

黒田有寿茂, 2011.9, 「高校連携セミナー 植物・植生を調べる」, 博物館. (27名)

黒田有寿茂, 2011.10, 「一般セミナー 気ままに植物ウォッチング③〜道場町〜」, 神戸市北区 (25名)

黒田有寿茂, 2011.11, 「特注セミナー 身近な草・木・森の観察」, 博物館. (14名)

黒田有寿茂, 2011.11, 「特注セミナー 里山ってなあに? (北摂里山フォーラム2011)」, 博物館. (86名)

黒田有寿茂, 2011.11, 「高校連携セミナー 植物・植生を調べる (発表会事前学習)」, 博物館. (26名)

◎黒田有寿茂, 2011.12, 「オープンセミナー 鳴らそう草笛」, 博物館. (27名)

黒田有寿茂, 2012.2, 「一般セミナー (館主催事業) まちなか里山づくりセミナー里山づくり入門」, 博物館. (71名)

黒田有寿茂, 2012.3, 「一般セミナー (館主催事業) まちなか里山づくりセミナー里山観察ツアー」, 川西市黒川・有馬富士公園共生センター・南公園. (25名)

館外講演など

黒田有寿茂, 2011.6, 「植物・植生調査」, 六甲山を活用する会, 兵庫県立六甲山自然保護センター (20名).

黒田有寿茂, 2011.6, 「植物・植生調査」, 森の探偵団, 明石市金ヶ崎公園 (12名).

黒田有寿茂, 2011.7, 「金ヶ崎公園での取り組みについて (自然環境フォーラム (うおずみ学講座))」, エコウイング明石, 兵庫県立明石清水高等学校 (20名).

黒田有寿茂, 2011.10, 「植生観察」, ひょうご森の倶楽部観音の森チーム, 多可町奥中地区 (15名).

黒田有寿茂, 2012.2, 「里山林と人工林の現状と課題」, 神戸シルバー大学院, 神戸市福祉会館 (50名).

兵庫県立大学・大学院教育

植生保全・管理論 (大学院, 分担)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2011.8, 但馬ドームサマーミュージアム「守ろう! 但馬の自然遺産」 (分担者), 兵庫県立但馬ドーム, 兵庫県立但馬ドーム.

セミナー担当

2011.5, エドヒガンの追跡調査方法 (分担者), 川西市水明台 (6名)

2011.5, エドヒガンの追跡調査方法 (分担者), 川西市黒川 (12名)

2011.10, ドングリを見分けよう (分担者), 岩美町立渚交流館 (12名)

成果発表

2012.2 共生のひろば 「身近な植物・植生をしらべる〜深田公園のシバ群落を通して〜」, 兵庫県立三田祥雲館高等学校 (指導)

■ミニキャラバン事業

2011.10, ひとつはくミニキャラバン・巨大クワガタがやってきた!! (分担者), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

菊炭友の会 (アドバイザー: 副)

櫻守の会 (アドバイザー: 副)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2011.5.31-6.3, けやき台中学校 1名, 藍中学校 1名.

講師派遣

2011.11, 「森と里山ーきずきの森で学ぶ」, 講師, 雲雀丘学園中学校 (351名)

2012.3, 「森林」, 講師, 猪名川町立つつじが丘小学校 (207名)

■フェスティバル等

2011.11 ひとつはくフェスティバル備品担当

2.シンクタンク事業

■受託研究

「慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務」, 兵庫県立淡路景観園芸学校. 研究代表者 (35万円)

「西宮市における生物多様性地域戦略の評価手法検討業務」, 西宮市. 研究分担者 (125万円)

「南公園里山体験講座等委託業務」, 三田市. 研究分担者 (40万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 3回, 20名.

■行政支援

委員会等 (計2件)

2011.6-2012.3. 加東市とひとつはく協力協定連携推進会議, 委員, 加東市教育委員会.

2012.3-. 明石市環境審議会, 委員, 明石市.

相談・指導助言

来訪者4件, 8名. 電話・FAX相談10件, メール相談3件.

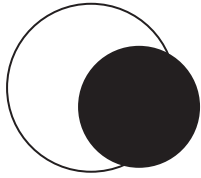
■学会開催等支援

2011.9 植生学会第16回大会, 神戸大学, 神戸市. 実行委員会委員.

			研究開発															
			調査研究															
研究員氏名 (掲載順)	博物館	大学	特別課題研究 テーマ数	共同研究(総合) 参画数	共同研究(部門) 参画数	論文・著書		そのほか著作		ブログへの情報提供 件数	研究発表		学会役員など 件数	助成を受けた研究		海外調査 回数	受賞等 件数	
						第一著者件数	第一著者以外の件数	第一著者件数	第一著者以外の件数		第一著者件数	第一著者以外の件数		代表				分担 件数
						件数	(万総円)	件数	回数		件数	件数						
小林文夫	主任研究員	教授	4	1	1	4	2	1	2	0	2	1	3	0	0	0	1	0
佐藤裕司	主任研究員	教授	3	0	1	0	1	1	0	0	0	6	1	0	0	1	0	0
先山 徹	主任研究員	准教授	2	1	1	5	0	3	2	0	5	4	2	1	190	1	1	0
加藤茂弘	主任研究員		3	1	1	0	2	1	1	2	1	6	4	0	0	3	2	0
古谷 裕	主任研究員	准教授	3	0	1	0	2	0	0	4	1	3	0	0	0	1	0	0
三枝春夫	主任研究員	准教授	2	1	1	0	0	7	0	0	2	4	3	0	0	0	0	0
半田久美子	主任研究員		2	1	1	0	0	1	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0
松原尚志	主任研究員		2	2	1	2	0	2	0	0	4	2	2	1	220	3	0	0
池田忠弘	研究員		2	1	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
高橋 晃	研究部長	教授	3	0	1	1	0	1	1	0	0	1	2	0	0	2	0	0
秋山弘之	主任研究員	准教授	3	1	1	11	0	7	0	31	4	0	7	0	0	0	0	1
高野温子	主任研究員		2	0	0	0	0	1	0	5	0	1	3	0	0	0	0	0
布施静香	主任研究員		4	2	1	3	1	2	1	11	6	5	3	2	448	0	0	0
太田英利	主任研究員	教授	5	0	1	2	7	2	0	0	2	8	10	1	300	1	2	0
橋本佳明	主任研究員	准教授	4	1	1	1	0	3	0	6	3	10	3	0	0	1	2	0
沢田佳久	研究員	助教	1	1	0	2	0	0	0	12	3	0	1	0	0	0	0	0
八木 剛	主任研究員		2	1	0	0	0	2	1	12	1	0	1	2	380	0	0	0
江崎保男	研究部長/研究系次長	教授	2	1	1	1	1	1	1	0	5	0	8	1	70	0	0	0
田中哲夫	主任研究員	准教授	4	0	1	0	1	2	0	1	3	0	0	1	196	0	0	0
三橋弘宗	主任研究員		3	1	1	0	6	1	0	20	2	8	4	2	310	0	0	0
大谷 剛	主任研究員	教授	3	0	0	0	1	2	0	0	2	0	2	1	140	1	0	0
三谷雅純	主任研究員	准教授	2	0	0	3	0	41	0	0	2	0	2	2	73	0	0	0
北村俊平	研究員		2	0	1	2	1	5	0	14	3	1	15	1	320	0	4	0
布野隆之	研究員		5	0	0	0	0	2	0	1	1	3	0	1	10	0	0	2
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	2	0	1	6	2	6	3	0	1	4	9	0	0	0	0	0
藤本真里	研究員	助教	2	1	1	1	0	7	0	2	3	1	2	0	0	2	0	1
赤澤宏樹	研究員	講師	2	1	1	1	0	0	1	0	1	2	15	0	0	1	0	0
武田重昭	研究員		6	1	1	2	1	1	0	2	0	3	10	0	0	0	0	1
田原直樹	主任研究員	教授	2	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1
山崎義人	研究員		4	2	1	2	4	7	1	1	2	0	12	3	460	4	1	1
上田萌子	研究員		2	2	1	1	0	3	0	1	0	0	3	1	108	1	0	0
服部 保	研究部長	教授	3	1	1	0	1	2	3	0	1	3	1	3	742	0	0	0
石田弘明	研究員	講師	2	1	1	0	1	3	1	0	1	1	4	1	30	1	0	0
小館誓治	研究員	助教	2	1	1	0	0	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0
橋本佳延	研究員		4	1	1	0	0	1	2	0	1	0	2	1	290	0	0	0
鈴木 武	研究員	助教	2	1	1	0	1	0	0	4	1	2	3	1	30	0	0	0
黒田有寿茂	研究員	助教	3	1	1	2	0	1	1	0	1	2	0	1	40	1	0	0
藤井俊夫	研究員		2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			106	29	30	53	35	120	21	136	67	86	141	27	4357	24	13	7

			生涯学習事業												
			連携事業				学校教育支援					研修生等の受入			イベント
			連携グループ	共催事業	協力事業	後援事業	トライやるウィーク	学校団体対応	講師派遣	博物館実習	卒論生など	その他	フェスティバル等の実施		
研究員氏名	博物館	役職	件数	件数	件数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	受講生徒数	受入人数	受入人数	実施件数
小林文夫	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
佐藤裕司	主任研究員	教授	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
先山 徹	主任研究員	准教授	0	1	0	0	0	1	28	1	60	2	0	0	0
加藤茂弘	主任研究員		2	3	1	0	1	0	10	120	3	2	0	0	1
古谷 裕	主任研究員	准教授	2	4	0	0	3	4	6	137	0	0	0	0	1
三枝春夫	研究員	助教	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
半田久美子	主任研究員		0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0
松原尚志	主任研究員		0	2	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	1
池田忠弘	研究員		0	0	0	0	3	4	2	54	10	0	0	0	1
高橋 晃	研究部長	教授	9	2	2	0	0	2	1	112	1	0	0	0	2
秋山弘之	主任研究員	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
高野温子	主任研究員		1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
布施静香	主任研究員		0	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1
太田英利	主任研究員	教授	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
橋本佳明	主任研究員	准教授	1	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	1
沢田佳久	研究員	助教	1	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
八木 剛	主任研究員	主任研究員	8	3	1	0	6	0	4	308	4	1	0	0	1
江崎保男	研究部長/研究員	教授	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田中哲夫	主任研究員	准教授	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
三橋弘宗	主任研究員		8	2	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1
大谷 剛	主任研究員	教授	1	3	4	0	4	8	1	80	0	0	0	0	0
三谷雅純	主任研究員	准教授	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2
北村俊平	研究員		0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
布野隆之	研究員		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1
藤本真里	研究員	助教	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
赤澤宏樹	研究員	講師	0	0	0	0	2	0	1	240	5	0	0	0	0
武田重昭	研究員		0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0	0	1
田原直樹	主任研究員	教授	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
山崎義人	研究員		0	0	0	0	2	0	0	0	10	3	0	0	1
上田萌子	研究員		0	0	0	0	2	0	0	0	10	0	0	0	1
服部 保	研究部長	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
石田弘明	研究員	講師	3	0	0	0	2	4	0	306	2	0	0	0	1
小館誓治	研究員	助教	2	1	0	0	2	9	8	572	0	0	0	0	2
橋本佳延	研究員		0	0	1	0	2	3	0	0	2	0	0	0	1
鈴木 武	研究員	助教	1	0	0	0	2	3	2	172	0	0	0	0	1
黒田有寿茂	研究員	助教	2	0	0	0	2	0	2	558	0	0	0	0	1
藤井俊夫	研究員		0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
合計			53	17	12	0	38	47	40	2042	45	10	0	0	31

生涯学習事業						シンクタンク事業										
展示作成・実施						受託研究	収蔵庫・ジーンファームの公開	行政等支援					学会開催等支援			
常設展 (映像資料作成を含む)	企画展		ミニ企画展等					代表	分担	実施件数	のべ受講者数	委員会など		相談・指導助言 (来訪者)	相談・指導助言 (TEL・FAX・メール等)	件数
	主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数	主担当件数											
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14	20	7	0
0	0	0	1	0	0	0	0	1	8	22	4	15	31	19	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	10	8	0	0
0	0	0	0	0	0	1	27	0	10	20	1	20	30	170	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	12	12	0	0
0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	3	3	6	0	0
0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	2	3	4	0	0
0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	10	0	2	5	30	1	0
0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	21	5	3	4	0	0	0
0	0	0	0	1	1	0	0	0	5	88	4	1	5	8	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	12	16	24	0	0
0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	20	1	0	0	35	2	0
0	0	0	1	1	1	0	0	0	22	189	1	10	16	18	2	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9	14	23	23	0	0
0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	35	0	6	15	17	1	0
0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	10	10	30	0	0
0	0	1	0	0	2	0	0	0	5	5	3	20	50	40	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	40	180	40	0	0
0	0	0	0	0	1	70	0	4	25	15	20	50	40	1	0	0
0	0	0	0	3	0	0	0	0	5	30	19	90	230	165	0	0
0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	5	0	2	4	15	0	0
0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	10	20	200	0	0
0	0	0	0	1	1	0	0	0	4	6	0	3	6	15	0	0
0	0	0	0	2	0	0	0	0	5	20	0	5	20	40	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	108	100	150	200	1	0
0	0	0	0	0	0	3	205	0	0	0	22	60	110	130	0	0
0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	22	30	70	70	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10	12	1	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	24	50	10	0	0
0	0	0	1	1	0	1	50	0	1	20	4	3	14	2	2	0
0	0	0	1	1	0	1	39	0	3	28	1	4	5	2	2	0
0	0	0	0	0	0	6	579	1	51	178	70	222	612	400	1	0
0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	2	2	4	14	1	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	40	1	0	0	20	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	5	1	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	30	2	10	15	25	1	0
0	0	0	0	0	0	1	35	2	3	20	2	4	8	13	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	79	115	1	0
0	0	6	15	17	15	14	1005	11	141	812	363	850	1892	1973	23	0



博物館事業報告に関連する資料

開催したセミナーの一覧

平成23年度は下記のような様々な分野・対象のセミナーを実施した（キャラバンを除く）。

実施日	セミナー名	講師	定員	参加者
4月2日(土)	日本一の里山、北摂地域の早春を観察しよう	橋本 佳延	25	21
4月9日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪・花の大川沿いを歩く	田原 直樹	10	15
4月10日(日)	もいちど始める昆虫採集	沢田 佳久	5	3
4月16日(土)	兵庫県香美町のタンポポを見る	鈴木 武	20	20
4月17日(日)	鳥取県のタンポポを見る	鈴木 武	20	11
4月17日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	11
4月20日(水)	じっくり花を解剖ー1人1台の顕微鏡で!	山本 伸子	20	9
4月23日(土)	ため池を探る(全4回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	20	12
4月23日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪・上町台地寺町界隈を歩く	田原 直樹	10	0
4月24日(日)	植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!(全6回)	高橋 晃、布施 静香	15	8
4月24日(日)	植物観察会(春の福島大池)	藤井 俊夫	20	0
4月24日(日)	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛	20	9
4月24日(日)	ため池を探る(全4回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	20	12
4月27日(水)	気ままに植物ウォッチング①〜六甲山筆屋道〜	黒田 有寿茂	20	22
4月29日(金)	春の石めぐりハイキング〜播磨小富士の地層と火山豆石〜	加藤 茂弘、先山 徹	30	41
4月30日(土)	芦屋市奥山地域で春の植物観察	小館 誓治	20	10
4月30日(土)	動物に花粉・種子を運んでもらう仕組み 花と送粉者たち	北村 俊平	20	10
5月1日(日)	春の草木と出会うゆっくりハイク	ひとはく連携グループ NPO法人 人と自然の会	20	0
5月5日(木)	丹波の恐竜化石第五次発掘報告会	三枝 春生	50	19
5月5日(木)	パパといっしょの昆虫アドベンチャー かわいい春をみつけよう!!	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	40	20
5月7日(土)	気ままに植物ウォッチング②〜鳥取砂丘・久松山〜(2日間)	黒田 有寿茂	20	11
5月7日(土)	春の六甲山ハイキング	橋本 佳延	25	9
5月8日(日)	気ままに植物ウォッチング②〜鳥取砂丘・久松山〜(2日間)	黒田 有寿茂	20	9
5月8日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	10
5月10日(火)	カエルの食卓(全3回)	太田 英利	10	32
5月13日(金)	熱帯雨林の生き物と保全の現状	高橋 晃	10	41
5月14日(土)	秋芳洞と秋吉石灰岩台地の観察(全3回)	小林 文夫	10	12
5月14日(土)	へビの世界	池田 忠広	50	4
5月14日(土)	ため池を探る(全4回)	佐藤 裕司、田中 哲夫	20	11
5月14日(土)	川の水生昆虫の観察会 芦屋川上流編	三橋 弘宗	50	54
5月14日(土)	漂着物をさがそう 江井ヶ島編	上田 萌子	20	6
5月14日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪・住吉界隈を歩く	田原 直樹	10	18

5月15日(日)	バスでめぐるジオスポットツアー	先山 徹	40	44
5月15日(日)	植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!(全6回)	高橋 晃、布施 静香	15	8
5月15日(日)	ため池を探る(全4回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	20	12
5月15日(日)	霊長類学 頭の体操 2011年版	三谷 雅純	20	11
5月17日(火)	ひとはくで見る化石	松原 尚志	5	23
5月17日(火)	花の形態観察	山本 伸子	5	20
5月18日(水)	武田尾溪谷の植物を観察しよう 初夏の植観察会	石田 弘明	20	26
5月21日(土)	六甲山「森の植物」観察会(春)	小館 誓治	15	29
5月22日(日)	自然とはなにか	江崎 保男	30	9
5月22日(日)	あかねちゃん学園 2011	ひとはく連携グループ あかねちゃんクラブ、 八木 剛	30	6
5月24日(火)	植物・植生を調べる(全3回)	黒田 有寿茂	10	33
5月25日(水)	香美町 海と山のジオパークツアー! ~海と山の生きもの と石~	高橋 晃、布施静香、先山 徹、ハチ北自然案内 人	20	19
5月26日(木)	香美町 海と山のジオパークツアー! ~海と山の生きもの と石~	高橋 晃、布施静香、先山 徹、ハチ北自然案内 人	20	12
5月29日(日)	植物観察会(春の書写山)	藤井 俊夫	20	6
5月29日(日)	生物多様性保全に向けての行政・企業・NPOの取り組み	服部 保	50	11
5月29日(日)	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛	20	6
5月29日(日)	家族で蜂蜜しばり 5月	大谷 剛	30	34
5月31日(火)	カエルの食卓(全3回)	太田 英利	10	32
5月31日(火)	芦屋川のモクズガニ調査	三橋 弘宗	10	105
6月3日(金)	挿し木・接ぎ木で増やす希少植物	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20	13
6月4日(土)	秋芳洞と秋吉石灰岩台地の観察(全3回)	小林 文夫	10	13
6月4日(土)	人と自然のピクニック!	武田 重昭	30	4
6月4日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪・御堂筋界限を歩く	田原 直樹	10	19
6月5日(日)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	22
6月5日(日)	秋芳洞と秋吉石灰岩台地の観察(全3回)	小林 文夫	10	13
6月5日(日)	トキノウ観察会	藤井 俊夫	20	28
6月5日(日)	パパといっしょの昆虫アドベンチャー 水辺の虫をみつけよ う!	ひとはく連携グループ run♪ run♪ plaza、 八木 剛	40	18
6月10日(金)	自然に学ぶ「公園のつくりかた」	赤澤 宏樹	10	42
6月11日(土)	化石や動物の歯のレプリカを作ろう	三枝 春生	20	9
6月11日(土)	玄武洞のシダ植物を見る	鈴木 武	20	15
6月11日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	20	6
6月12日(日)	エチオピアの大地で探る人類の起源とその背景	加藤 茂弘	30	24
6月12日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	6
6月18日(土)	篠山層群から産出した小型脊椎動物化石	池田 忠広	50	3
6月18日(土)	山陰海岸ジオパークの石を見分けよう	先山 徹	30	21
6月18日(土)	太山寺周辺の樹林で多様性を知る	小館 誓治	15	30
6月18日(土)	あかねちゃん学園 2011	ひとはく連携グループ あかねちゃんクラブ、 足立 勲	30	2
6月26日(日)	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛	20	10

6月26日(日)	家族で蜂蜜しぼり 6月	大谷 剛	30	26
6月28日(火)	カエルの食卓(全3回)	太田 英利	10	33
7月2日(土)	夏のキノコ観察 ～一庫公園～	秋山 弘之	12	17
7月2日(土)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	8
7月2日(土)	熱帯の森に暮らす生きものたち(全3回)	北村 俊平	30	8
7月2日(土)	パパといっしょの昆虫アドベンチャー 夏の虫をみつけよう!	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	40	45
7月3日(日)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	22
7月3日(日)	植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!(全6回)	高橋 晃、布施 静香	15	9
7月9日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	20	5
7月10日(日)	小さな虫の標本作り	沢田 佳久	20	8
7月16日(土)	夏の山陰海岸～ユウスゲと海岸の花々	布施 静香、高橋 晃	20	25
7月16日(土)	森と土の観察会(再度山編)	小籓 誓治	15	15
7月16日(土)	カエルの世界	池田 忠広	50	11
7月16日(土)	川の水生昆虫の観察会 加古川上流編	三橋 弘宗	50	24
7月16日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	15	11
7月16日(土)	あかねちゃん学園 2011	ひとはく連携グループ あかねちゃんクラブ、 足立 勲	30	1
7月22日(金)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	15	11
7月23日(土)	ぶらり海辺散歩～塩性湿地を見て歩く～夏の日高川河口編	上田 萌子	20	7
7月23日(土)	ランドスケープ・マネジメントへ ひとはくの新展開からエリア・マネジメントへ	中瀬 勲	20	8
7月23日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	15	11
7月23日(土)	藍の生葉染め	ひとはく連携グループ NPO法人 人と自然の会	20	9
7月24日(日)	オグラコオホネ観察会	藤井 俊夫	20	20
7月24日(日)	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛	20	5
7月24日(日)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	15	11
7月27日(水)	あかねちゃん学園 2011	ひとはく連携グループ あかねちゃんクラブ、 足立 勲	30	2
7月30日(土)	種子発芽の不思議	黒田 有寿茂	50	15
7月30日(土)	立体の塗り絵でつくる、家とまち(全2回)	山崎 義人	15	5
7月31日(日)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	17
7月31日(日)	立体の塗り絵でつくる、家とまち(全2回)	山崎 義人	15	9
7月31日(日)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	15	11
8月1日(月)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	9
8月2日(火)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	10
8月3日(水)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	11
8月3日(水)	人と自然の博物館でハチミツしぼりたいけん	大谷 剛	40	43

8月4日(木)	親子でつくる昆虫標本(全2回)	大谷 剛、沢田 佳久	30	15
8月4日(木)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	11
8月5日(金)	あかねちゃん学園 2011	ひとはく連携グループ あかねちゃんクラブ、 足立 勲	30	0
8月6日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	20	5
8月6日(土)	熱帯の森に暮らす生きものたち(全3回)	北村 俊平	30	5
8月7日(日)	アンモナイト化石をクリーニングしてみよう!	松原 尚志	15	15
8月8日(月)	博物館を活用した学習の企画・立案とプログラミング体験	生涯学習課	20	11
8月9日(火)	身近な植物の観察の仕方	小館 誓治	20	27
8月9日(火)	標本をつくって昆虫につよくなろう(全2回)	大谷 剛、沢田 佳久	30	8
8月9日(火)	地層の見方調べ方 in 淡路	古谷 裕	20	18
8月9日(火)	生物多様性保全のための学校内ビオトープ	服部 保	50	33
8月10日(水)	水をめぐるエコロジー	佐藤 裕司	50	26
8月10日(水)	このまちは誰がつくったのだろう?	武田 重昭	30	4
8月10日(水)	外来種の現状と対策	太田 英利	40	19
8月10日(水)	障がいのある子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	30	22
8月11日(木)	親子でつくる昆虫標本(全2回)	大谷 剛、沢田 佳久	30	15
8月11日(木)	児童・生徒とできる里山の調べ方	橋本 佳延	40	22
8月11日(木)	博物館を活用した学習の企画・立案とプログラミング体験	生涯学習課	20	6
8月11日(木)	兵庫は石の国、丹波竜・ジオパーク・御影石	先山 徹	30	26
8月11日(木)	葉っぱで見分ける身近な樹木	黒田 有寿茂	20	19
8月13日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	10	4
8月13日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	15	10
8月14日(日)	土の中のむし	沢田 佳久	20	11
8月16日(火)	子どもと楽しむ葉脈標本づくり	生涯学習課	30	32
8月16日(火)	障がいのある児童・生徒の博物館学習	生涯学習課	20	5
8月16日(火)	地形や地層から探る兵庫の自然史～兵庫県西部編～	加藤 茂弘	30	32
8月16日(火)	標本をつくって昆虫につよくなろう(全2回)	大谷 剛、沢田 佳久	30	8
8月17日(水)	牛乳パックでカメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	50	44
8月17日(水)	キリンビール・ビオトープ池調査	田中 哲夫	15	14
8月17日(水)	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	20	10
8月17日(水)	学校で使える ICT	情報管理課	15	19
8月17日(水)	佐用町昆虫館で昆虫標本づくりたいけん	八木 剛	40	45
8月18日(木)	花の役割を調べよう	半田 久美子	16	16
8月18日(木)	地層の見方調べ方 in 丹波	古谷 裕	20	18
8月18日(木)	鉱物の不思議に触れ、見分け方を知ろう	先山 徹	20	28
8月18日(木)	あかねちゃん学園 2011	ひとはく連携グループ あかねちゃんクラブ、 足立 勲	30	2
8月19日(金)	あかねちゃん学園 2011	ひとはく連携グループ あかねちゃんクラブ、 足立 勲	30	2
8月20日(土)	瀬川溪谷の滝と溶岩ハイキング	先山 徹、松原 典孝	30	22
8月21日(日)	牛乳パックでカメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	30	17

8月27日(土)	ランドスケープ・マネジメントへ もり ひと まちづくり -丹波の森 20年の軌跡-	中瀬 勲	20	10
8月27日(土)	藍の生葉で「愛」を染めよう	ひとはく連携グループ NPO法人 人と自然の会	25	4
8月28日(日)	鉱物の不思議を体験しよう	先山 徹	30	27
8月28日(日)	サギソウ観察会	藤井 俊夫	20	20
8月28日(日)	鳥にとっての水田生態系-歴史の変遷	江崎 保男、大学院生	30	10
8月28日(日)	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	20	11
8月28日(日)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、 八木 剛	15	13
9月3日(土)	熱帯の森に暮らす生きものたち(全3回)	北村 俊平	30	2
9月6日(火)	秋の伊吹山高山植物観察	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20	0
9月9日(金)	里山の生物多様性(全2回)	橋本 佳延	10	49
9月10日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	20	6
9月11日(日)	丹波で地層を見る	古谷 裕	20	13
9月11日(日)	虫の体を調べよう	沢田 佳久	24	17
9月11日(日)	愛蜂家基礎講座・初級(全4回)	大谷 剛	20	15
9月11日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	10
9月11日(日)	フェアブル生誕地南仏アペロンの自然とマイクロボリス探訪	橋本 佳明	25	0
9月13日(火)	逆さカメラをつくろう	赤澤 宏樹	10	102
9月13日(火)	植物・植生を調べる(全3回)	黒田 有寿茂	10	30
9月17日(土)	万葉集の植物・植生	服部 保	50	42
9月17日(土)	名画・名景に見る人と自然	武田 重昭	30	4
9月18日(日)	植物観察会(鴨池)	藤井 俊夫	20	21
9月21日(水)	神戸布引滝のシダ植物を見る	鈴木 武	20	0
9月22日(木)	神戸布引滝のシダ植物を見る 追加版	鈴木 武	20	22
9月24日(土)	小さな化石の抽出と観察-前期中新世の有孔虫化石-	松原 尚志	5	3
9月24日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	10	4
9月24日(土)	ランドスケープ・マネジメントへ 21世紀のランドスケープ・マネジメントへ	中瀬 勲	20	11
9月25日(日)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	17
9月25日(日)	顕微鏡で見る化石	古谷 裕	10	5
9月25日(日)	オニバス観察会	藤井 俊夫	20	13
9月27日(火)	フェアブル生誕地南仏アペロンの自然とマイクロボリス探訪	橋本 佳明	25	0
9月27日(火)	ピオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	27
9月27日(火)	植物・植生を調べる(全3回)	黒田 有寿茂	10	27
9月28日(水)	武田尾溪谷の植物を観察しよう 秋の植物観察会	石田 弘明	20	22
9月28日(水)	神戸布引滝のシダ植物を見る 追加版2	鈴木 武	20	23
9月28日(水)	フェアブル生誕地南仏アペロンの自然とマイクロボリス探訪	橋本 佳明	25	0
9月28日(水)	ハチ北高原 秋の自然観察エコツアー(1泊2日)	秋山 弘之、ハチ北自然案内人	20	10
9月29日(木)	フェアブル生誕地南仏アペロンの自然とマイクロボリス探訪	橋本 佳明	25	0
9月29日(木)	ハチ北高原 秋の自然観察エコツアー(1泊2日)	秋山 弘之、ハチ北自然案内人	20	10
9月30日(金)	須磨海岸でウミホタルを観察しよう	三橋 弘宗	30	38

9月30日(金)	フェアブル生誕地南仏アペロンの自然とマイクロボリス探訪	橋本 佳明	25	0
10月1日(土)	植物画を描こう(全2回)	高橋 晃、長谷川 太一	20	6
10月1日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	10	4
10月1日(土)	フェアブル生誕地南仏アペロンの自然とマイクロボリス探訪	橋本 佳明	25	0
10月2日(日)	植物画を描こう(全2回)	高橋 晃、長谷川 太一	20	10
10月2日(日)	フェアブル生誕地南仏アペロンの自然とマイクロボリス探訪	橋本 佳明	25	0
10月3日(月)	フェアブル生誕地南仏アペロンの自然とマイクロボリス探訪	橋本 佳明	25	0
10月4日(火)	ピオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	28
10月5日(水)	気ままに植物ウォッチング③～道場町～	黒田 有寿茂	20	25
10月7日(金)	里山の生物多様性(全2回)	橋本 佳延	10	42
10月8日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	10	4
10月8日(土)	動物の体を見てみよう 1. 両生類	太田 英利	25	3
10月8日(土)	漂着物をさがそう 新舞子編	上田 萌子	20	1
10月8日(土)	都市の歩き方・企画編 都名所図会を歩く(全2回)	田原 直樹	10	11
10月8日(土)	親と子の鳴く虫の調べ	ひとはく連携グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」、大谷 剛	30	13
10月9日(日)	愛蜂家基礎講座・初級(全4回)	大谷 剛	20	11
10月9日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	9
10月11日(火)	ピオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	29
10月12日(水)	里山の植物を観察しよう	石田 弘明	20	19
10月13日(木)	秋のキノコかんさつ1 ～神戸～	秋山 弘之	12	19
10月15日(土)	但馬の化石をさぐる	松原 尚志	25	10
10月15日(土)	コケ植物をみてみよう	秋山 弘之	12	9
10月15日(土)	建築スケッチ紀行 村野藤吾作品07「関西大学」	山崎 義人	15	4
10月15日(土)	都市の歩き方・名所編 神戸市長田区を歩く	田原 直樹	10	0
10月16日(日)	港町を眺める草原～東お多福山のススキ草原植生観察～	橋本 佳延	60	16
10月18日(火)	植物の葉のデザイン	石田 弘明	10	100
10月22日(土)	都市の歩き方・企画編 都名所図会を歩く(全2回)	田原 直樹	10	6
10月23日(日)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	14
10月23日(日)	星砂を集めよう	小林 文夫	15	19
10月23日(日)	恐竜復元模型をつくろう	佐藤 裕司、徳川 広和、池田 忠広	15	16
10月23日(日)	里山の植物を観察しよう 追加版	石田 弘明	20	20
10月23日(日)	動物に花粉・種子を運んでもらう仕組み 果実と散布者たち	北村 俊平	20	11
10月28日(金)	兵庫の恐竜	三枝 春生	10	39
10月29日(土)	秋のキノコかんさつ2 ～有馬富士～	秋山 弘之	20	22
10月29日(土)	建築スケッチ紀行 村野藤吾作品08「千里ニュータウン南地区センタービル」	山崎 義人	15	5
10月30日(日)	マツバラン観察会	藤井 俊夫	20	21
11月1日(火)	植物の生存戦略	石田 弘明	10	106
11月3日(木)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	16
11月5日(土)	建築スケッチ紀行 村野藤吾作品09「西宮トラピヌス修道院」	山崎 義人	15	11
11月8日(火)	まちへのプレゼント	武田 重昭	10	105

11月12日(土)	三田哺乳類化石産地見学会	三枝 春生	15	12
11月12日(土)	六甲山「森の植物」観察会(秋)	小館 誓治	15	14
11月12日(土)	ぶらり海辺散歩～塩性湿地を見て歩く～ 秋の成ヶ島編	上田 萌子	20	8
11月12日(土)	都市の歩き方・名所編 都名所図会を片手に京都を歩く	田原 直樹	10	0
11月12日(土)	生物多様性を測定する～講義編～	橋本 佳明	10	10
11月13日(日)	植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!(全6回)	高橋 晃、布施 静香	15	10
11月13日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	10
11月13日(日)	立体写真入門	沢田 佳久	10	2
11月15日(火)	DNA抽出実験	布施 静香	5	104
11月19日(土)	小代の火山と滝めぐり	先山 徹	30	17
11月19日(土)	簡単料理教室 味で感じる山陰海岸ジオパーク	藤本 真里	20	8
11月19日(土)	昆虫館学芸員体験ツアー	橋本 佳明	15	19
11月19日(土)	プラスチック封入標本をつくらう	三橋 弘宗	20	28
11月20日(日)	愛蜂家基礎講座・初級(全4回)	大谷 剛	20	9
11月20日(日)	<こころ>と<ことば>を科学する	三谷 雅純	10	9
11月26日(土)	都市の歩き方・名所編 神戸・晩秋の須磨界隈を歩く	田原 直樹	10	20
11月26日(土)	生物多様性を測定する～実習編～	橋本 佳明	10	12
11月27日(日)	秋の石めぐりハイキングー摂津峡	先山 徹、加藤 茂弘	30	24
11月27日(日)	植物観察会(秋の甲山)	藤井 俊夫	20	24
12月1日(木)	蕎麦打ち体験と植物のソバの話	布施 静香、福岡 誠行	20	19
12月3日(土)	芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る	小館 誓治	15	0
12月4日(日)	珪藻土を顕微鏡で見よう	佐藤 裕司	10	9
12月9日(金)	壺長類学が描くヒトの姿ーわれわれは何者か?	三谷 雅純	10	43
12月10日(土)	南あわじで地層を見る	古谷 裕	15	15
12月11日(日)	植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!(全6回)	高橋 晃、布施 静香	15	9
12月11日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	11
12月17日(土)	立版古(たてばんこ)をつくらう	上田 萌子	20	8
12月17日(土)	スウィーツ・カフェ 山陰海岸ジオパークの風景物語	藤本 真里	20	11
12月18日(日)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	18
12月18日(日)	ノジギク観察会	藤井 俊夫	20	12
12月18日(火)	コウノトリの野生復帰と地域づくり	江崎 保男	30	12
12月23日(金)	むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと	三谷 雅純	10	9
12月25日(日)	愛蜂家基礎講座・初級(全4回)	大谷 剛	20	7
1月8日(日)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	19
1月8日(日)	春日山原始林観察会	藤井 俊夫	20	16
1月8日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	11
1月14日(土)	春日山原始林観察会 追加版	藤井 俊夫	20	6
1月17日(火)	火山活動と日本の国立公園	小林 文夫	10	99
1月20日(金)	壺長類学が描くヒトの姿ーわれわれは何者か?(続編)	三谷 雅純	10	41
1月21日(土)	チョコとココアでおいしい火山実験をしよう	先山 徹	30	14
1月24日(火)	芦屋川の水環境調査	三橋 弘宗	10	96
2月5日(日)	石ころクラブ(全9回)	先山 徹、加藤 茂弘	20	14
2月5日(日)	植物リサーチクラブ 植物を調べて展示に挑戦!(全6回)	高橋 晃、布施 静香	15	10

2月12日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	11
2月18日(土)	地球の磁石と石に残った磁石	先山 徹	30	0
2月25日(土)	動物の体を見よう 2. 爬虫類	太田 英利	25	4
2月26日(日)	電子顕微鏡で見る化石(全2回)	古谷 裕	6	10
2月26日(日)	植物リサーチクラブ② 標本庫の利用法と調べ方(全2回)	布施 静香、高橋 晃、高野 温子	15	10
3月2日(金)	早春の山野草観察会-セツブンソウほか-	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20	19
3月4日(日)	植物リサーチクラブ② 標本庫の利用法と調べ方(全2回)	布施 静香、高橋 晃、高野 温子	15	4
3月10日(土)	電子顕微鏡で見る化石(全2回)	古谷 裕	6	4
3月11日(日)	植物化石のクリーニング 入門編	半田 久美子	10	6
3月11日(日)	電子顕微鏡で見る化石(全2回)	古谷 裕	6	7
3月17日(土)	花粉のはなし	半田 久美子	30	7
3月18日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	12
3月31日(土)	スイーツ・カフェ 山陰海岸ジオパークの風景物語	藤本 真里	20	6

企画展等一覧(平成23年度)

下記のような特別企画展、ミニ企画展を企画展示室・ミニ企画展示室・3階ギャラリー・4階ひとほくサロンで開催した。

【特別企画】

期間	タイトル	入場者数	担当者(所属)、順不同(*主担当者)
2011.2.11～4.3	共生のひろば展	19027	*橋本佳延・上田萌子・黒田有寿茂(ひとほく)
2011.4.23～9.4	丹波と恐竜を知ろう 2011-第5次発掘報告	68762	*松原尚志・古谷 裕・三枝春生・池田忠広・半田久美子・佐藤裕司(ひとほく)
2011.7.20～10.2	フェアブルたちの夏ー昆虫の世界 2011	43229	*大谷 剛・橋本佳明・沢田佳久・八木 剛・鈴木 武(ひとほく)
2011.10.1～2012.4.8	化石大集合ー過去に起こった生物大量絶滅事件ー	40888	*古谷 裕(主担当)・三枝春生・池田忠広・半田久美子・小林文夫・松原尚志・佐藤裕司(ひとほく)
2011.2.11～4.8	共生のひろば展	11967	*橋本佳延・(ひとほく)

【ミニ企画展(臨時に企画される小規模な展示)】

期間	タイトル	展示場所	担当者(所属)、順不同(*主担当者)
2011.2.5～4.10	植物画で語るキョスマウツボの生活	4階ひとほくサロン	*高橋 晃(ひとほく)・GREEN GRASS(ひとほく連携活動グループ)
2011.2.5～4.3	ひょうごのいきもの・ふるさとを見守る仲間	3階オープンギャラリー	*橋本佳延(ひとほく)
2011.2.15～5.15	六甲山のキノコ展 2011	4階ひとほくサロン	*兵庫県立御影高等学校・三橋弘宗(ひとほく)
2011.3.3～4.4	3D 小さな美麗虫!クチプトゾウムシ	4階ひとほくサロン	*沢田佳久(ひとほく)
2011.3.5～5.8	タヨウ星人原画展	4階ひとほくサロン	*川東丈純(ひとほく地域研究員)・石田弘明・大谷 剛・鈴木 武・塚本健司・八尾滋樹(ひとほく)
2011.7.9～7.31	コウノトリKIDSクラブでつくった水生動物のプラスチック封入標本展	3階常設展示室	*三橋弘宗(ひとほく)・コウノトリKIDSクラブ
2011.8.23～8.31	博物館実習生がみた丹波篠山	4階ひとほくサロン	*山崎義人(ひとほく)
2010.9.22～9.28	三田市中学校理科作品展	4階ひとほくサロン	*西岡敬三(ひとほく)
2011.10.13～10.30	小野英男写真展～「神戸・兵庫の青い鳥たち」	4階ひとほくサロン	*鈴木 武(ひとほく)
2011.10.8～2012.1.9	第2回いきものかわらばん展	3階常設展示室	*大谷 剛・布施静香(ひとほく)

2011.12.4～2012.1.9	丹波のシロシヤクジョウ展	4階ひとほくサロン	*鈴木 武・布施静香(ひとほく)
2011.12.1～2012.1.9	辰さんようこそ	4階ひとほくサロン	*鈴木 武(ひとほく)
2012.2.4～3.11	めぐってきました！ 山陰海岸ジオパーク	4階ひとほくサロン	*先山 徹・藤本真理・高野温子・三橋弘宗・武田重昭・山崎義人・石田弘明・沢田佳久(ひとほく)
2011.2.15～5.15	みんなの福島展	3階オープンギャラリー	*八木 剛・小館誓治・布施静香・古谷裕(ひとほく)
2012.3.13～5.6	六甲山のキノコ展 2012	4階ひとほくサロン	*兵庫県立御影高等学校・三橋弘宗(ひとほく)

【資料・トピックス展示(新着資料や研究員による発見などのトピックスを展示)】

期間	タイトル	展示場所	担当者(所属)、順不同(*主担当者)
2011.3.5～4.10	ミキヒメザルガイ～但馬で見つかった新種の化石二枚貝～	3階小企画展示室	*松原尚志(ひとほく)
2011.4.1～4.31	兵庫県の在来タンポポの分布～南のカンサイタンポポ、北のヤマザトタンポポ～	3階トピックスコーナー	*鈴木 武(ひとほく)
2011.6.4～8.31	こんな鳥が身近に	3階トピックスコーナー	*北村俊平・布野隆之(ひとほく)
2011.9.3～10.30	明治期に採集された丹波の植物たち ～友常永太郎標本コレクション～	3階トピックスコーナー	*高橋晃・高野温子・布施静香(ひとほく)
2011.11.1～2012.1.9	神戸の水害	3階トピックスコーナー	*赤澤宏樹・上田萌子(ひとほく)
2012.2.4～4.1	兵庫県産 中・古生代有孔虫化石～小林文夫コレクションから～	3階トピックスコーナー	*小林文夫(ひとほく)

生徒・学生等の受け入れ状況

【トライやる・ウィーク】

期間	学校名	人数	担当研究部課室名
5月31日～6月3日(Ⅰ期)	三田市立上野台中学校	1	系統分類
	三田市立狭間中学校	1	環境計画
	三田市立けやき台中学校	2	生物資源
	三田市立藍中学校	2	
	宝塚市立西谷中学校	1	
		計 7	
6月7日～10日(Ⅱ期)	三田市立長坂中学校	2	地球科学
	三田市立八景中学校	2	生態研究
	三田市立ゆりのき台中学校	2	総務課
	三田市立富士中学校	1	
	丹波市立山南中学校	2	
		計 9	
11月8日～11日(Ⅲ期)	神戸市立北神戸中学校	2	生涯学習課
	神戸市立有野北中学校	2	情報管理課
		計 4	
11月15日～18日(Ⅳ期)	篠山市立篠山中学校	2	生涯学習課
	篠山市立丹南中学校	2	情報管理課
		計 4	

【博物館実習】

8月5日から8月23日までの10日間	龍谷大学	1名
大学名		
岡山理科大学	1名	計 15名
鳥取大学	2名	
神戸芸術工科大学	1名	
甲南女子大学	1名	
近畿大学	1名	
関西学院大学	1名	
高知大学	2名	計 15名
筑波大学	1名	
神戸学院大学	2名	
神戸大学	1名	
琉球大学	1名	

担当研究部門

自然・環境評価部	6名
自然・環境マネジメント部	7名
自然・環境再生研究部	2名

学校教育支援プログラム

【スクールパートナー推進事業 夏季教職員セミナー】

実施日	セミナー名	講師	参加人数
8月8日(月)	博物館を活用した学習の企画・立案とプログラム体験	西岡 敬三	11
8月9日(火)	身近な植物の観察の仕方	小舘 誓治	27
	標本をつくって昆虫につよくなる(全2回の1回目)	大谷 剛	8
		沢田 佳久	
	地層の見方・調べ方 in 淡路	古谷 裕	18
	生物多様性保全のための学校内ビオトープ	服部 保	33
8月10日(水)	水をめぐるエコロジー	佐藤 裕司	26
	このまちは誰がつくったのだろう?	武田 重昭	4
	外来種の現状と対策	太田 英利	19
	障がいのある子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	22
8月11日(木)	児童・生徒とできる里山の調べ方	橋本 佳延	22
	兵庫は石の国、丹波竜・ジオパーク・御影石	先山 徹	26
	葉っぱで見分ける身近な樹木	黒田有寿茂	19
	博物館を活用した学習の企画・立案とプログラム体験	西岡 敬三	6
8月16日(火)	標本をつくって昆虫につよくなる(全2回の2回目)	大谷 剛	8
		沢田 佳久	
	地形や地層から探る兵庫の自然史～兵庫県西部編～	加藤 茂弘	32
	子どもと楽しむ葉脈標本づくり	本多 淳二	32
	障がいのある児童・生徒の博物館学習	西岡 敬三	5
8月17日(水)	牛乳パックでカメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	44
	キリンビール・ビオトープ池調査	田中 哲夫	14
	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	10
	学校で使えるICT	八尾 滋樹	19
8月18日(木)	花の役割を調べよう	半田久美子	16
	地層の見方・調べ方 in 丹波	古谷 裕	18
	鉱物の不思議に触れ、見分け方を知ろう	先山 徹	28

平成22～23年度2年間学校団体連続入館状況

学 校 名	地域	19	20	21	22	23
こくまブリスクール北神戸園	神戸市			○	○	○
西舞子幼稚園	神戸市			○	○	○
神陵台幼稚園	神戸市			○	○	○
立花ひよこ保育園	尼崎市				○	○
神戸海星女子学院マリア幼稚園	西宮市	○	○	○	○	○
学校法人上谷学園 幸幼稚園	西宮市			○	○	○
新清和台幼稚園	川西市				○	○
やよい幼稚園	三田市	○	○	○	○	○
北摂第一幼稚園	三田市	○	○	○	○	○
北摂学園幼稚園	三田市		○	○	○	○
光の子保育園	三田市			○	○	○
新東三国保育園	大阪市			○	○	○
保育園・幼稚園 合計(12校)						
神戸市立駒ヶ林小学校	神戸市			○	○	○
神戸市立桜が丘小学校	神戸市		○	○	○	○
神戸市立小東山小学校	神戸市				○	○
神戸市立大池小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立淡河小学校	神戸市		○	○	○	○
神戸市立長尾・道場・鹿の子台 小学校なかよし学級	神戸市			○	○	○
神戸市立唐櫃小学校	神戸市		○	○	○	○
神戸市立東町小学校	神戸市			○	○	○
神戸市立東轟小学校	神戸市				○	○
神戸市立藤原台小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立箕谷小学校	神戸市		○	○	○	○
神戸市立有馬小学校	神戸市				○	○
神戸市立有野小学校	神戸市	○	○	○	○	○
神戸市立有野台小学校	神戸市			○	○	○
尼崎市立武庫の里小学校	尼崎市		○	○	○	○
尼崎市立武庫南小学校	尼崎市			○	○	○
尼崎市立浜田小学校	尼崎市			○	○	○
芦屋市立岩園小学校	芦屋市		○	○	○	○
芦屋市立精道小学校	芦屋市		○	○	○	○
芦屋市打出浜小学校	芦屋市				○	○

西宮市立小松小学校	西宮市				○	○	○		
西宮市立深津小学校	西宮市				○	○	○		
西宮市立段上小学校	西宮市	○	○	○	○	○	○		
西宮市立鳴尾小学校	西宮市					○	○		
伊丹市立稲野小学校	伊丹市				○	○	○		
伊丹市立荻野小学校	伊丹市				○	○	○		
伊丹市立花里小学校	伊丹市	○	○	○	○	○	○		
伊丹市立桜台小学校	伊丹市	○	○	○	○	○	○		
伊丹市立笹原小学校	伊丹市	○	○	○	○	○	○		
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	○	○	○	○	○	○		
伊丹市立摂陽小学校	伊丹市					○	○	○	
伊丹市立池尻小学校	伊丹市	○	○	○	○	○	○		
伊丹市立有岡小学校	伊丹市						○	○	
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	○	○	○	○	○	○		
伊丹市立緑丘小学校	伊丹市					○	○	○	
宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市	○	○	○	○	○	○		
宝塚市立逆瀬台小学校	宝塚市						○	○	
宝塚市小浜小学校	宝塚市						○	○	
宝塚市立西山小学校	宝塚市	○	○	○	○	○	○		
宝塚市立長尾台小学校	宝塚市						○	○	
宝塚市立長尾南小学校	宝塚市						○	○	
宝塚市立宝塚小学校	宝塚市	○	○	○	○	○	○		
川西市立加茂小学校	川西市				○	○	○	○	
川西市立川西小学校	川西市	○	○	○	○	○	○		
川西市立川西北小学校	川西市				○	○	○	○	
川西市立多田小学校	川西市						○	○	○
川西市立陽明小学校	川西市	○	○	○	○	○	○		
三田市立あかしあ台小学校	三田市	○	○	○	○	○	○		
三田市立すずかけ台小学校	三田市	○	○	○	○	○	○		
三田市立ゆりのき台小学校	三田市				○	○	○	○	
三田市立狭間小学校	三田市	○	○	○	○	○	○		
三田市立弥生小学校	三田市	○	○	○	○	○	○		
明石市立王子小学校	明石市						○	○	
明石市立江井島小学校	明石市						○	○	
明石市立大久保南小学校	明石市						○	○	

明石市立鳥羽小学校	明石市				○	○
明石市立林小学校	明石市				○	○
加古川市立加古川小学校	加古川市				○	○
加古川市立川西小学校	加古川市				○	○
加古川市立米丘小学校	加古川市				○	○
加古川市立別府西小学校	加古川市				○	○
高砂市立伊保小学校	高砂市	○	○	○	○	○
高砂市立荒井小学校	高砂市	○	○	○	○	○
高砂市立米田西小学校	高砂市				○	○
稲美町立天満小学校	加古郡稲美町				○	○
稲美町立天満東小学校	加古郡稲美町	○	○	○	○	○
西脇市立芳田小学校	西脇市				○	○
小野市立河合小学校	小野市				○	○
小野市立小野東小学校	小野市				○	○
加西市立西在田小学校	加西市				○	○
大阪府茨木市立水尾小学校	大阪府茨木市				○	○
大阪府池田市立呉服小学校	大阪府池田市				○	○
大阪府池田市立細河小学校	大阪府池田市				○	○
大阪府箕面市立西南小学校	大阪府箕面市				○	○
追手門学院小学校	大阪府大阪市	○	○	○	○	○
大阪教育大学附属池田小学校	大阪府池田市	○	○	○	○	○
小学校 合計 (76校)						
神戸市立桃山中学校	神戸市				○	○
神戸朝鮮初中級学校	神戸市	○	○	○	○	○
須磨学園中学校	神戸市				○	○
啓明学院中学校	神戸市				○	○
尼崎市立中央中学校	尼崎市				○	○
宍粟市立一宮南中学校	宍粟市				○	○
兵庫県立大学附属中学校	赤穂郡上郡町	○	○	○	○	○
豊岡市立森本中学校	豊岡市				○	○
豊岡市立日高西中学校	豊岡市				○	○
豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市	○	○	○	○	○
朝来市立梁瀬中学校	朝来市				○	○
香美町立香住第一中学校	香美町				○	○
南あわじ市立南淡中学校	南あわじ市				○	○
開明中学校	大阪府	○	○	○	○	○
同志社香里中学校	大阪府寝屋川市				○	○

関西学院中学校	西宮市				○	○
川西市立清和台中学校	川西市				○	○
高砂市立宝殿中学校	高砂市				○	○
加東市立社中学校	加東市				○	○
赤穂市立赤穂東中学校	赤穂市	○	○	○	○	○
京都府京都市立嘉楽中学校	京都市				○	○
中学校 合計 (21校)						
県立舞子高等学校	神戸市	○	○	○	○	○
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市	○	○	○	○	○
県立宝塚北高等学校	宝塚市	○	○	○	○	○
県立加古川東高等学校	加古川市				○	○
香川県立観音寺第一高等学校	香川県	○	○	○	○	○
大阪府立泉北高等学校	大阪府堺市	○	○	○	○	○
大阪府立豊中高等学校	大阪府豊中市				○	○
和歌山県立海南高等学校	和歌山県	○	○	○	○	○
高等学校 合計 (8校)						
神戸大学理学部	神戸市	○	○	○	○	○
大阪大学理学部化学科	大阪府豊中市	○	○	○	○	○
大阪府立大学生命環境科学部	大阪府堺市				○	○
近畿大学	大阪府東大阪市				○	○
関西大学	大阪府吹田市				○	○
岡山大学理学部	岡山県				○	○
大学 合計 (6校)						
県立神出学園	神戸市	○	○	○	○	○
三木市立三木特別支援学校	三木市				○	○
その他学校 合計 (2校)						

来館一般団体一覧

◆県内

団体名	所在地		
		ピーターパンプレススクール	神戸市
流通科学大学生涯学習の会	神戸市	コープ神戸	神戸市
本山南少年野球部	神戸市	コープこうべ生活文化センター	神戸市
兵庫県保険医協会	神戸市	アメニティホーム夢野	神戸市
兵庫県商工青年同友会	神戸市	NPO 法人みどりの森 自然キャンプ協会	神戸市
兵庫県教育委員会高校教育課	神戸市	J A F 兵庫支部	神戸市
兵庫県海外同友会	神戸市	垂水ふれあいのまちづくり	神戸市垂水区
兵庫区視力障害者福祉協会 女性部	神戸市	神戸市立塩屋児童館	神戸市垂水区
兵庫を観る会	神戸市	立花中央社会福祉協会	尼崎市
櫛谷年金受給者友の会	神戸市	名神町2丁目福祉協会	尼崎市
東須磨永寿会	神戸市	尼崎市保護司会 武庫分会	尼崎市
東神戸医療互助組合生田支部	神戸市	尼崎市健康福祉局「親と子の健康回復事業」	尼崎市
中落合第一住宅自治会	神戸市	塚口福寿老人クラブ	尼崎市
大和町自治会 (神戸市)	神戸市	中難波老人クラブ	尼崎市
大池見山台子ども会	神戸市	大物第4社会福祉協会	尼崎市
千代が丘防災福祉コミュニティ	神戸市	青空クラブ	尼崎市
西神春日クラブ	神戸市	西平田さくら会	尼崎市
生田川地区協議会	神戸市	西武庫公園 ホテルの会	尼崎市
垂水区子ども会連合会	神戸市	西川北八幡会	尼崎市
須磨中部自治会	神戸市	是澤	尼崎市
神戸中央教会	神戸市	常盤老人クラブ	尼崎市
神戸聖生園	神戸市	常松千歳会	尼崎市
神戸市立玉津第一小学校 PTA	神戸市	常光寺北部老人クラブ	尼崎市
神戸市理科 EF ブロック研修会	神戸市	三反田第二町会文化部	尼崎市
神戸市北区退職公務員「兵庫を知る会」	神戸市	杭瀬第6団地自治会	尼崎市
神戸市シルバーカレッジ	神戸市	稲葉荘社会福祉協議会	尼崎市
真星病院内ぼっかばか保育園	神戸市	ふるさとを知る会	尼崎市
若松塾 鈴蘭台校	神戸市	有馬病院デイケア	西宮市
若菜消費者学級	神戸市	鳴五・さつきクラブ	西宮市
佐保会兵庫県支部	神戸市	西宮市立樋ノ口育成センター	西宮市
広陵エコタウンクラブ	神戸市	西宮市立総合教育センター	西宮市
学園東町自治会	神戸市	西宮市鳥っこクラブ	西宮市
駅前住宅自治会	神戸市	西宮市山口地区家庭防火クラブ	西宮市
ろっこう医療生活共同組合	神戸市	西宮市国際交流協会	西宮市
ヨゼフ寮	神戸市	西宮市笠屋町自治会環境衛生部	西宮市

仁川コープ委員会(西宮市)	西宮市	エレの会	川西市
神呪中央自治会	西宮市	兵庫県へき地教育連盟	三田市
阪神退職者会	西宮市	富士児童クラブ	三田市
広田平木校区老人クラブ連合会	西宮市	富士が丘1丁目子ども会	三田市
すみれ歩こう会	西宮市	特別養護老人ホームサンウエスト	三田市
あおぞらクラブ	西宮市	全国花のまちづくり三田大会	三田市
NPO 法人西宮市シニアライフ協会春風老人クラブ	西宮市	西山作業所	三田市
NPO法人 子ども環境活動支援協会	西宮市	水辺のフィールドミュージアム研究会	三田市
子どもエコクラブ グリーンキッズ	芦屋市	親子リズムトトロ	三田市
芦屋トライアルズ	芦屋市	松が丘児童クラブ	三田市
セントラルスポーツ(株)	芦屋市	三輪児童クラブ第2 児童クラブ	三田市
A C21 期同期会アシニアン 21	芦屋市	三田市老連ウォーキング	三田市
緑ヶ丘ファイターズ	伊丹市	三田市立けやき台児童クラブ	三田市
本町自治会	伊丹市	三田市国際交流協会	三田市
中野西自治会	伊丹市	三田市高齢者大学	三田市
阪神シニアカレッジ阪神ひと・まち・創造講座2年生	伊丹市	広野児童クラブ	三田市
昆陽南自治会	伊丹市	近畿青年技術士懇談会	三田市
荒牧老人会	伊丹市	介護老人保健施設「愛」	三田市
御願塚史跡保存会	伊丹市	夏休み自由研究セミナー	三田市
伊丹スワンクラブ	伊丹市	わくわくらぶ育児サークル	三田市
のびのびクラブ	伊丹市	ハッピーマザー	三田市
北摂里山フォーラム 2011	宝塚市	すずかけ台児童クラブ・第2 児童クラブ	三田市
宝塚第一小学校児童育成会	宝塚市	シニア自然大学 「はばたき」	三田市
宝塚市立老人福祉センターフレミラ環境自然コース2年	宝塚市	さくら療育園	三田市
宝塚市立老人福祉センターフレミラ環境自然コース1年	宝塚市	あんぱんママ	三田市
宝塚市立宝塚小学校地域児童育成会	宝塚市	SAS(絵画サークル)	三田市
宝塚市立小浜小学校校育成会	宝塚市	年金者組合	川辺郡猪名川町
長谷婦人会	宝塚市	猪名川木喰会	川辺郡猪名川町
阪急青葉台自治会	宝塚市	猪名川町自治功労者会	川辺郡猪名川町
光明町自治会	宝塚市	若葉子ども会	川辺郡猪名川町
銀行退職者の会	宝塚市	K C川西猪名川コープ委員会	川辺郡猪名川町
めふ親子キャンプ	宝塚市	丹南文化協会	篠山市
いきいきシニアゼミナール	宝塚市	西紀中地区里づくり協議会	篠山市
多田院自治会	川西市	若草子ども会	篠山市
川西市南地区老人クラブ連合会	川西市	篠山市老人クラブ連合会篠山支部	篠山市
西多田団地自治会	川西市	篠山市立八上小学校4年生親子活動	篠山市
進学塾ウィング	川西市	篠山市自治会長会	篠山市
錦松台子ども会	川西市	認定子ども園 吉見子ども園 保護者会	丹波市

田井縄公民館	丹波市	細川町老人会高齢者教室	三木市
丹波市商工会女性部	丹波市	広野子ども会	三木市
上牧自治会	丹波市	あじさい会（三木市）	三木市
絹山谷総代	丹波市	神明団地子ども会	小野市
栗生産組合	丹波市	小野市視覚障害者協会	小野市
氷上民生委員・児童委員協議会	丹波市氷上町	小野ビーバースカウト	小野市
明石市立高齢者大学校あかねが丘学園	明石市	高山町子ども会	小野市
弁財天子ども会	明石市	網引町子ども会	加西市
荷山町子ども会	明石市	多加野地区はつらつ委員会	加西市
太連寺まごの手会	明石市	千歳会	加西市
兵庫県高齢者放送大学	加古川市	古坂3丁目子ども会	加西市
兵庫県いなみ野学園 OB	加古川市	古坂1丁目子ども会	加西市
尾上少年団長田北Ⅱ	加古川市	スポーツクラブ21北条	加西市
東加古川公民館老人大学ふれあい探訪会	加古川市	北播磨くすの木学級	加東市
辻子ども会わかば	加古川市	浜の宮住宅町内会	加東市
知的障害を持つ人の余暇活動をサポートする会	加古川市	鴨川アフタースクール	加東市
西条連合育友会	加古川市	うれしの学園生涯大学 滝野支部	加東市
西河原子ども会	加古川市	あすなろの郷	多可町
出河原少年団	加古川市	明田子ども会	姫路市
志方町西中子ども会	加古川市	北宿子ども会	姫路市
細工所子ども会	加古川市	姫路市立生涯学習大学校	姫路市
加古川市東神吉町砂部少年団	加古川市	姫路市民生委員・児童委員連合会	姫路市
加古川市ゆうゆうクラブ	加古川市	姫路市西北部地域づくり推進協議会	姫路市
いなみの学園	加古川市	姫路市婦人共励会	姫路市
梅井子ども会	高砂市	姫路市シルバー人材センター	姫路市
三菱製紙労働組合高砂支部	高砂市	日笠子ども会	姫路市
高砂民商共済会	高砂市	天理教飾豊太分教会	姫路市
高砂市立曽根小学校学童保育	高砂市	置本東子ども会	姫路市
いとこ会	高砂市	谷内校区子ども会	姫路市
八軒屋老人クラブ	加古郡稲美町	西土井子ども会	姫路市
稲美町社会福祉協議会	加古郡稲美町	城乾友の会	姫路市
播磨町野添県住子ども会	加古郡播磨町	上野子ども会	姫路市
坂本子ども会	西脇市	高齢者大学 丸山大学	姫路市
林間短歌会夏季集会	三木市	香寺町女性セミナー	姫路市
緑が丘ボランティアセンター	三木市	京口第二団地自治会	姫路市
三木市志染町老人会	三木市	関電みつる会姫路連合支部	姫路市
三木市高齢者大学茶道部	三木市	福崎町立田原小学校 PTA	神崎郡福崎町
三木市吉川町公民館	三木市	ふくさき歴史体験隊	神崎郡福崎町

金剛山長寿会	たつの市	大阪府教育センター	大阪市
沖代子ども会	たつの市	堤町二三町会	大阪府
井野原子ども会	たつの市	大阪シニア自然カレッジ	大阪府
たつの市いずみ会 龍野支部	たつの市	太田新町一丁目町会	大阪府
たつのこどもエコクラブ	たつの市	株式会社シクロケア	大阪府
すみれ会	たつの市	旭ヶ丘二丁目第一区長会	大阪府
NPO 法人 ハートフルガーデン中播磨	たつの市	シニア自然大学緑組	大阪府
高齢者大学坂越学園	赤穂市	シニア自然大学風組	大阪府
塩屋向子ども会	赤穂市	シニア自然大学花組	大阪府
東市場子ども会	宍粟市	NPO 法人グリーンパーク熊取	大阪府
田井子ども会	宍粟市	鉱物クラブ(大阪府茨木市)	大阪府茨木市
今宿子ども会	宍粟市	柱本女性会	大阪府高槻市
福地子ども会	揖保郡太子町	宮が谷パルククラブ	大阪府高槻市
西本町子ども会	揖保郡太子町	シニアクラブ黄金の里	大阪府高槻市
上構子ども会	揖保郡太子町	守口学童保育	大阪府守口市
赤穂郡身体障害者福祉協議会	赤穂郡上郡町	寝屋川市社明六中地区	大阪府寝屋川市
佐用町湯子ども会	佐用郡佐用町	寝屋川市社会を明るくする運動推進委員会	大阪府寝屋川市
県立ひょうご環境体験館	佐用郡佐用町	寝屋川市自然資料施設運営スタッフの会	大阪府寝屋川市
久崎子供会	佐用郡佐用町	豊一子ども会	大阪府吹田市
野上育成会	豊岡市	大阪城北教会	大阪府吹田市
豊岡市消防団第14分団	豊岡市	千里新田人権啓発推進協議会	大阪府吹田市
豊岡ポニーズ	豊岡市	吹田市山二地区青少年対策委員会	大阪府吹田市
日高地区老人クラブ連合会	豊岡市	チャレンジバス	大阪府吹田市
栃江子ども会	豊岡市	八幡屋キック	大阪府大阪市
国分寺子ども会(豊岡市)	豊岡市	東成区母と子の共励会	大阪府大阪市
江原区子ども会	豊岡市	天神橋筋4丁目南振興町会	大阪府大阪市
伊佐部落子ども会	養父市	古林工業労働組合	大阪府大阪市
東和田区	朝来市	ボーイスカウト大阪第2団	大阪府大阪市
土田子ども会	朝来市	千里ネイチャークラブ	大阪府豊中市
長野祐	朝来市	社会福祉法人 和	大阪府豊中市
山東文化協会	朝来市	金耀会	大阪府豊中市
竹田老人会	新温泉町	ライフスポーツ KTV	大阪府豊中市
洲本ボランティア協会	洲本市	大阪博物館めぐりの会	大阪府豊能郡豊能町
大榎列子ども会	南あわじ市	鶴寿会	大阪府和泉市
西淡志知ボランティアの会	南あわじ市	日本温泉科学会	東京都
淡路市人権教育研究協議会	淡路市	特別セミナー授業で役立つサイエンスワークショップ	東京都
県立淡路景観園芸学校	淡路市	辻自治会	京都府
◆県外		前田児童館	京都府

神戸市立八多小学校	神戸市	伊丹市立神津小学校	伊丹市
神戸市立鹿の子台・長尾・道場小学校	神戸市	伊丹市立天神川小学校	伊丹市
神戸市立駒ヶ林小学校	神戸市	伊丹市立池尻小学校	伊丹市
神戸市立荒田小学校	神戸市	伊丹市立荻野小学校	伊丹市
神戸市立有野小学校	神戸市	伊丹市立緑丘小学校	伊丹市
神戸市立多聞台小学校	神戸市	伊丹市立稲野小学校	伊丹市
神戸市立小東山小学校	神戸市	伊丹市立笹原小学校	伊丹市
神戸市立淡河小学校	神戸市	伊丹市立有岡小学校	伊丹市
神戸市立名谷小学校	神戸市	伊丹市立伊丹小学校	伊丹市
神戸市立白川小学校	神戸市	伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市
神戸市立大池小学校	神戸市	伊丹市立桜台小学校	伊丹市
神戸市立桜が丘小学校	神戸市	伊丹市立花里小学校	伊丹市
神戸市立東灘小学校	神戸市	伊丹市立摂陽小学校	伊丹市
神戸市立花山小学校	神戸市	伊丹市立鈴原小学校	伊丹市
神戸市立東町小学校	神戸市	宝塚市立長尾南小学校	宝塚市
神戸市立小寺小学校	神戸市	宝塚市立すみれヶ丘小学校	宝塚市
神戸市立高和小学校	神戸市	宝塚市立西山小学校	宝塚市
西宮市立深津小学校	西宮市	宝塚市立長尾台小学校	宝塚市
西宮市立上ヶ原小学校	西宮市	宝塚市立宝塚小学校	宝塚市
西宮市立西宮浜小学校	西宮市	宝塚市立宝塚第一小学校	宝塚市
西宮市立南甲子園小学校	西宮市	小林聖心女子学院小学校	宝塚市
西宮市立段上小学校	西宮市	宝塚市立逆瀬台小学校	宝塚市
西宮市立小松小学校	西宮市	宝塚市立売布小学校	宝塚市
西宮市立鳴尾小学校	西宮市	宝塚市立小浜小学校	宝塚市
尼崎市立潮小学校	尼崎市	宝塚市立良元小学校	宝塚市
尼崎市立長洲小学校	尼崎市	川西市立川西小学校	川西市
尼崎市立武庫の里小学校	尼崎市	川西市立加茂小学校	川西市
尼崎市立武庫庄小学校	尼崎市	川西市立川西北小学校	川西市
尼崎市立武庫南小学校	尼崎市	川西市立陽明小学校	川西市
尼崎市立北難波小学校	尼崎市	川西市立桜が丘小学校	川西市
尼崎市立尼崎北小学校	尼崎市	川西市立多田小学校	川西市
尼崎市立浜田小学校	尼崎市	三田市立ゆりのき台小学校	三田市
尼崎市立清和小学校	尼崎市	三田市立広野小学校	三田市
尼崎市立武庫小学校	尼崎市	三田市立弥生小学校	三田市
尼崎市立杭瀬小学校	尼崎市	三田市立狭間小学校	三田市
芦屋市立打出浜小学校	芦屋市	三田市立すずかけ台小学校	三田市
芦屋市立岩園小学校	芦屋市	三田市立あかしあ台小学校	三田市
芦屋市立精道小学校	芦屋市	三田市立武庫小学校	三田市

猪名川町立白金小学校	川辺郡猪名川町	宍粟市立神戸小学校	宍粟市
		宍粟市立下三方小学校	宍粟市
明石市立朝霧小学校	明石市	相生市立中央小学校	相生市
明石市立鳥羽小学校	明石市	篠山市立城東小学校	篠山市
明石市立林小学校	明石市	篠山市立古市小学校	篠山市
明石市立王子小学校	明石市	丹波市立久下小学校	丹波市
明石市立江井島小学校	明石市	丹波市立南小学校	丹波市
明石市立大久保南小学校	明石市	南あわじ市立湊小辰美小連合自然学校	南あわじ市
明石市立二見小学校	明石市	<中学校>	
加古川市立氷丘小学校	加古川市	神戸朝鮮初中級学校	神戸市
加古川市立東神吉小学校	加古川市	啓明学院中学校	神戸市
加古川市立神野小学校	加古川市	神戸市立上野中学校	神戸市
加古川市立川西小学校	加古川市	神戸市立星和台中学校	神戸市
加古川市立加古川小学校	加古川市	神戸市立白川台中学校	神戸市
加古川市立陵北小学校	加古川市	須磨学園中学校	神戸市
加古川市立別府西小学校	加古川市	須磨学園中学校	神戸市
高砂市立米田西小学校	高砂市	神戸市立北神戸中学校科学部	神戸市
高砂市立伊保小学校	高砂市	神戸市立大池中学校	神戸市
高砂市立荒井小学校	高砂市	神戸市立多聞東中学校	神戸市
播磨町立蓮池小学校	加古郡播磨町	神戸市立鶴台中学校	神戸市
稲美町立天満小学校	加古郡稲美町	神戸市立桃山台中学校	神戸市
稲美町立天満東小学校	加古郡稲美町	神戸市立友が丘中学校	神戸市
西脇市立芳田小学校	西脇市	関西学院中学部	西宮市
三木市立広野小学校	三木市	西宮市立甲陵中学校科学環境部	西宮市
三木市立自由が丘小学校	三木市	尼崎市立中央中学校	尼崎市
小野市立小野東小学校	小野市	尼崎市立塚口中学校	尼崎市
小野市立河合小学校	小野市	川西市立明峰中学校	川西市
加西市立西在田小学校	加西市	川西市立清和台中学校	川西市
加東市立滝野東小学校	加東市	猪名川町立六瀬中学校	猪名川町
加東市立滝野中学校区特別支援学級交流学習会	加東市	加古川市立平岡南中学校	加古川市
加東市立社小学校	加東市	加古川市立山手中学校	加古川市
加東市立福田小学校	加東市	加古川市立両荘中学校	加古川市
姫路市立曾左小学校	姫路市	高砂市立荒井中学校	高砂市
姫路市立広畑第二小学校	姫路市	高砂市立宝殿中学校	高砂市
神河町立越知谷小学校	神崎郡神河町	高砂市立竜山中学校	高砂市
神河町立粟賀小学校	神崎郡神河町	三木市立別所中学校	三木市
市川町立瀬加小学校	神崎郡市川町	加東市立滝野中学校科学部	加東市
福崎町立八千種小学校	神崎郡福崎町	加東市立社中学校	加東市

西脇市立西脇南中学校	西脇市	三木市立三木特別支援学校	三木市
多可町立中町中学校	多可町		
西播朝鮮初中級学校	姫路市	◆ 県外	
姫路市立大的中学校	姫路市	<保育所・幼稚園>	
姫路市立城乾中学校	姫路市	新東三国保育園	大阪市
赤穂市立赤穂東中学校	赤穂市	港保育所	大阪府
たつの市立新宮中学校	たつの市	住吉保育園	大阪府
宍粟市立一宮南中学校	宍粟市	おおわだ保育園	大阪府
兵庫県立大学附属中学校	赤穂郡上郡町	<小学校>	
朝来市立梁瀬中学校	朝来市	追手門学院小学校	大阪市
朝来市立和田山中学校	朝来市	大阪府茨木市立水尾小学校	大阪府
豊岡市立森本中学校	豊岡市	大阪府池田市立呉服小学校	大阪府
豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市	大阪府豊能町立東ときわ台小学校	大阪府
豊岡市立日高西中学校	豊岡市	大阪府豊能町立東能勢小学校	大阪府
養父市立八鹿青溪中学校	養父市	大阪府箕面市立西南小学校	大阪府
香美町立香住第一中学校	香美町	大阪府箕面市立西小学校	大阪府
篠山市立篠山中学校	篠山市	大阪府池田市立石橋小学校	大阪府
丹波市立市島中学校	丹波市	大阪教育大学附属池田小学校	大阪府
丹波市立氷上中学校	丹波市	大阪府茨木市立春日小学校	大阪府
南あわじ市立南淡中学校	南あわじ市	大阪府池田市立細河小学校	大阪府
<高等学校>		京都府舞鶴市立大浦小学校	京都府
神戸市立六甲アイランド高等学校	神戸市	<中学校>	
県立舞子高等学校	神戸市	開明中学校	大阪市
県立神出学園	神戸市	大阪市立住吉第一中学校	大阪市
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市	同志社香里中学校	大阪府
県立宝塚北高等学校	宝塚市	門真市立第二中学校	大阪府
県立有馬高等学校	三田市	京都府京都市立嘉楽中学校	京都市
県立加古川東高等学校	加古川市	京丹波町立瑞徳中学校	京都府
県立姫路飾西高等学校	姫路市	<高等学校>	
県立大学附属高等学校	赤穂郡上郡町	大阪府立泉北高等学校	大阪府
<大学>		近畿大学附属高等学校 理科研修会	大阪府
神戸大学理学部	神戸市	大阪府立豊中高等学校	大阪府
大阪青山短期大学	川西市	京都府立農芸高等学校	京都府
兵庫教育大学	加東市	京都府立西舞鶴高等学校	京都府
<特別支援学校など>		和歌山県立日高高等学校	和歌山県御坊市
県立神戸特別支援学校	神戸市	和歌山県立海南高等学校	和歌山県
神戸市立青陽須磨支援学校	神戸市	香川県立観音寺第一高等学校	香川県
県立阪神特別支援学校中学校	西宮市		

<大学>

大阪大学理学部生物科学科	大阪府
関西大学建築学科	大阪府
大阪府立大学	大阪府
関西大学環境都市工学部	大阪府
近畿大学	大阪府
京都教育大学	京都市
京都府立大学	京都府
奈良大学	奈良市
白鳳女子短期大学	奈良県
岡山大学理学部	岡山県

<特別支援学校など>

大阪府立中津支援学校	大阪市
------------	-----

※学校団体利用 延べ271団体

共催および協力事業等

(他施設、他団体との連携事業)

【ジオキャラバン事業】

	開催地	開催場所(展示)	開催期間	テーマ	ビジター数
1	新温泉町	新温泉町山陰海岸ジオパーク館	2011年7月16-8月29日	ひとはくジオキャラバン in 新温泉町山陰海岸ジオパーク館	5743
2	香美町	香美町海の文化館	2011年9月1-27日	ひとはくジオキャラバン in 香美町海の文化館	1299
3	鳥取県岩美町	岩美町立渚交流館	2011年10月1-23日	ひとはくジオキャラバン in 岩美町立渚交流館	586
4	鳥取県鳥取市	湖山池情報プラザ	2011年10月29-11月20日	ひとはくジオキャラバン in 湖山池情報プラザ	1025
5	豊岡市	道の駅神鍋高原	2011年11月23-12月18日	ひとはくキャラバン in 猪名川町立楊津小学校	21087
6	京丹後市	琴引浜鳴き砂文化館	2011年12月23日-2012年1月15日	ひとはくジオキャラバン in 琴引浜鳴き砂文化館	470
7	京丹後市	道の駅てんきてんき丹後	2011年10月19日-2012年1月18日	ひとはくジオキャラバン in 道の駅てんきてんき丹後	26906

1. 新温泉町

キャラバン参画者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、新温泉町、新温泉町山陰海岸ジオパーク館、新温泉町子どもふるさと教室

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
「風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう！色々なタネを観察しよう！」	7月30日	山陰海岸ジオパーク館	24	石田弘明
「みんなで巨大段ボール製テトラポットを組み立てよう」	8月6日	山陰海岸ジオパーク館	5	武田重昭
「ジオパークの大地の模型をつくろう」	8月7日	山陰海岸ジオパーク館	8	先山 徹
「ジオパークの石を見分けよう」	8月7日	山陰海岸ジオパーク館	4	先山 徹
「ジオパークと地震ー建物のゆれ方や液状化をためそうー」	8月21日	山陰海岸ジオパーク館	67	先山 徹
「化石の簡単レプリカづくり」	8月28日	山陰海岸ジオパーク館	60	藤本真里

2. 香美町

キャラバン参画者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、香美町、海の文化館、NPOたじま海の学校、西但馬の自然を考える会

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
ジオパークと地震ー建物の揺れ方と液状化をためそうー	9月4日	海の文化館	65	松原典孝・先山 徹
ジオパークマスター養成セミナー:村岡・小代	9月4日	村岡区中央公民館	40	今井裕子・先山 徹
ジオカフェ 日本海と香美町の大地	9月7日	香住区中央公民館	8	先山徹
今子浦ジオマスター養成セミナーー今子浦の四季の自然について	9月14日	今子浦・海の文化館	10	石田弘明・福原陽一郎(西但馬の自然を考える会)
名画・名景に見る人と自然	9月17日	香住区中央公民館	5	武田重昭
海辺散歩「岡見公園と香住の町並み」	9月17日	香住カニ祭り会場・香住西港	9	先山徹・山崎義人・駒居博之(香美町在住)
ジオパークの大地の模型をつくろう	9月23日	海の文化館	5	先山徹
ジオパークの石を見分けよう	9月23日	海の文化館	6	先山徹

3. 鳥取県岩美町

キャラバン参画者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、鳥取県、岩美町、渚交流館、NPO岩美自然学校、いわみガイドクラブ、山陰海岸学習館、鳥取県地域づくりセンター

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
ジオパーク大地の模型をつくろう	10月1日	山陰海岸学習館	5	先山
天然のガラスピッチストーンを探そう	10月2日	渚交流館	5	先山
巨大テトラを組み立てよう	10月2日	渚交流館	33	武田
ドングリを見分けよう	10月8日	渚交流館	12	黒田
桐山自然観察会	10月9日	岩美町浦富	46	いわみガイドクラブ
ジオパークと地域づくりを考えるin岩美(第一部)	10月15日	渚交流館	50	先山
ジオパークと地域づくりを考えるin岩美(第二部)	10月15日	渚交流館	36	いわみガイドクラブ
ジオハイキング	10月16日	岩戸～滝ヶ磯	18	山陰海岸学習館
秋の夜空を楽しもう	10月16日	山陰海岸学習館	8	山陰海岸学習館
ドングリの壁掛け	10月23日	渚交流館	11	いわみガイドクラブ

4. 鳥取県鳥取市

キャラバン参画者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、鳥取県および鳥取市、湖山池情報プラザ、とっとり地域連携・総合研究センター

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう！ いろいろなタネを観察しよう！	10月29日	湖山池情報プラザ	17	石田弘明
風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう！ いろいろなタネを観察しよう！	10月30日	湖山池情報プラザ	8	石田弘明
ジオパークの石を見分けよう	11月 5日	湖山池情報プラザ	15	先山 徹
まが玉をつくろう	11月 6日	湖山池情報プラザ	8	遠藤浩明(湖山池情報プラザ)
桜染めをしよう	11月12日	湖山池情報プラザ	15	遠藤浩明(湖山池情報プラザ)
焼き芋大会－湖山池の三津集落で採れた サツマイモを焼いて食べよう	11月13日	湖山池情報プラザ	25	遠藤浩明(湖山池情報プラザ)
ジオカフェー湖山池水上飛行船物語	11月19日	湖山池情報プラザ	3	新名阿津子(とっとり総研)
ジオカフェー山陰海岸ジオパークの大地を知ろう	11月20日	湖山池情報プラザ	12	先山 徹

5. 豊岡市

キャラバン参画者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、豊岡市、道の駅神鍋高原、神鍋山野草を愛でる会、マロニエの森クラフトクラブ、神鍋鹿の子会、神鍋民謡保存会

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
神鍋の草花	11月23日	道の駅 神鍋高原	60	神鍋山野草愛でる会
神鍋の石と岩	11月23日	道の駅 神鍋高原	60	先山 徹
神鍋の化石	11月23日	道の駅 神鍋高原	40	松原典孝
神鍋木工教室	11月23日	道の駅 神鍋高原	40	マロニエの森クラフトクラブ
いろいろな植物のタネ	11月23日	道の駅 神鍋高原	80	石田弘明
神鍋の鳥と動物	11月23日	道の駅 神鍋高原	80	布野隆之
山陰海岸に暮らす生き物	11月23日	道の駅 神鍋高原	80	今井
神鍋山は奇跡の草原！？～スキー場が守る貴重な自然～	12月4日	道の駅 神鍋高原	41	澤田佳宏(兵庫県立大学)
兵庫県におけるシカによる自然植生被害の現状と対策	12月11日	道の駅 神鍋高原	9	藤木大介(兵庫県立大学)

寄せ植え教室	12月18日	道の駅 神鍋高原	23	高木則之
ミニ門松作り教室	12月18日	道の駅 神鍋高原	23	マロニエの森クラフトクラブ
クリスマスJazz & Popsコンサート	12月18日	道の駅 神鍋高原	34	川上太郎、森輝夫、谷本温明

6 および 7 京都府京丹後市

キャラバン参加者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、京丹後市、琴引浜鳴き砂文化館、道の駅てんきてんき、琴引浜ネイチャークラブハウス、京都府宮津水産事務所

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
ジオパークの大地の模型をつくろう	12月23日	琴引浜鳴き砂文化館	13	先山 徹
ジオパークと地震—建物の揺れ方や液状化をためそう	12月23日	琴引浜鳴き砂文化館	20	先山 徹・松原典孝(兵庫県立大)
琴引浜の砂に入っている有孔虫を観察しよう	12月24日	琴引浜鳴き砂文化館	11	小林文夫
琴引浜周辺の魚介類・海藻類の美味しい料理法	12月25日	琴引浜鳴き砂文化館	11	山本圭吾 (京都府宮津水産事務所)

【アウトリーチプログラム】

月	地域	事業名	場所	開催日	博物館の 関わり方	連携相手	内容種別
4	阪神北	春の女神と山菜の観察会	宝塚市立宝塚自然の家	4/9	後援	宝塚市自然保護協会	セミナー
4	北播磨	自然観察サポーターチーム活動へ	小野市うるおい交流館エクラ内お	2011/4/1-3/31	共催	北播磨自然観察サポーターチーム	その他
4	博物館	ドリームスタジオ	博物館実習室	2011/4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21,	共催	NPO 法人 人と自然の会	セミナー
4	博物館	花工房	博物館 4F サロン	2011/4/17, 5/22, 6/19, 7/17, 8/21,	共催	NPO 法人 人と自然の会	セミナー
4	丹波	丹波竜化石工房特別展	丹波市山南町丹波竜化石工房「ち	2011/4/29-5/22	共催	丹波市	展示
4	丹波	GW フェア「兵庫の恐竜化石展」～	コモレ丹波の森内センターコー	2011/4/29-5/5	共催	コモレ丹波の森専門店会	展示
4	博物館	君も発掘隊員！恐竜化石発掘体験	ひとはく恐竜ラボ前	2011/4/30, 5/29, 6/11, 7/24, 8/6,	共催	Labones ラボーンズ	セミナー
4	阪神	2011年度「六甲山子供パークレ	六甲山	7/31、22年1/29	協力	六甲山を活用する会	その他
4	阪神	2011年度「六甲山環境整備協議	六甲山	平成22年6月から23年3月31日の不定期	協力	六甲山を活用する会	その他
4	阪神	平成23年度「六甲山魅力再発見市	六甲山	4/19, 5/21, 6/18, 7/16, 8/20, 9/17,	協力	六甲山を活用する会	セミナー
5	阪神北	人と自然の会入会セミナー	兵庫県立人と自然の博物館	2011/5/15, 5/22, 5/29, 6/5	共催	NPO 法人 人と自然の会	セミナー
5	阪神	春の草木と出会うゆっくりハイク	JR 道場～神戸市セミナーハウス	2011/5/1	共催	NPO 法人 人と自然の会	セミナー
5	阪神	パパといっしょの昆虫アドベンチ	諏訪山公園	2011/5/5	共催	run♪ run♪ plaza	セミナー
5	博物館	あかねちゃん学園2011(全7回)体	博物館実習室・第2回以降は逆瀬	2011/5/22, 6/18, 7/16, 7/27, 8/1,	共催	あかねちゃんクラブ	セミナー
5	博物館	四季の星空案内	博物館 3F アースシアター	2011/5/8, 7/10, 10/2, 12/4	共催	NPO 法人 人と自然の会	セミナー

6	博物館	挿し木・接ぎ木で増やす希少植物 体	博物館実験セミナー室	2011/6/3	共催	希少植物研究会	セミナー
6	博物館	パパといっしょの昆虫アドベンチ	深田公園	2011/6/5	共催	run♪ run♪ plaza	セミナー
6	丹波	第6回 姫ボタルまつり	丹波市山南地域	2011/6/18-7/9	共催	姫ボタルまつり実行委員会	その他
6	阪神	ホテル観察会など	阪神・博物館	2011/6/10,7/16,8/12/10/3,3-4	協力	特定非営利活動法人さんぷくらぶ	セミナー
7	明石	パパといっしょの昆虫アドベンチ	明石市立文化博物館 明石公園	2011/7/2	共催	run♪ run♪ plaza	セミナー
7	丹波	里山の植物観察とクラフトと丸太	青垣町江古花園	2011/07/02	後援	江古花園運営委員会	セミナー
7	高槻市	たかつき子ども自然体験学校 昆虫	高槻市	2011/07/17、08/21	共催	特定非営利活動法人たかつき	その他
7	淡路	バリフラワーショー 2011-ガー	奇跡の星地球館	2011/07/16-09/25	共催	奇跡の星の地球館	展示
7	淡路	花と昆虫教室 2011	奇跡の星地球館	2011/08/02-3	協力	奇跡の星の地球館	その他
7	愛媛	第45回特別展「愛媛と世界のバツ	面河山岳博物館	2011/7/23-8/31	協力	面河山岳博物館	展示
7	但馬	コウノトリ KIDS クラブ 製作「水生動物	3階オープンギャラリー	2011/7/9-31	共催	豊岡市コウノトリ共生課	展示
7	愛媛県	ひとはく多様性大作戦! 「タヨウ	タオル美術館 ICHIIHIRO	2011/7/12-8/8	共催	タオル美術館 ICHIIHIRO	展示・セミナー
7	村岡	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫	博物館実習室・ハチ北高原・博物	2011/7/16, 7/22-24, 7/31, 8/13, 8/28	共催	run♪ run♪ plaza	セミナー
8	博物館	藍の生葉で「愛」を染めよう 体験・	博物館実験セミナー室	2011/8/27	共催	NPO法人人と自然の会	セミナー
8	播磨	歴史に化石がやってくる! ~第4	福崎町	2011/08/6-9/19	共催	福崎町教育委員会	展示・セミナー
8	佐用町	子供のための科学学習体験ツアー	博物館、佐用町昆虫館	8/3, 8/11	共催	(公財) ひょうご科学技術協会	その他

8	阪神	特別展「不思議な植物キョスミウツ	神戸市立森林植物園	2011/08/01-9/23	協力	神戸市立森林植物園	展示
8	北播磨	北はりま昆虫展	北はりま田園空間博物館	2011/8/10-22	共催	NPO 法人北はりま田園空間博物	展示およびセミナー
8	阪神	氷河時代の生き残りエゾゼミを観	六甲山自然保護センター	2011/8/16	協力	NPO 法人こどもとむしの会	セミナー
8	淡路	夏休み企画野島断層親子体験教室	野島断層	2011/08/20	共催	淡路市教育委員会	セミナー
8	豊岡	タヨウ星人原画展&ワークショップ	豊岡市立コウノトリ文化館	2011/8/13-28	共催	豊岡市	展示・セミナー
8	阪神	丹波竜が阪神に！！	宝塚こどもみらい協議会	2011/8/19-8/26	共催	宝塚こどもみらい協議会	展示
9	滋賀県	秋の伊吹山高山植物観察 野外観察	伊吹山	2011/9/6	共催	希少植物研究会	セミナー
9	村岡	ハチ北高原秋の自然観察エコツアー	ハチ北高原	2011/9/28	共催	ハチ北高原自然協会・ハチ北自然案	セミナー
9	名古屋	INAXギャラリー 展覧会「種子のデザイン	INAX ギャラリー名古屋	2011/09/02-11/17	協力	株式会社 LIXIL INAX ギャラ	展示
10	阪神	親と子の鳴く虫の夕べ 野外観察	道場町有野川周辺	2011/10/8	共催	鳴く虫研究会「きんひばり」	セミナー
10	阪神	里山観察会	川西市能勢妙見	2011/10/09	協力	川西里山クラブ	セミナー
10	徳島	企画展「描かれた地震」および関連行事	徳島県立博物館	2011/10/21-11/27	共催	徳島県立博物館	展示・セミナー
12	東京	INAXギャラリー 展覧会「種子のデザイン	INAX ギャラリー1	2011/12/01-2012/02/25	協力	株式会社 LIXIL INAX ギャラ	展示
1	博物館	ひとはくのお正月～日	博物館 4F サロン	2012/1/3	共催	NPO 法人 人と自然の会	セミナー
3	篠山	早春の山野草観察会-セ	篠山市	2012/3/2	共催	希少植物研究会	セミナー
3	大阪	INAXギャラリー 展覧会「種子	INAX ギャラリー大阪	2012年3月上旬から2012年	協力	株式会社 LIXIL	展示

ひとはくフェスティバル 2011 参画団体リスト(順不同)

■後援・協賛団体

株式会社北摂コミュニティ開発センター

株式会社ミツカングループ本社

兵庫県阪神北県民局

株式会社エフコーポレーション

■ステージ出演団体・キャラクター

県立有馬高等学校吹奏楽部

県立三田祥雲館高等学校吹奏楽部

豊岡市の玄さん

鳥取県のトリピー

京丹後市のコッペちゃん

三田市のキッピー

兵庫県のはばタン

■イベント開催団体

NPO 法人 人と自然の会「ネイチャークラフト・クラブ」

NPO 法人 人と自然の会「古代の会」

NPO 法人 人と自然の会「花工房」

NPO 法人 人と自然の会「星の会」

NPO 法人 人と自然の会「里山クラブ」

ひとはく連携活動グループ 希少植物研究会

ひとはく連携活動グループ GREEN GRASS

ひとはく連携活動グループ run ♪run ♪plaza
(るんるんぷらざ)

ひとはく連携活動グループ テネラル

ひとはく地域研究員 河南堂珍元齋

NPO 法人 体験型科学教育研究所

神戸市立須磨海浜水族園ボランティア(SAPV)

三田マッキントッシュ・ユーザーズグループ
(SMUG)

篠山層群をしらべる会

伊丹市昆虫館友の会

キッズプラザ大阪

考古楽倶楽部

篠山チルドレンズミュージアムの支援団体(ミュージアム・クラブ)

山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局

京丹後市観光協会

鳥取県大阪本部

鳥取市観光協会

九州国立博物館

みんぱくミュージアムパートナーズ(MMP)

やしろの森公園

ささやまの森公園

県立なか・やちよの森公園

県立ゆめさきの森公園

県立国見の森公園

県立宝塚西谷の森公園

兵庫県立歴史博物館

兵庫陶芸美術館

有馬富士公園(パークセンター&自然学習センター)

西宮市貝類館

(株)エフコーポレーション

(株)道下工務店

■飲食系出店団体

(有)福助

(株)飛行船

ガールスカウト兵庫県第95団

カレーハウス CoCo 壱番屋

三田ホテル

社会福祉法人まほろば

峠茶屋

ボーイスカウト三田第一団

ミツカンよかわビオトープ倶楽部

ロコクレープ

フロアサービス実績一覧

イベント名	内容	参加者数	実施回数
デジタル紙芝居	「アリマキのドロップ」	632	27
	「たんぽぽレストラン」	774	32
	「ぶくぶくあわわ～森から川へのおくりもの～」	502	22
	「コウちゃんの60日間」	697	29
	「スミスネズミと100年の森」	653	31
	「スキ草原のオーケストラ」	895	31
	「うりんぼのごちそう」	817	36
	「丹波の恐竜たんたんのひとはくナイトミュージアム」	3667	75
	「タヨウ星人スナ・メリメリの冒険」	599	16
	「アンモナイト物語」	484	24
	「ころころだんちゃん」	890	37
デジタル紙芝居一挙公開		376	9
展示解説	「ボルネオジャングル探検」	2418	131
	「ひょうごの自然自慢ツアー」	159	13
	「ひとはく不思議発見ツアー」	179	11
	「海の仲間たちツアー～大きな骨は何の骨？～」	852	62
	フロアスタッフとあそぼう	「画はくの日」	584
	「昆虫のえんぴつホルダーをつくろう」	173	4
	「おりがみでキノコを折ろう」	31	2
	「くるくるとぶタネ」	112	4
	「川で魚釣り」	297	8
	「巨大おりがみ～こいのぼり～」	52	1
	「しおりづくり～こいのぼり～」	34	1
	「カブトを折ろう」	54	1
	「ミニこいのぼり」	18	1
	「カタツムリのクイリング」	34	2
	「虫ムシ宝探しラリー」	47	2
	「恐竜ほねパズル」	112	3
	「動物たまいれ」	45	2
	「恐竜うちわ」	88	2

	「万華鏡」	140	3
	「七夕かざり」	57	2
	「ペーパークラフト～フンコロガシ ～」	54	2
	「けんちくかの日」	45	1
	「海の生き物うちわづくり」	96	2
	「鳥の巣づくり」	59	2
	「はくぶつかんペーパークラフト」	176	4
	「ラフレシアのふうふう」	71	2
	「これなあにクイズ」	77	2
	「ひとはくメガカルタ」	47	1
	「びっくりスネーク」	27	1
	「ちょうちょペーパークラフト」	49	2
	「きょうりゅうおめんづくり」	64	2
	「もりのどうぶつしかけえほん」	30	1
	「木の実であそぼう～ドングリクラフト ～」	61	2
	「動物すごろく」	64	3
	「うきうきおりがみ～ゾウをおろう～」	35	2
	「あしあとかるた」	8	1
	「木の実でクリスマス」	49	2
	「クリスマスオーナメントづくり」	48	2
	「年賀状づくり」	39	2
	「りゅうをつくってみよう」	58	2
	「お正月タコづくり」	98	2
	「りゅうのおりがみ」	83	2
	「だんごむしのおめん」	171	2
	「おひなさまづくり」	88	2
	「復元画を描いてみよう」	88	2
	「飛べ！ ムササビグライダー」	125	2
	「風にのってとぶたね～ハネフクベ ～」	86	3
	「春のフォトフレーム」	84	2
	「シーラカンスのおめん」	185	17
うきうきワークショップ	「とっても簡単！化石のレプリカづく り」	2161	12
	「チョコレートでつくるアンモナイト化 石のレプリカ」	44	1

	「オオムラサキのペーパークラフト」	95	1
	「ちょうちょペーパークラフト」	117	1
	「はがきをつくろう」	58	1
	「博物館ペーパークラフト」	72	1
	「花と昆虫の壁掛け」	43	1
	「ひとはくミニパズル」	68	1
	「モビールづくり」	102	1
	「春のモビール」	97	1
深田公園うきうき探検隊	テーマ:「春の虫をさがそう!」、「ハチの巣の観察」、「化石をさがそう」、「バッタとり」、「深田公園のいきものたち」、「ドングリと色づいた葉っぱをさがそう」、「ナズの植物をさがせ!ふかたんクイズラリー」	194	7
そのほか	「特注デジタル紙芝居」	1823	33
	「特注ラボレク」	220	8
	「特注化石レプリカづくり」	32	1
	「カブトムシの幼虫を飼ってみよう」	52	1
	「恐竜シンポジウム」	110	1
	「フローラ 88 リニューアルオープン企画 化石のレプリカ」	186	3
合計		24111	794

外部資金導入状況

◆科研費等助成金

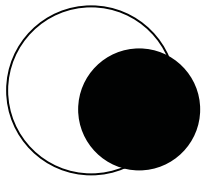
課 題 名	助成元	種別	代表者氏名	分担者氏名	金額 (千円)
恐竜発掘を素材にした、地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築	日本学術振興会	基盤研究C	先山 徹	佐藤裕司 古谷 裕 藤本真理	1,900
西日本における中世石造物の成立と地域的展開ー石材と形態・様式に着目してー	日本学術振興会	基盤研究B	市村高男	先山 徹	360
エチオピアにおける人類と類人猿化石の探索と進化的意義に関する研究	日本学術振興会	基盤研究A	諏訪 元	加藤茂弘	3,380
地磁気逆転期における寒冷化イベントの発生原因の解明	日本学術振興会	基盤研究B	兵頭 政幸	加藤茂弘	520
袋状埋積谷に着目した近畿三角帯北部域の伏在活断層の高精度評価	日本学術振興会	基盤研究B	岡田 篤正	加藤茂弘	650
日本産古第三紀内湾性貝類化石群の時代的変遷に関する研究	日本学術振興会	基盤研究C	松原尚志		600
中国地方における第三系の年代と地質学的背景の再検討	日本学術振興会	基盤研究C	澤田順弘	松原尚志	70
最古の現生種化石記録から探る現生貝類群集の成立：その時期と古環境背景	日本学術振興会	基盤研究C	近藤康生	松原尚志	130
明治・大正・昭和前期の論文に記載された古生物副産物の所蔵調査	日本学術振興会	基盤研究C	伊藤康弘	松原尚志	250
特異な性の維持機構とその進化ー全く新しい性表現を持つ植物からのアプローチ	日本学術振興会	若手研究B	布施静香		1,500
琉球列島産ウミヘビ亜科における遺伝的多様性と個体群分類	日本学術振興会	基盤研究C	太田英利		1,000
国内外来種オキナワキノボリトカゲの生態系への影響評価に関する研究	日本学術振興会	基盤研究C	岩本敏幸	太田英利	140
東南アジア熱帯雨林における土壌呼吸のホットスポット現象に関する研究	日本学術振興会	若手研究A	大橋瑞江	橋本佳明	400
博物館での「演示」の実施による環境学習効果の研究	日本学術振興会	基盤研究C	八木 剛		600
河川生態系管理における数値目標と実践的フレームワークの構築	日本学術振興会	挑戦的萌芽	三橋弘宗	田中哲夫	1,300
ミツバチに収獲ダンスを踊らせなかったら何が起ころうか	日本学術振興会	挑戦的萌芽	大谷 剛		900
小型種のサイチョウ類は大型種の生態系機能(種子散布)を代替できるのか?	日本学術振興会	若手研究B	北村俊平		1,100
博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用策	日本学術振興会	挑戦的萌芽	田原直樹	藤本真理 赤澤宏樹 山崎義人	700
集落持続に向けた民俗慣行に見る居住継続システムの解明	日本学術振興会	若手研究B	山崎義人		800
市街地の生活環境資源としての「谷戸」の研究	日本学術振興会	基盤研究B	重村力	山崎義人	300
スマトラ島西部地震からの現地断層型と集落移転型集落再建プロセスの空間論的比較分析	日本学術振興会	基盤研究C	市古太郎	山崎義人	250
照葉型里山林の生物多様性保全に係る基礎的研究	日本学術振興会	基盤研究C	服部 保	黒田有寿茂 石田弘明	600
洪水時の攪乱強度とレフュージアに着目した礫原植生の維持機構の解明	日本学術振興会	基盤研究C	浅見佳世		1100
シカの不敵性植物が生態系保全に果たす役割とその緑化への応用に関する研究	日本学術振興会	若手研究B	石田弘明		300

兵庫県で見つけた世界初の性型をもつ植物の繁殖システムの解明	ひょうご科学技術協会		布施静香		980
水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究	ダム水源地環境整備センター		江崎 保男		700
治水と希少種の保全は両立するか（河川改修と魚類の応答）	河川環境管理財団		田中哲夫		980
「ひょうごの川・自然環境調査」の標本資料の受入と管理に関する分任	兵庫県県土整備部河川計画課		三橋弘宗		700
新規神経毒系殺虫剤がミツバチ概日振動、帰巢行動の覚醒にかかわる可能性	山田養蜂場		竹田真木生	大谷 剛	225
失語症者が楽しめるユニバーサル・ミュージアムの研究	日本科学協会		三谷雅純		280
高齢な失語症者が楽しめる博物館の研究：ユニバーサルな観点から	大阪ガスグループ福祉財団		三谷雅純		280
神鍋高原における雪上プログラムの開発と実践	山陰海岸塩パーク学術研究奨励事業		布野隆之		100
生物多様性に配慮した「混せ垣」によるニュータウンの景観評価と更新・管理の課題	財団法人大林都市研究進行財団		赤澤宏樹	山崎義人 上田萌子	1,200
アーバン・レジリエンス研究会	日本都市計画学会関西支部		山崎義人		100
土地利用履歴からみた塩性湿地の基盤環境と塩生植物の現状との関係性に関する研究－淡路島東部成ヶ島を事例として－	大阪湾広域圏海環境整備センター		上田萌子		1,080
六甲山系の生物多様性保全に関する研究	コベルコ環境創造基金		服部 保		1,000
西脇市等における植生調査、整備計画、環境調査	サントリーホールディング(株)		服部 保		1,000
小規模ミュージアムにおける災害復興のあり方平成22年度になっている、	兵庫県シンクタンク等協議会 自主研究グループ助成金		八木剛		300
シカ・イノシシ高密度生息地域における、スキ草原の生物多様性と観光資源利用の持続性を保全するための管理手法の開発	国際科学技術財団		橋本佳延		1,000
巡回展「タンポポ」の企画・運営	西日本自然史ネット 那須自然史基金		鈴木 武		300
				合計	28,975

◆受託研究等

件名	委託元	受託者	金額(千円)
麒麟ビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ創出に関する研究	麒麟ビール株式会社神戸工場	田中哲夫	700
ミツカンよかわビオトープの効果的な広報に関する研究 その3	株式会社ミツカングループ本社	藤本真里	750
パークマネジメントの人材養成に関する研究 その5	兵庫県阪神北県民局	藤本真里	1,000
山陰海岸ジオパークにおけるアウトリーチ事業「ジオ・キャラバン」	山陰海岸ジオパーク推進協議会	藤本真里	700
南公園里山体廃棄物等委託業務	三田市	橋本佳延(分担者) 服部保(分担者) 石田弘明(分担者) 黒田有寿茂(分担者) 南山典子(分担者)	400
丹波地域の化石資源を活かした人づくりのための調査研究委託	たんざ恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会	上田萌子	390

シダ類、ラン類の栽培等業務	財団法人ひょうご環境創造協会	服部 保	1,050
平成23年度尼崎の森中央緑地地域生苗木栽培業務	兵庫県阪神南県民局	服部 保	1,100.4
平成23年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務(その1)	西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社	服部 保	77.2
平成23年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務	西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社	服部 保	428
平成23年度大阪ガス株式会社如母器製造所等における生物多様性対応関連委託業務	大阪ガス株式会社	服部 保	990.15
西宮市における生物多様性地域戦略の評価手法検討業務	西宮市	服部 保 石田弘明(分担者) 南山典子(分担者) 橋本佳直(分担者) 黒田有寿茂(分担者)	1,250
慶興林公園維持のための林木植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務	兵庫県立淡路景観園芸学校	黒田有寿茂	350
先進的科学館転機推進事業「ゆりかごから科学を—幼少期からの体験に基づいた科学的な好奇心育成の基盤構築と実践—」	独立行政法人科学技術振興機構	古谷裕 布施静香 小館誓治	10,715
合計			19900.75



利用案内

■観覧時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)
 年末年始
 (平成23年12月28日～平成24年1月2日)
 臨時休館日
 (平成24年1月10日～2月3日)

■観覧料 (平成23年4月1日現在)

区分	個人	団体(20人以上)
一般*	200円	150円
大学生	150円	100円
高校生	100円	70円
小・中学生	無料	

*:65歳以上の方は半額、障害者(介護者を含む)は半額

■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。(客席数500)

使用料 (平成23年4月1日現在)

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
(土日祝)	5,500円	7,000円	12,500円
(平日)	4,400円	5,600円	10,000円

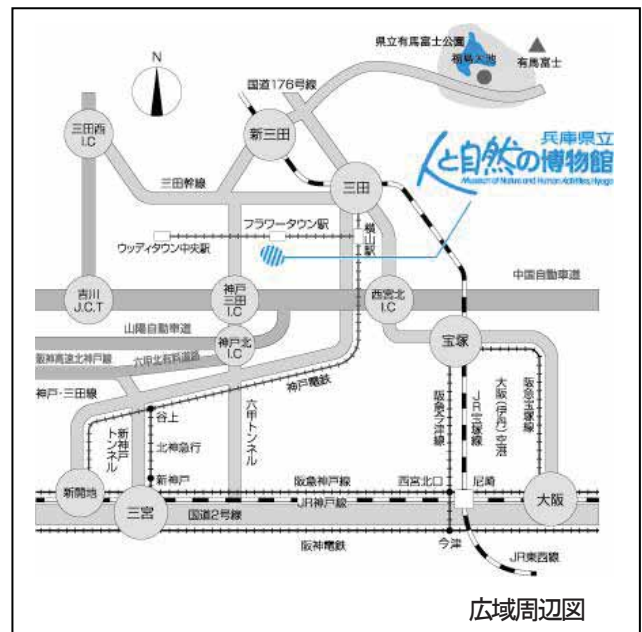
なお、附属設備の料金については別に定めます。

■交通 神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ。
 神姫バスフラワータウンセンター下車すぐ。
 中国自動車道神戸三田より10分。

■駐車場 バス 13台 無料(要予約)
 普通車は近隣の有料駐車場をご利用ください。



博物館周辺図



広域周辺図



ANNUAL REPORT
of
Museum of Nature and Human Activities, Hyogo
For the Fiscal Year of 2011
Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan